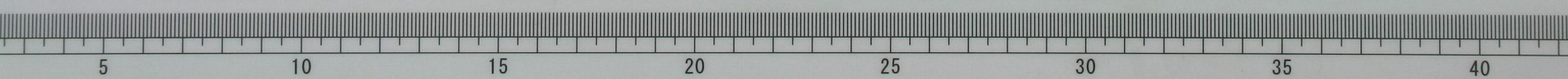




土岐文庫
文庫17
W206



初心紋割形一車

は	い
えみひしのろ六	いすのろ一
いたなみのろ五	いほのろ二
いたら奥のろ四	いあまのろ三
いりりのろ五	



昭和六十年二月一日
土岐孝吉磨氏 贈

010185196300

てねのゑんせ

はうちこのゑんせ

かたんのゑん九

かしのゑん十

帆ほのゑん口

へーのゑん士

とものゑん口

とうちこのゑん十三

そへ

ち

トヲ別ちのゑん九十七

ちゆじのゑん十三

際まのゑん十五

ちやのゑん十六ちやのゑん

長んのゑん十七

ちきりのゑん十七・六十七

らんがのゑん十八

らんのゑん十九

り

き

ともたのろい十九

わ

あふのろい 二十

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

わ

まふのろい 二十一

唐花のろい

廿三 唐花のろい 廿三

笠のろい

廿四 笠のろい 廿四

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五 刺形 百十五

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五 甲 乙 丙 丁 戊 己 庚 辛 壬 癸

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五

かしのろい

廿五

よこづち	廿八
四割中うの島	廿五
たらの花の歌	廿三。割飛百々
梅の煙の歌	廿
室むまじの歌	廿
たまの歌	廿
作の歌	廿五
立奏割中う	廿九
つるの歌	廿六。廿八
つみみの歌	廿六
つたの歌	廿
角の歌	廿

樞の歌	廿
かてこの歌	廿
棠の歌	廿九。廿八
なみの歌	甲。割飛百々
南てんの歌	甲
あらの歌	柏の百々
七割中うの島	廿
棠の歌	廿
梅の歌	廿
六角割中うの島	百九
むら	廿
六割中うの島	廿

うろこのろい 甲三。割形五。甲八
 うちのろい 甲二。羽。甲七。度。甲八十三
 うまのろい 甲四
 うんらん とうんのろい
 くきぬのろい 甲三。卒九
 九よりのろい 甲三
 舟のろい 甲四。卒九
 くつこのろい 甲四
 車のろい 卒九
○モ外十子車八十子の知んを車八人
との知んを車八十子の知んを車八人
 矢のろい 甲五
 八割のろい 卒三

まのろい 甲六
 松のろい 甲六
○六十三
○別形百十
 まんのろい 甲七
○まんのろい
○別形百十六
 井のろい 甲七
 まりのろい 甲八。甲九。甲十
 浦のろい 甲八
 丸のろい 甲九
 菱のろい 甲十
 ふんごのろい 甲十
 ニ割のろい 甲十
 ニ割法 甲十

こ	こころのりい	五十一
あ	あまのりい	五十二
あ	あまのりい	五十三
あ	あまのりい	五十四
あ	あまのりい	五十五
あ	あまのりい	五十六
あ	あまのりい	五十七
あ	あまのりい	五十八
あ	あまのりい	五十九
あ	あまのりい	六十
あ	あまのりい	六十一
あ	あまのりい	六十二
あ	あまのりい	六十三
あ	あまのりい	六十四
あ	あまのりい	六十五
あ	あまのりい	六十六
あ	あまのりい	六十七
あ	あまのりい	六十八
あ	あまのりい	六十九
あ	あまのりい	七十

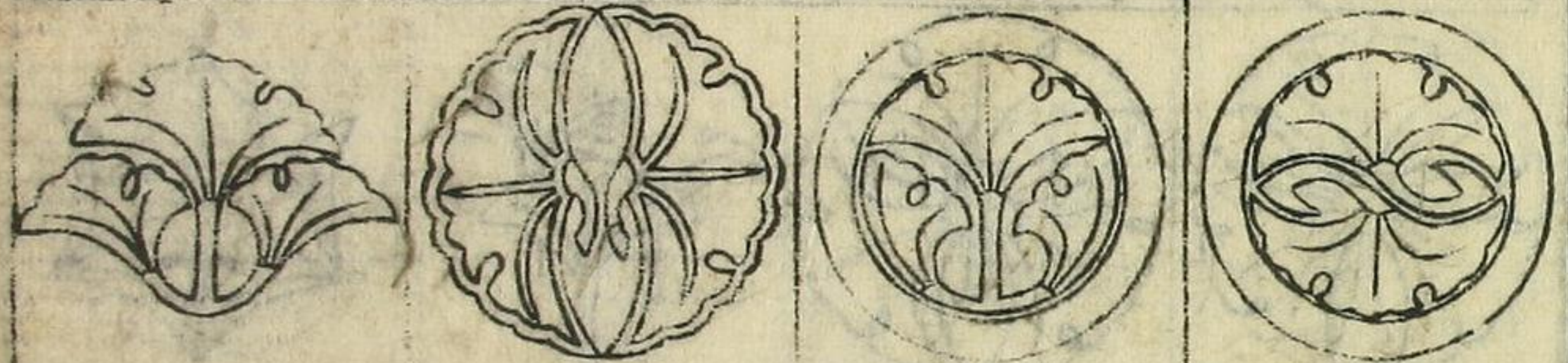
さ	ささのりい	五五
さ	ささのりい	五六
さ	ささのりい	五七
さ	ささのりい	五八
さ	ささのりい	五九
さ	ささのりい	六〇
さ	ささのりい	六一
さ	ささのりい	六二
さ	ささのりい	六三
さ	ささのりい	六四
さ	ささのりい	六五
さ	ささのりい	六六
さ	ささのりい	六七
さ	ささのりい	六八
さ	ささのりい	六九
さ	ささのりい	七十
さ	ささのりい	七一
さ	ささのりい	七二
さ	ささのりい	七三
さ	ささのりい	七四
さ	ささのりい	七五
さ	ささのりい	七六
さ	ささのりい	七七
さ	ささのりい	七八
さ	ささのりい	七九
さ	ささのりい	八十

三十一 割中 百一
三十二 割中 百一
志也ろろの歌 空
志也の目ろ 空
七室 二五
割形 百四
えびのろ 空
えびーのろ 空
いしぎろ 空
槍がさ割法 真
ひーのろ 空。割形 百一

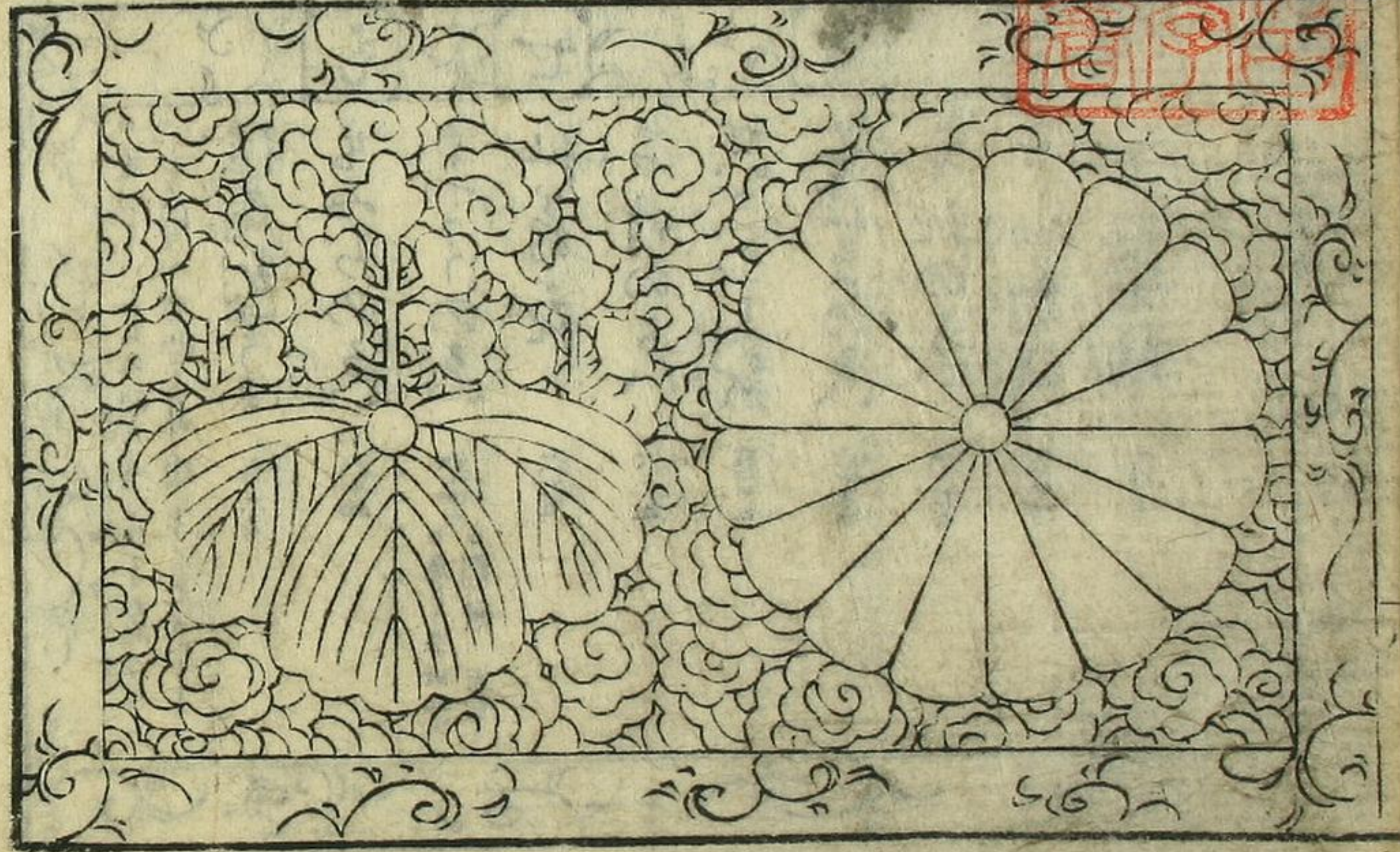
○若びーのろの如も。ひーのろ
とけろの如も。外に作してゑるべー
松扇割中 百六
もみらのろ 六四
わろのろ 六四。ろろ。五廿五
仙翁花 六五
石竹のろ 六五
せがろ割形 百五
せがまのろ 六五
とれろのろ 六五
とれ切割法 百十
とれろの痛 七二



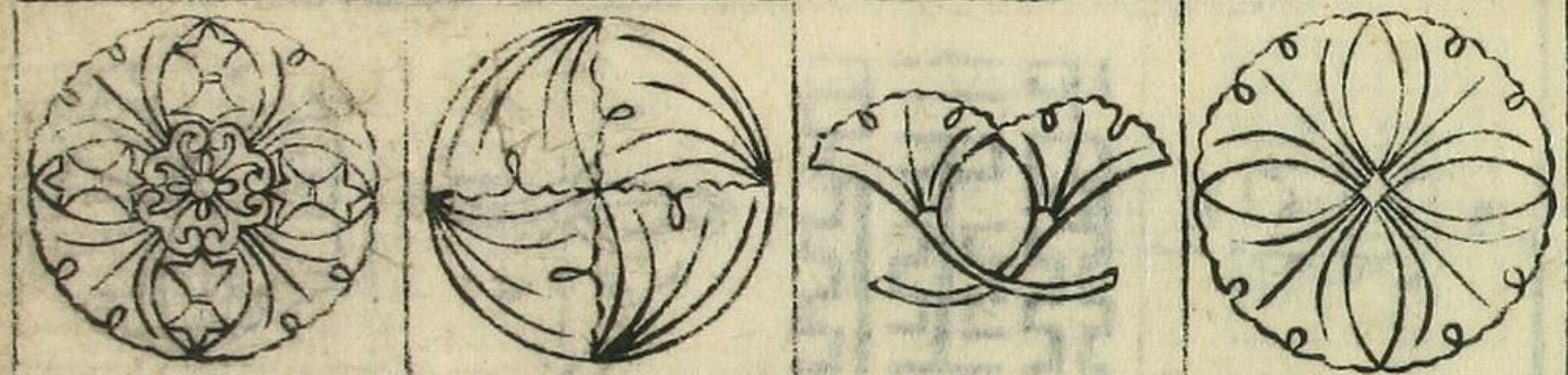
うてい表之 うていひつむ うてい表三丸 うてい村中



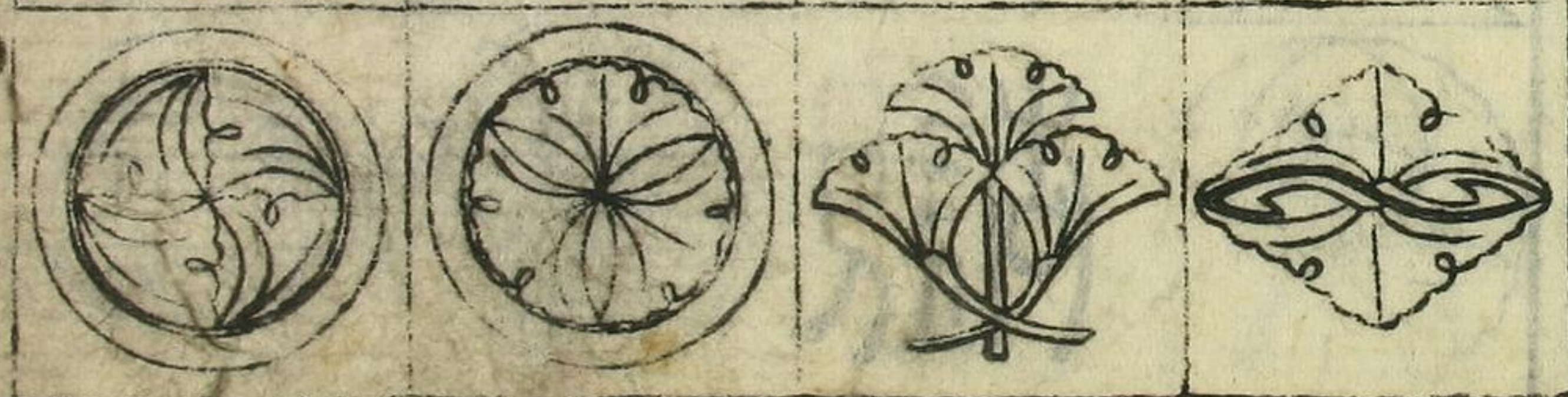
うていむらと うてい三翫 うてい三三三 うてい三丸



うていんせふ | うてい割写 | うていひがち | うてい号



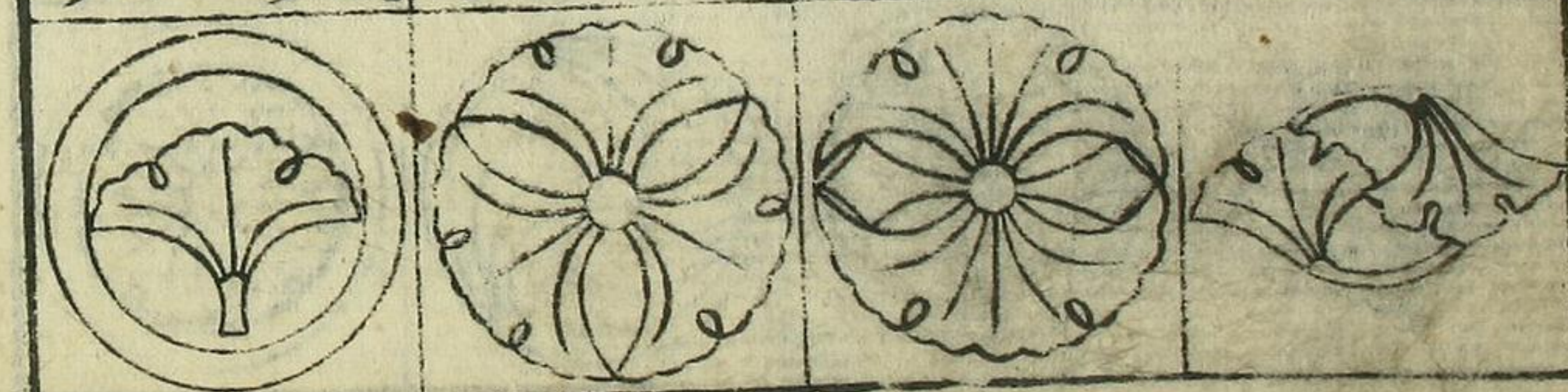
うてい割写丸 | うてい号丸 | うていひがち | うていしひ



うてい号丸 | うてい号 | うていひがち | うていひがち



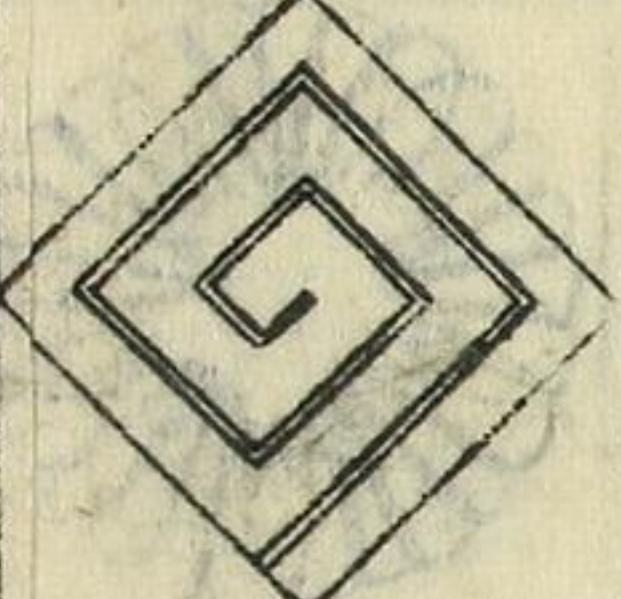
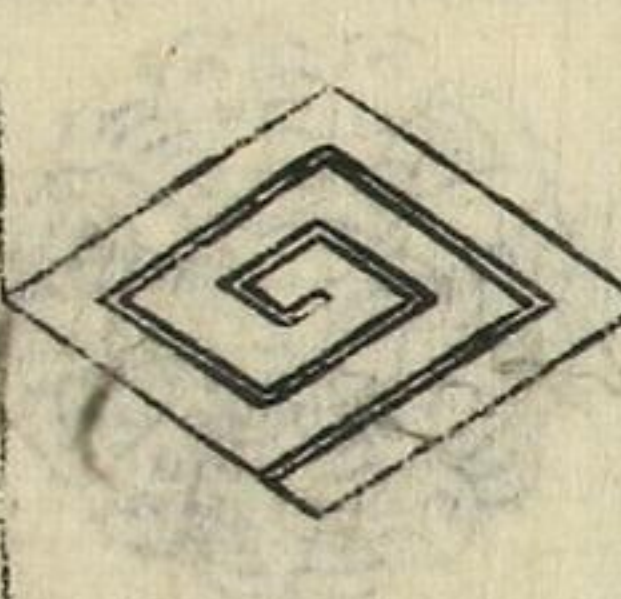
うてい号丸 | うてい号 | うていんけ | うていひがち



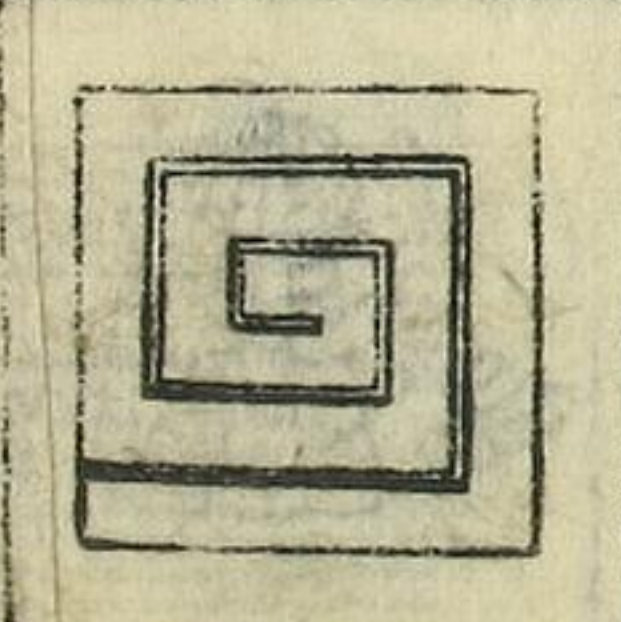
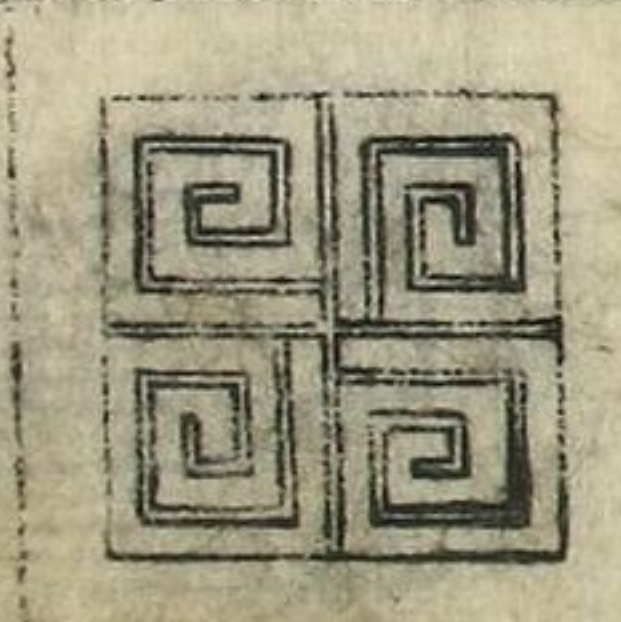
つめのつ	節井 主銀	ほづい	井々
とがい	づい 甲銀	づ 井の平	井篆

うてい 東銀	杏 銀	うてい いく	うてい 甲銀
うてい 銀之	字 篆	うてい 藤	うてい 三丸

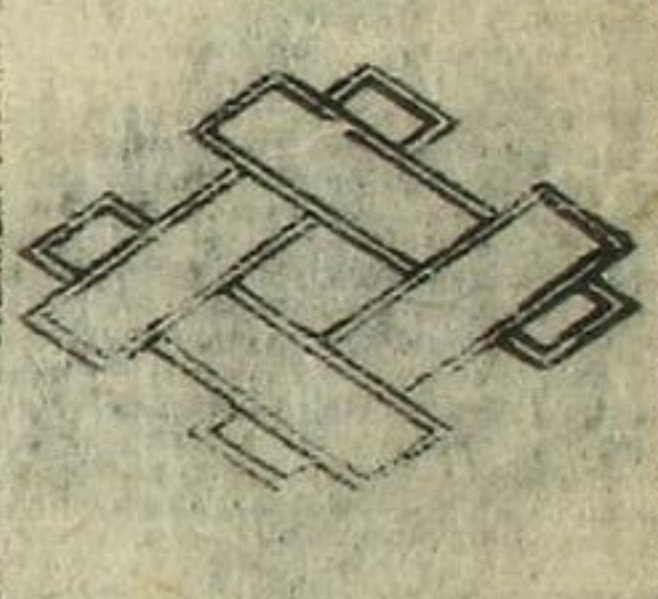
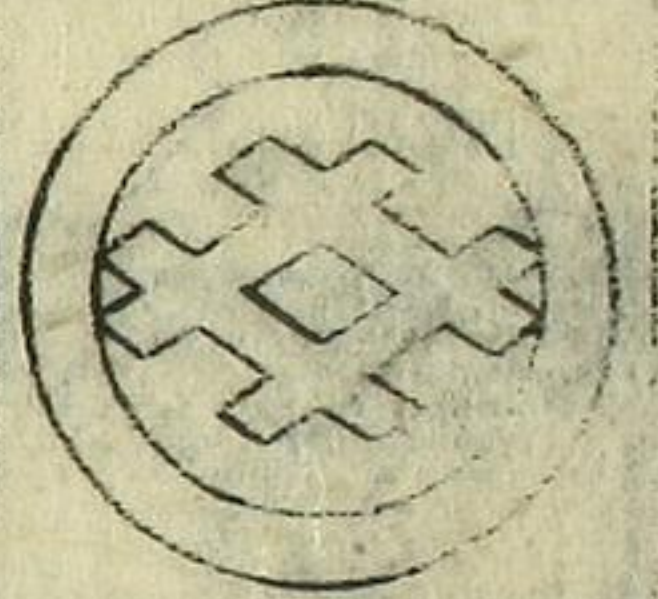
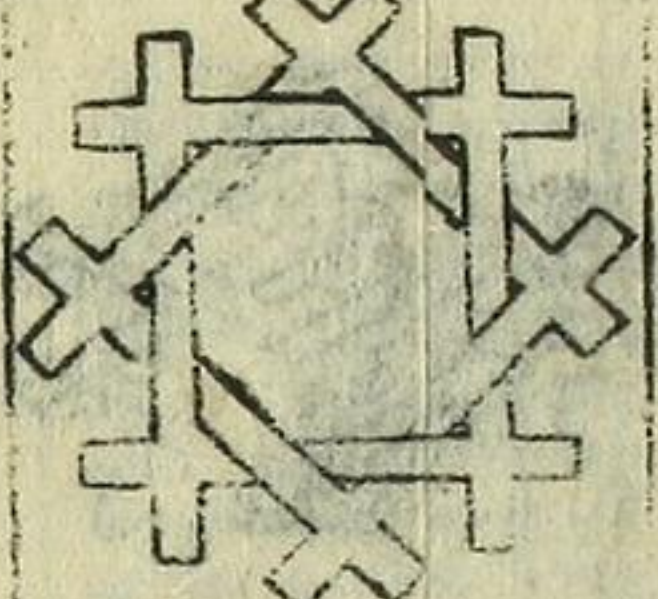
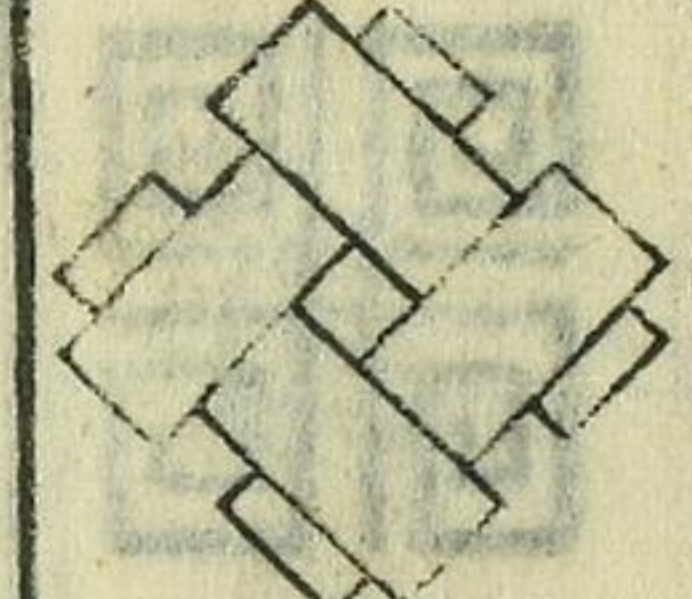
まつまの甲 巻まつまの巻 まつまの巻 電筆



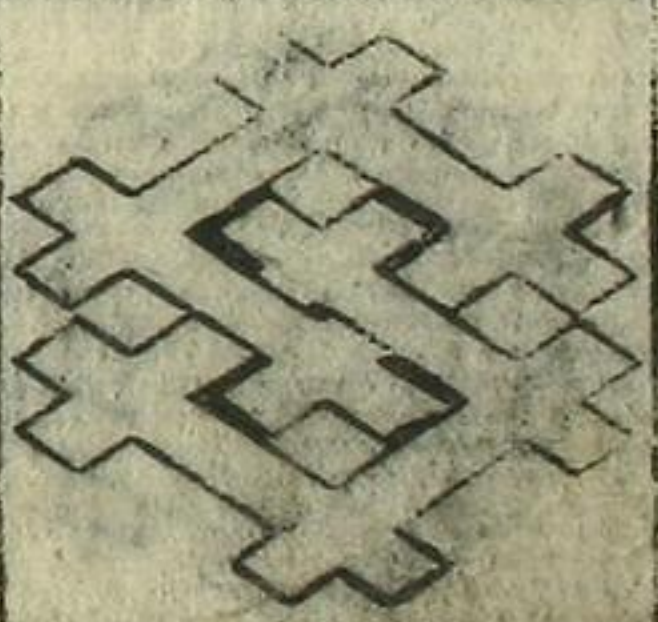
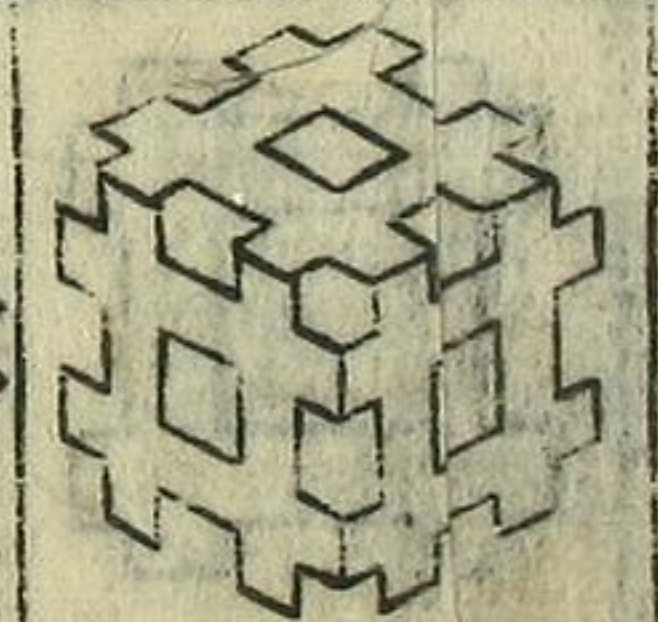
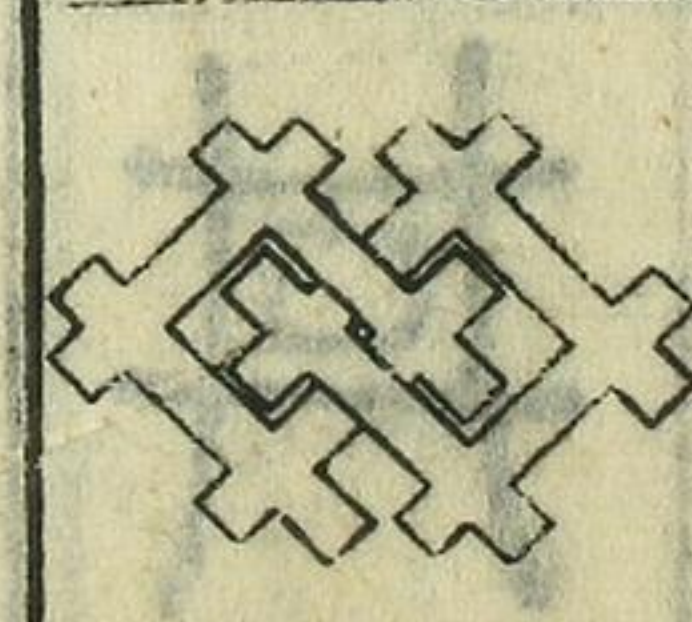
まつまのし 写まつまの平 字篆



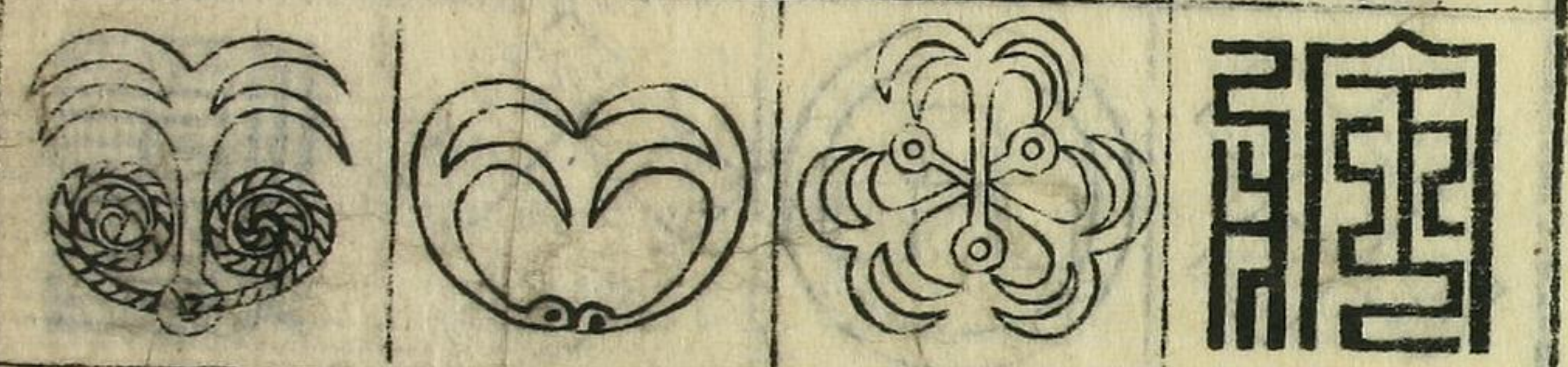
づ井 金銀 づ井と正 とげいの丸 とげいの糸



づのぶち とげいの三 とげいの巻 づの巻解丸



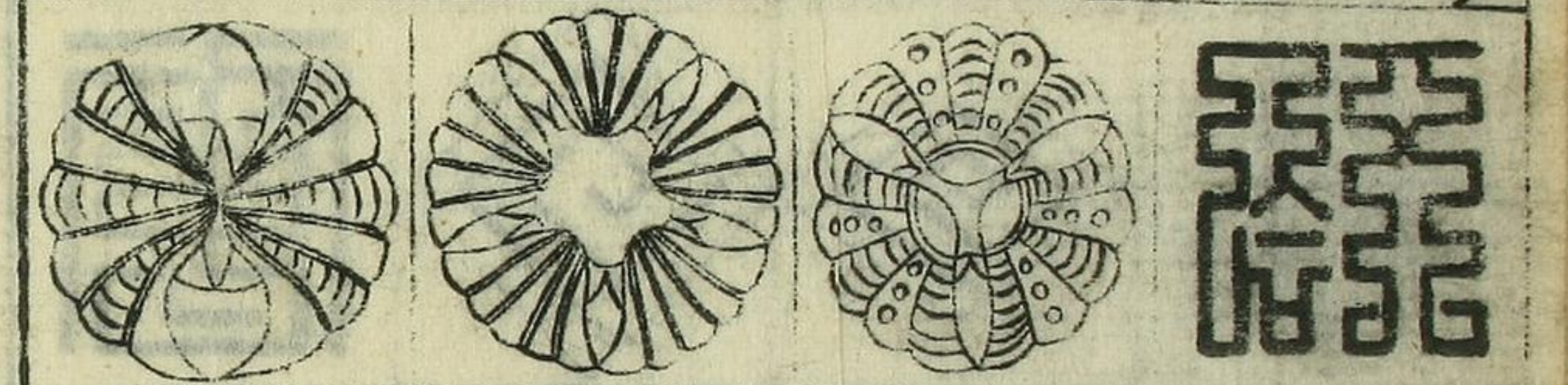
アウイのま
アウいんせ大
アウいを彫
艇いり



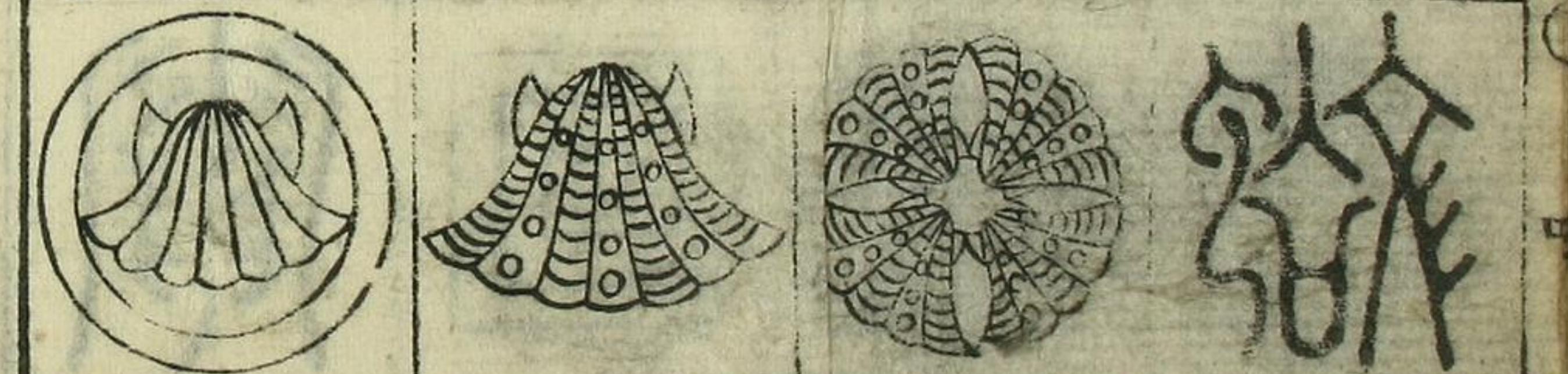
アウい丸
アウいまつ
アウい写
字篆






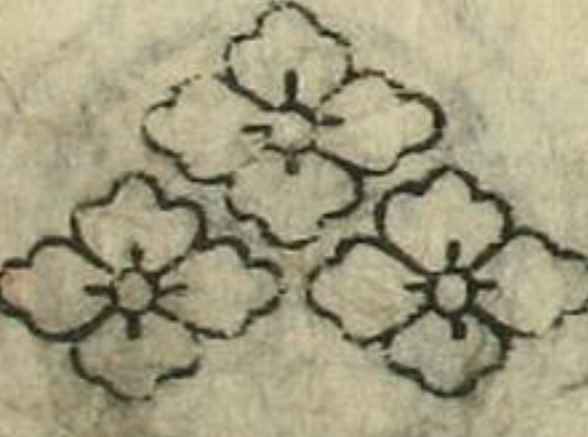




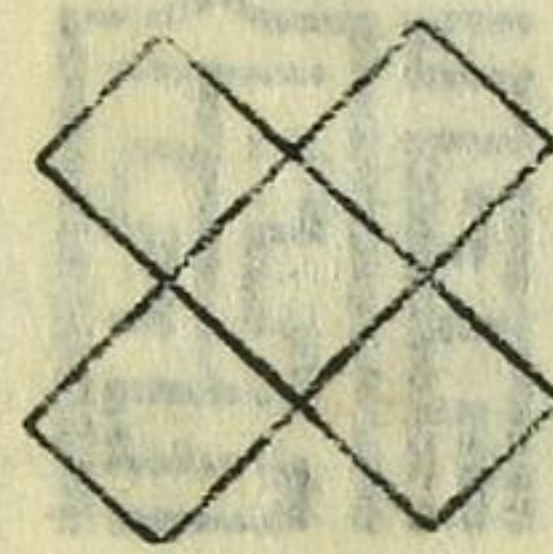
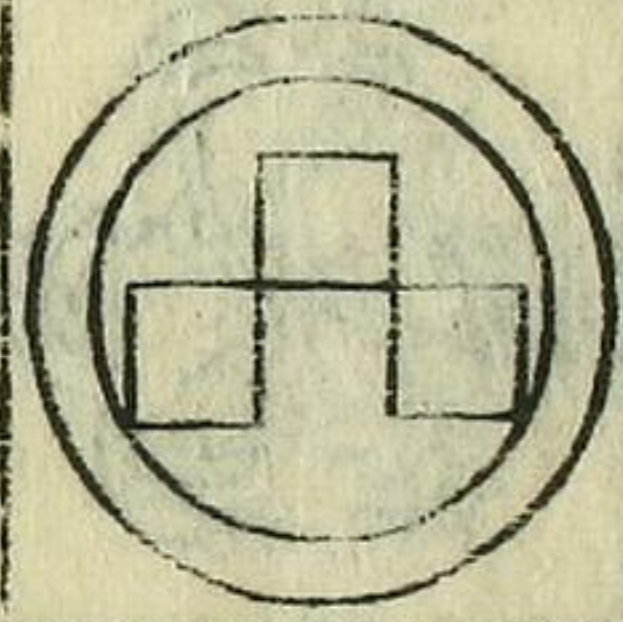
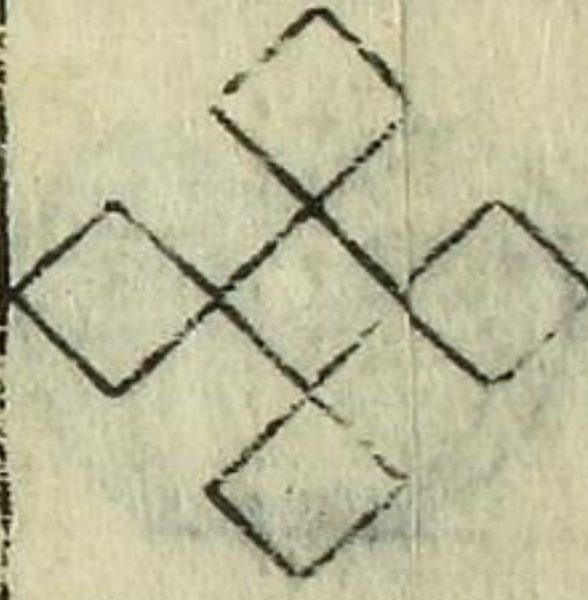

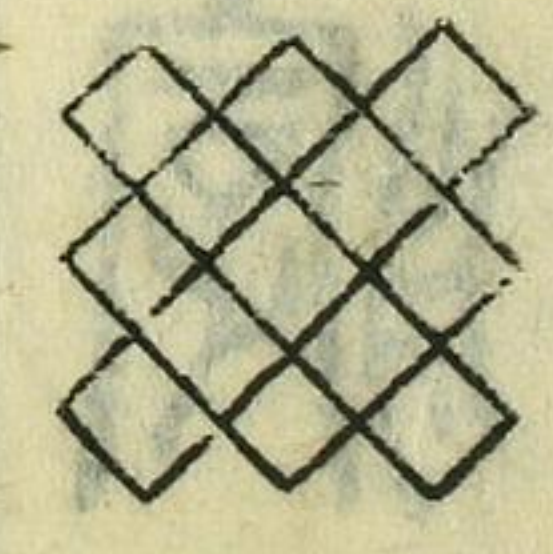
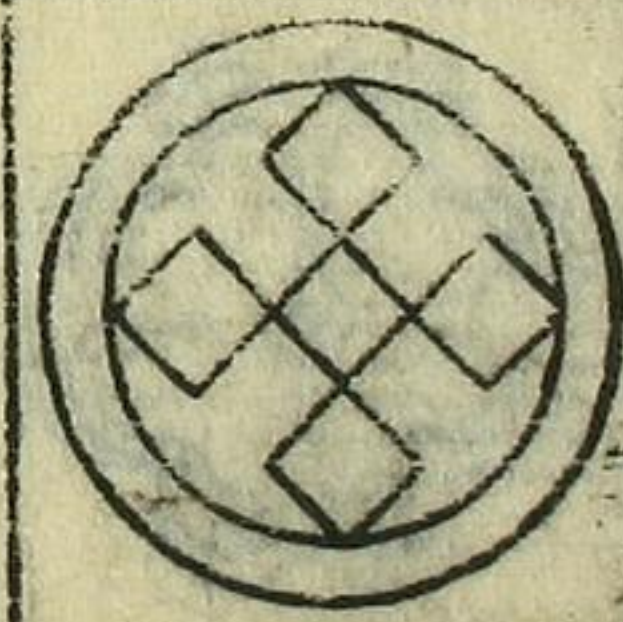
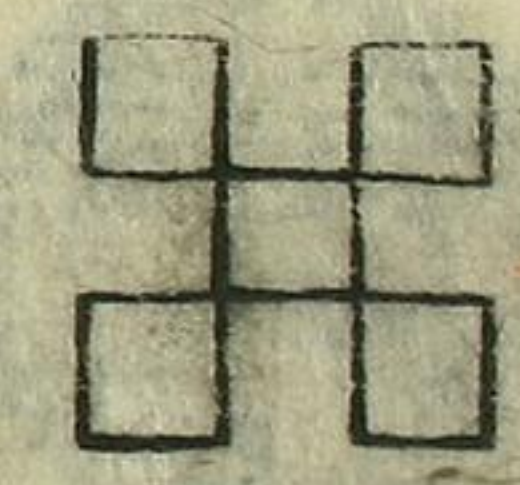

貝らといひ白び
貝らといろ
貝らとい云
蛤かき文ぶん



貝らとい丸
貝らとい
貝らとい写
字篆



しひ花る	しひむんせふ	しひむんせふ	奏花
			
しむれ	しむれ	しむれ	字篆
			

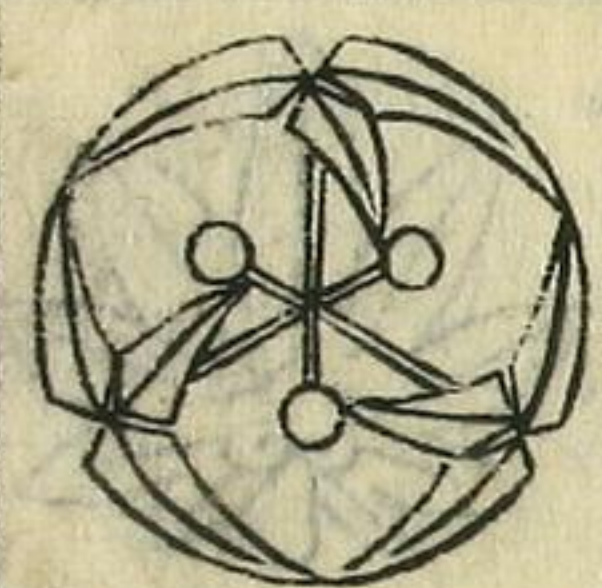
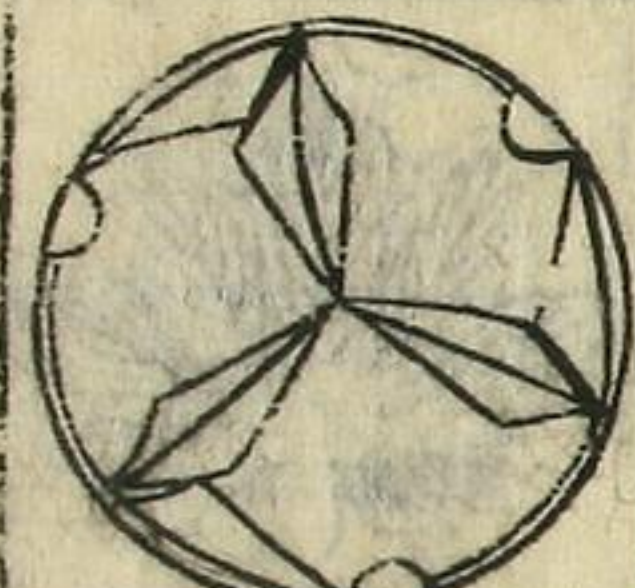
しむれ	しむれ	しむれ	篆
			
しむれ	しむれ	しむれ	篆
			

ねはむ丸

ねえり三

ねえ三

羽



ねはむ丸

おはる

ねえ三

字篆

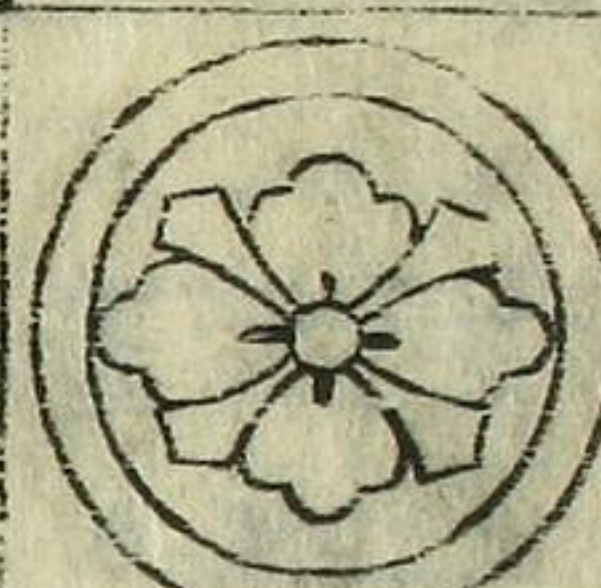
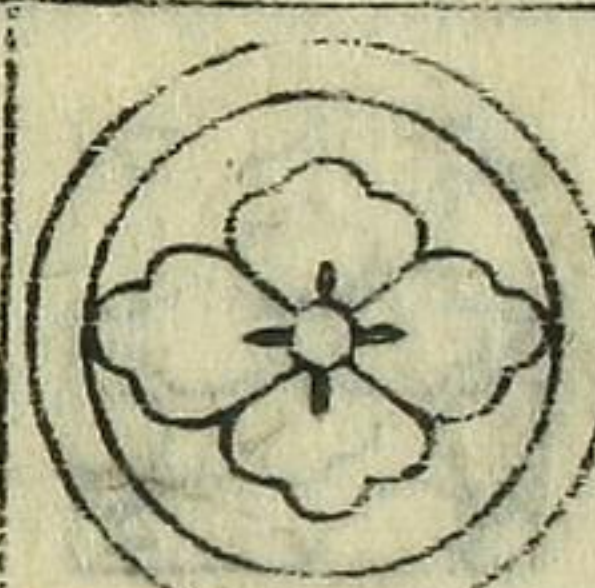
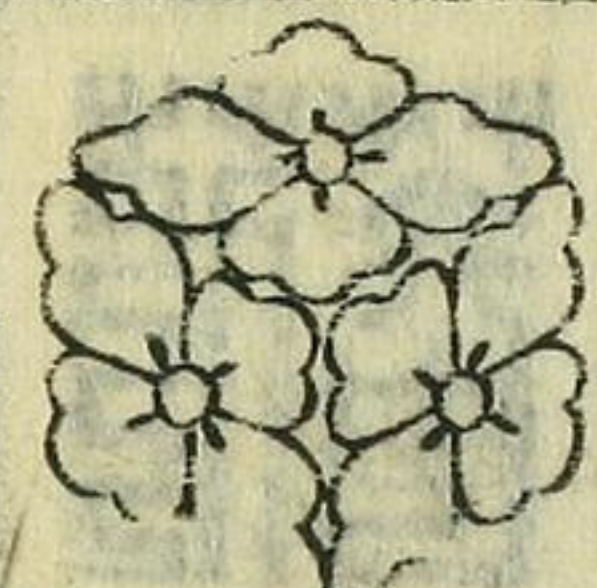


しむ丸

しむ丸

しむ丸

しむ丸

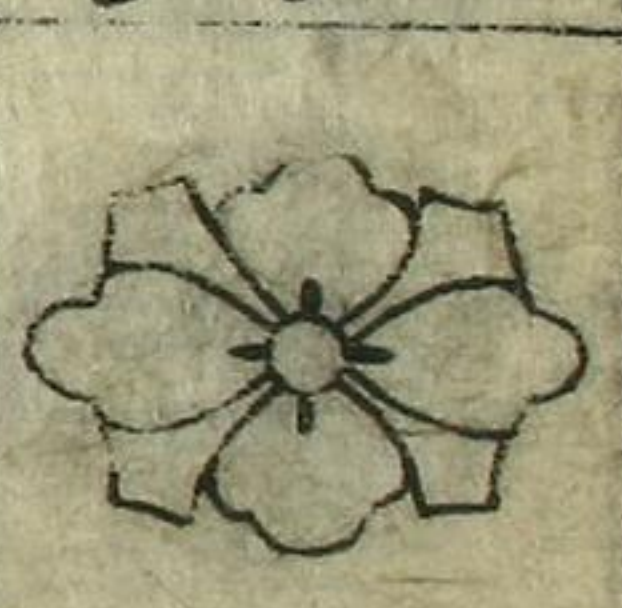
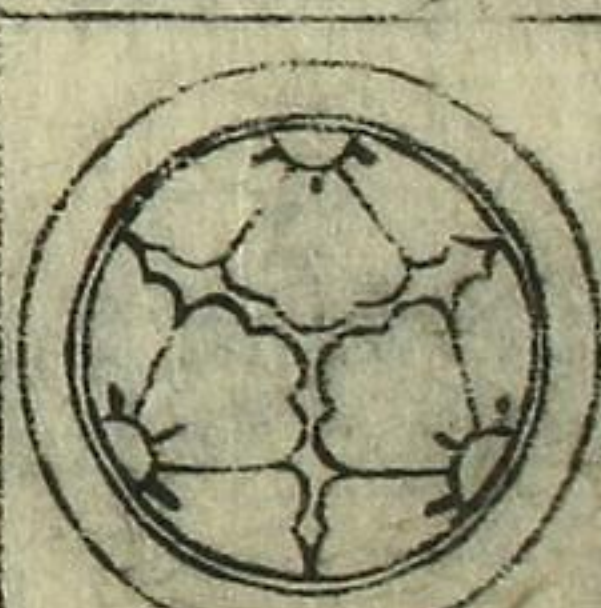
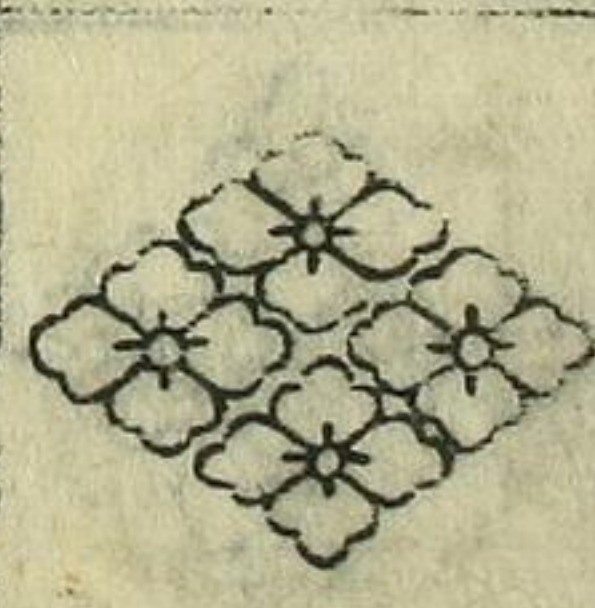
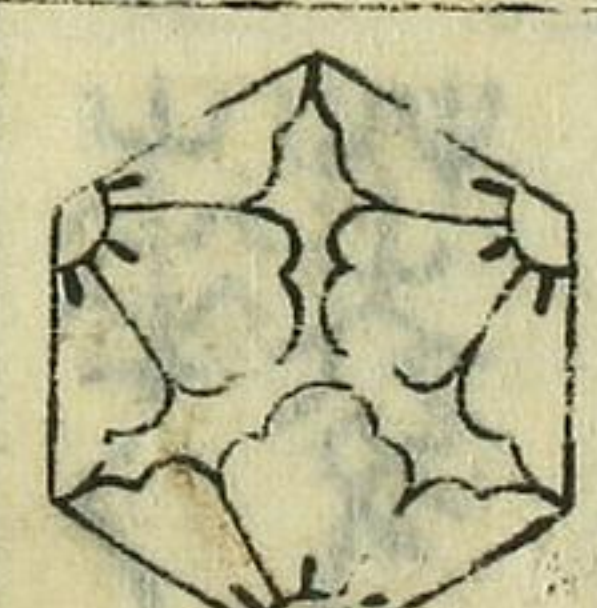


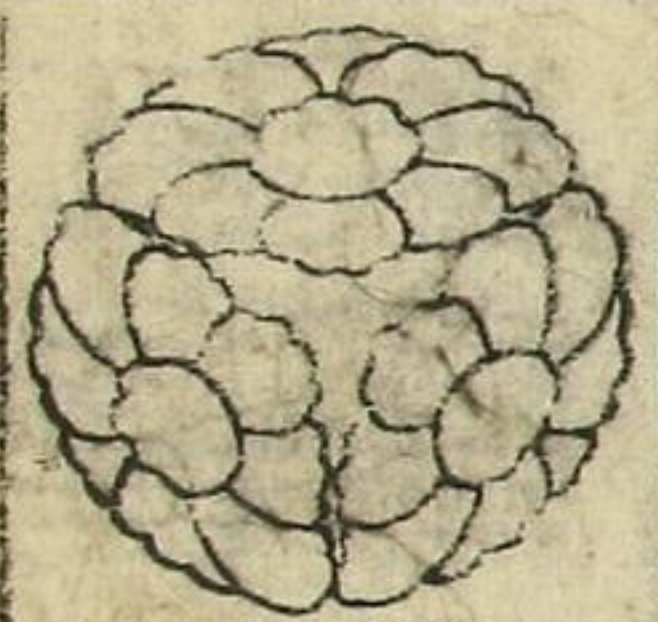
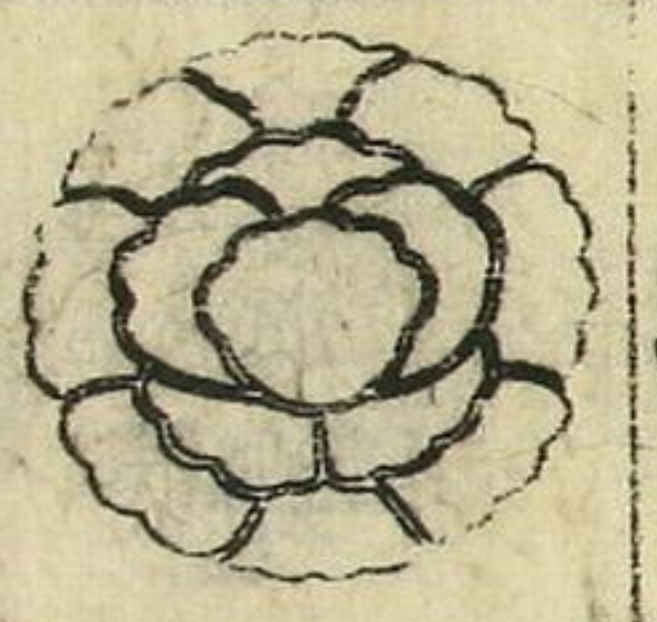
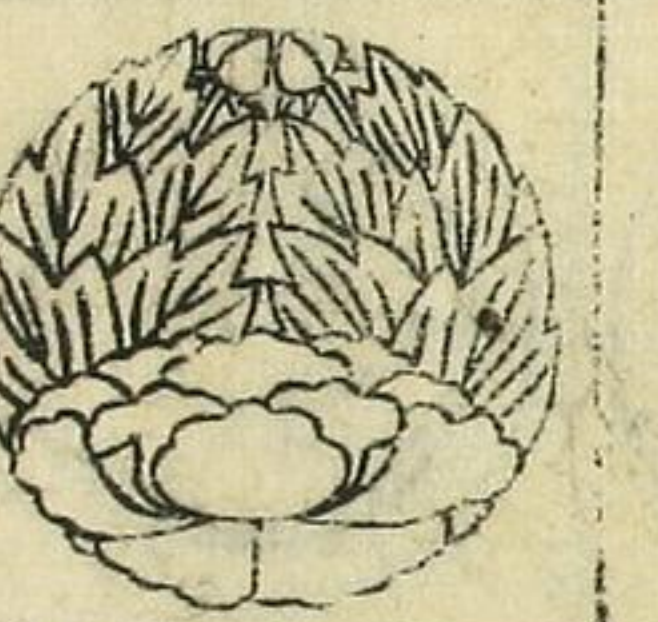





しむ丸









しむ丸

しむ丸

しむ丸



んさ不三	んさ不翻	んさ不羽	丹克牡が
			
んさ不に	んさ不き	んさ不きむ	字篆
			

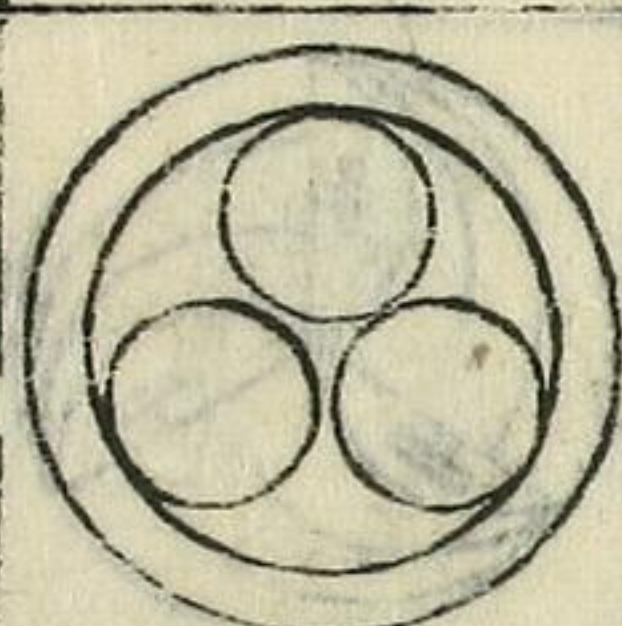
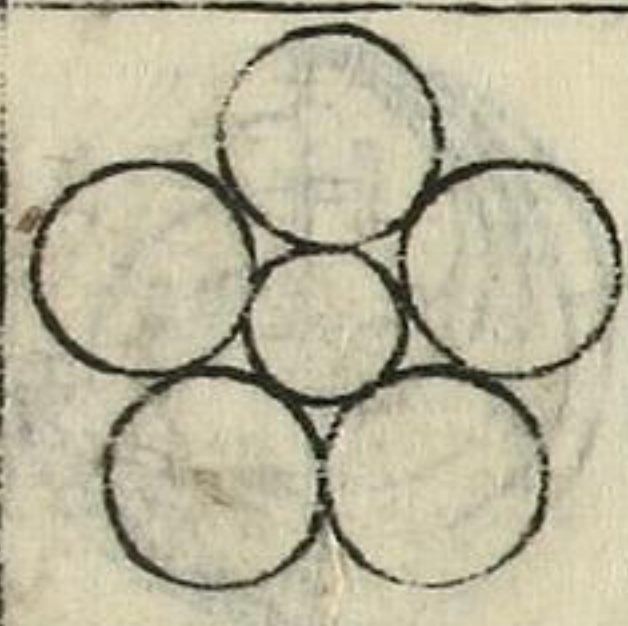
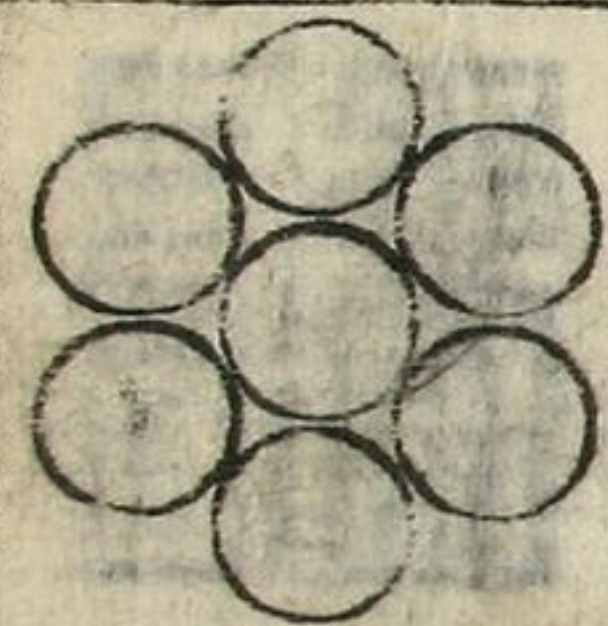
ハらうこの	ハらうちえも	ハらうハシ	團羽
			
ハらうこの	ハらう葉	ハらう羽	字篆
			

し不七

し不云

し不三丸

星

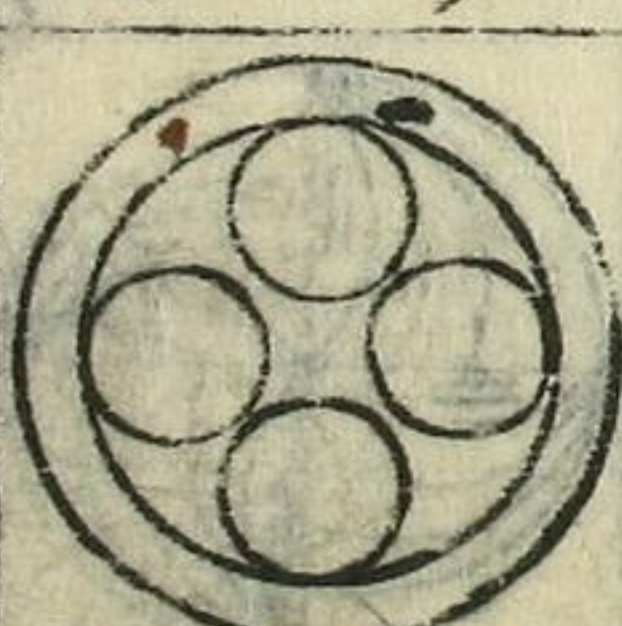
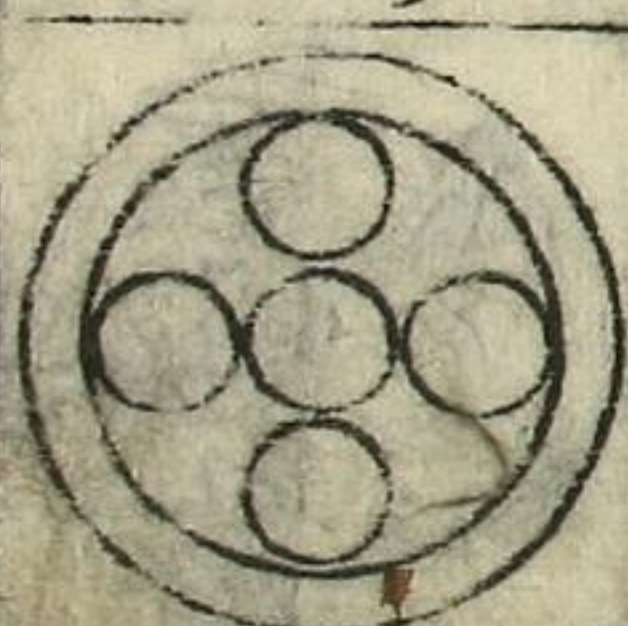
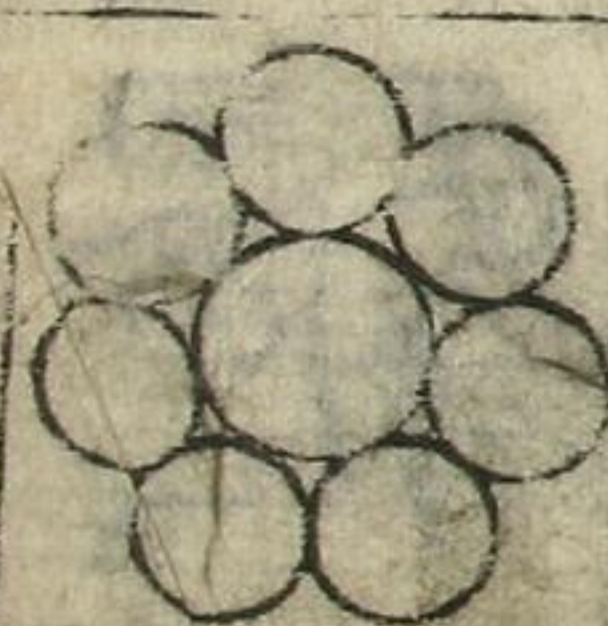


し不ツハ

し不み丸

し不写丸

字篆

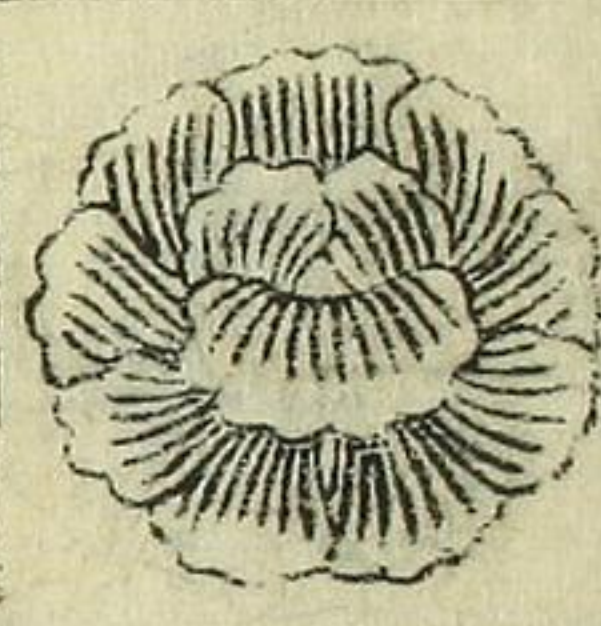
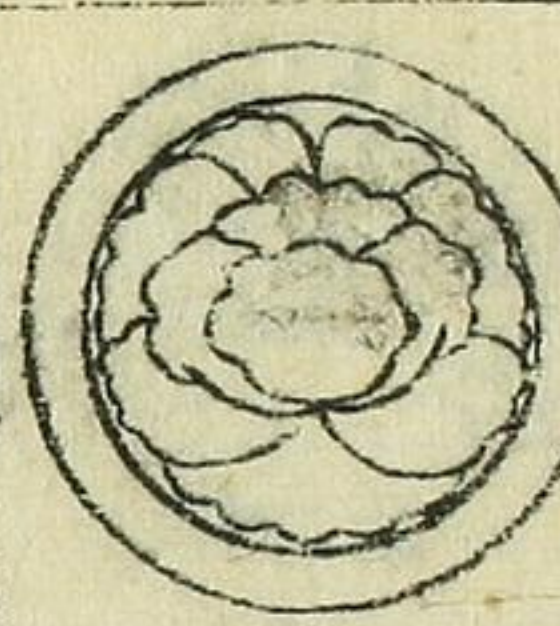


司新系一丸

んた不丸

んた不

丸のんた不

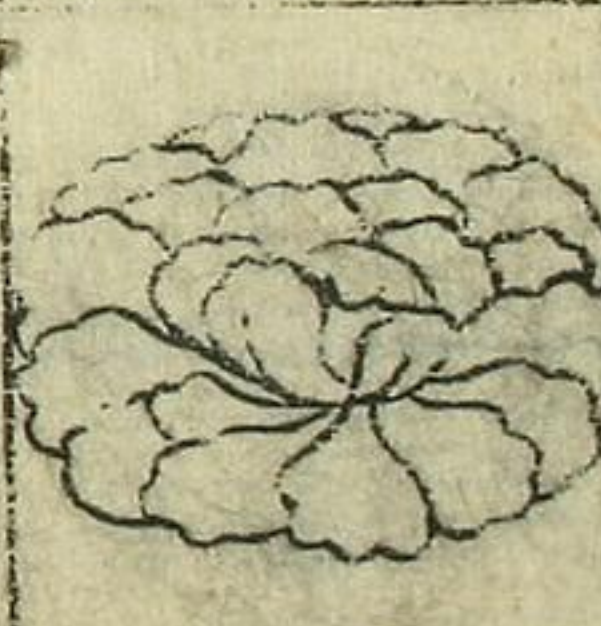


んた不鬼

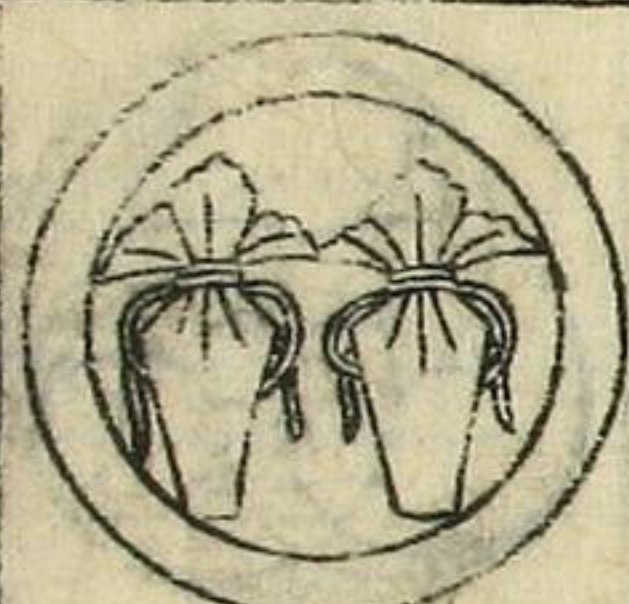
んた不

え不た子ひ

んた不三つ枝



しへちもに しへ三丸 しへ丸 子 瓶



福

しへ三

しへ三

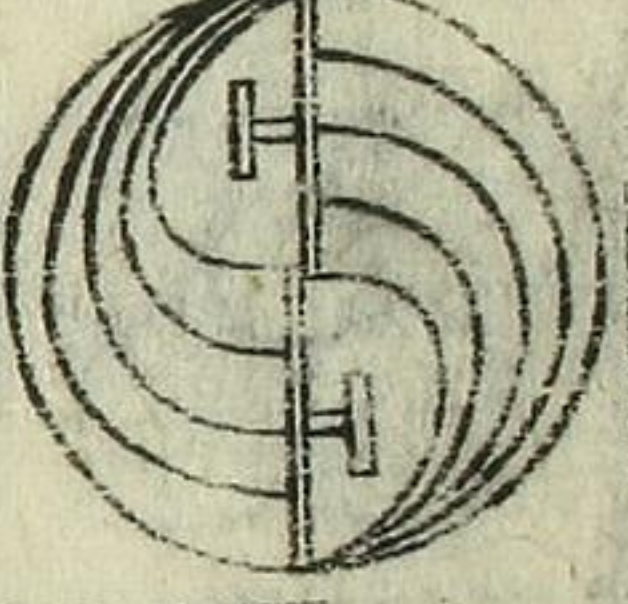
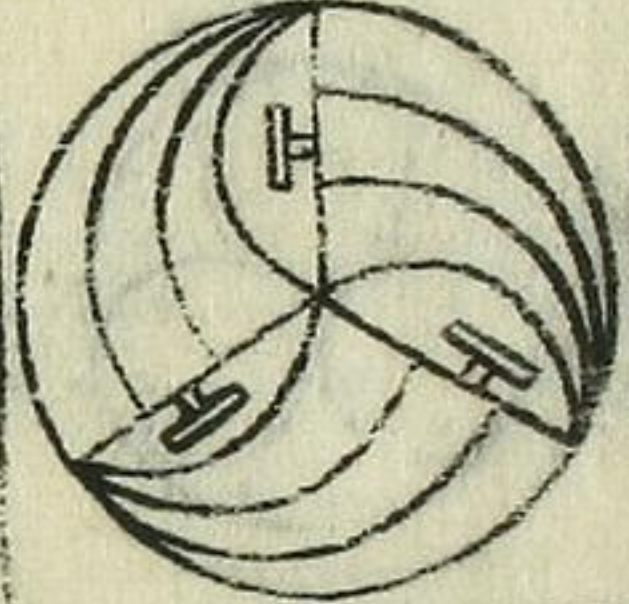
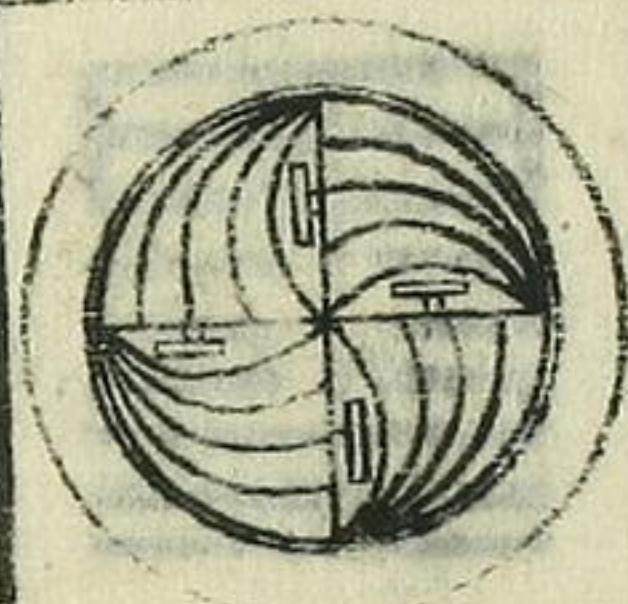
しへ三

字 篆



福

帆 号 丸 帆 号 三 不 么 五 帆 不



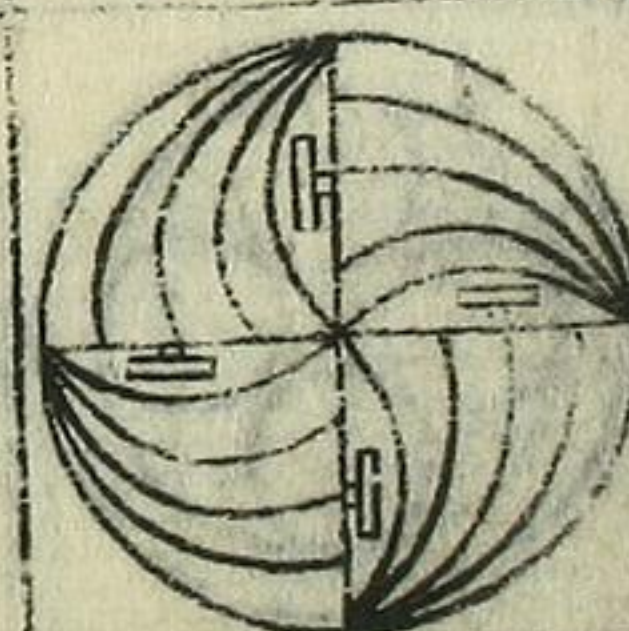
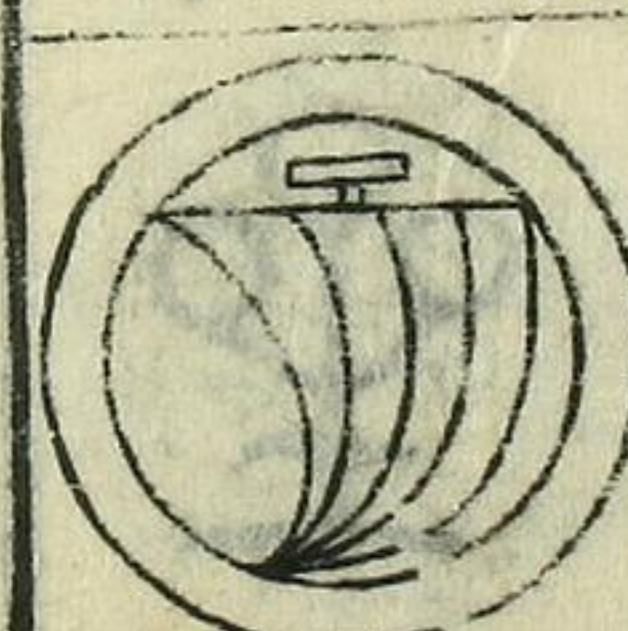
福

帆 丸

不 号 三 号

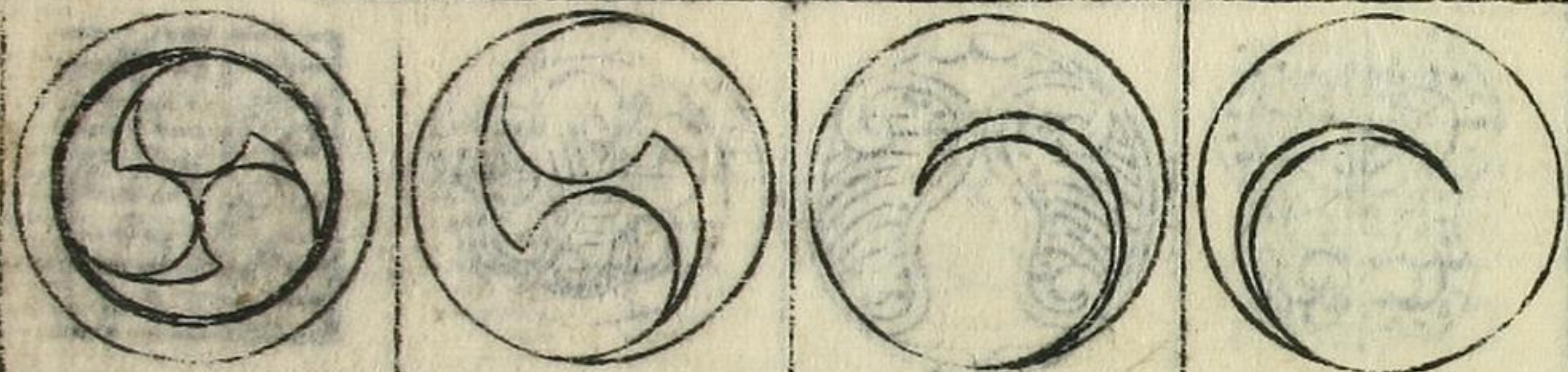
帆 不

字 篆



福

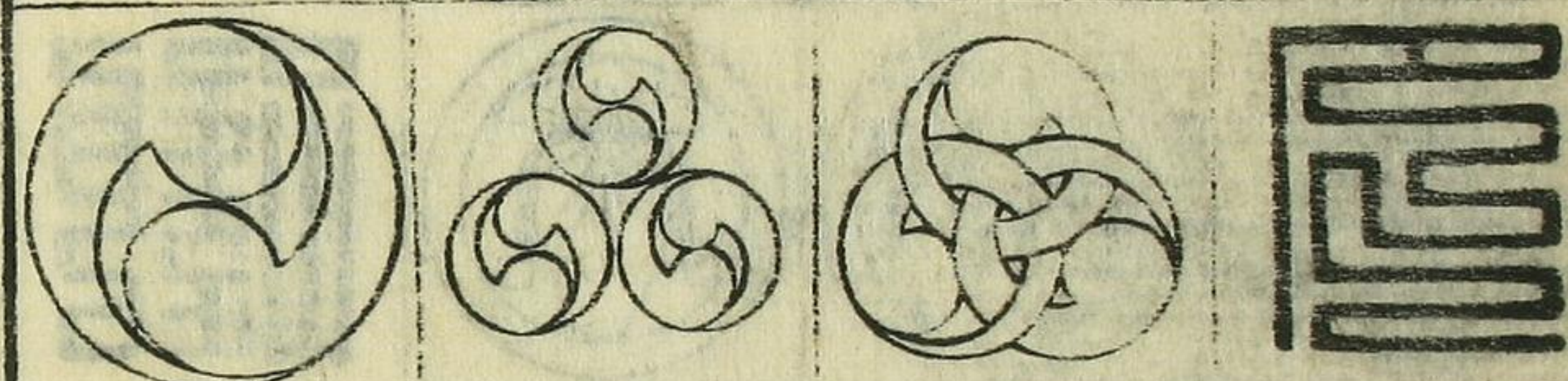
巴三太九 又と弓太 巴弓太 元もと弓太



元もと弓 へもと太九 元色中太 元もと太



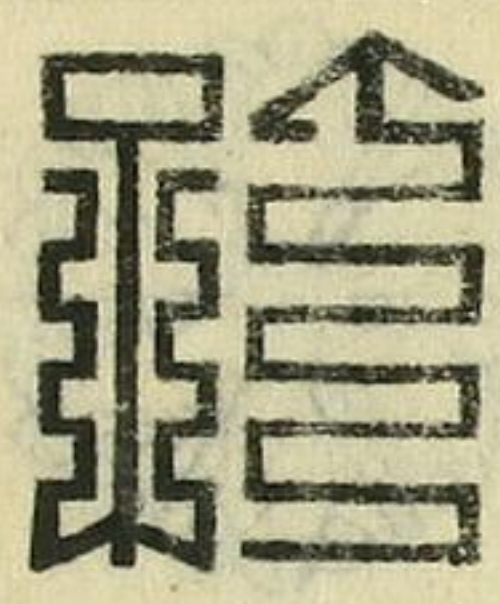
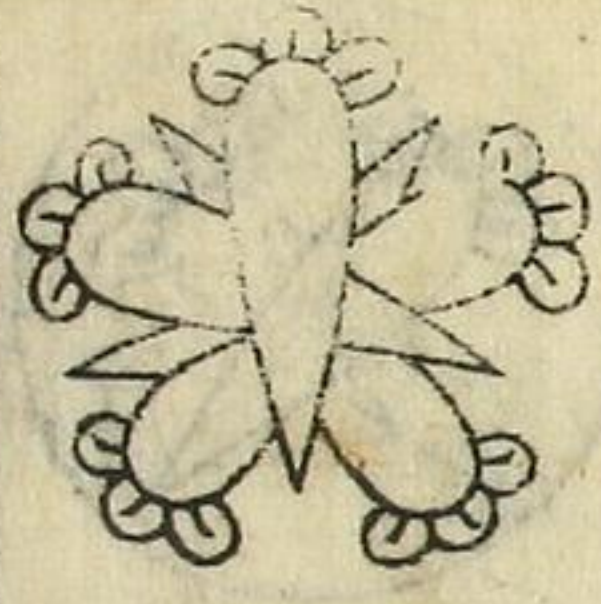
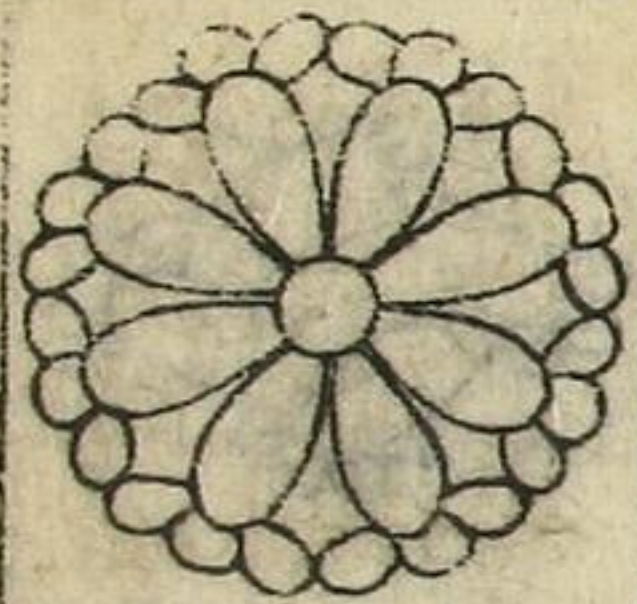
元も中弓 又と太三 へもとハ弓 巴



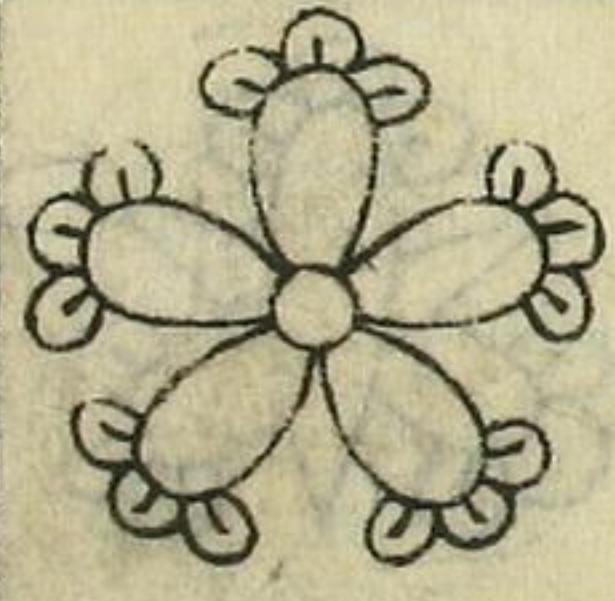
へもと弓や九 へもとん世大 元もと弓 字篆



丸子丁今 子丁み 子丁公ち丸 子丁亭



子丁今 子丁み 丸子丁み 字篆



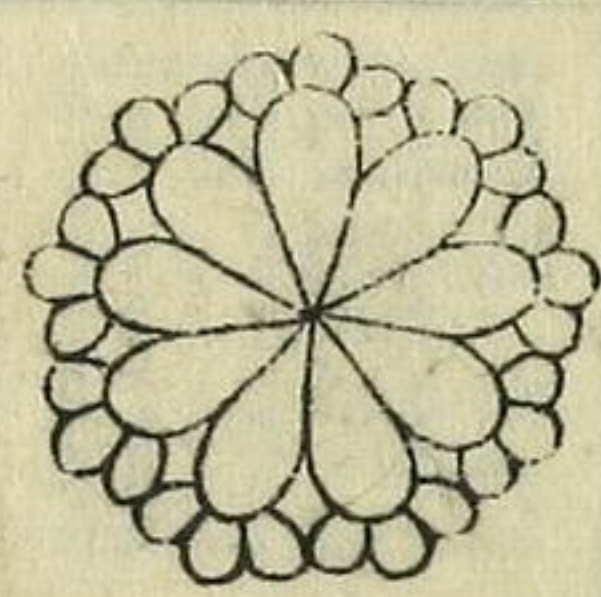
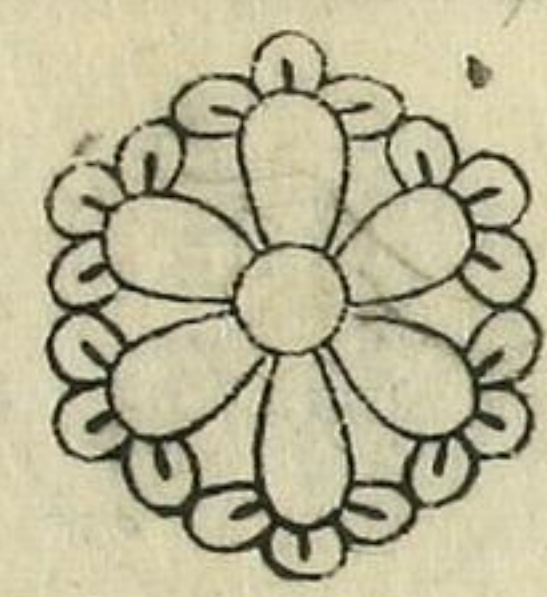
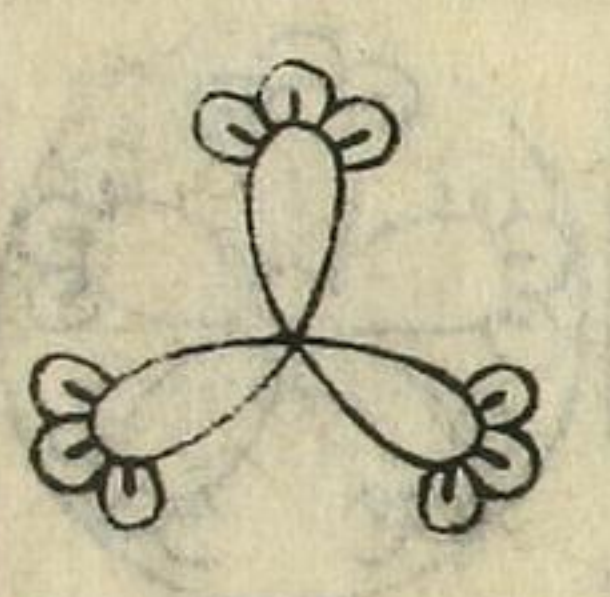
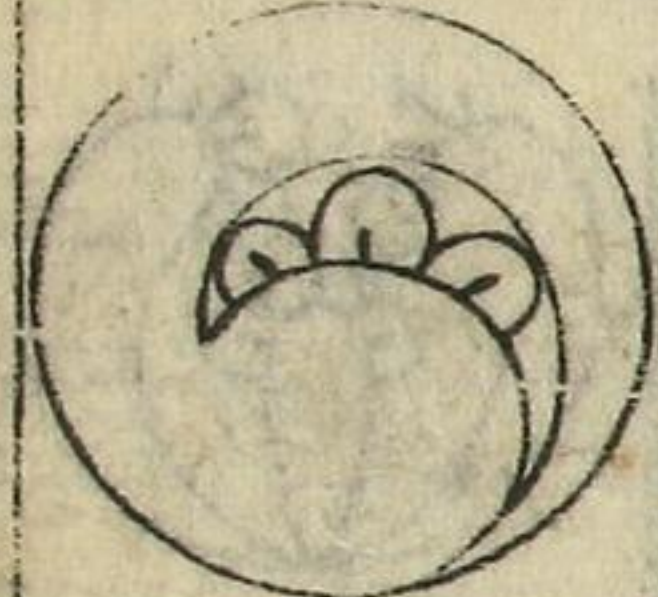
ハちう老立、ハちう老新、ハちう老丸 圃唐



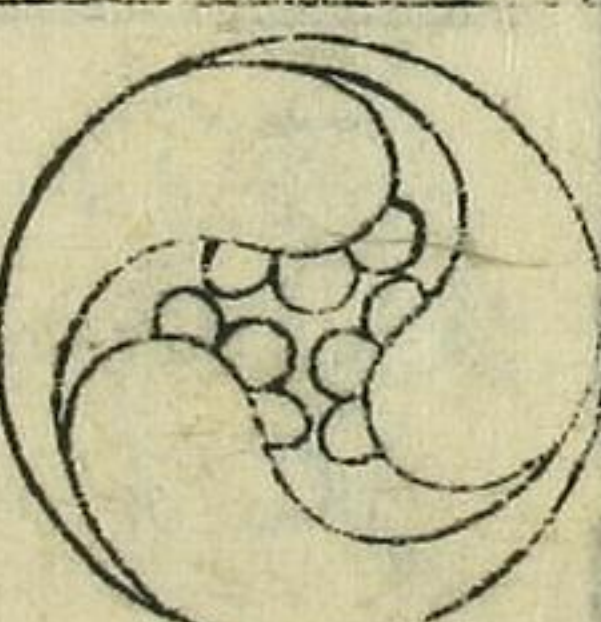
ハちう老立三、ハちう唐三、ハちう老立丸 字篆



えと子丁右 巴子丁三 車子丁六 車子丁九

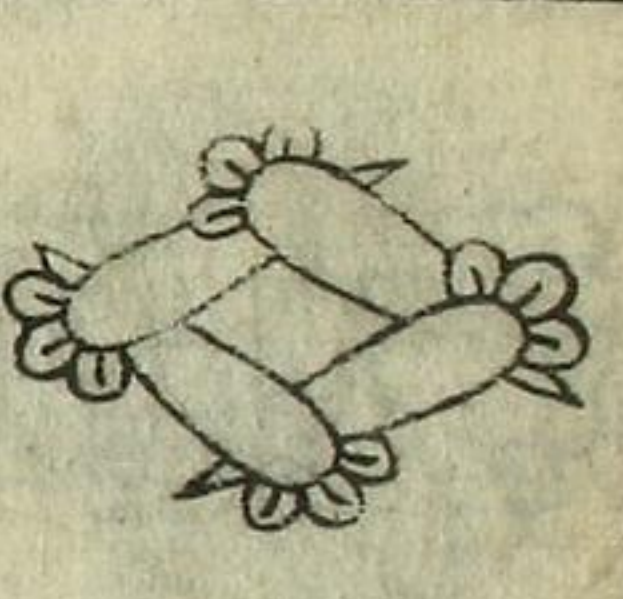
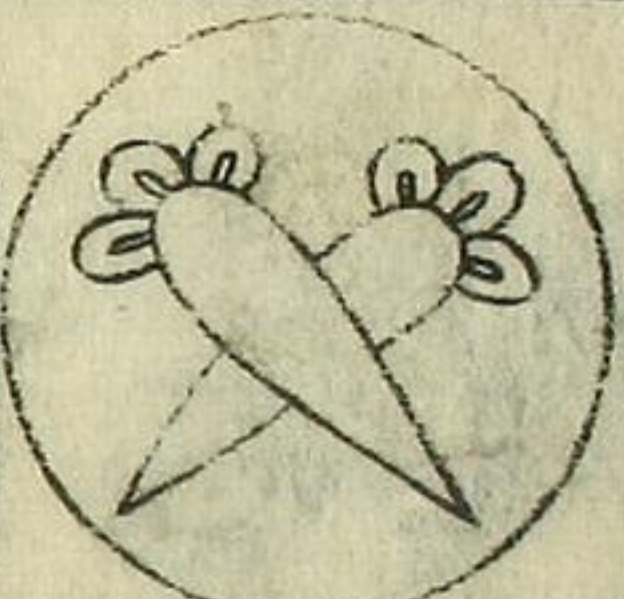
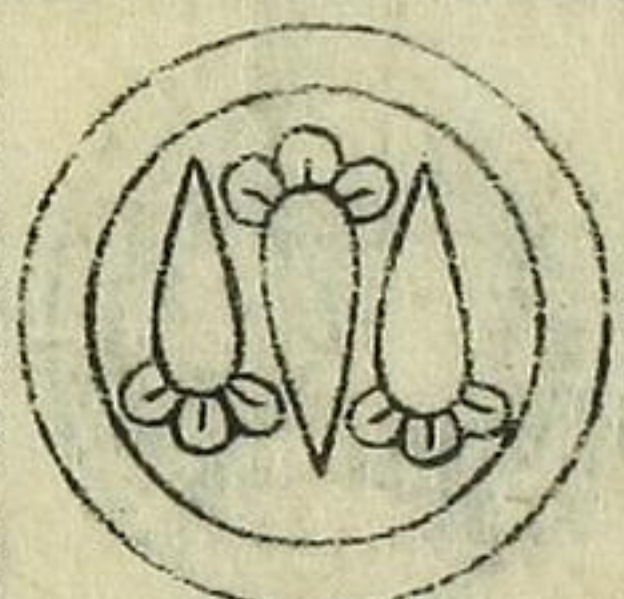
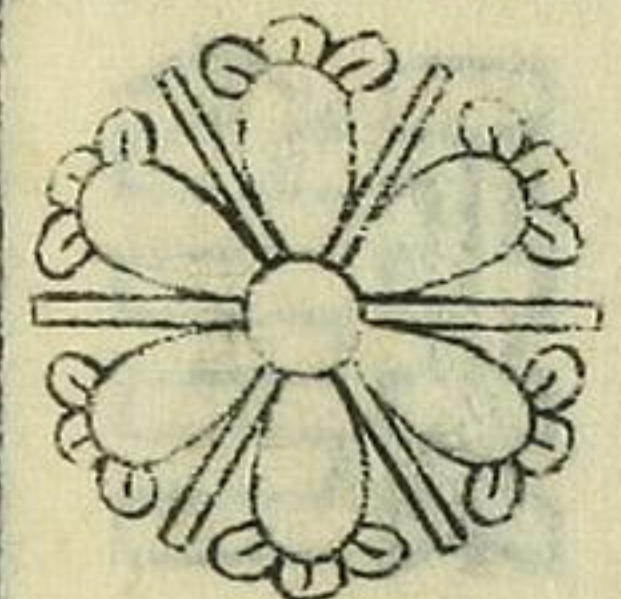


巴子丁三六 巴子丁九 子丁ラ九 えと子丁三九

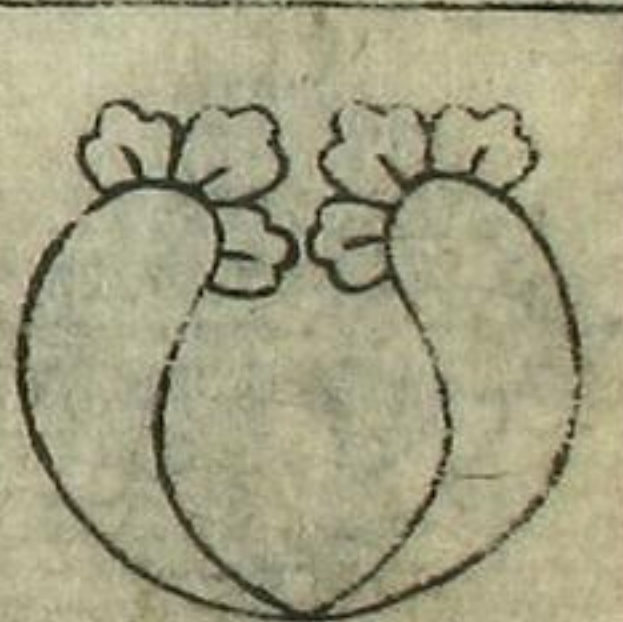
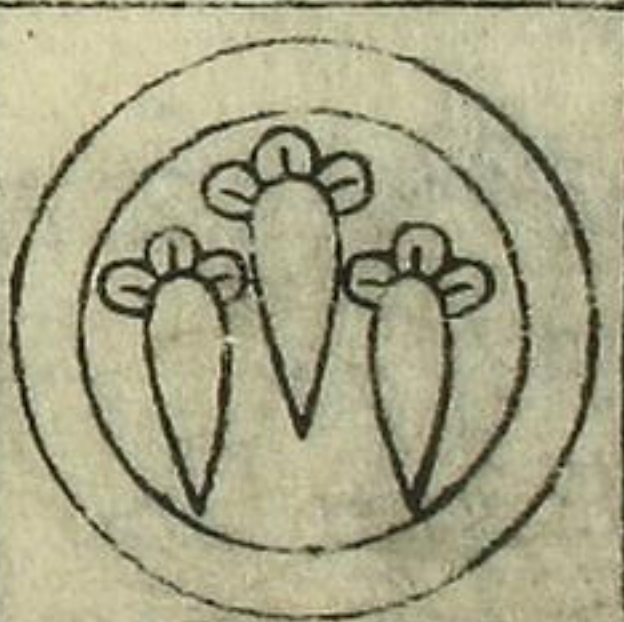
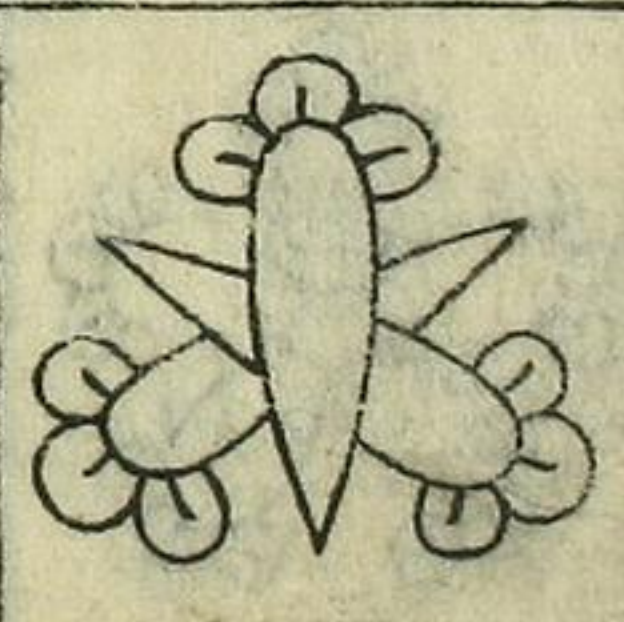
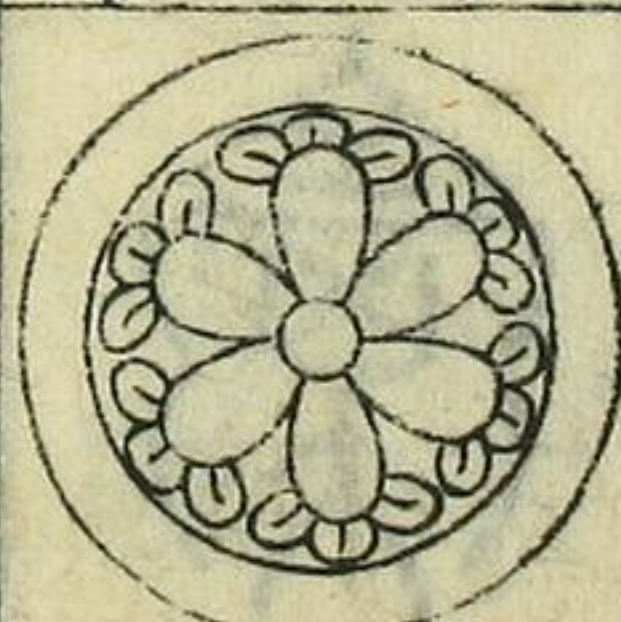


十四

車子丁六 子丁遊之九 子丁ちも之 子丁で井ち



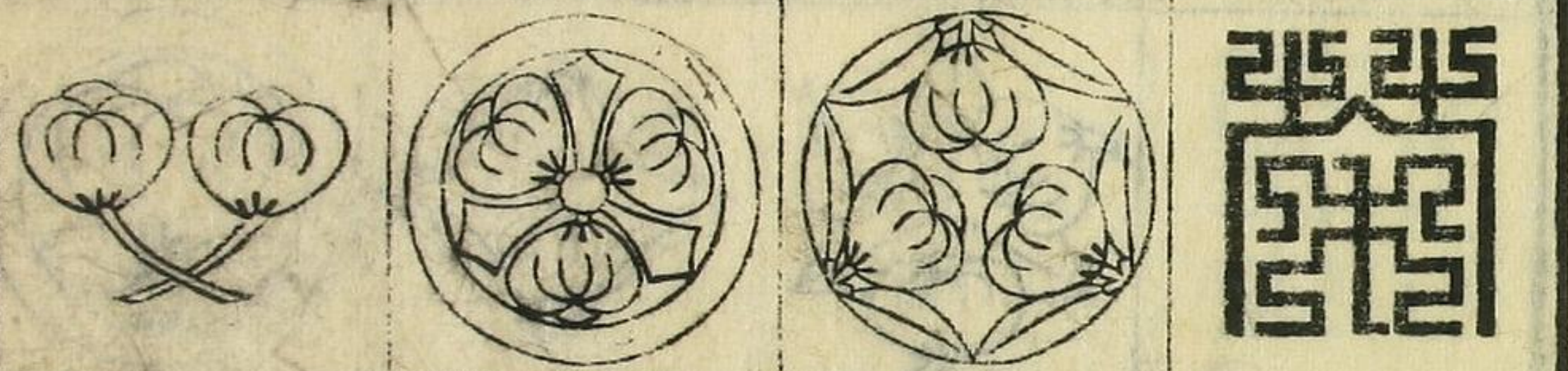
車子丁六九 子丁ぶち三 子丁三の之九 子丁抱



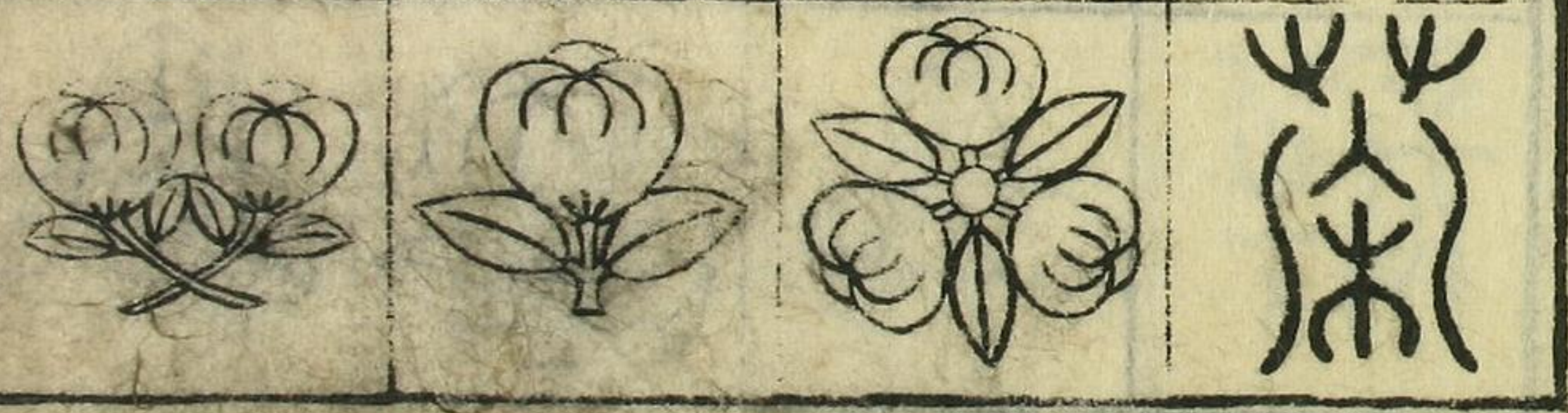
うてんせふ	うて甲	うておと丸	蝶字
うておと丸	蝶んせふ白	うてんせふ三	字篆

		子丁おと丸	子丁へ三
		巴子丁おと丸	巴子丁三

この茶抱茶 の茶三細丸 この茶三 茶名



この茶へ この茶ヲ この茶系三 字篆



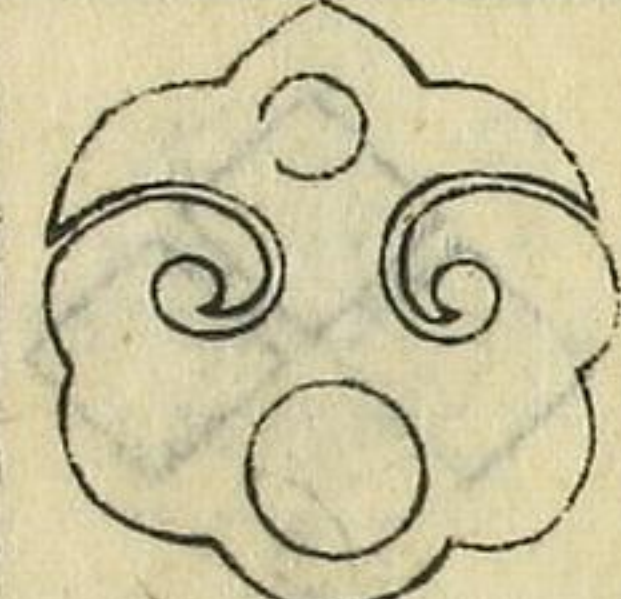
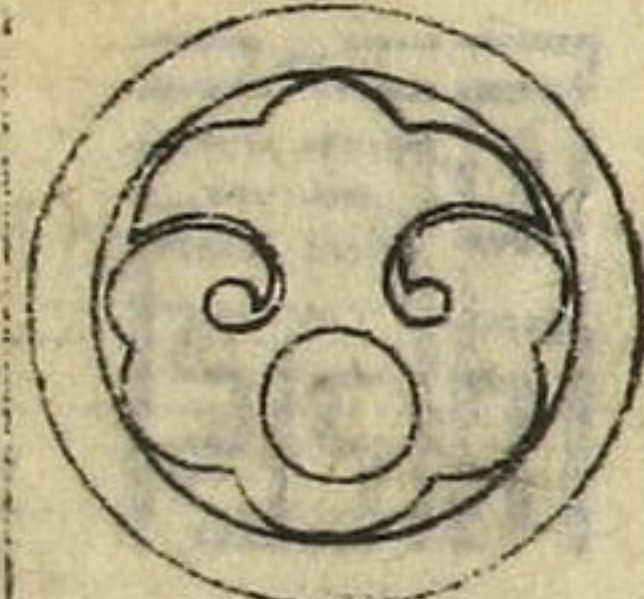
うて表三 うて表 うて表 うてよお



うてひり うてひひ



んそ虫丸 んそ虫けつ んそ虫つ 半見長



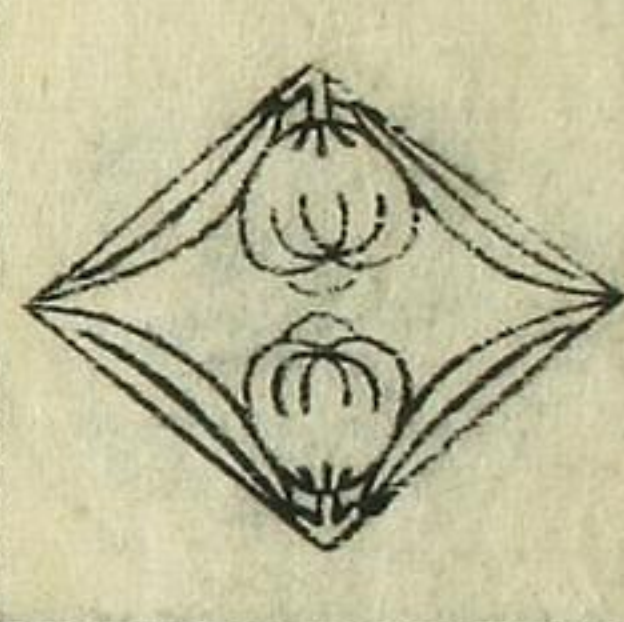
篆字

んそ虫表三 虫ともろ んそ虫三 字篆



篆字

この名ころい この葉しん この葉つ丸



この葉葉折 この葉きむま

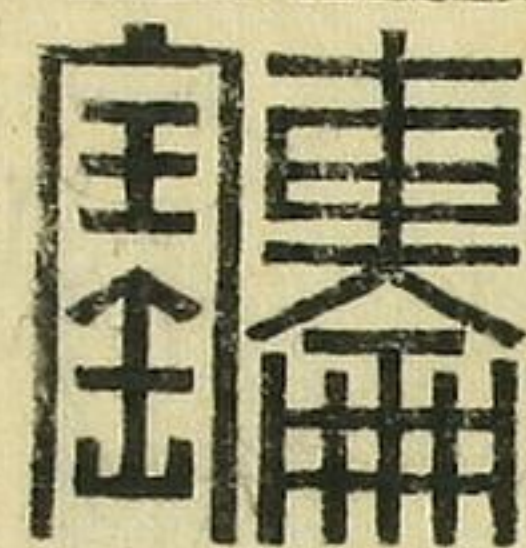
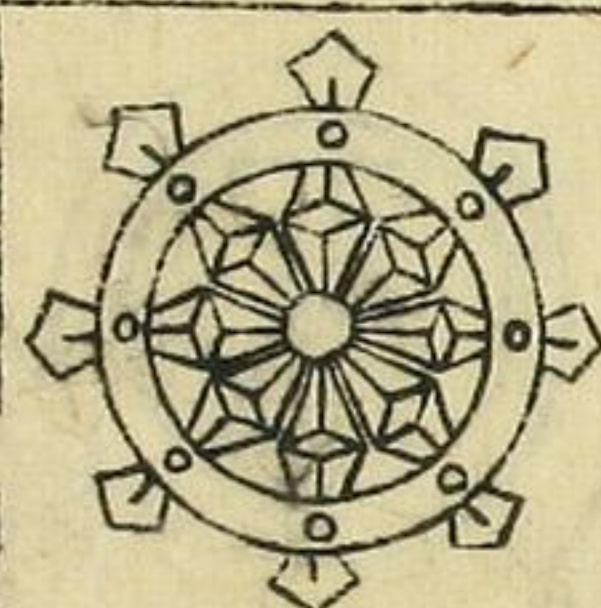
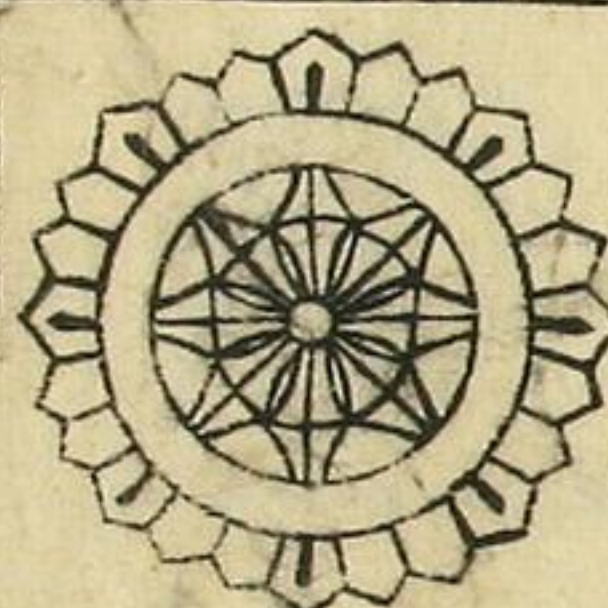
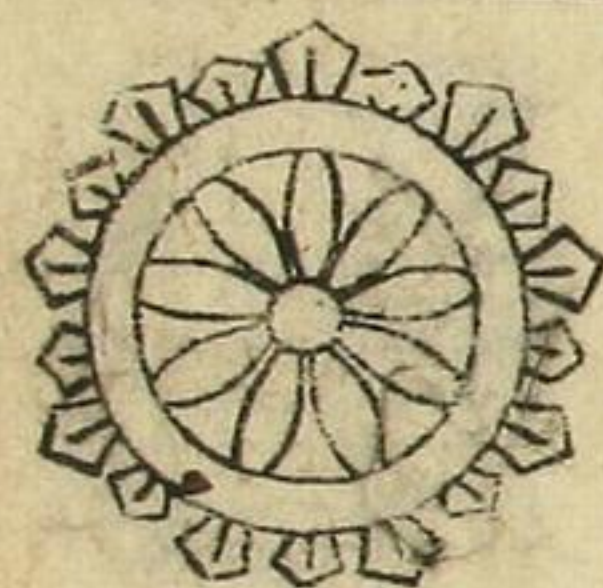


宝輪

うんま

うんま

宝輪

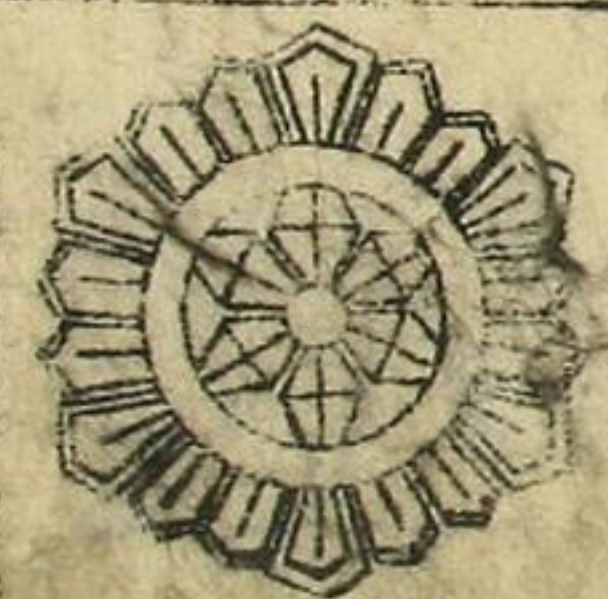


うんま

うんまのみ

うんま

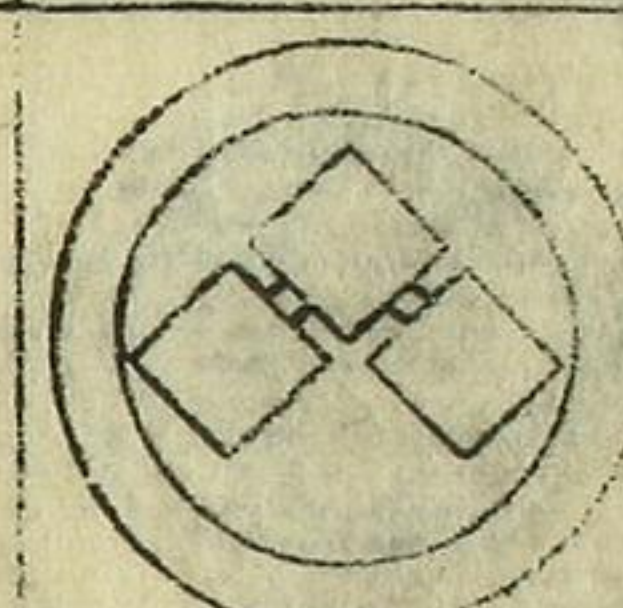
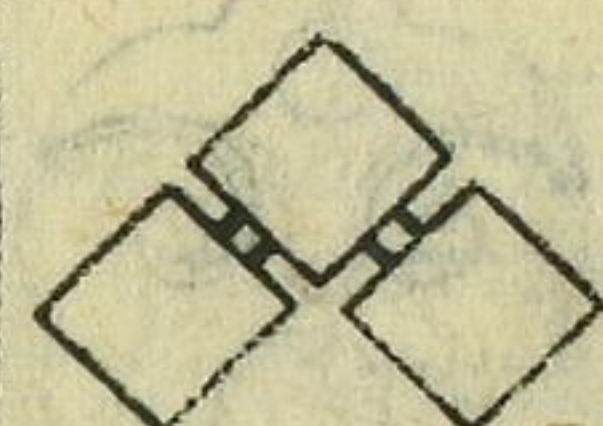
字篆



切千し丸

うんま

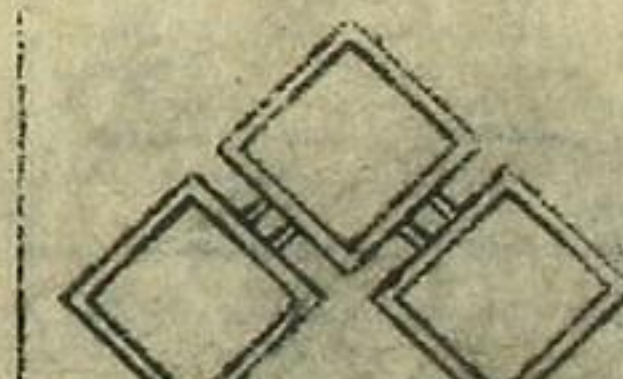
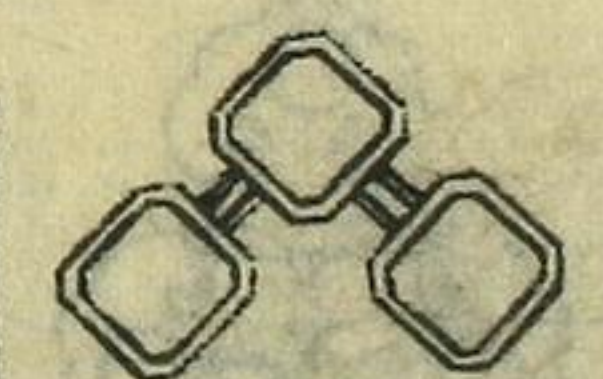
藤



うんま

うんま

字篆



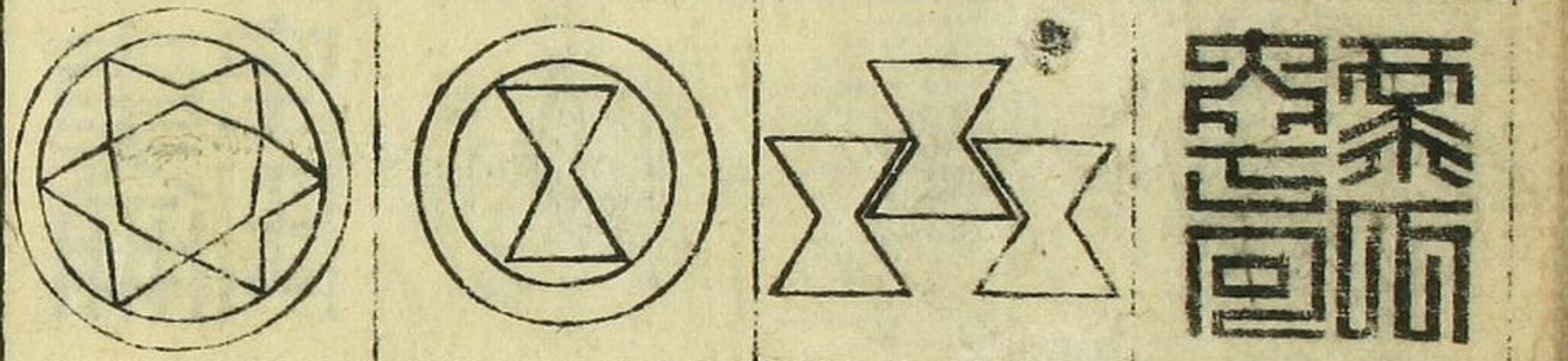
かよかえりぶ かのきれた丸 かのもかむ 此



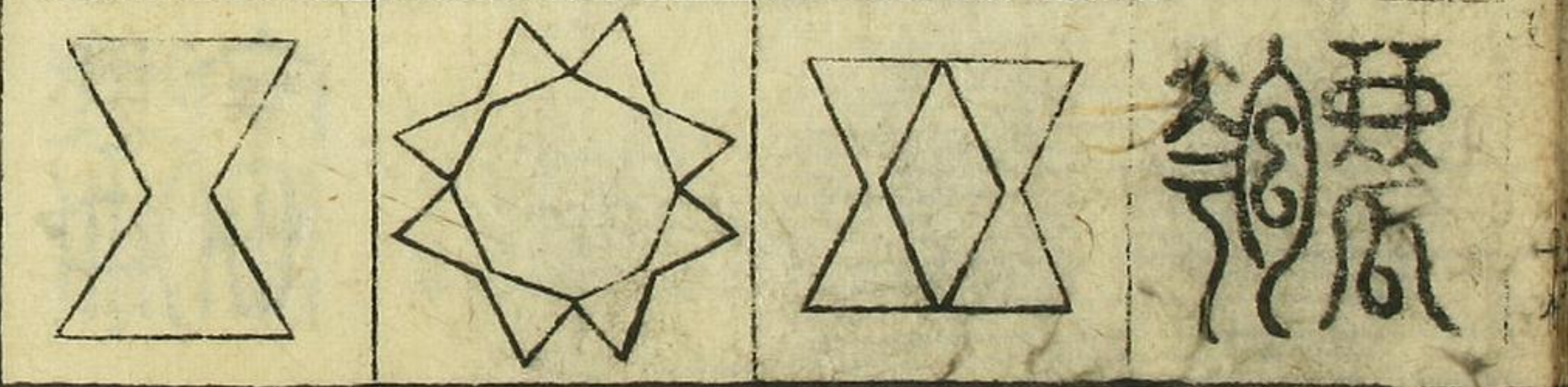
のよき 門のき かのき 三 かのき ぶぶ 字 篆



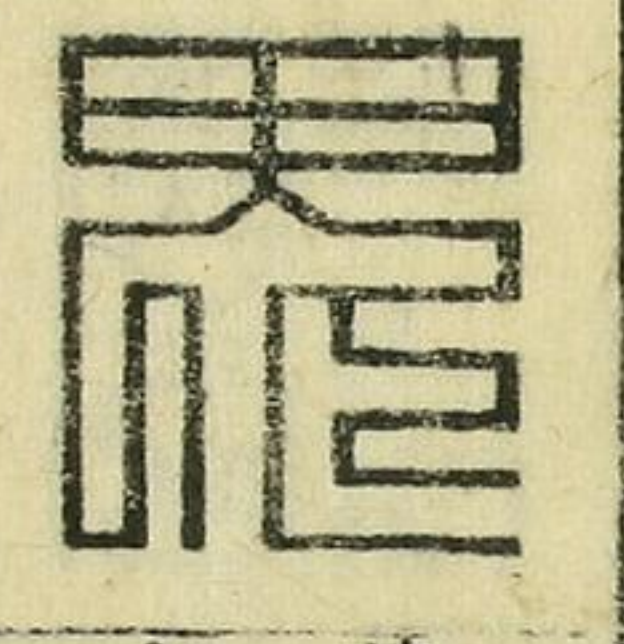
ぶぶ 三丸 ぶぶ 丸 ぶぶ 三 丸 瓢



ぶぶ 三 ぶぶ 三 ぶぶ 三 字 篆



らハク にと にと 人め やにんを 鬼とん



にと 小

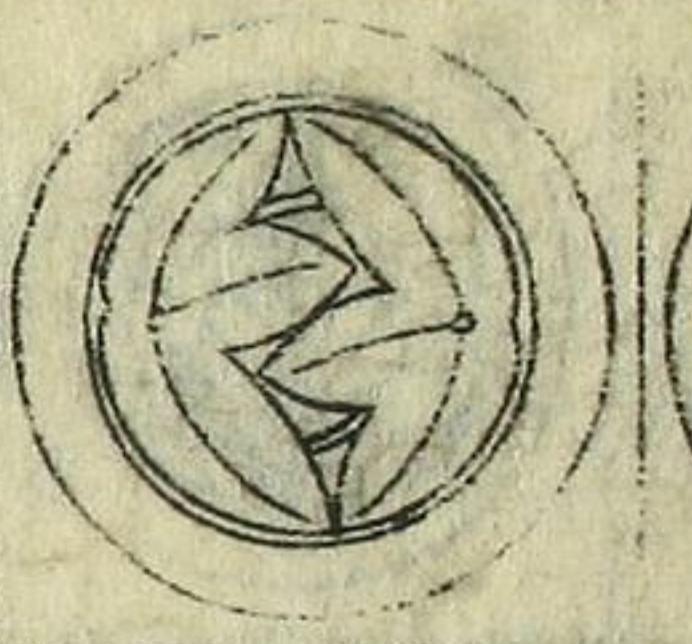
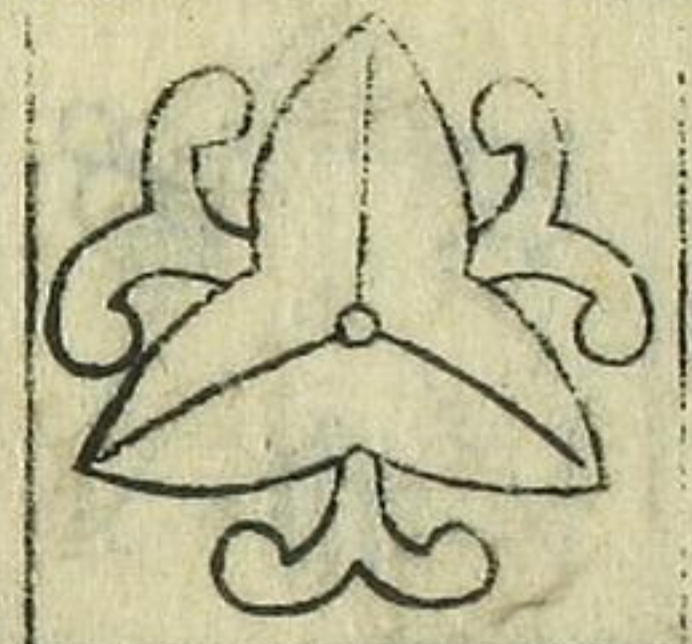
よか 人にく

とを まる

字篆



地 地 子 紅 交 舞 増 山 ち 丸 丸 の に 地 地



の 地 丸

の 地 丸

の 地 丸

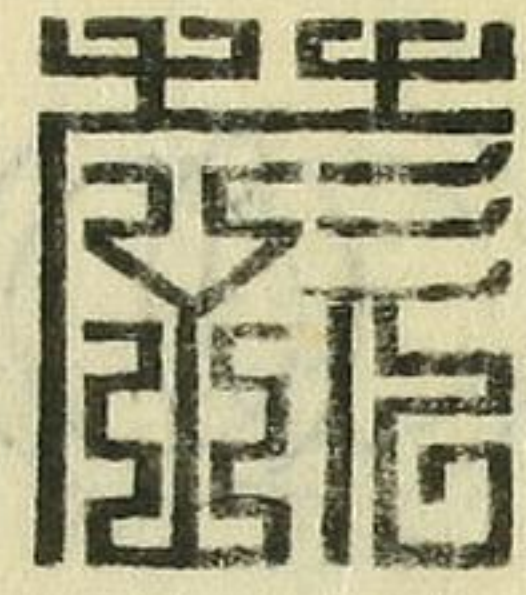
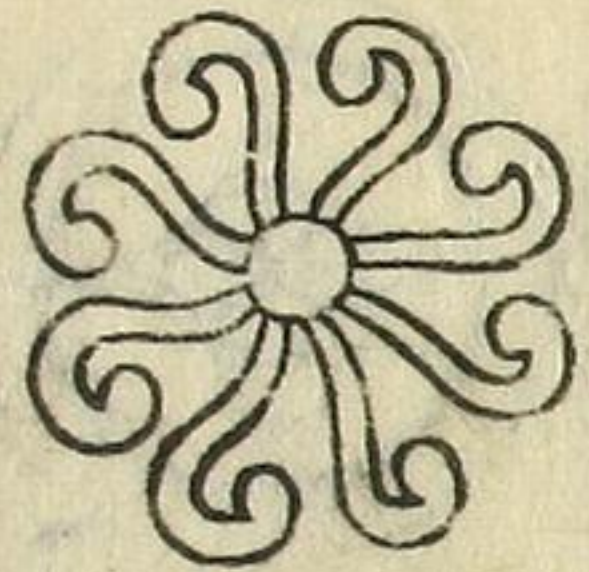


車名ひらに丸

まろくひらに

ひらに石

蕨



むらにひらち

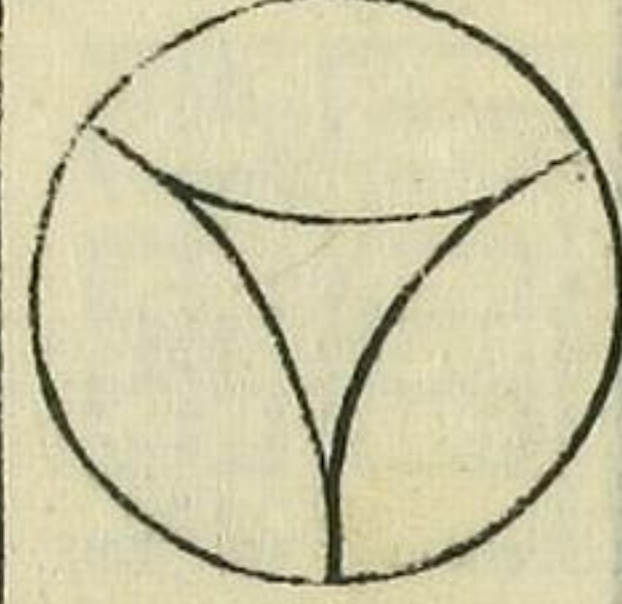
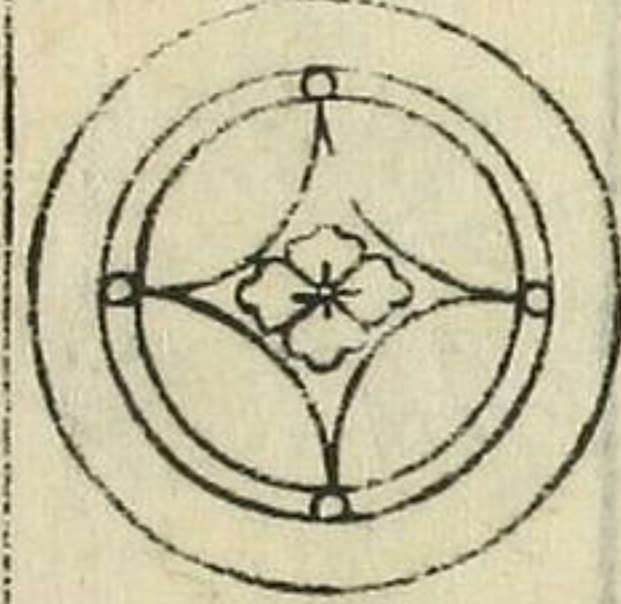
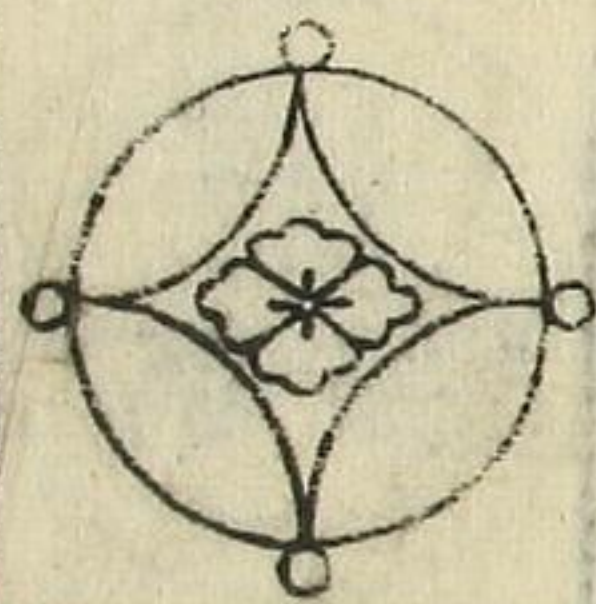
むらに丸

ひらに丸

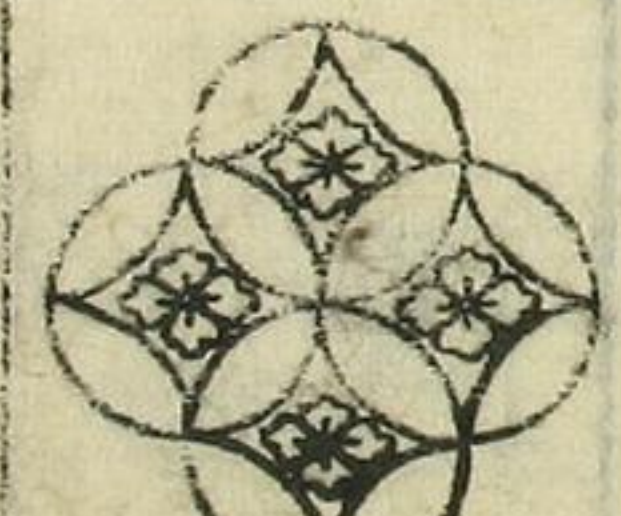
字篆



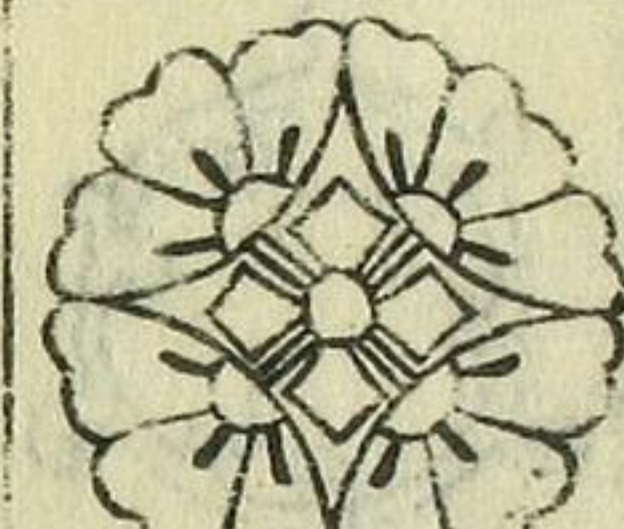
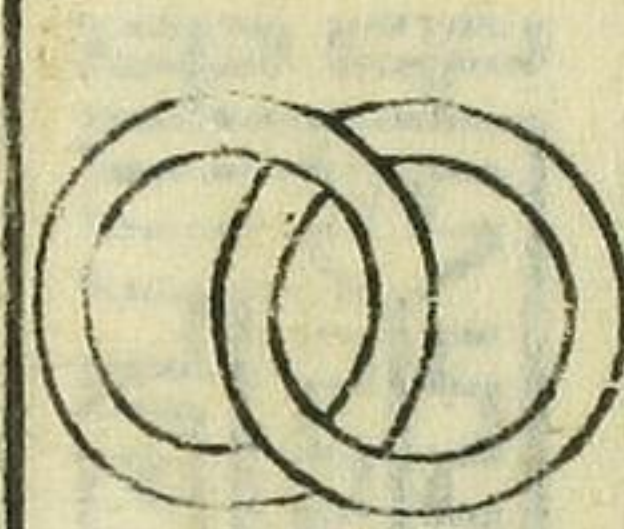
三行の丸 四方の丸 表つ不の丸



丸の細 写の丸 号の丸

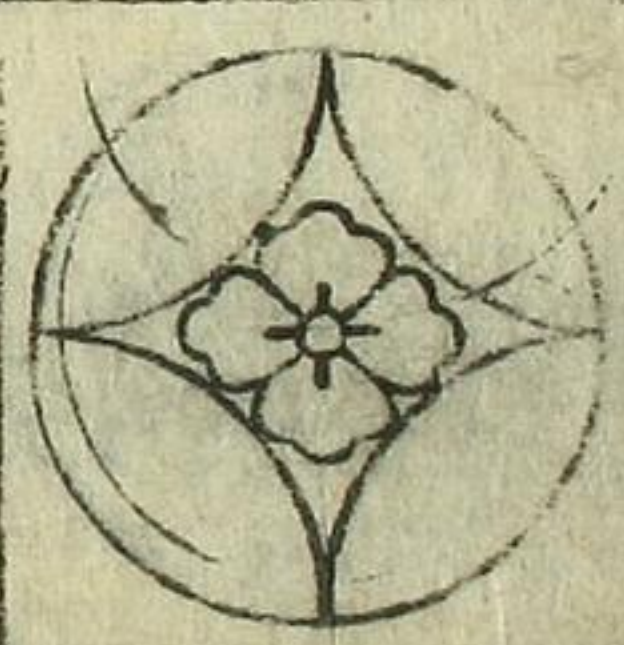
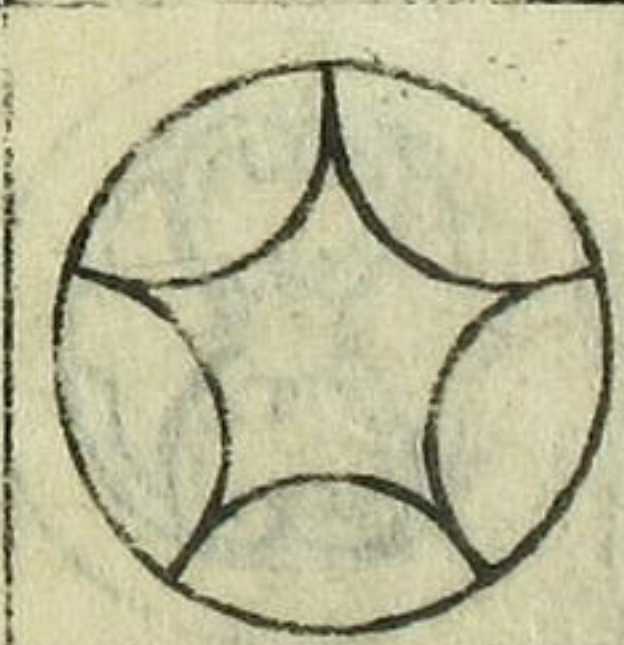
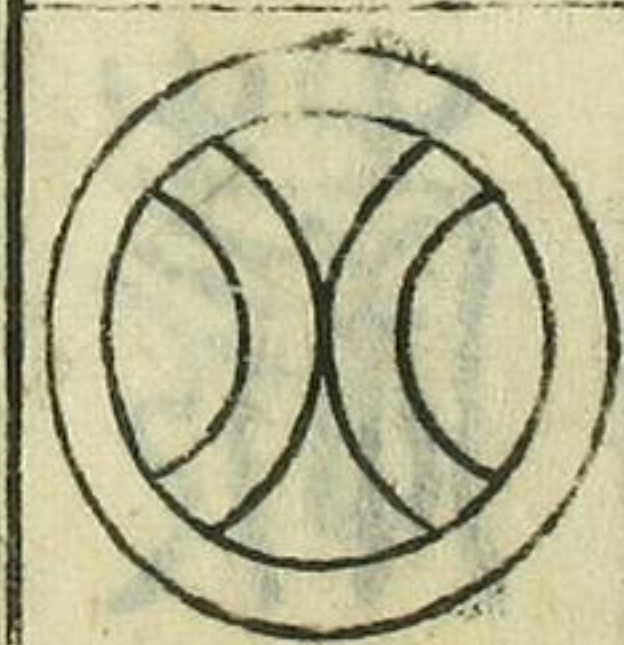


輪の違 丸の玉 玉の丸 玉の丸



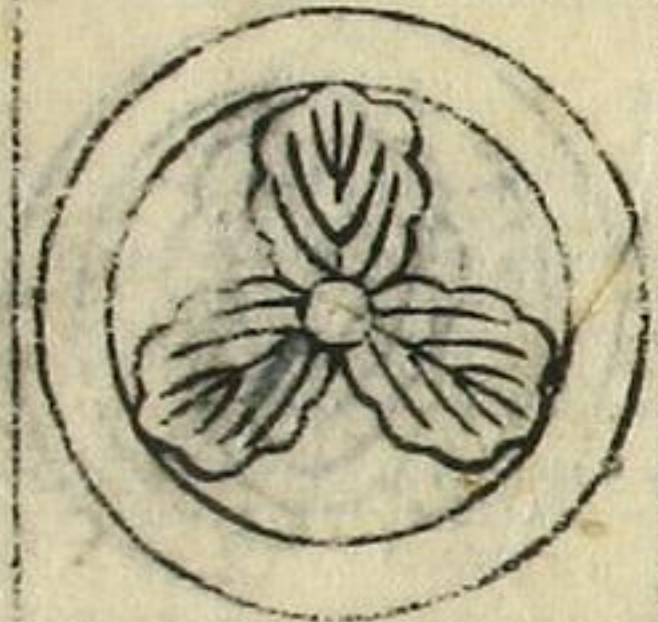
東無
律請

玉の丸 玉の丸 玉の丸 玉の丸



篆
律無

丸ハシヨク 栴ツニ丸 栴ツニ糸 栴



栴乃ツヨク

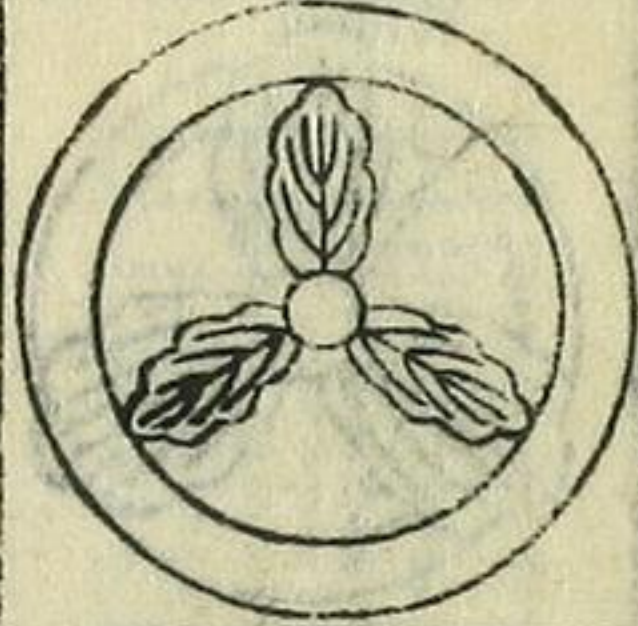
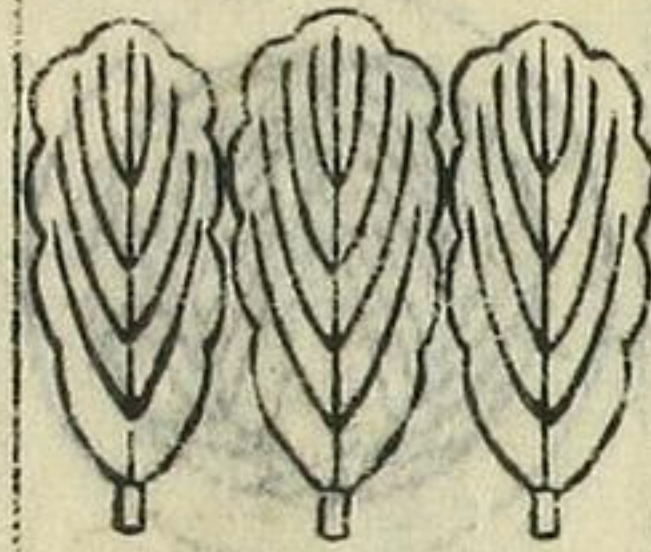
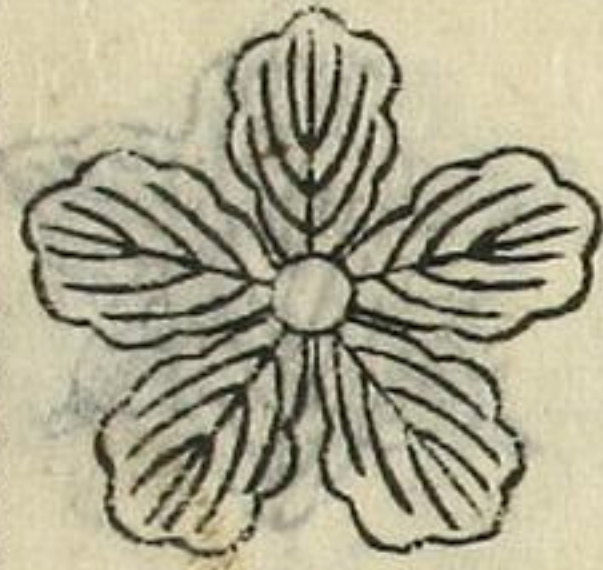
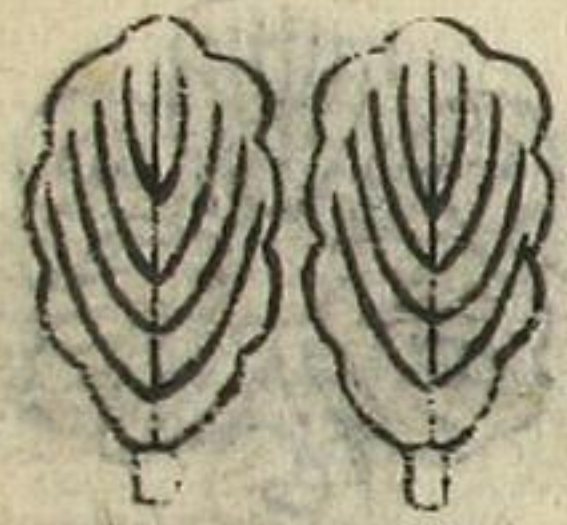
栴ハシヨク

ハシヨク

字篆



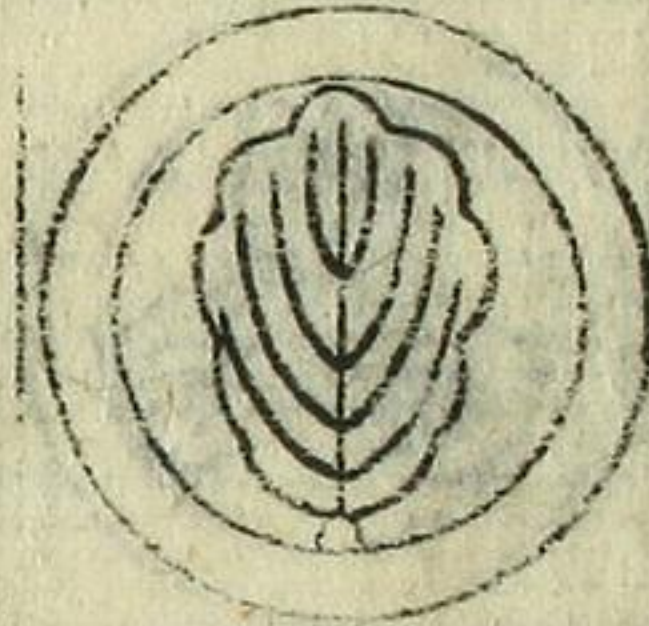
ハシ平二 ハシつ又 ハシ平三 栢佐加丸



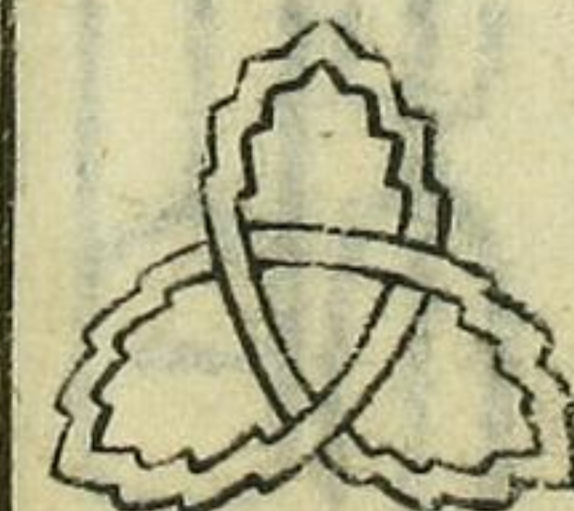
栢ひそむの丸 まろく栢 ハシ手あ丸 ハシつみ



ハシ高ど先 ハシ葉折 栢一に丸 栢ろつ手あ丸

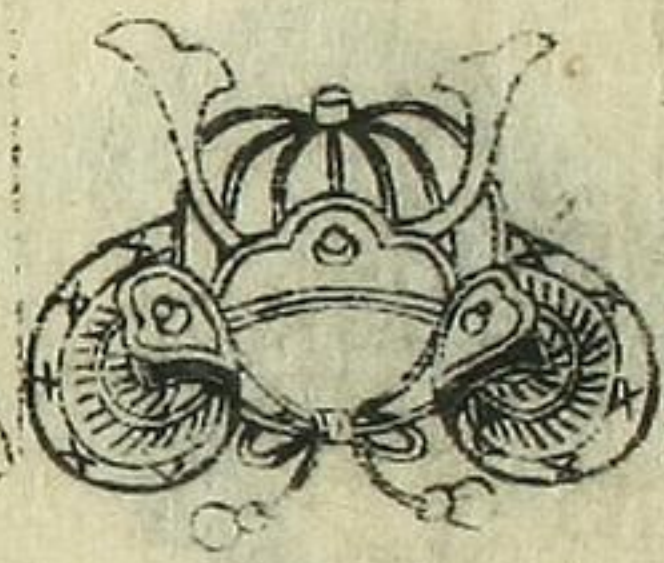


ハシひそむ ハシ死ど 栢ころろ 栢死ど丸



甲

とぬ 樹ふむ とぬ 子さの とぶら ちと

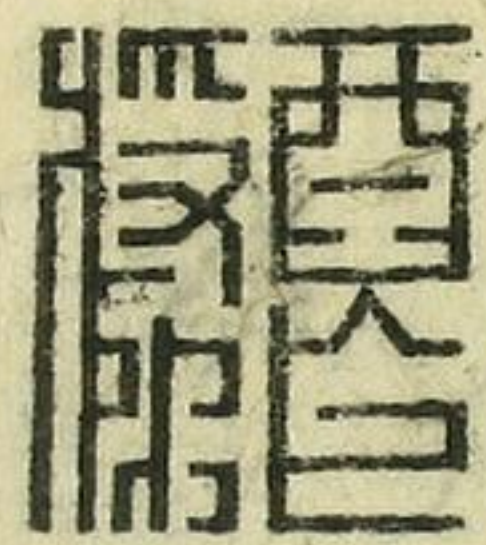


字 篆

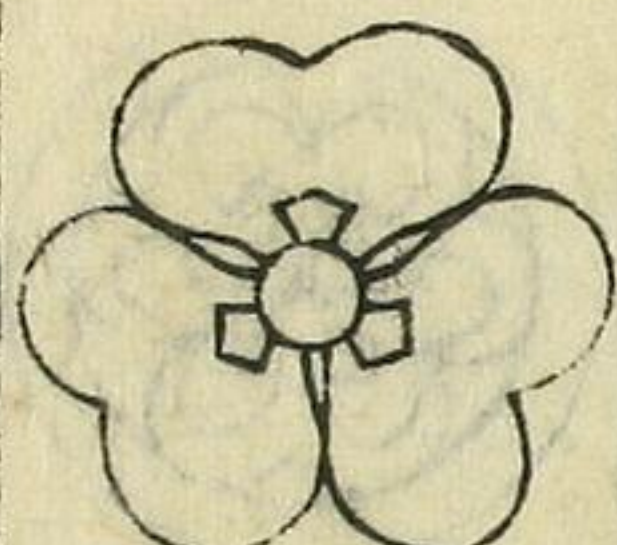
とぬ 子さの 甲 形 樹 ちと しか



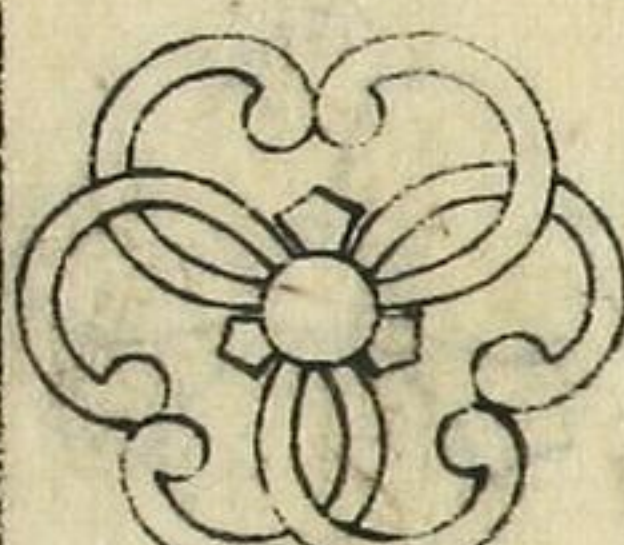
漿 酢



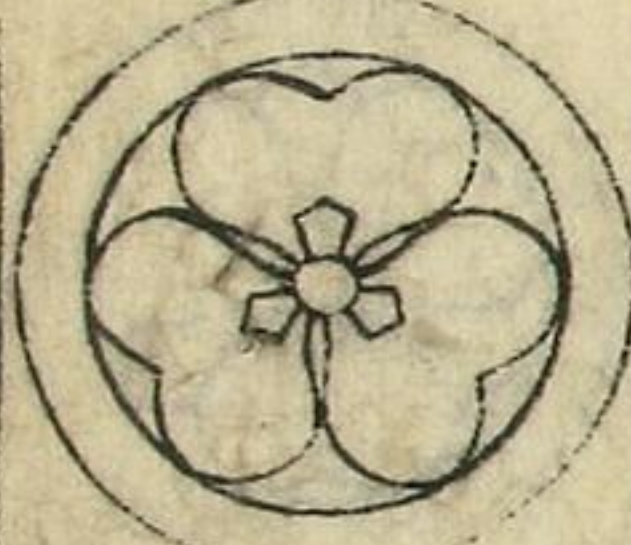
み じょう



み じょう



み じょう

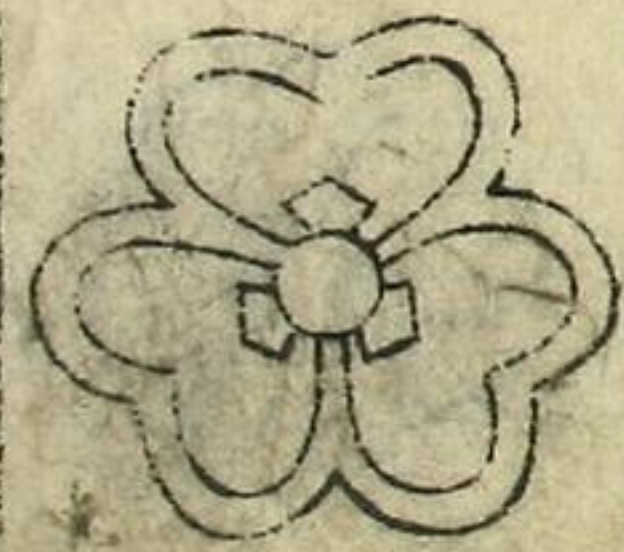


字 篆

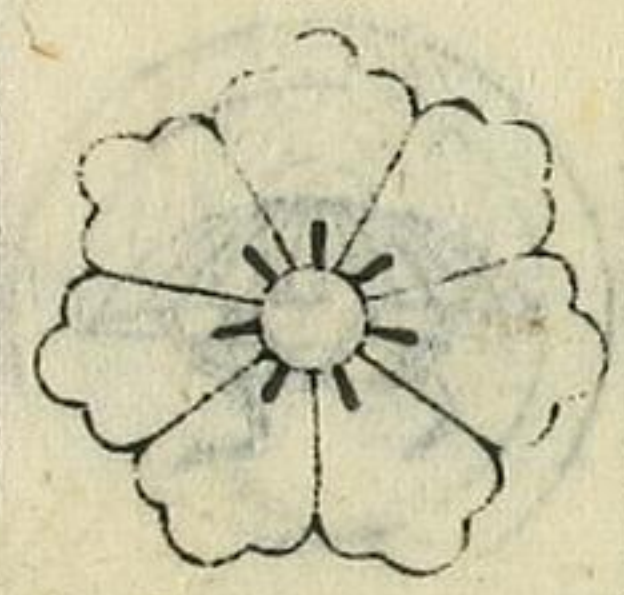
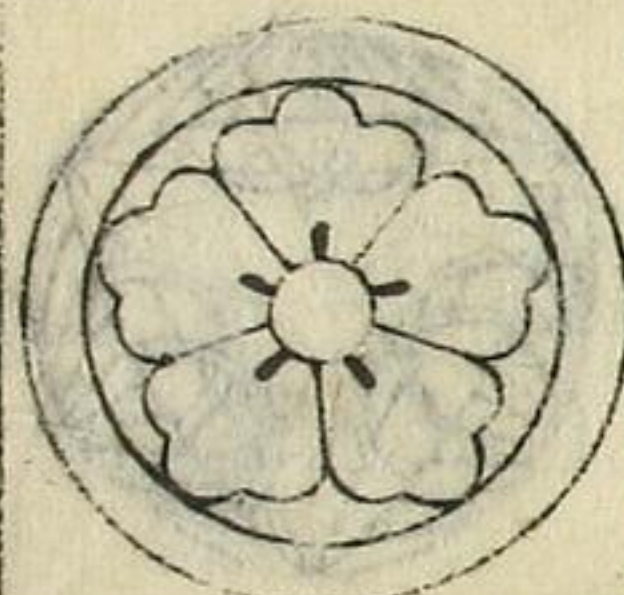
とぬ 子さの

とぬ 子さの

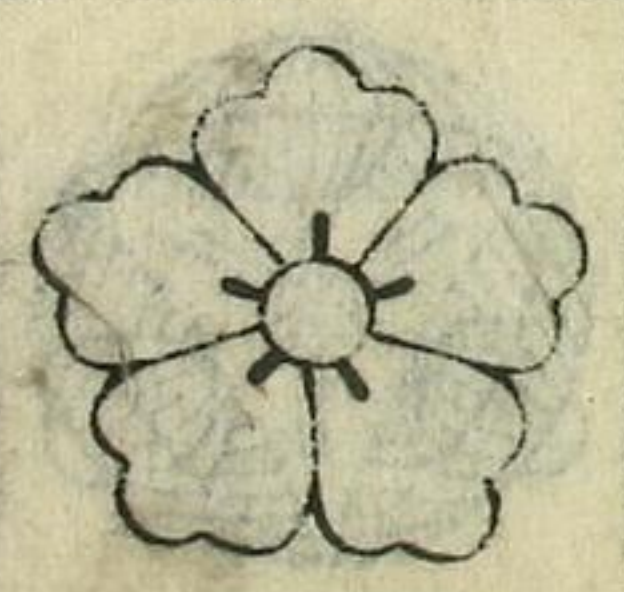
とぬ 子さの



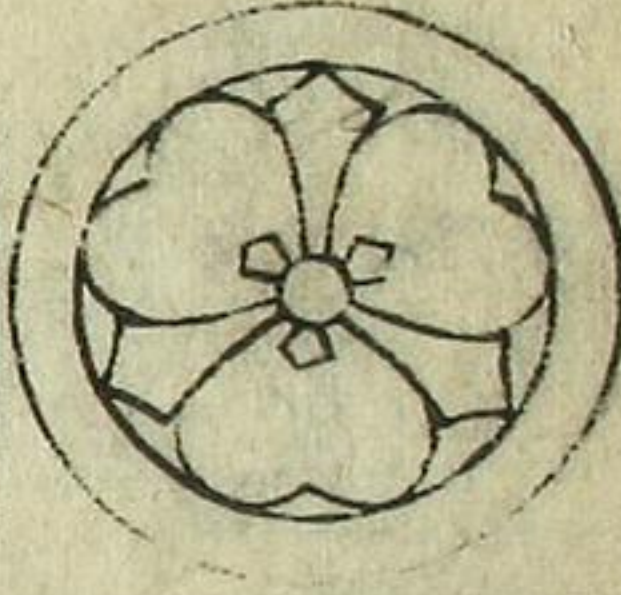
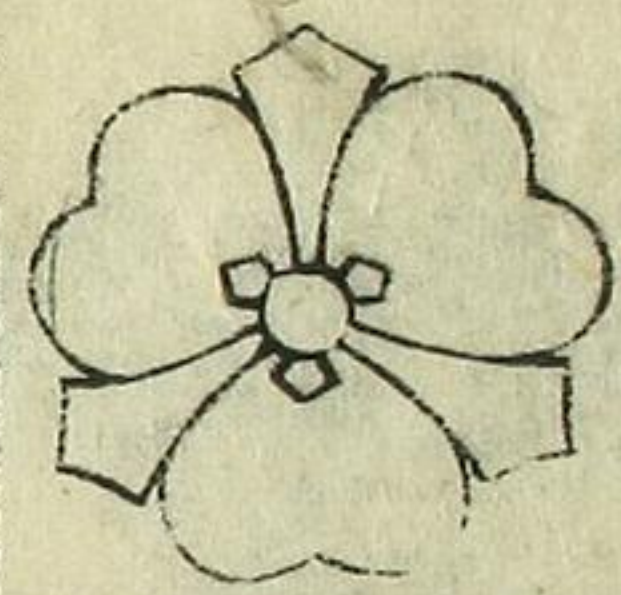
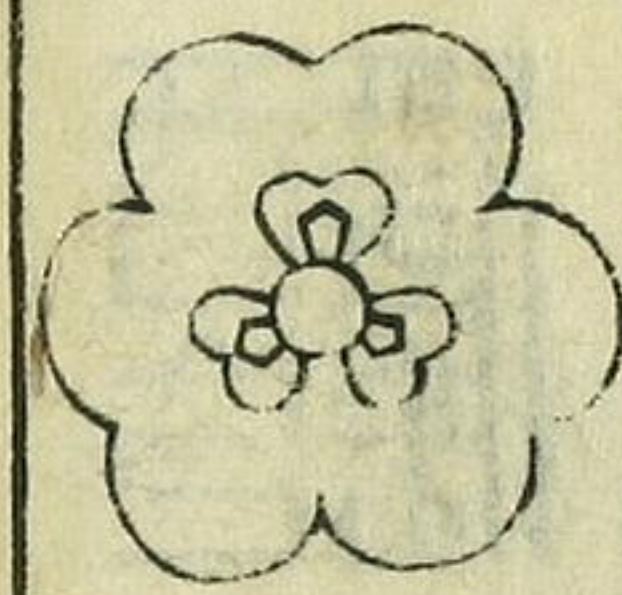
むらうま二 むらうに丸 花の縁さう七 華唐



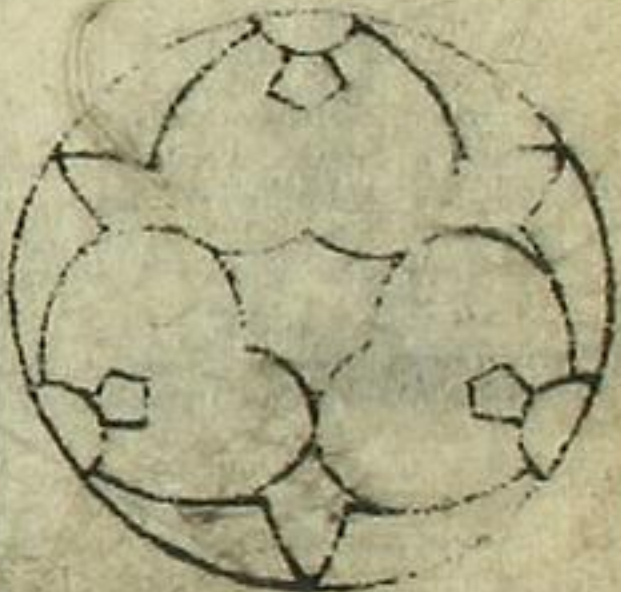
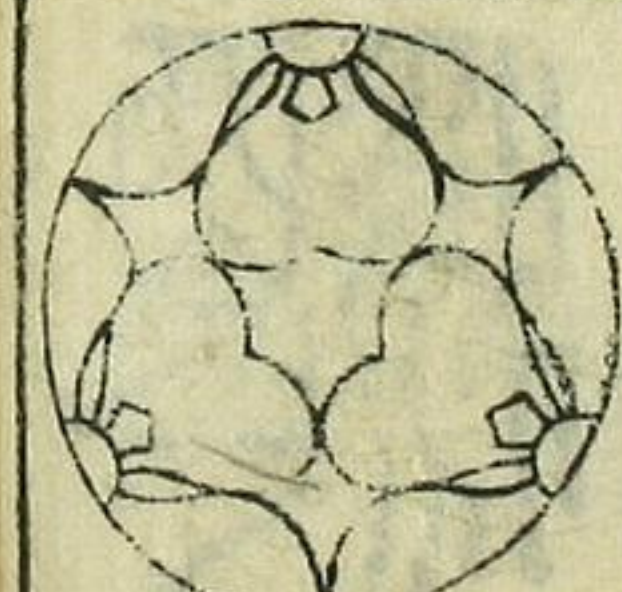
むらかむつ むらあき かはらう 字篆



むらうのふ 丸字の四丸 みるゝ 丸の細丸



むらかむつ 丸のひちり みるゝ 丸の細丸

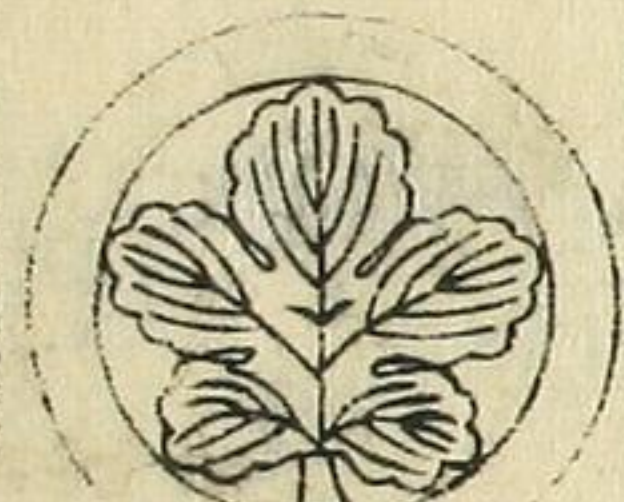


葉のちかろ

はのちか丸

葉のちりきぶ

楯



葉のちか丸

車

えのちりきぶ

字 象

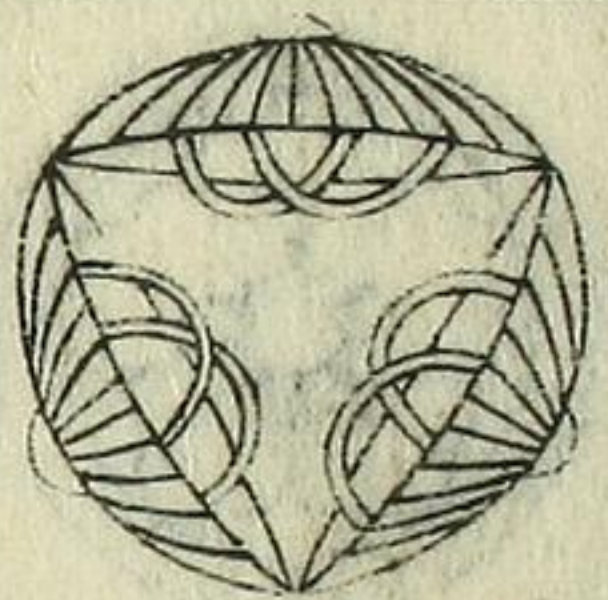


さかべのそ

さか丸

丸さかろ

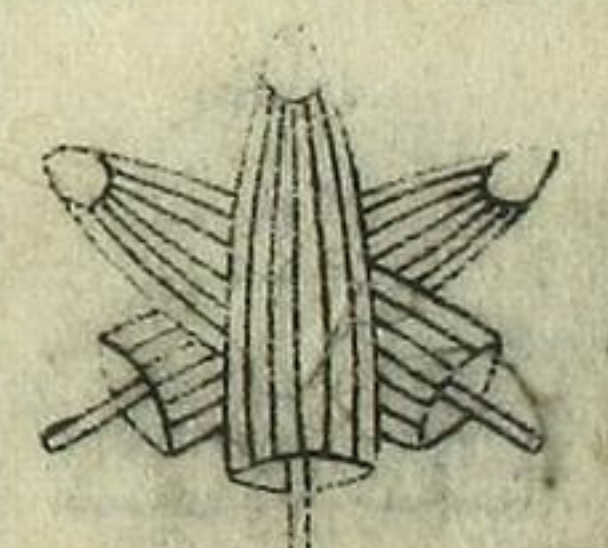
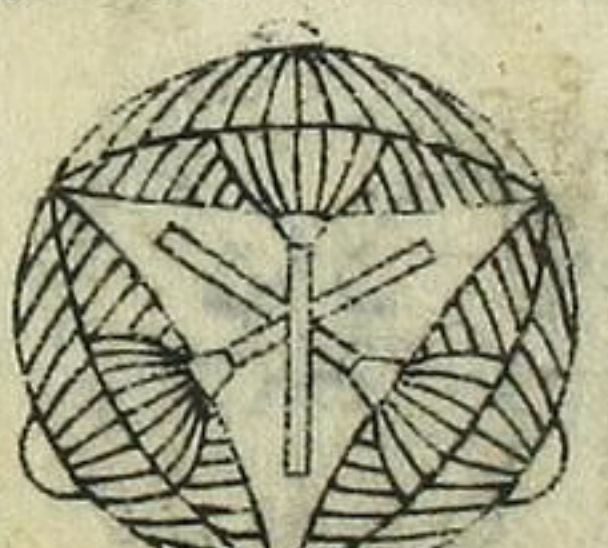
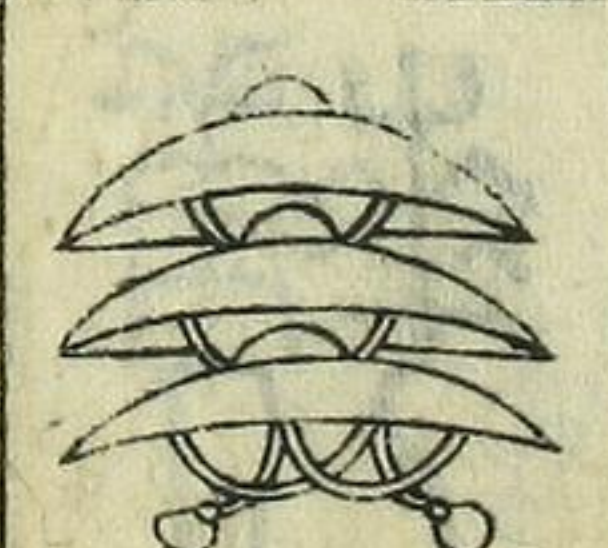
笠



さか丸

笠

笠

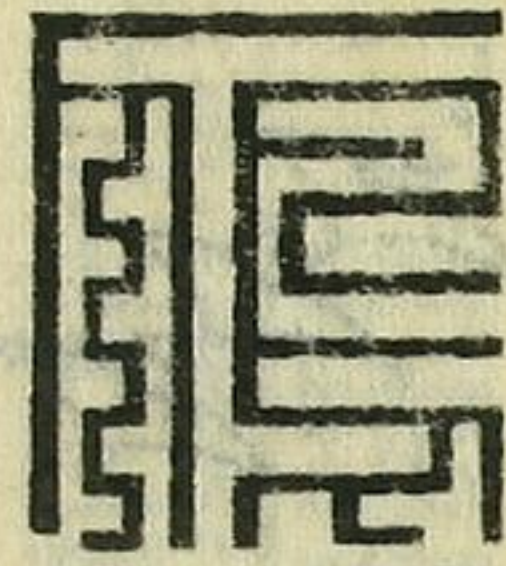
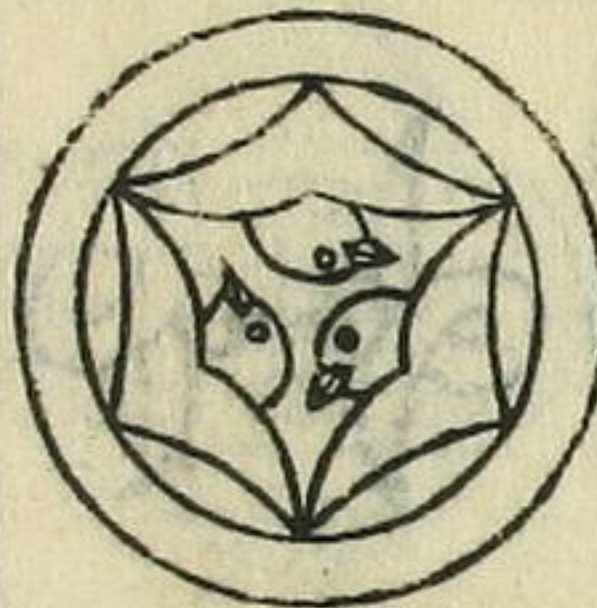


りうつえ

か

かに丸

雁



か

かしひ

かきひりむ

字 篆

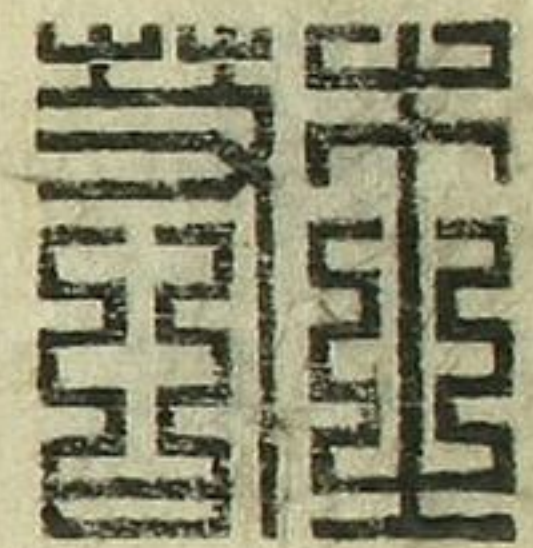
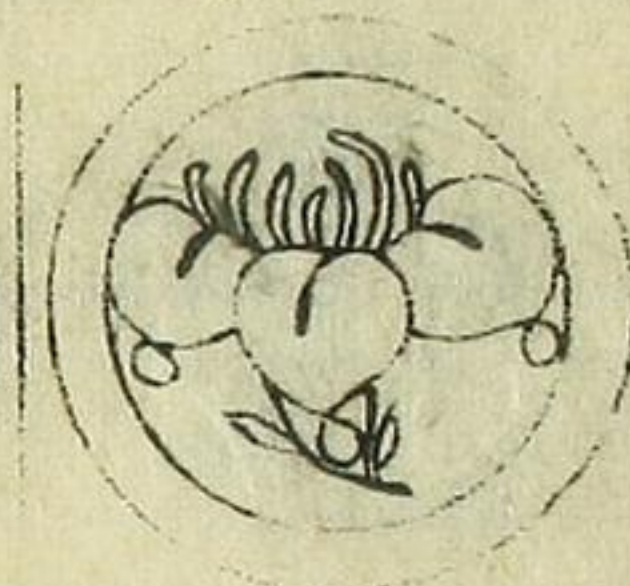
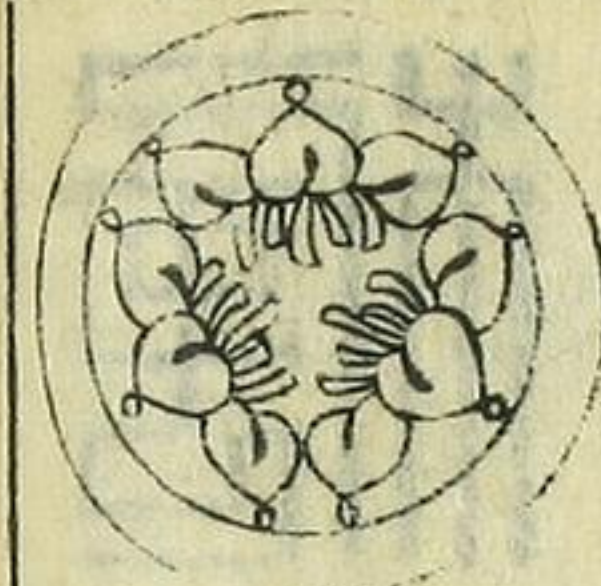


よき丸

よかひり

よつれ丸

若 杜

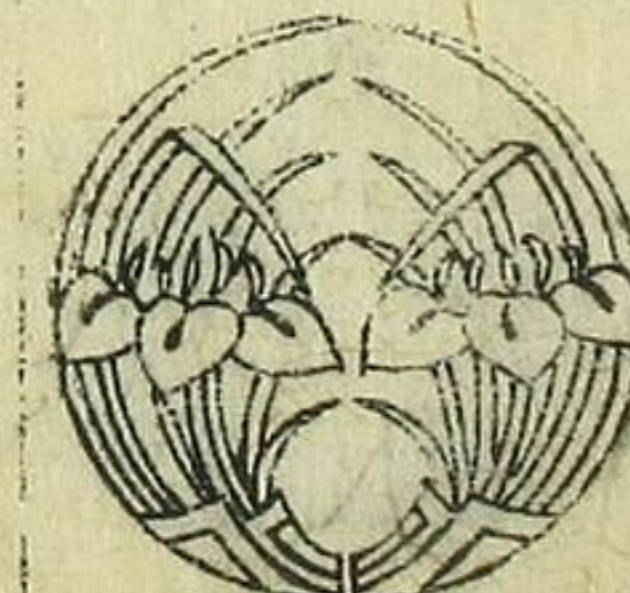


よかひり

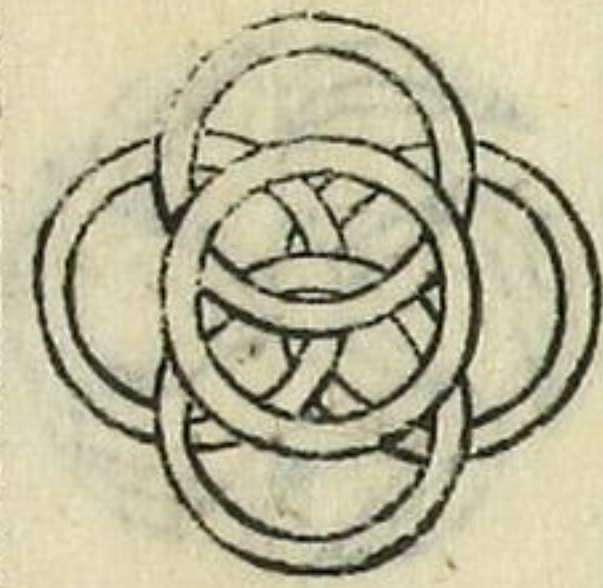
よかひり

よかひり

字 篆



さしあつあ さしまかつ又 ねしまかぢ二 敷 釜



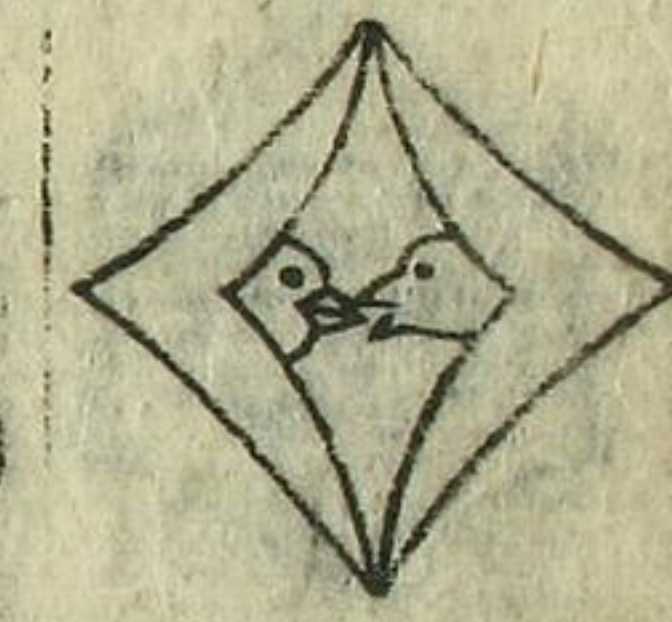
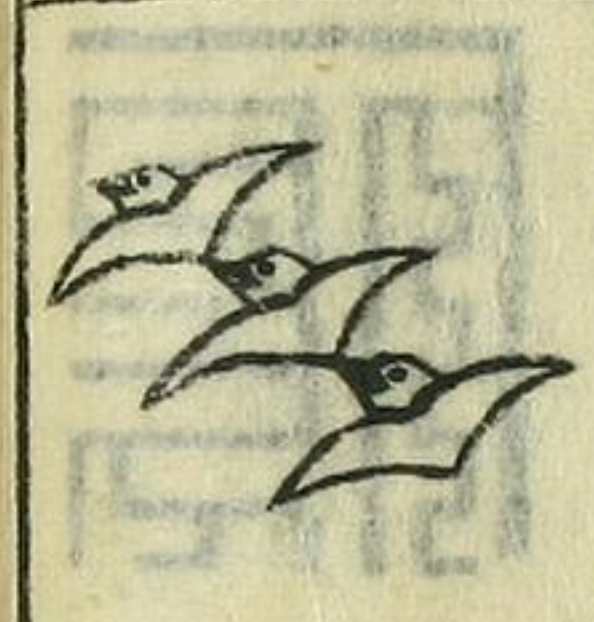
東 又 屋 座

ねしあつあ丸 ねしまかつ七 さしまかつ八 字 篆



東 又 屋 座

さしあつあ三 さしまかつむ ねしまかぢむ さしまかぢむ



ねしまかぢむ丸 さしまかつ四 さしまかぢむ丸 さしまかぢむ丸

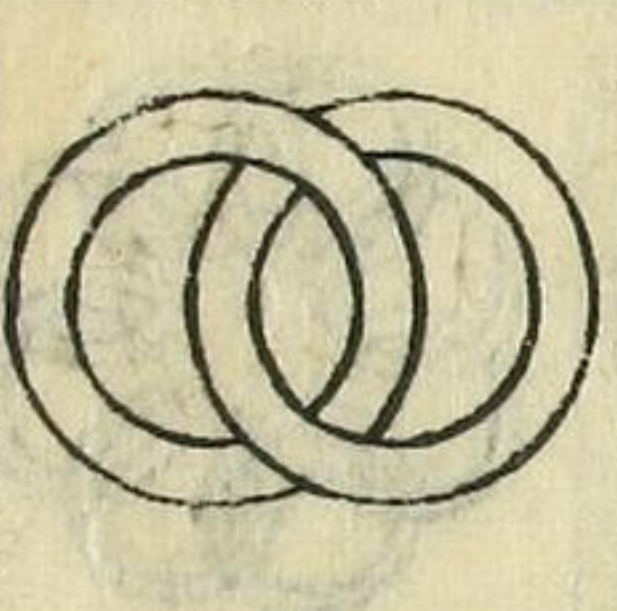
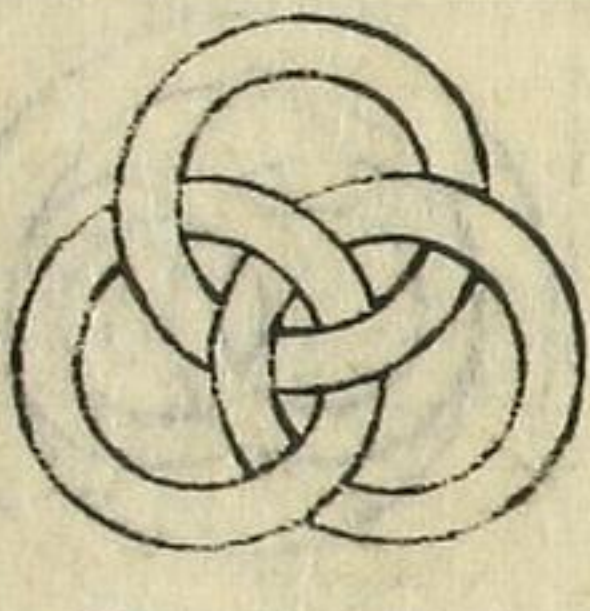


まかろまかろく

まかろつえ

まかろひち

輪金



東 宗
無 正

まかつち

まかつみ

まかつり

字 象



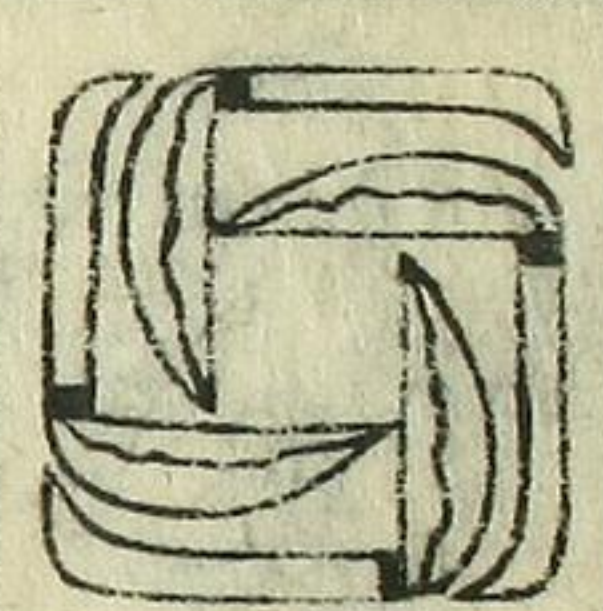
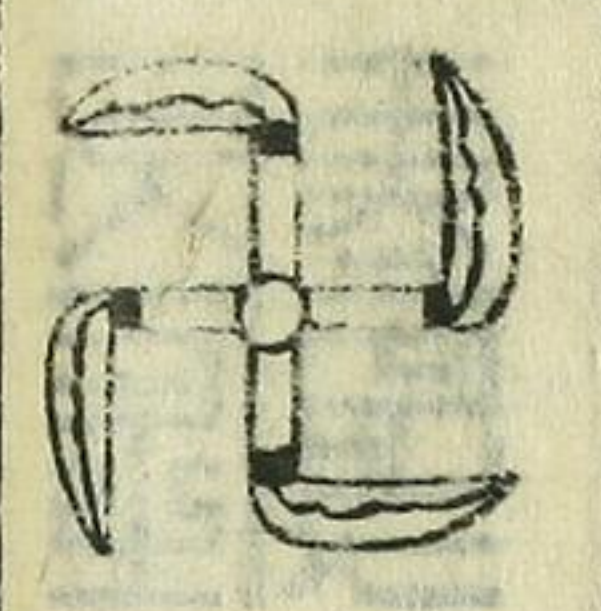
東 宗
無 正

まか字に万え

まろくまか

まろくか

鎌



東 宗
無 正

まかつ一

まろく丸

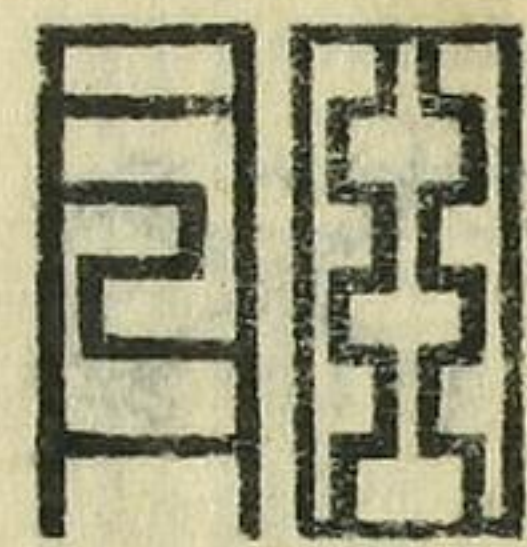
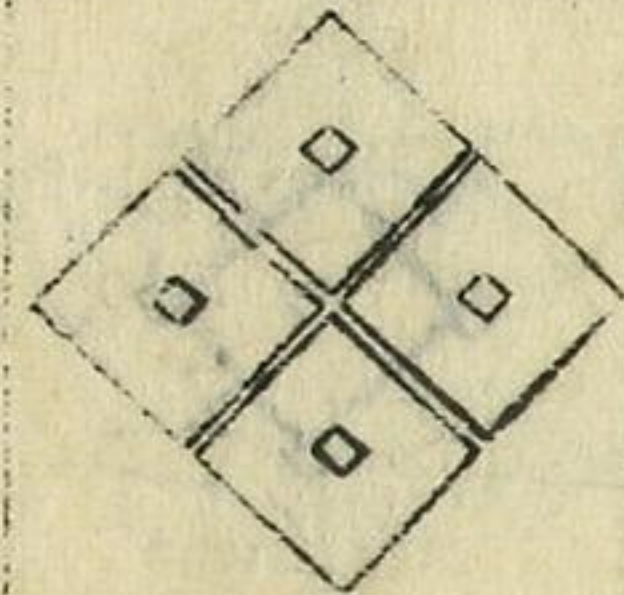
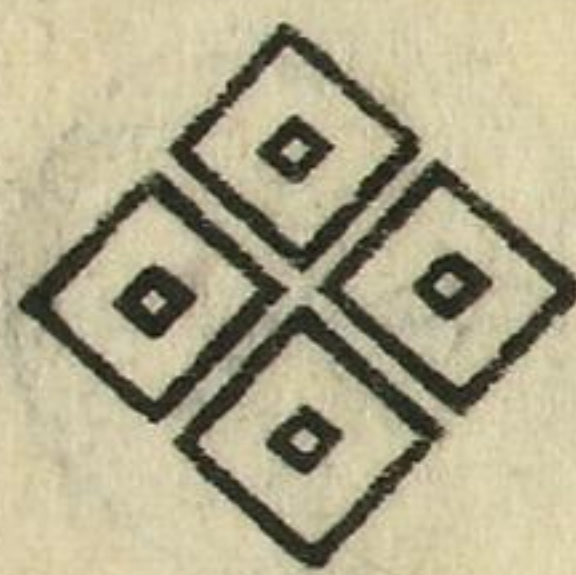
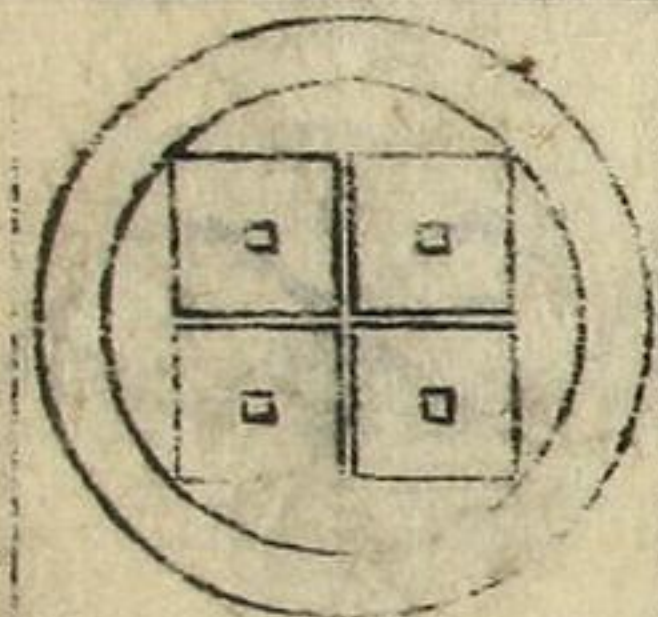
まかひち

字 象

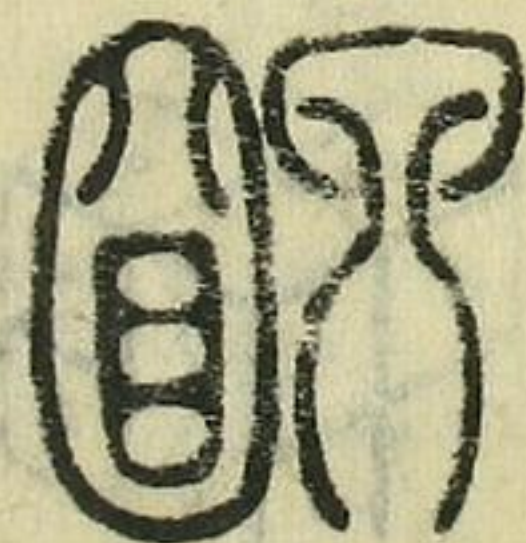
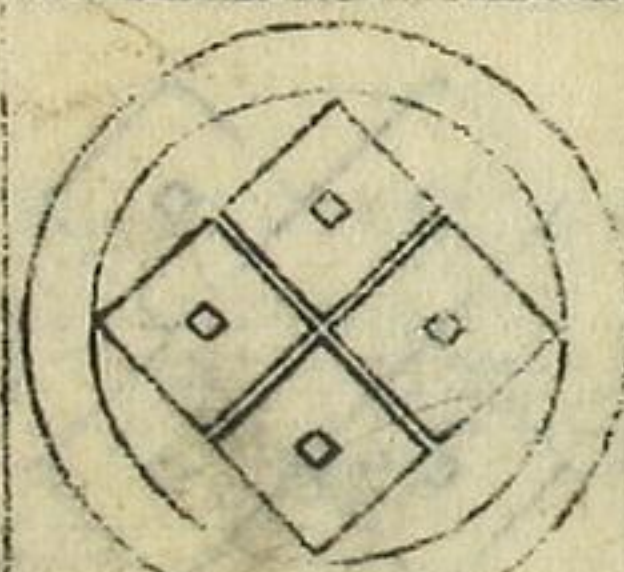
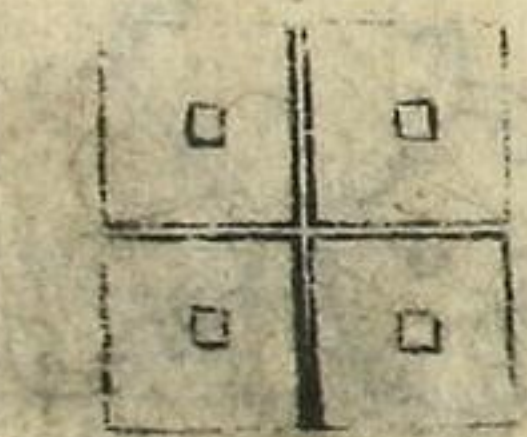


東 宗
無 正

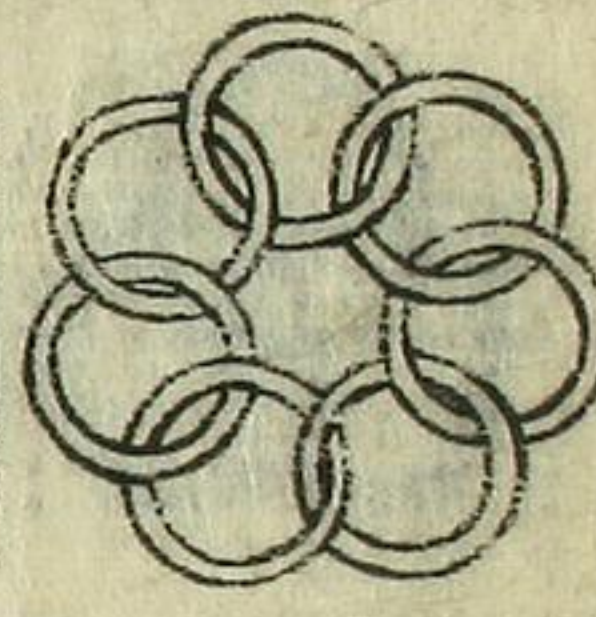
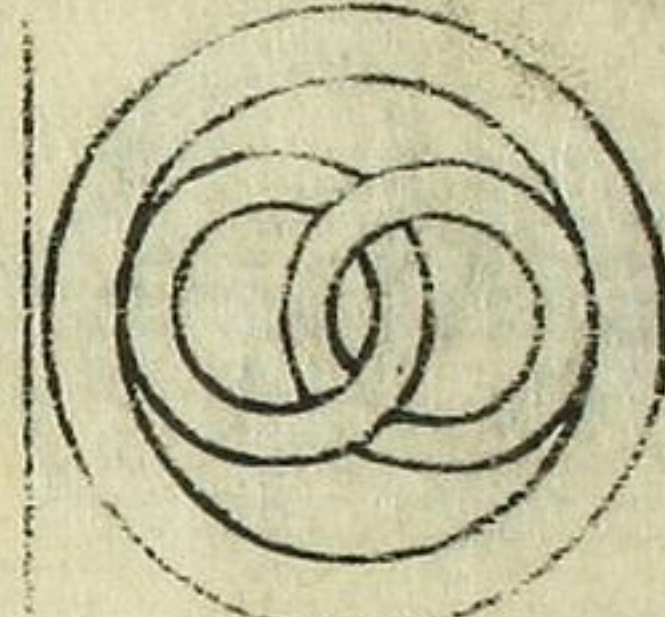
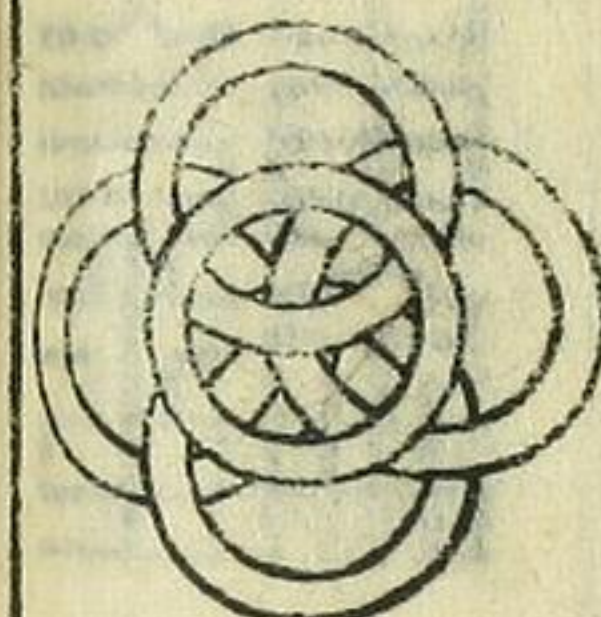
めつよ 平丸 ねえのけか ねえみそ 目 四



めつよ 平丸 ねえのけか ねえみそ 字 蒙



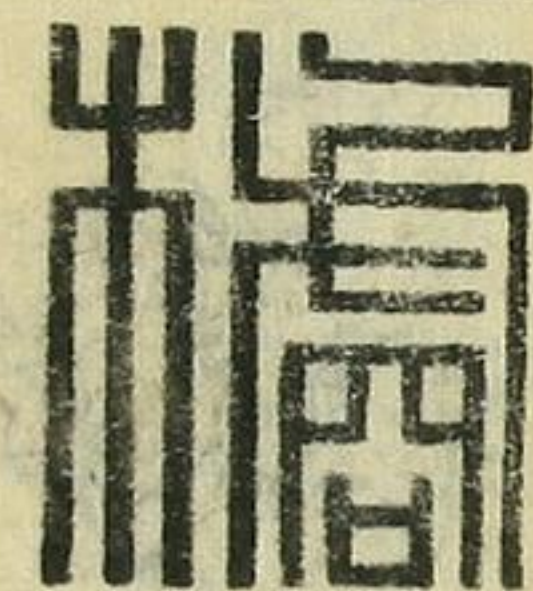
二 八 九 七



九 七



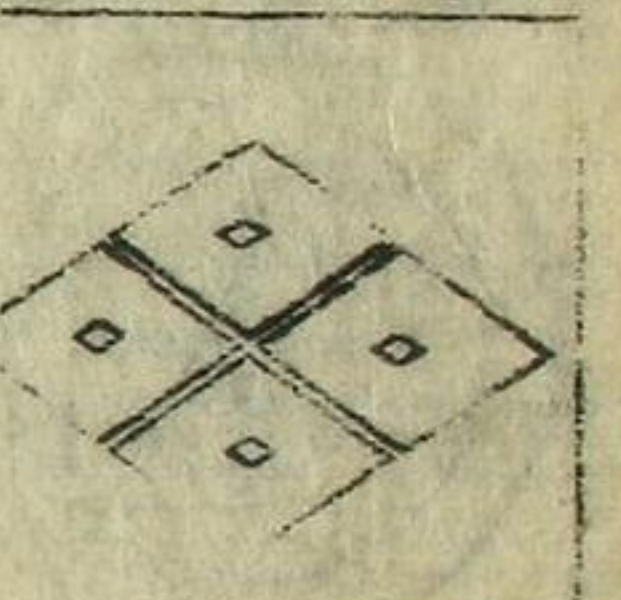
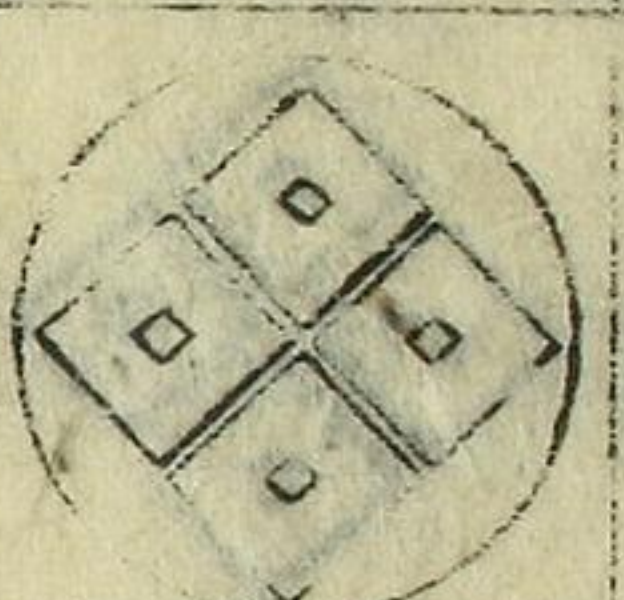
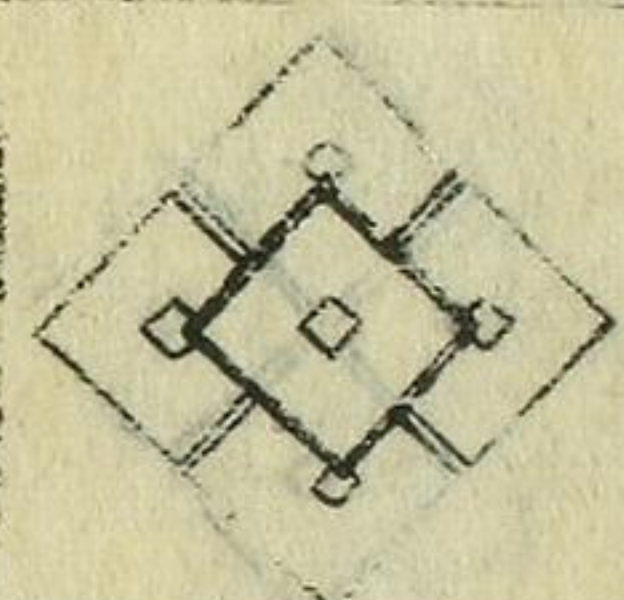
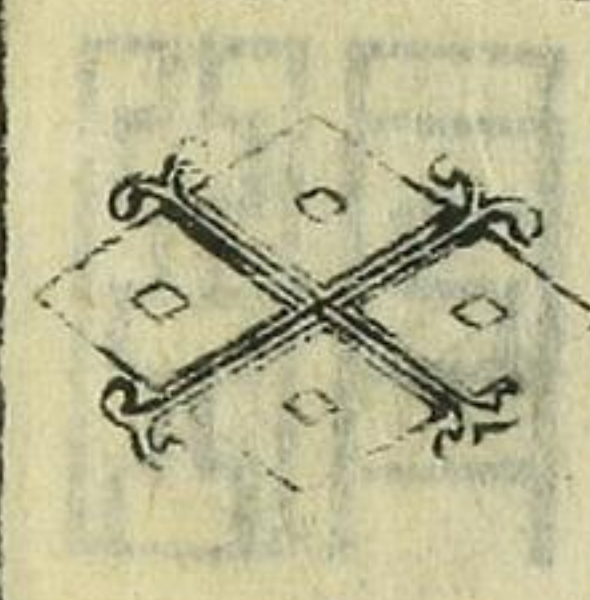
ちちたれふ ちちたれふ ちちたれふ 橘



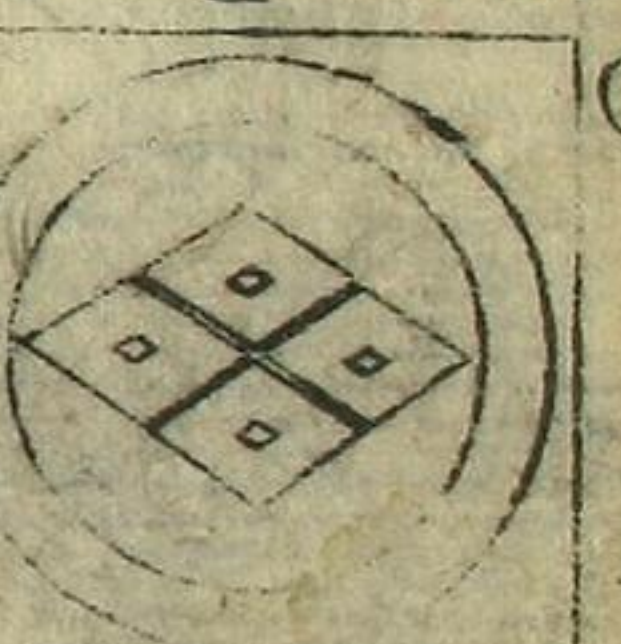
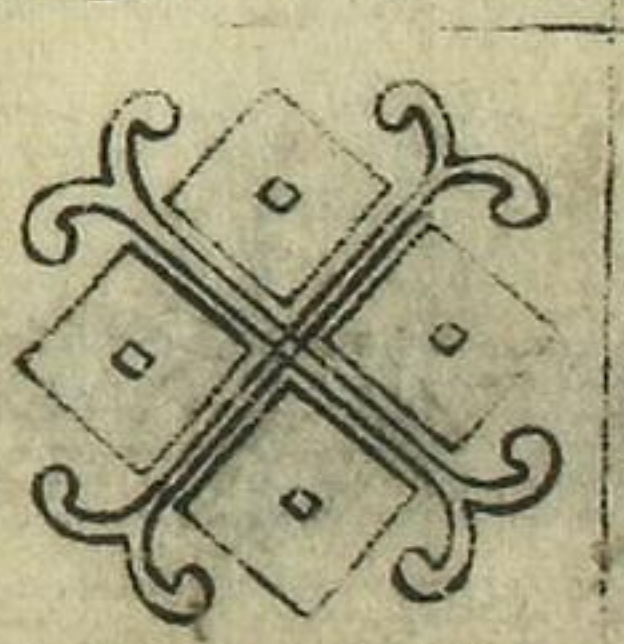
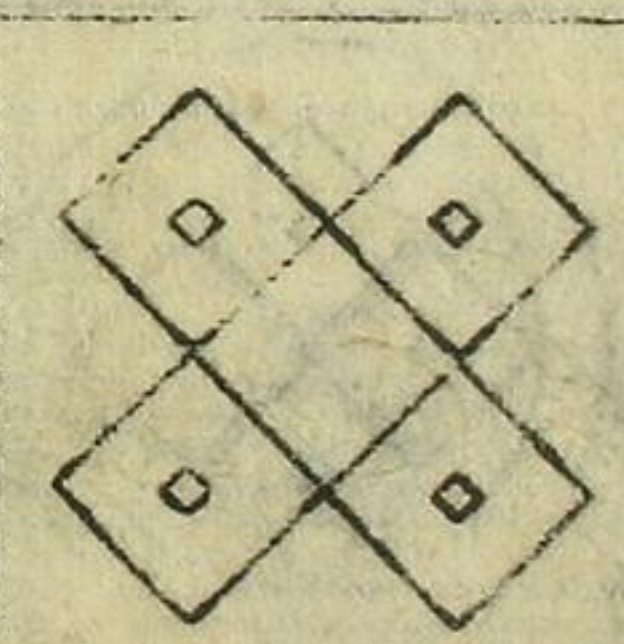
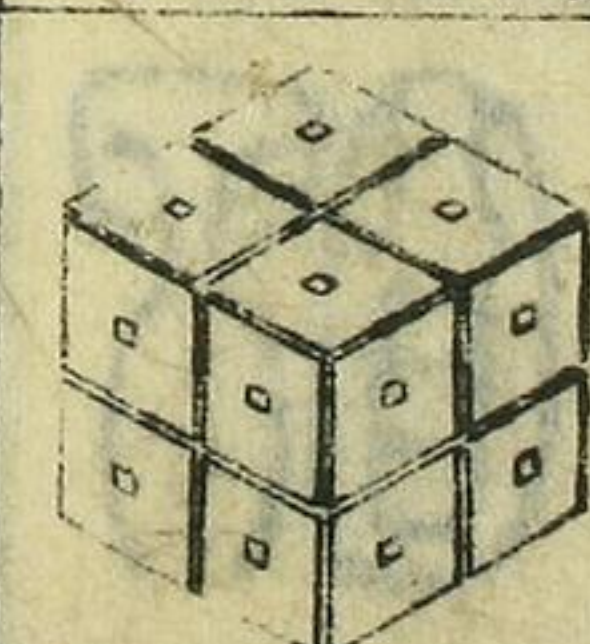
ちちたれふ ちちたれふ ちちたれふ 字篆



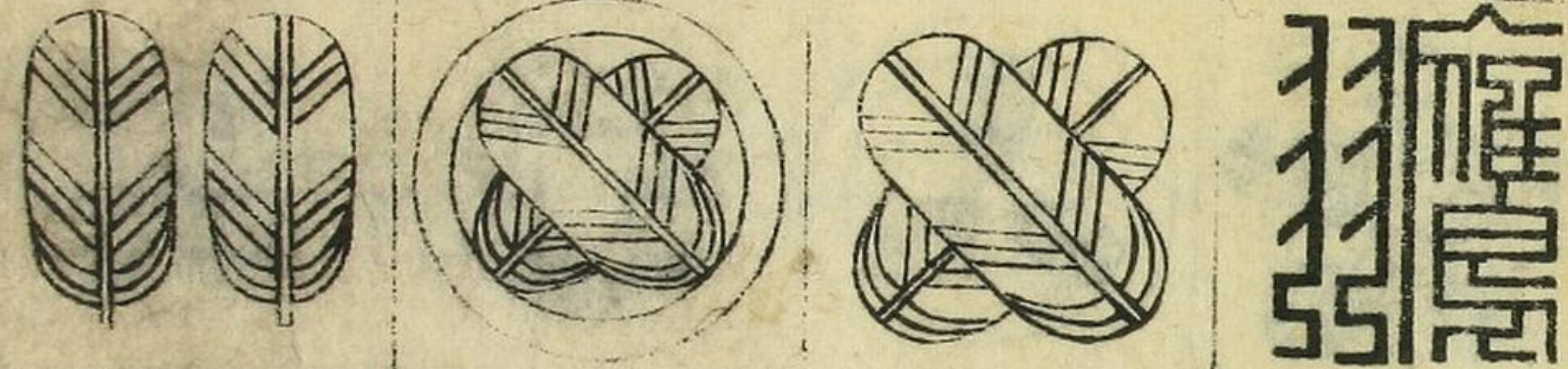
めつよろつ 目には角を二 器は解か 石にめつ。しむ



めつはひふ めつよえた めつはつとま 目にはひふ



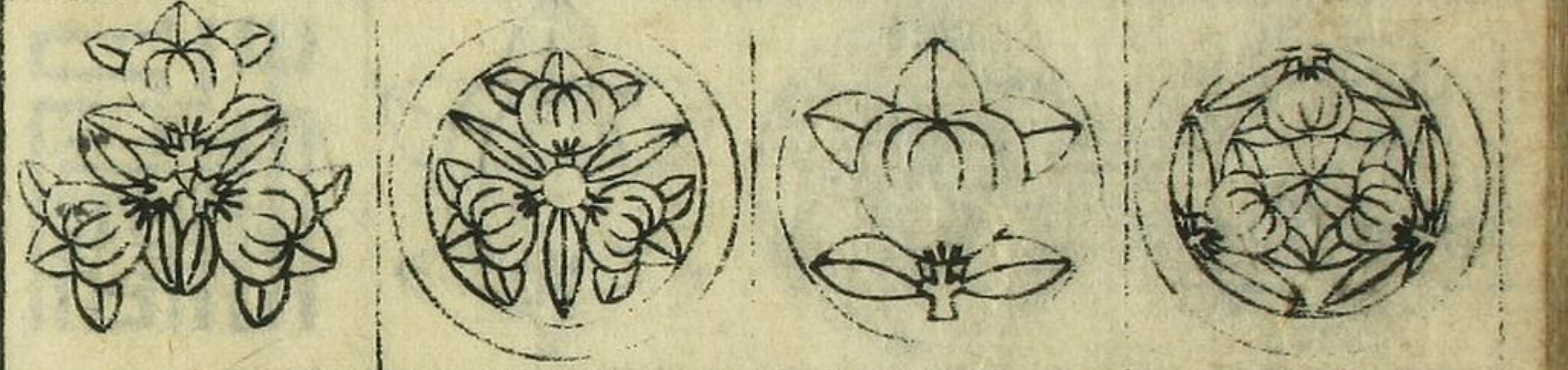
そのりさ本二 | そのりさむち丸 | そのりさひち | 羽鷹うたか



そのりさ本一 | そのりさつぎ | そのりさむち丸 | 字篆



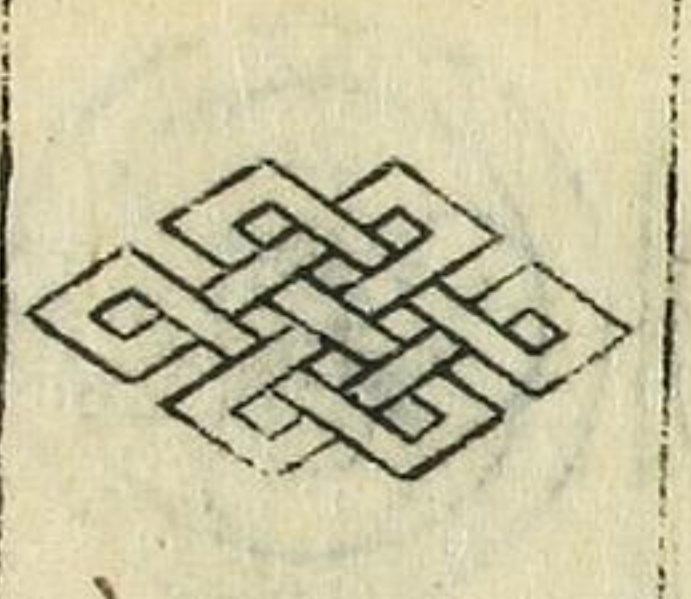
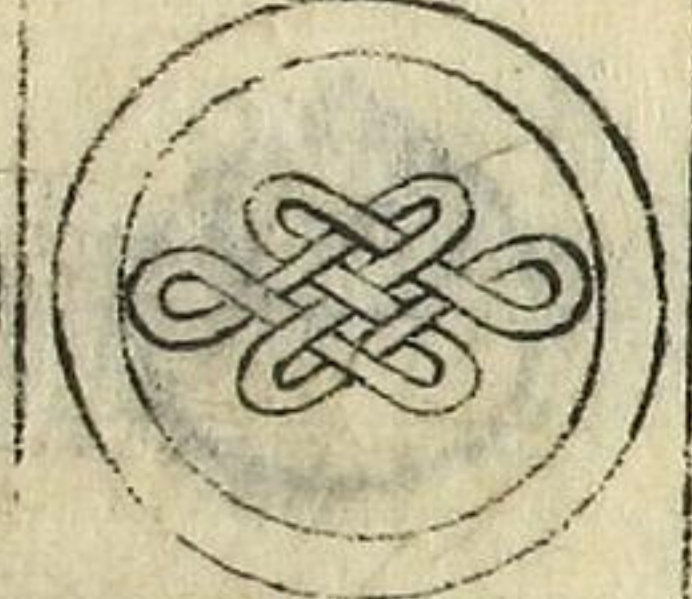
そのりさ二 | そのりさむち丸 | そのりさむち丸 | そのりさむち丸



そのりさむち丸 | そのりさむち丸 | そのりさむち丸



ひそむらな_二にち_一に_二 ひとむらな_二丸_一 ひとむらな_二と_一 結_二寶_一



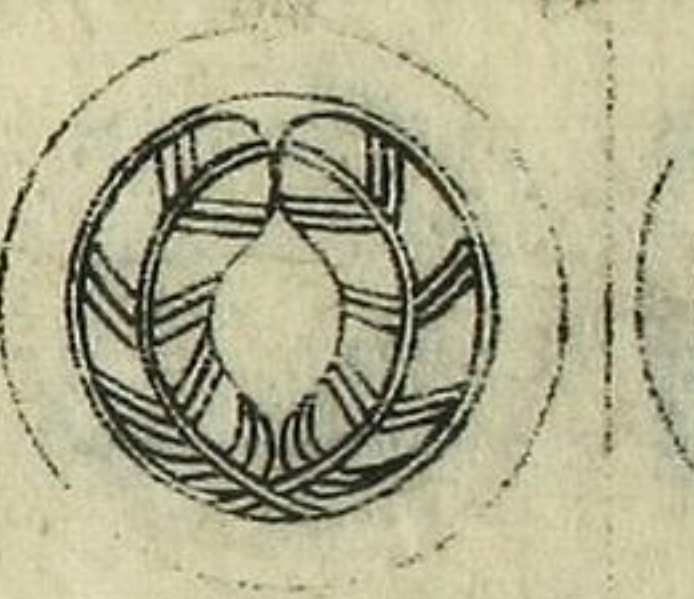
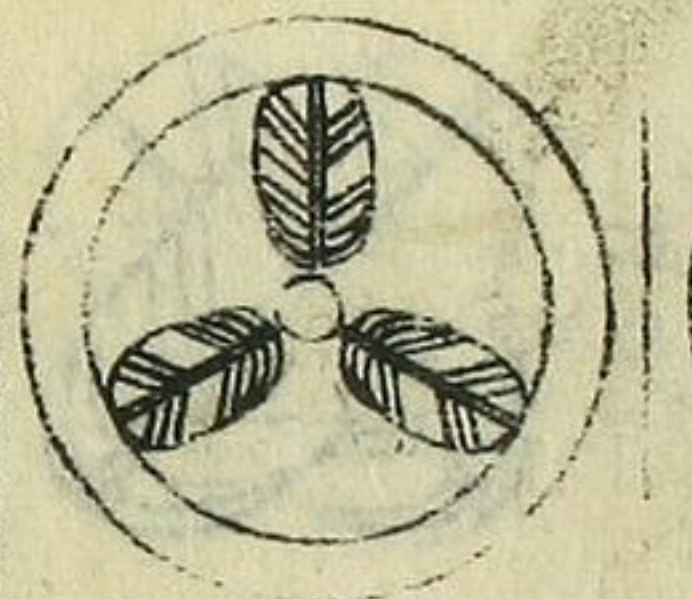
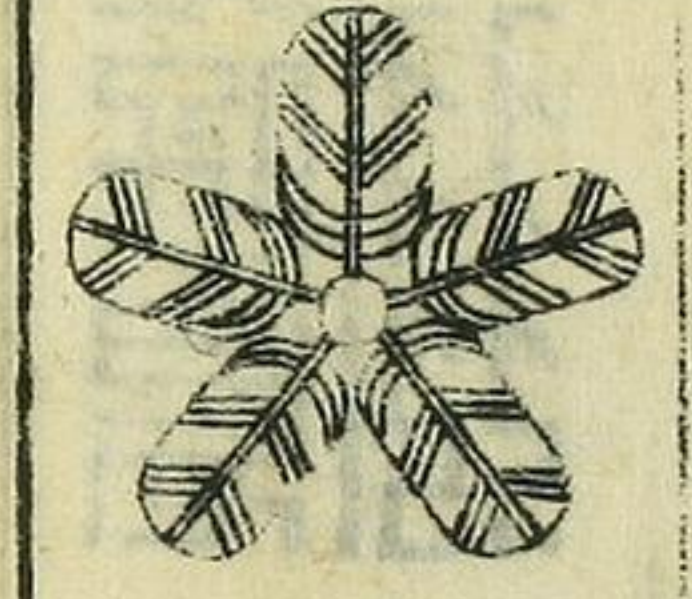
結寶

ひとむらな_二と_一 ひとむらな_二解_一丸_二 ひとむらな_二と_一丸_二

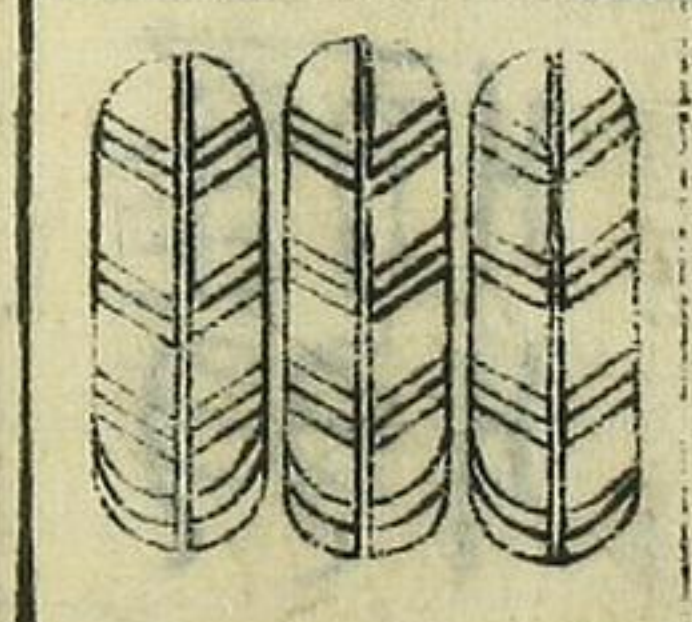


字象

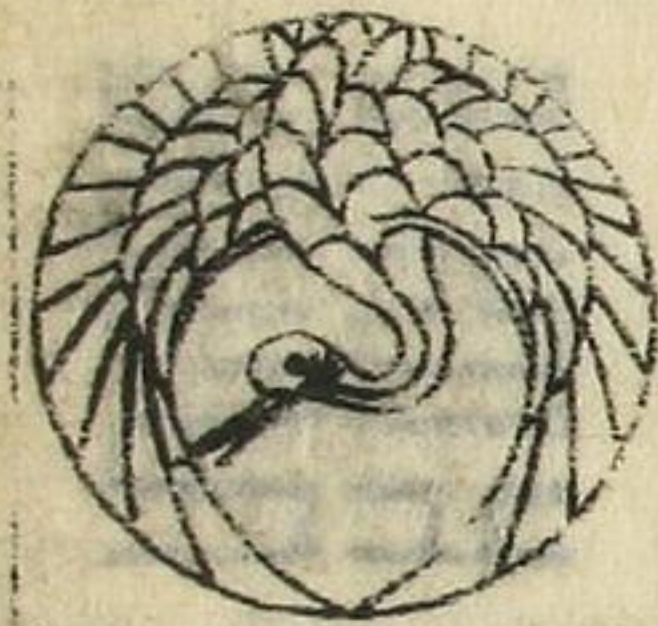
その_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一



その_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一 其の_二丸_一と_二丸_一



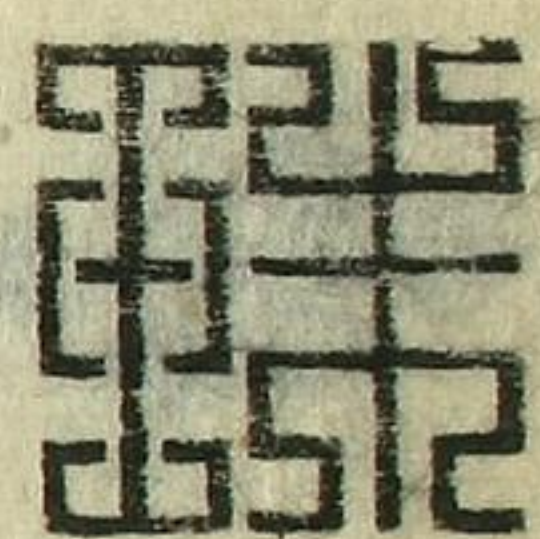
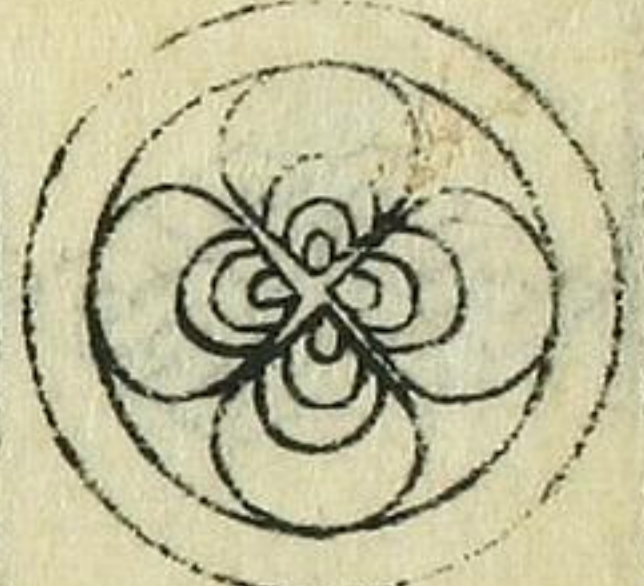
知のついま るついま 知のるは 龍



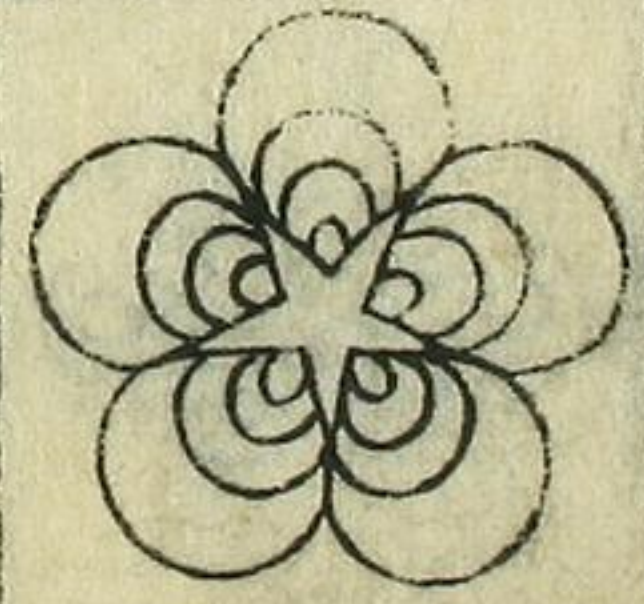
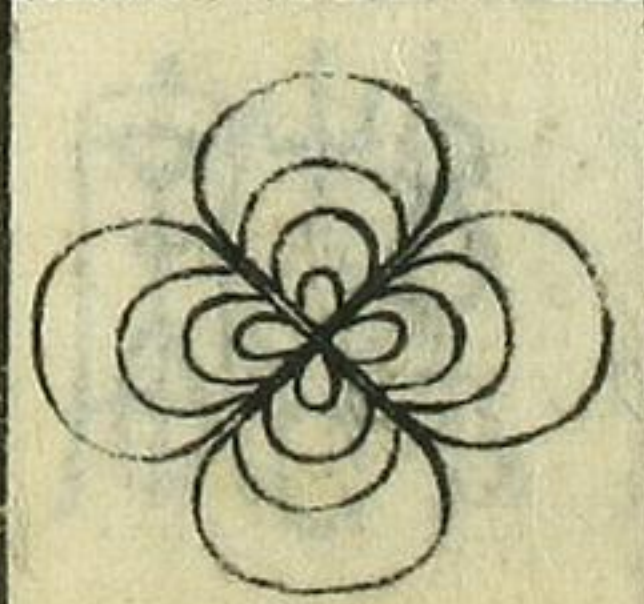
しむるは 知のついま るついま 字篆



玉のついま るついま 玉のるは 珠



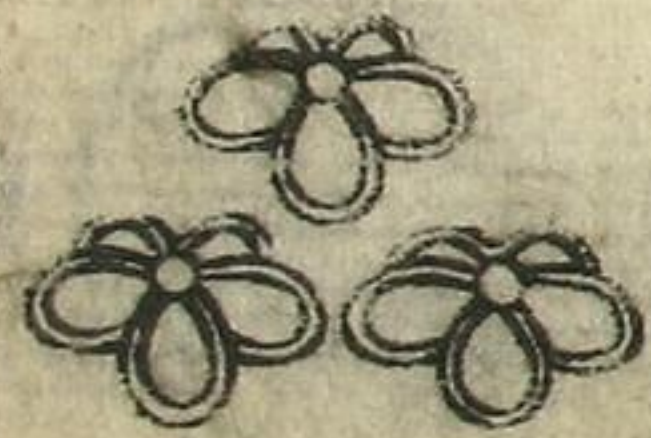
玉のついま るついま 玉のるは 字篆



よつねを



よつねを



よつえ



よつえ



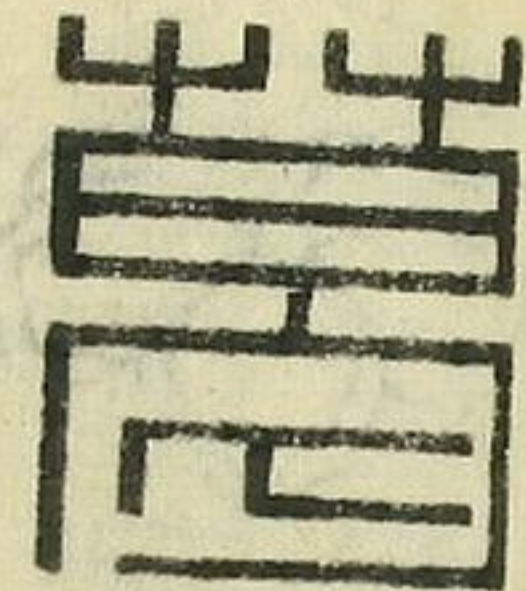
よつ



よつ



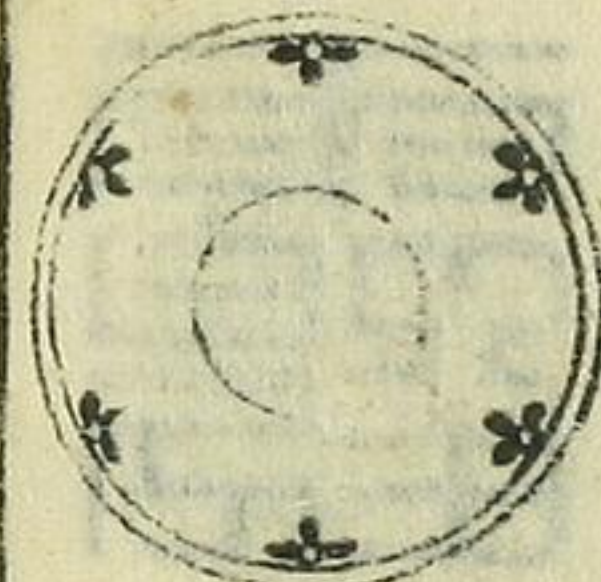
葛



字篆



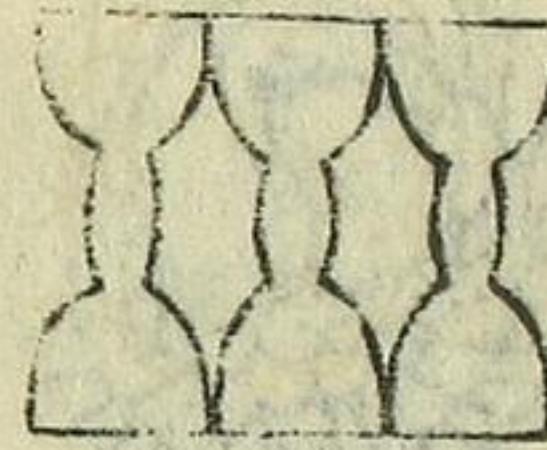
み



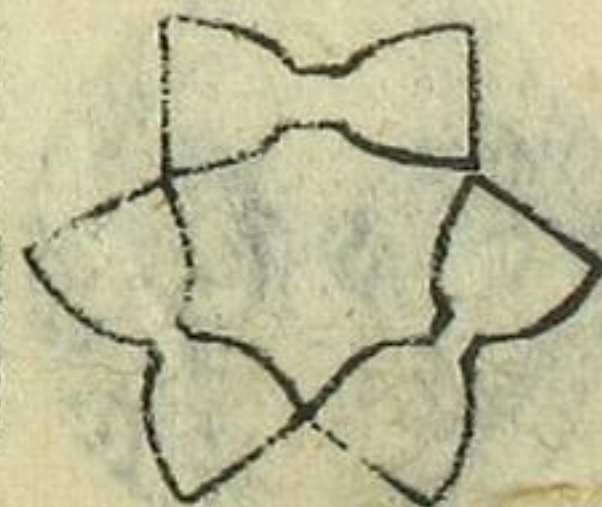
み



うとひらち



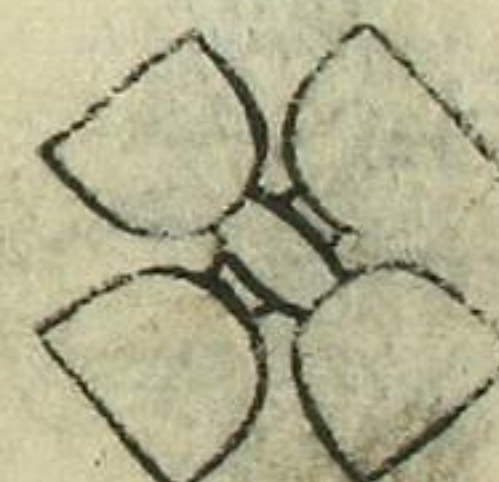
うとひらち



うとひらち



うとひらち



鼓



字篆



のつきと花 花のしり 花のさ



解



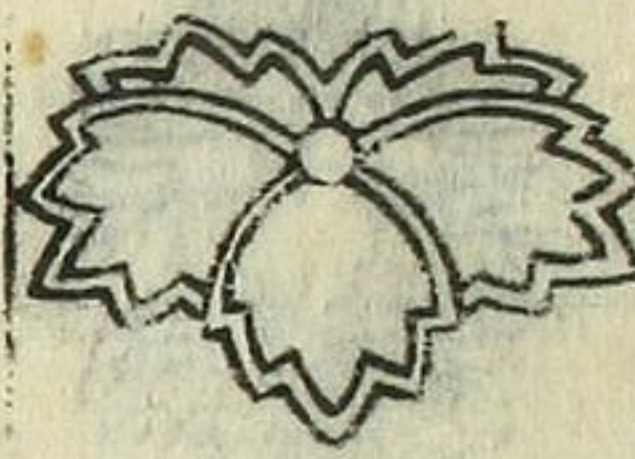
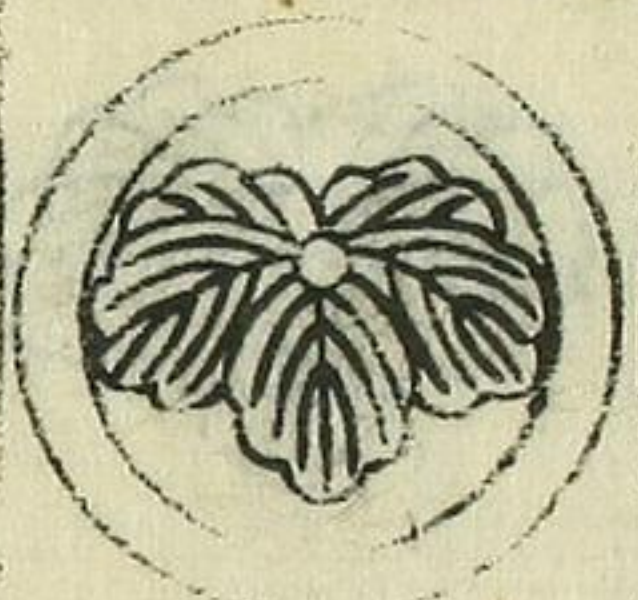
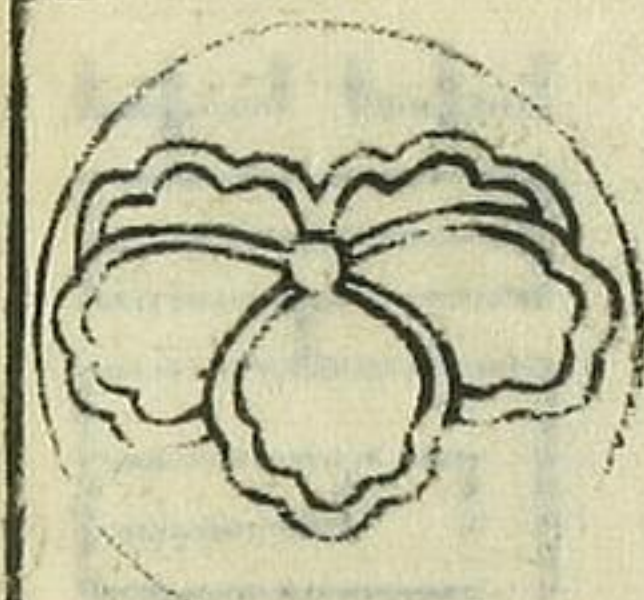
花のしり 花のさ 花のつき



字篆



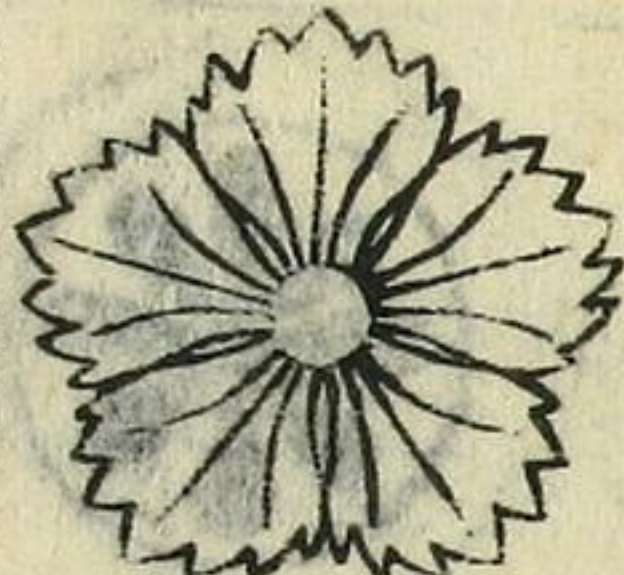
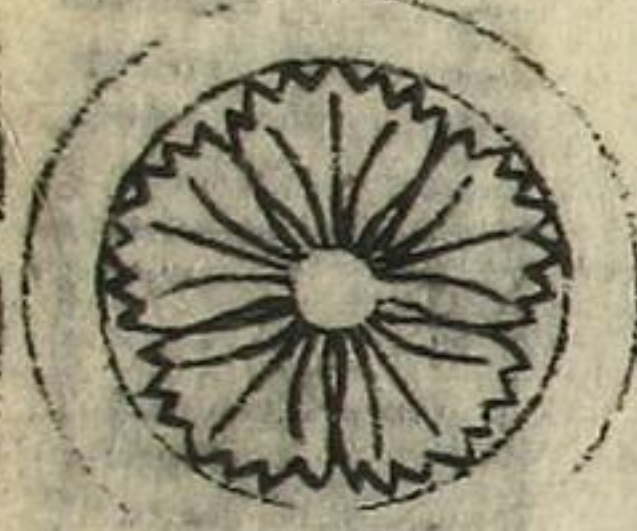
花のしり 花のさ 花のつき



花のしり 花のさ 花のつき

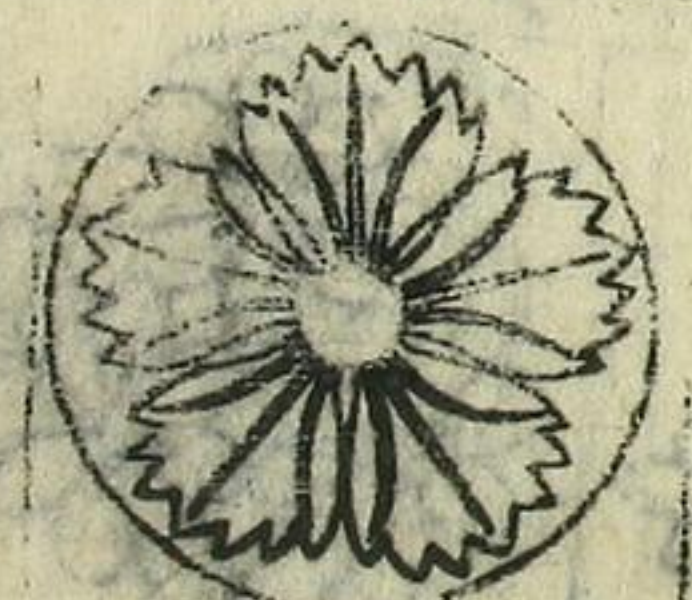


ふしてあ丸 ちしてあせふ こしてあ



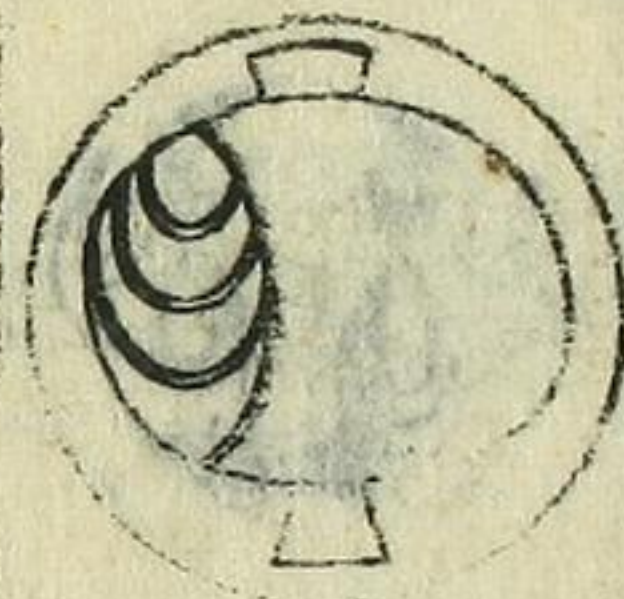
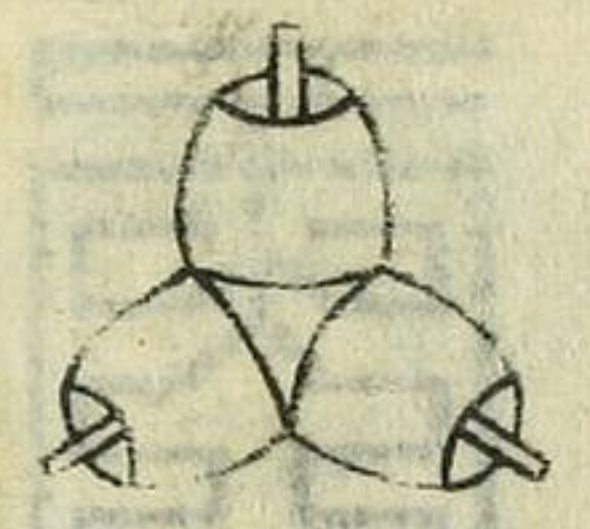
子と撫 **福**

ちしてあ丸 ちしてあ丸 ちしてあ丸



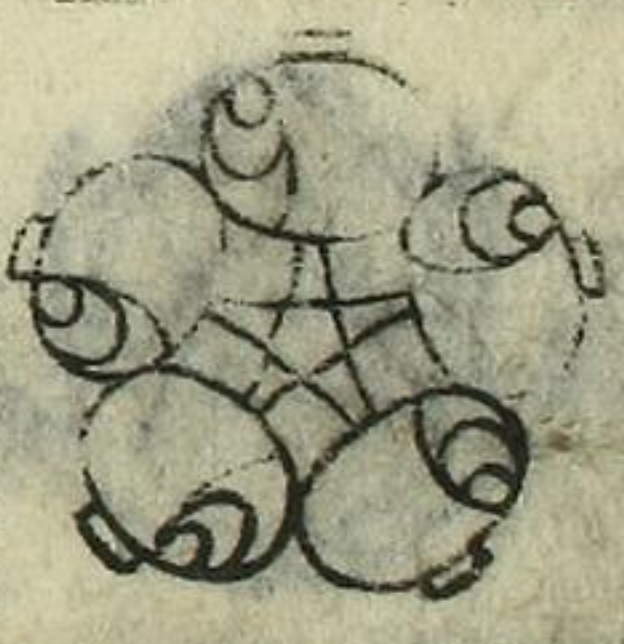
字篆 **福**

ちつこよ ちつちちに ちつれ丸 種



福

ちつこよ ちつちちに ちつれ丸 字篆

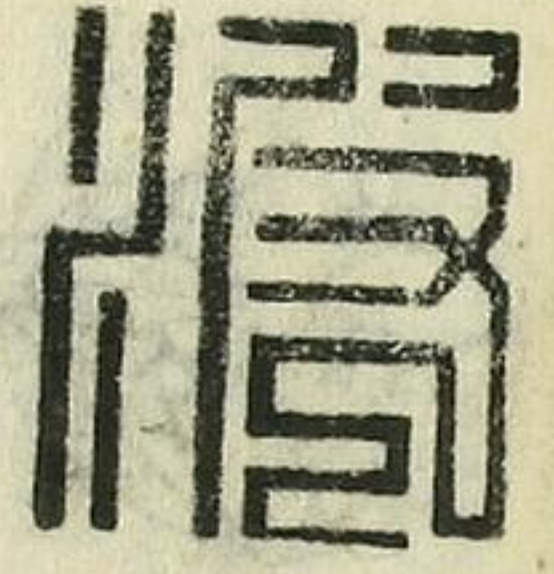


福

丸のこま えもこまこま こまれこ



波



れさうれこま こまれこ丸 えもこまこ

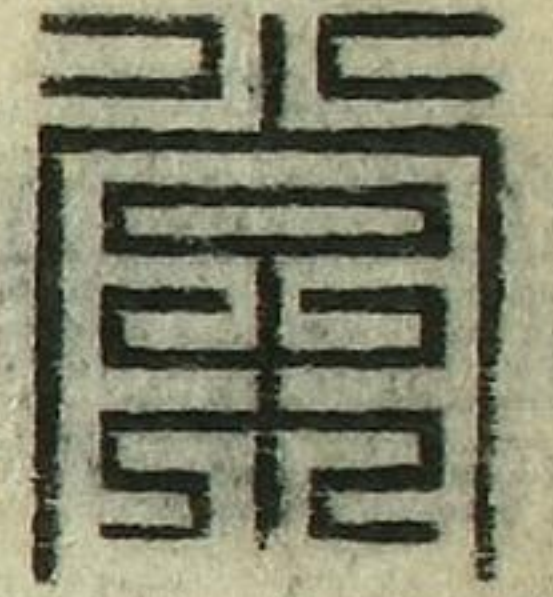


字篆



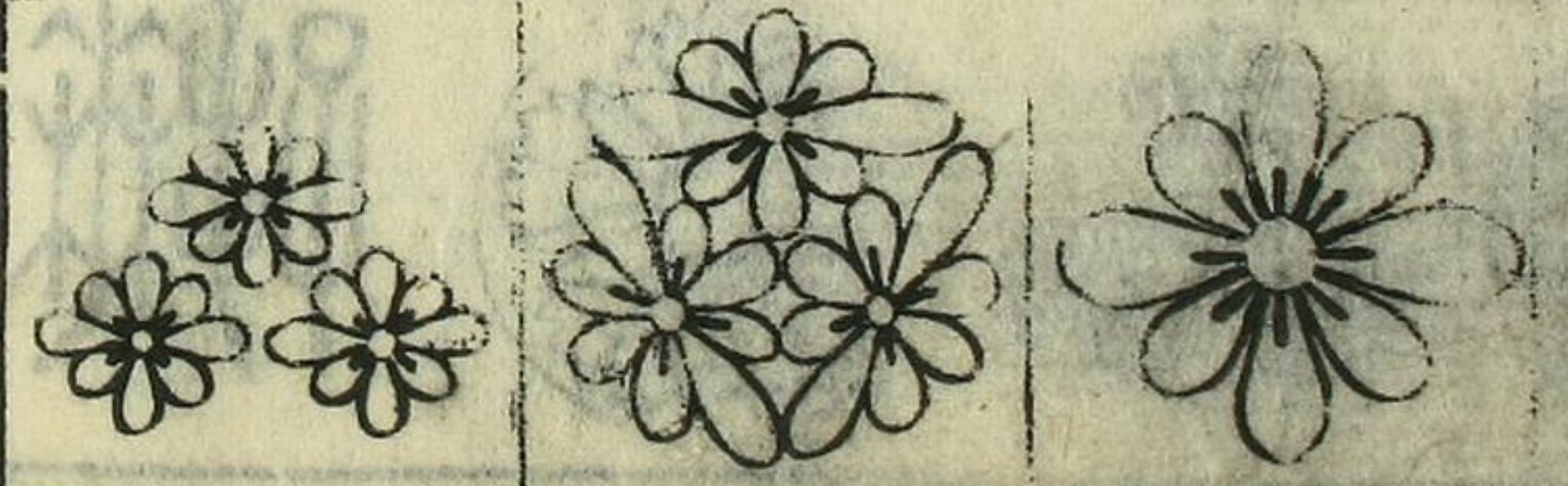
口切ちちくち 口切ちちく丸 口切ちちの丸

棠

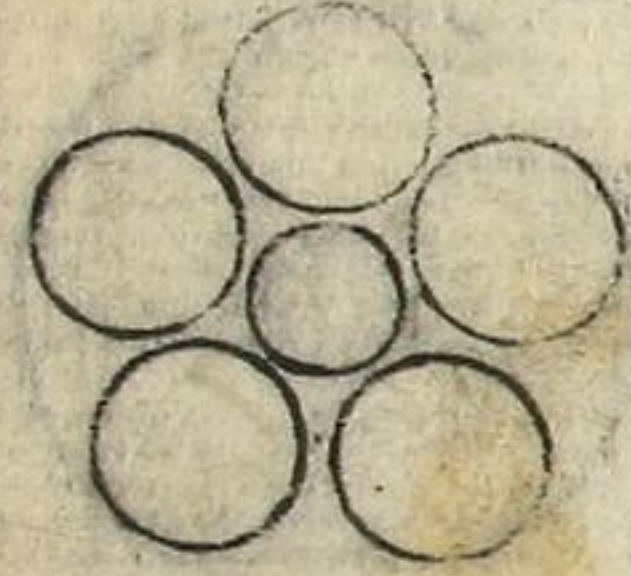


ちくちちちち ちくちちちち ちくちちちち

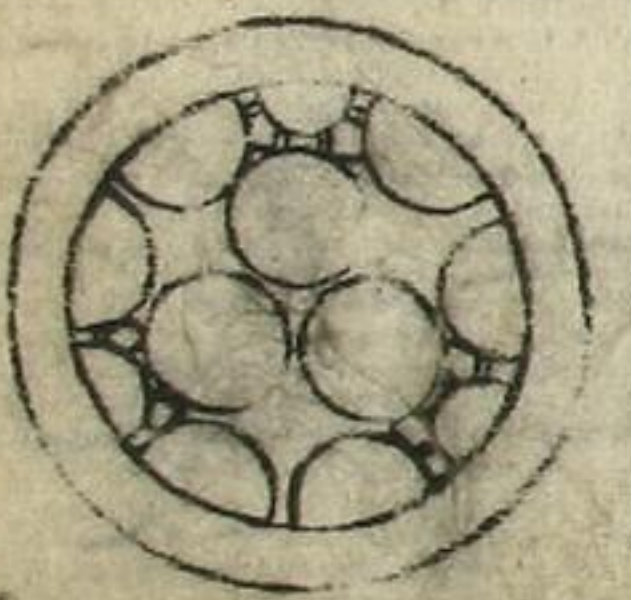
字篆



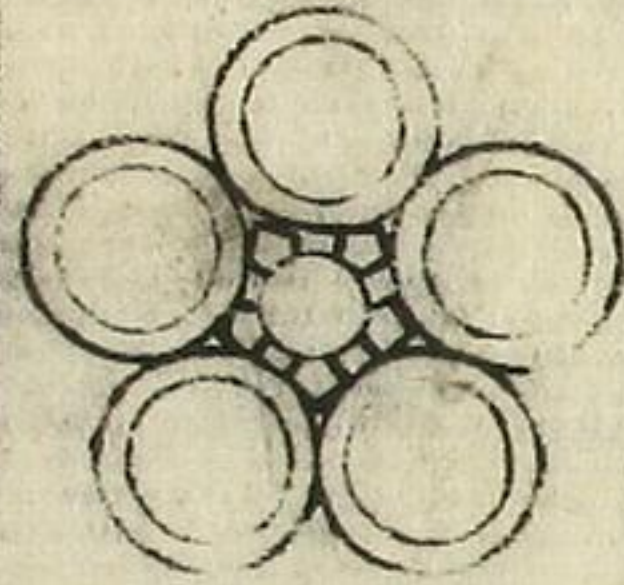
ちこめむす



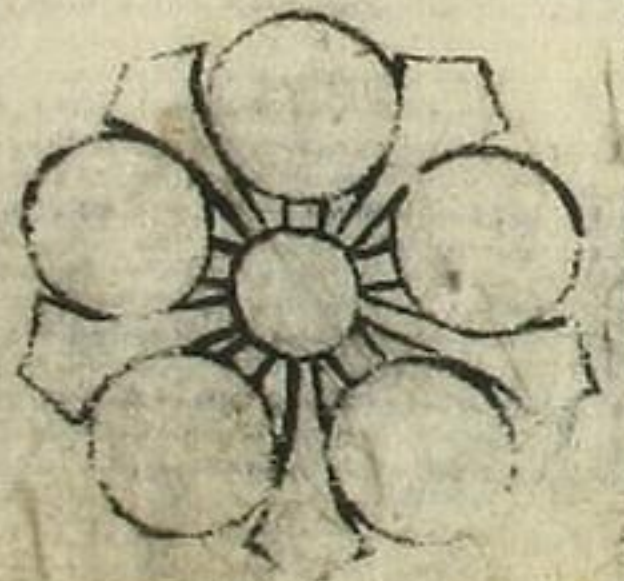
八橋?2号丸



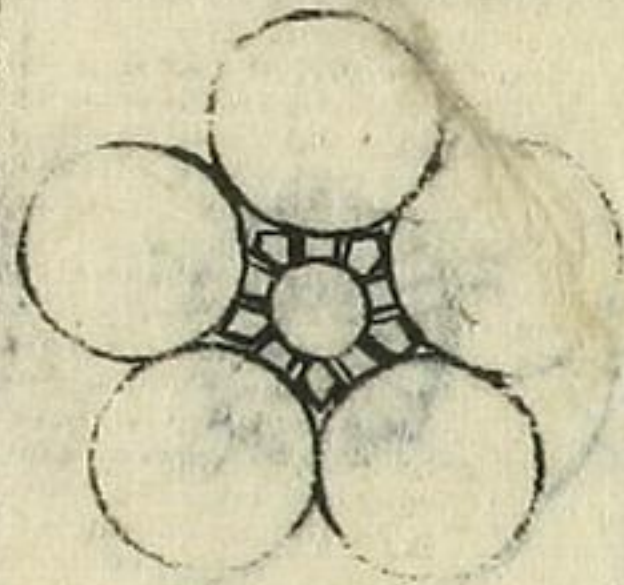
八めびのゆり



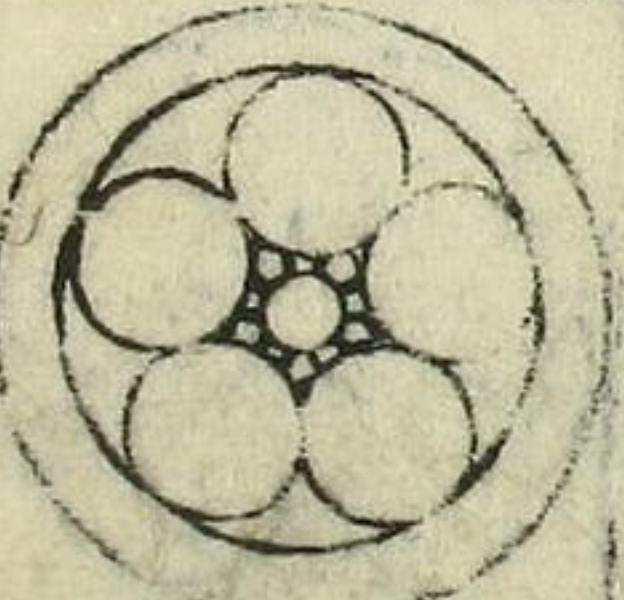
ちこめむ 細丸



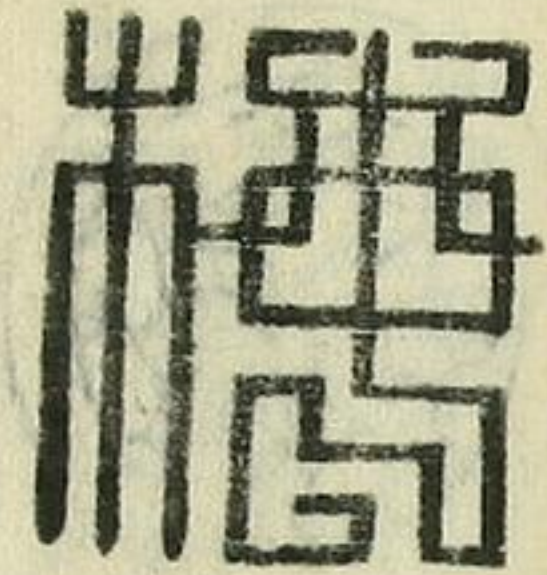
ちこめむ



ちこめむ丸



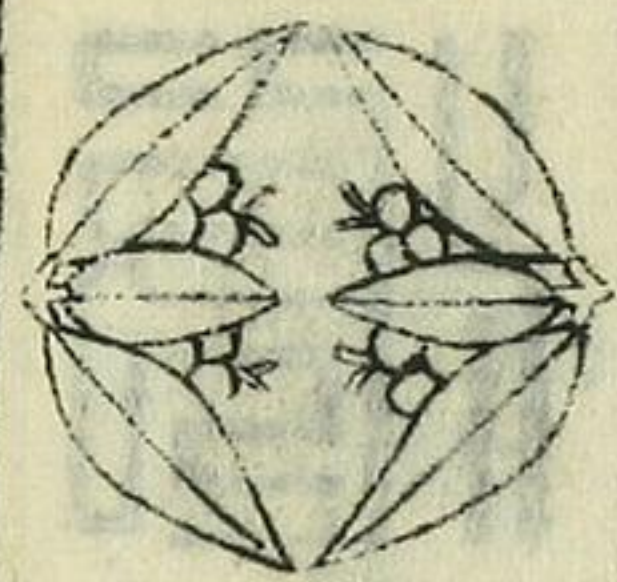
梅 むら



字篆



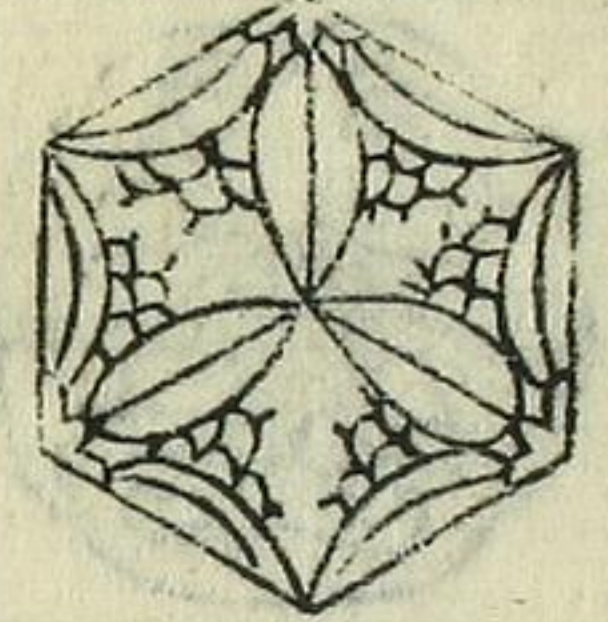
けんさひむ



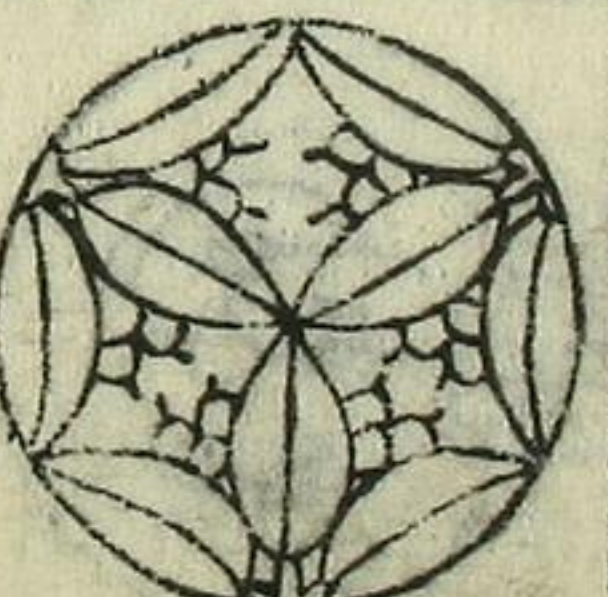
けんさらむ



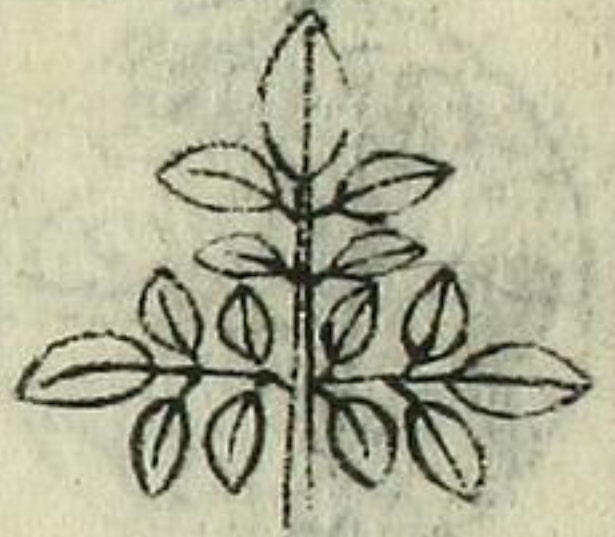
けんさくか



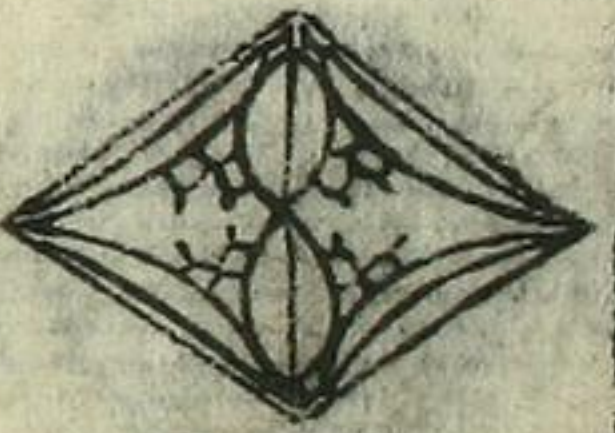
けんさ丸



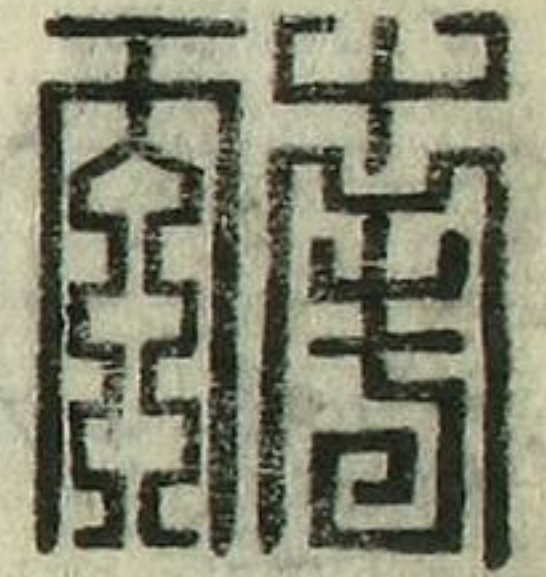
けんさどえ



けんさし



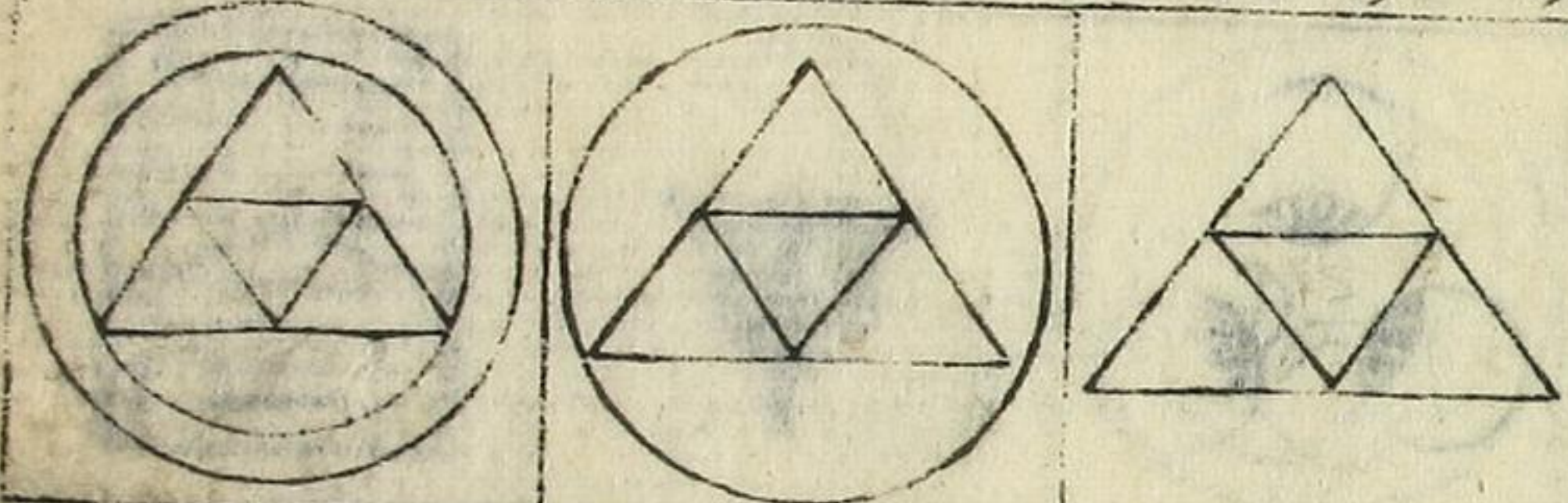
天 てん 南 なん



字篆

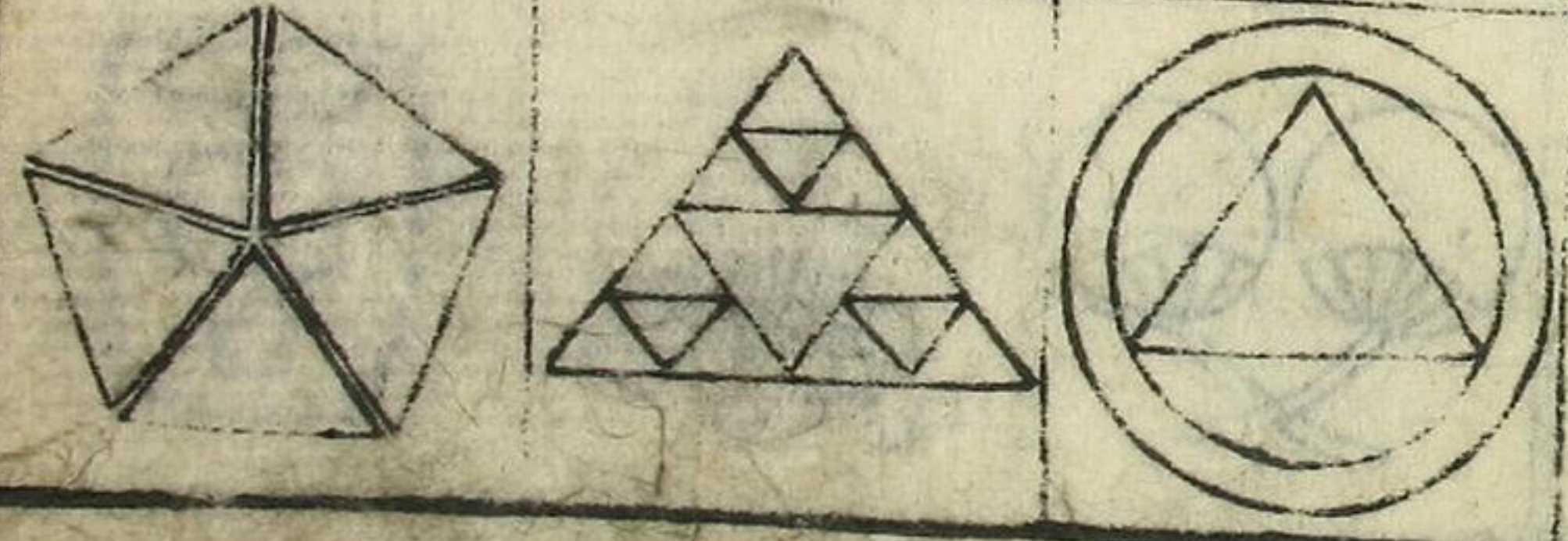


ころう云丸 ころう云丸 ころう云 鱗

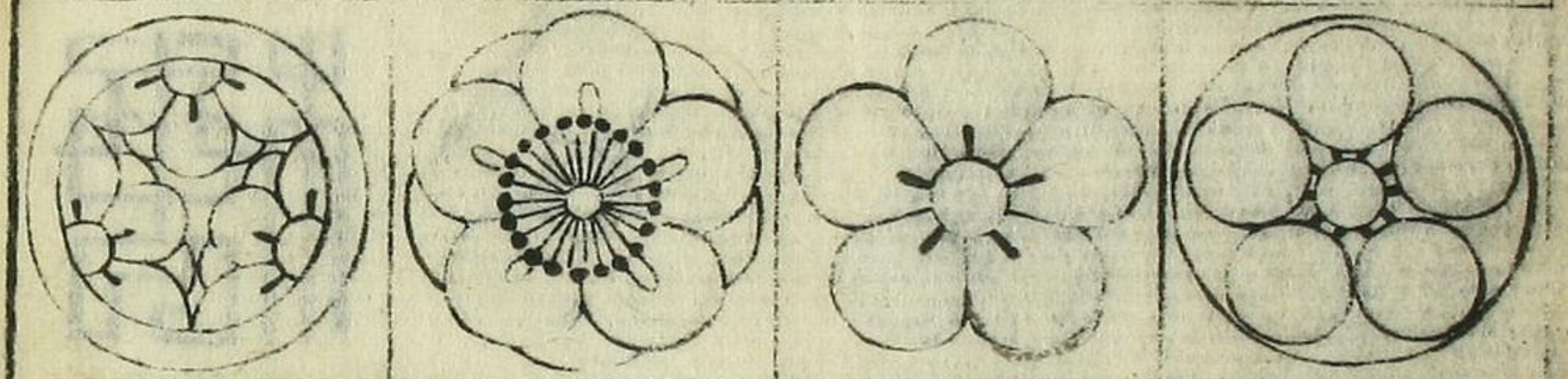


鱗

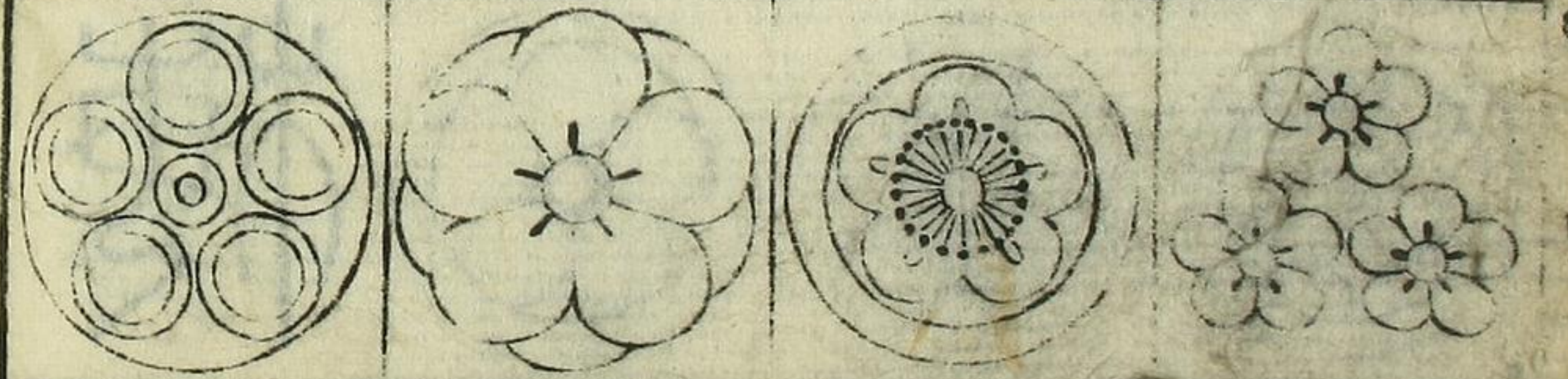
ころうつみ ころう雲之 ころう云丸 字篆



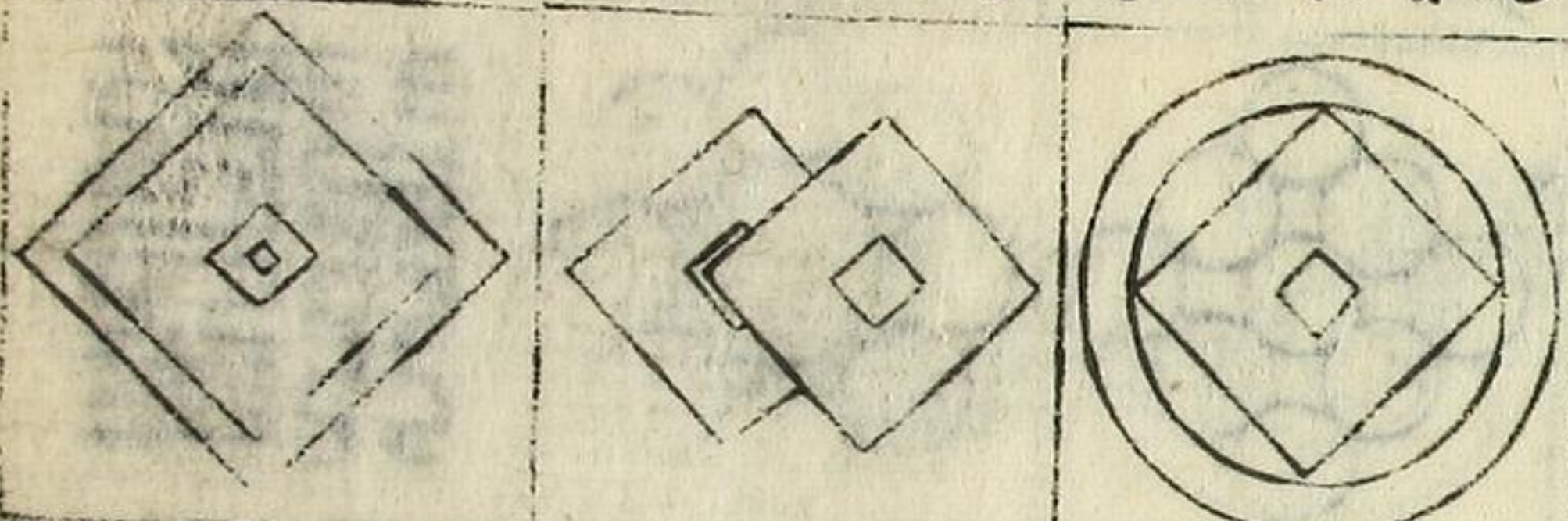
梅之云丸 ぬむふりむ ちのぬむ ちぬにちぬ



ちぬにちぬ ぬむふりむ ちぬにちぬ ちぬにちぬ



きぬたのけか きぬさくひうち きぬたくと丸 抜釘



金釘
篆字

きぬたのと丸 たぬさくのけか きぬたくと 字篆



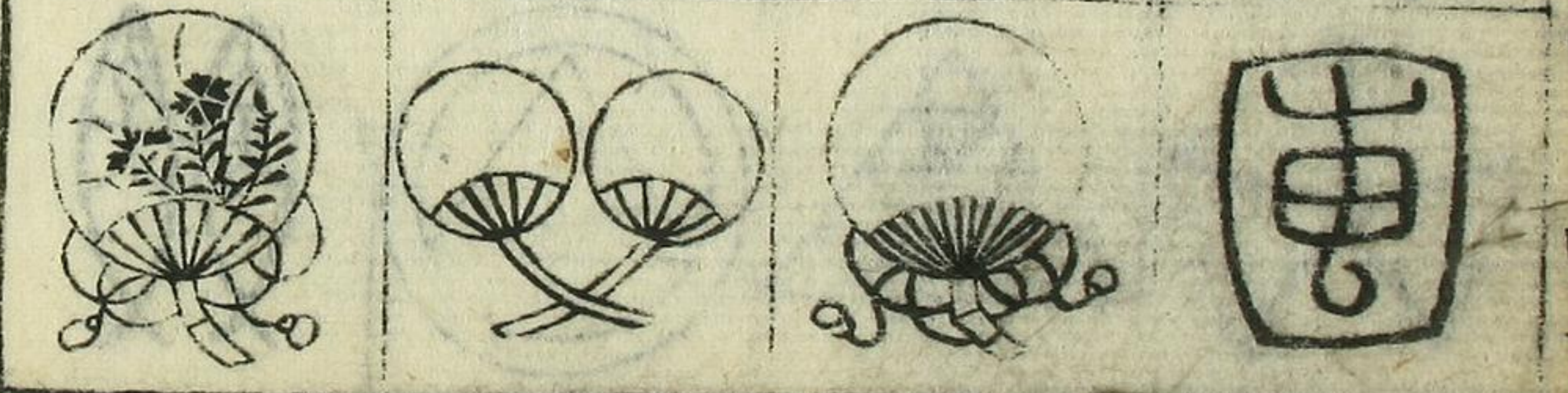
篆字
金釘

ハちうと丸 ハちう表之 ハちうひちち 團



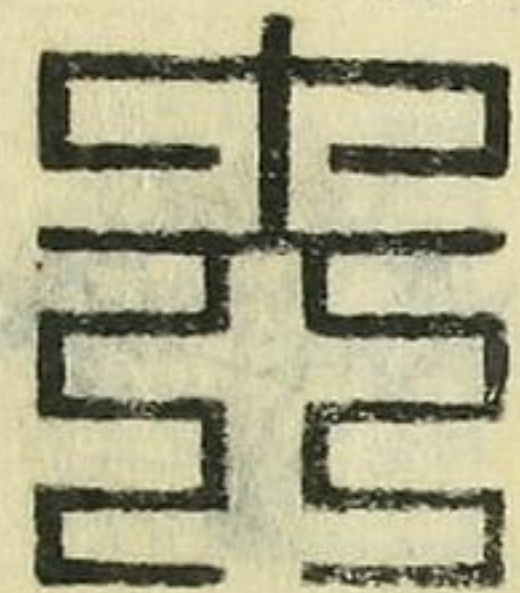
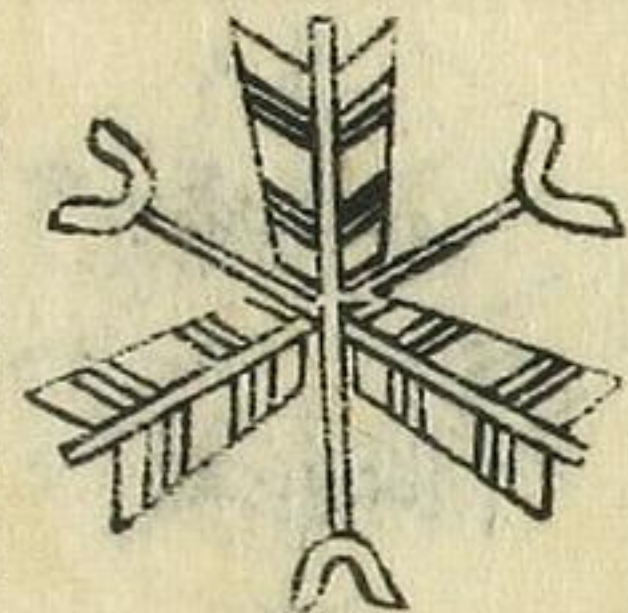
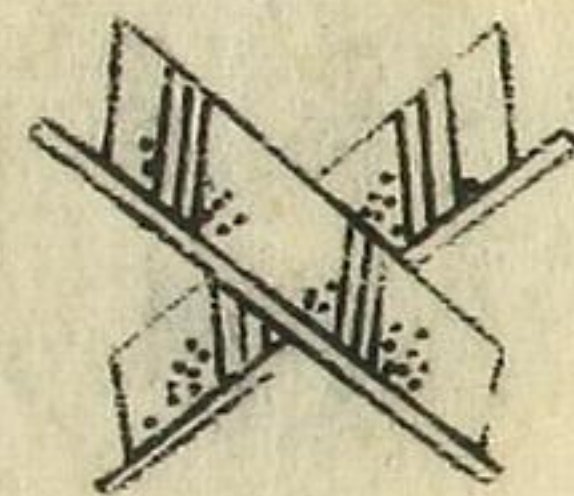
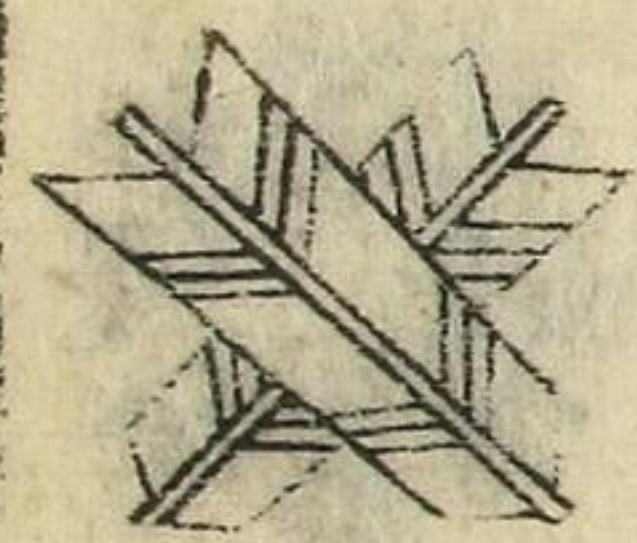
う

ハちう 表 ハちうひちち 表ハちう 篆字



う

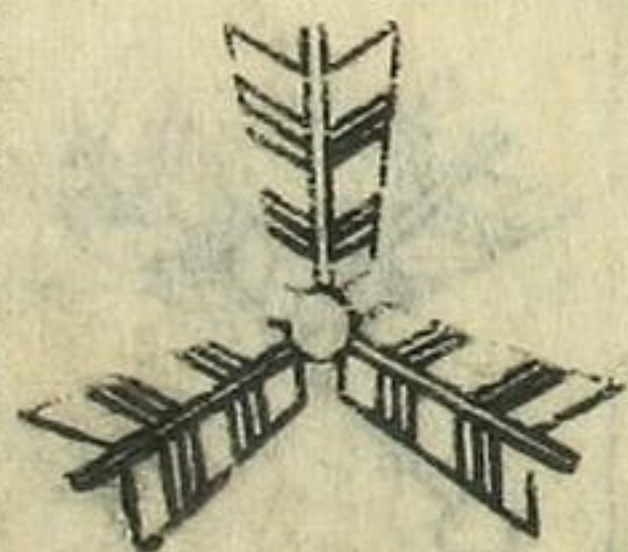
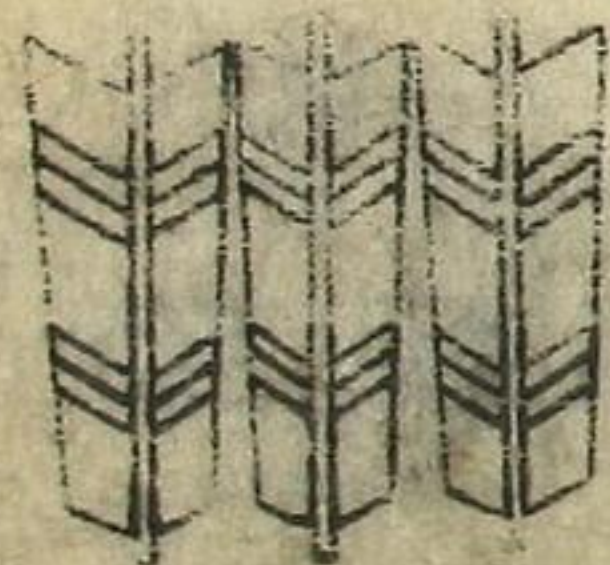
矢ハ 矢ハ 矢ハ 矢ハ



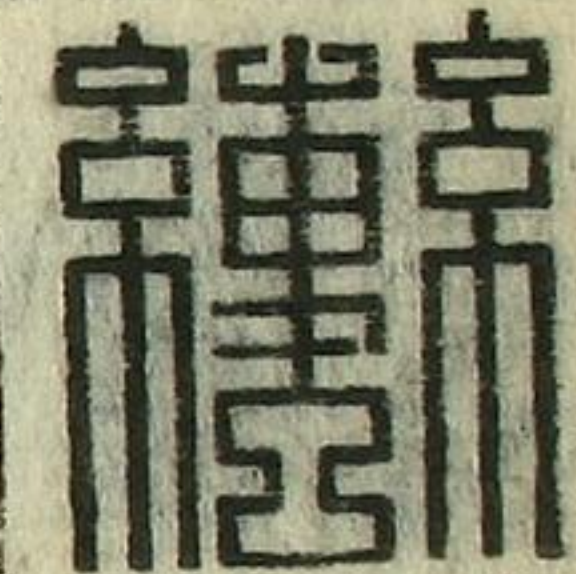
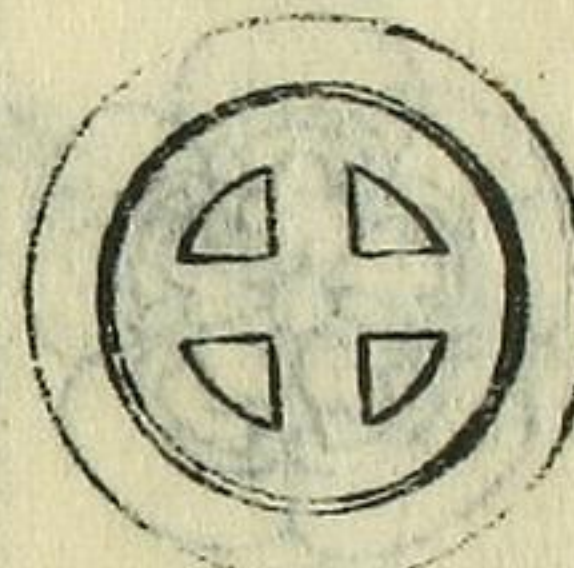
矢ハ 矢ハ 矢ハ 矢ハ

矢ハ 矢ハ

字篆



矢ハ 矢ハ 矢ハ 矢ハ

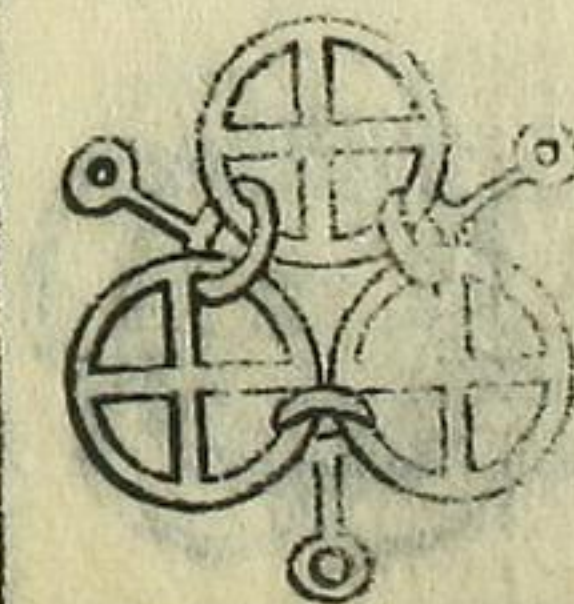
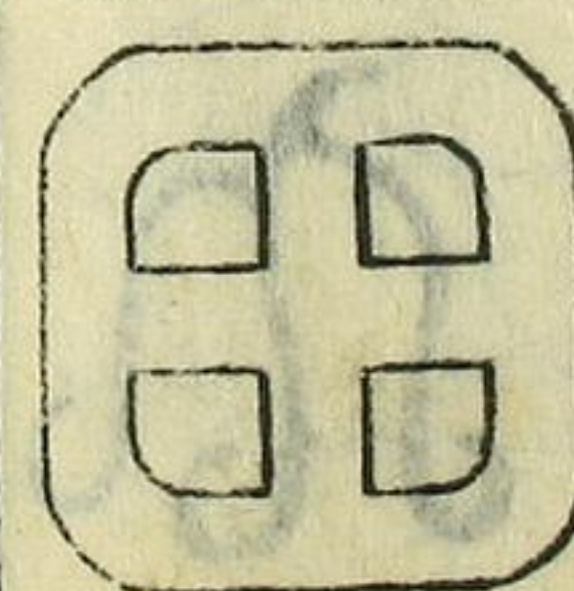


矢ハ 矢ハ

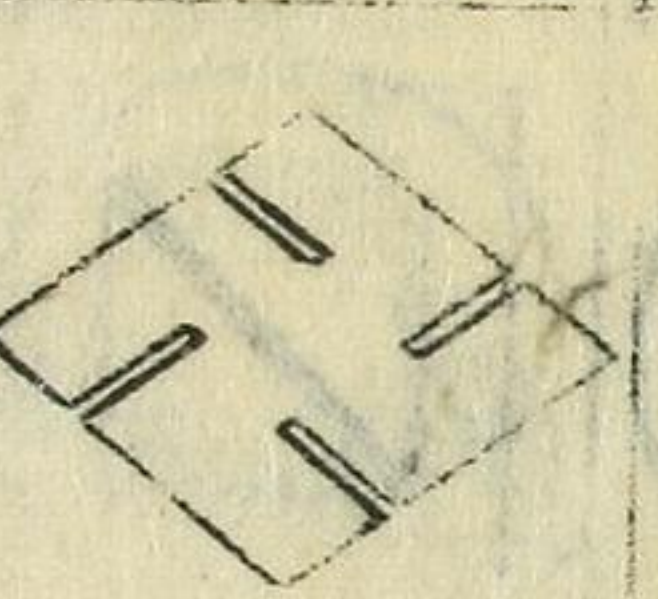
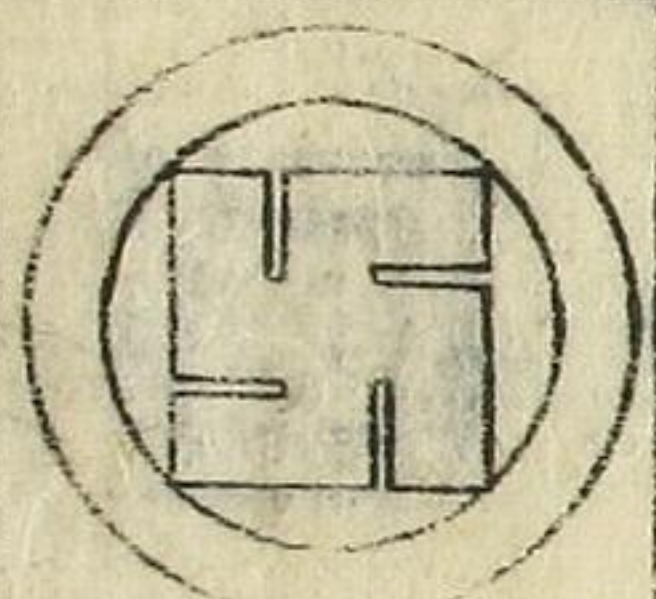
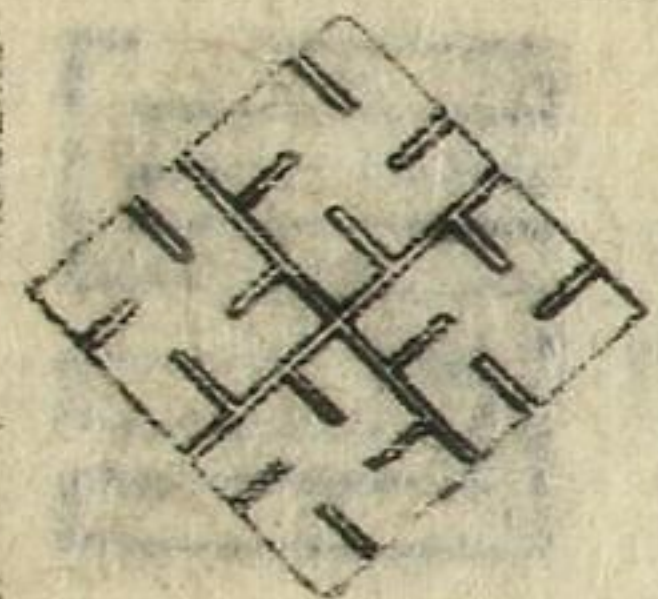
矢ハ 矢ハ

矢ハ 矢ハ

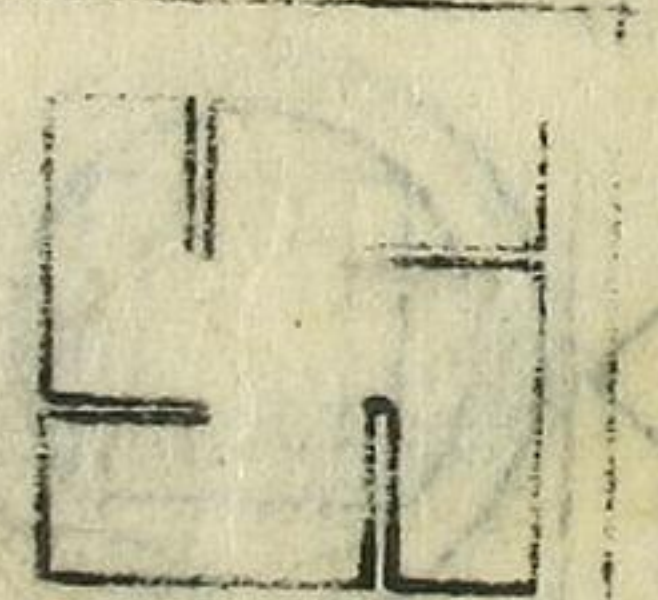
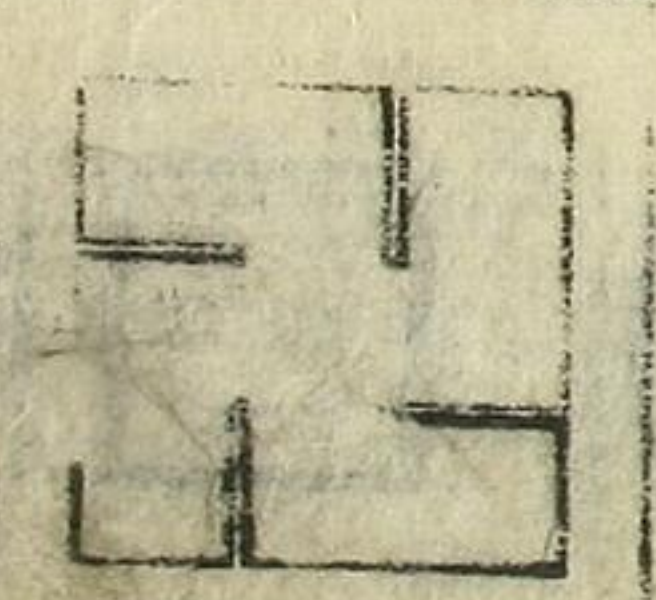
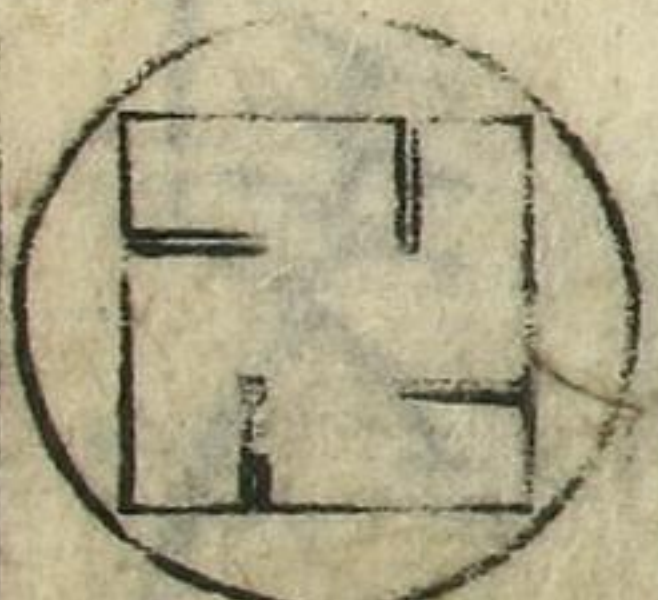
字篆



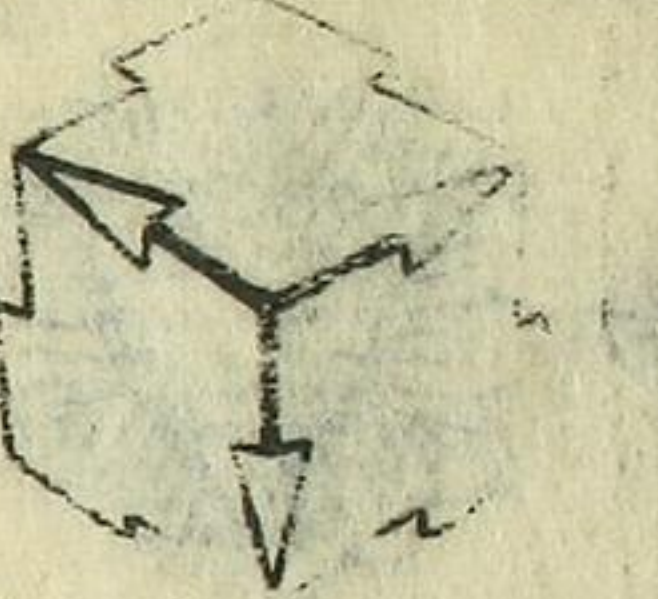
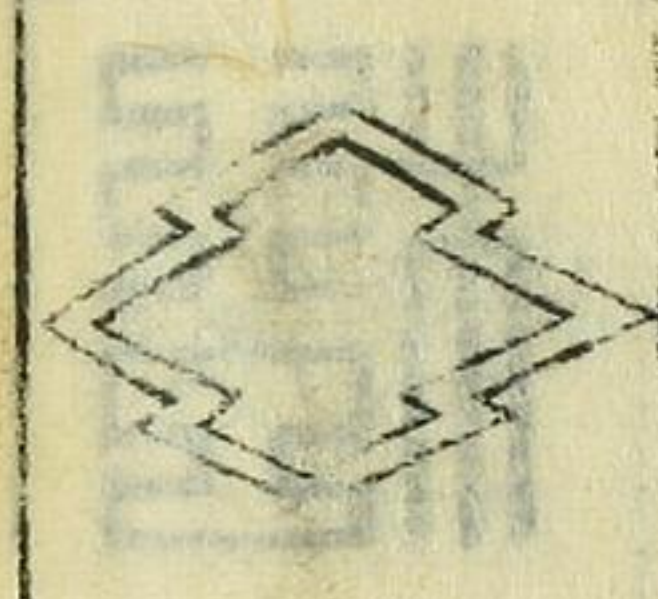
しんまつり じんまはり じんまはり 字 萬



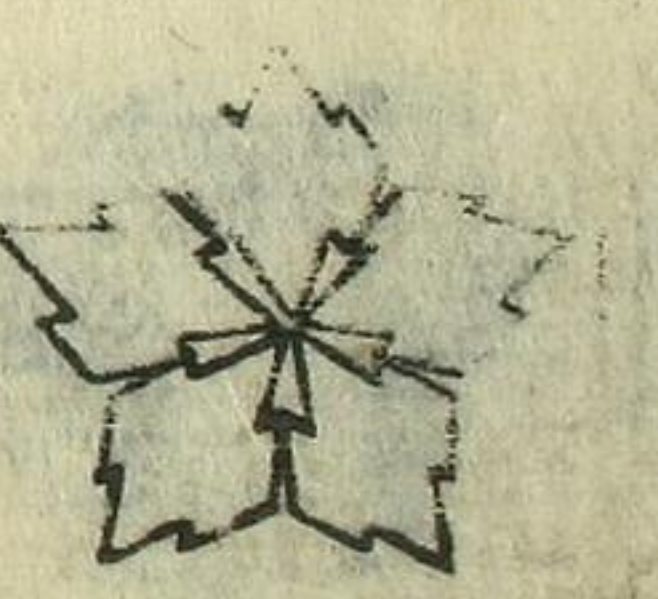
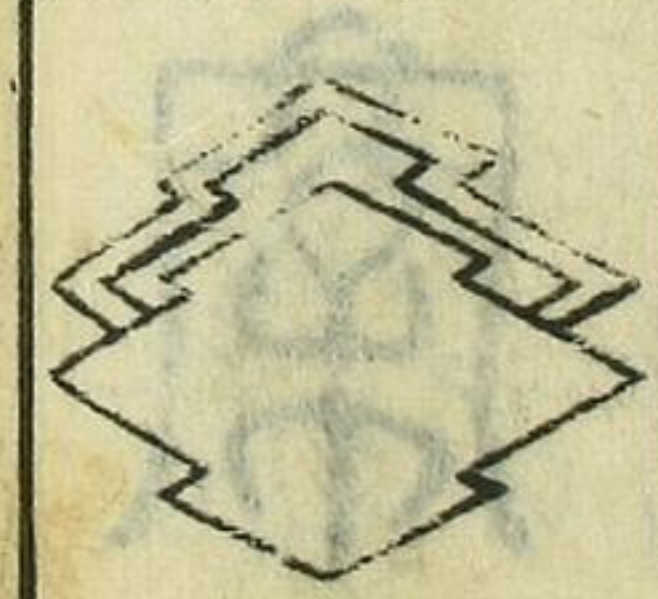
しんまつり じんまはり じんまはり 字 萬



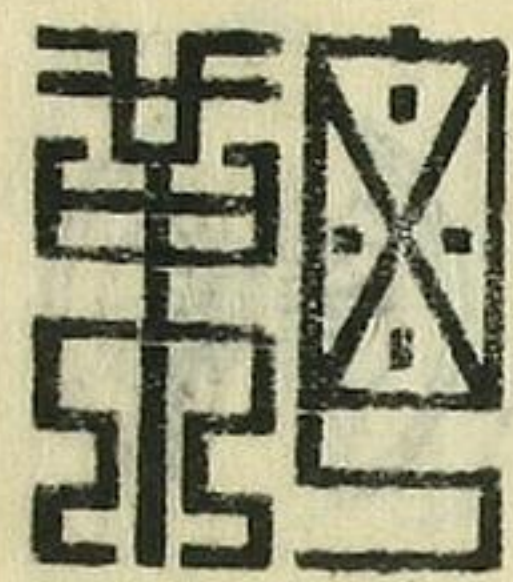
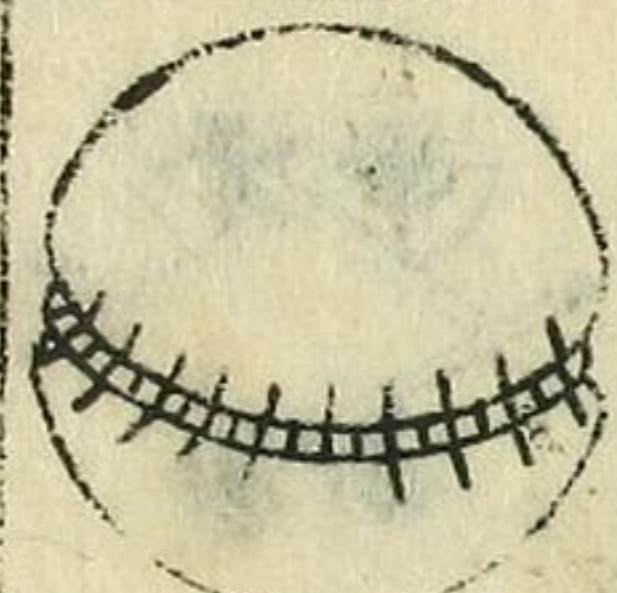
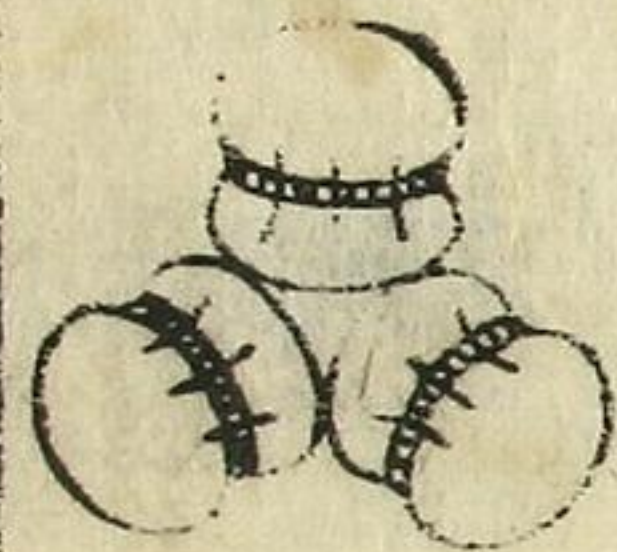
しんまつり じんまはり じんまはり 字 萬



しんまつり じんまはり じんまはり 字 萬



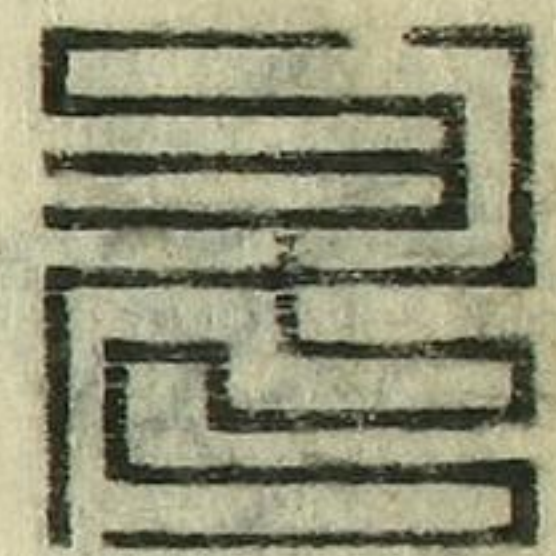
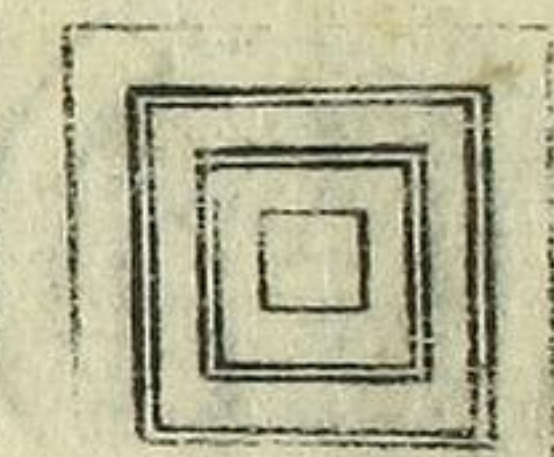
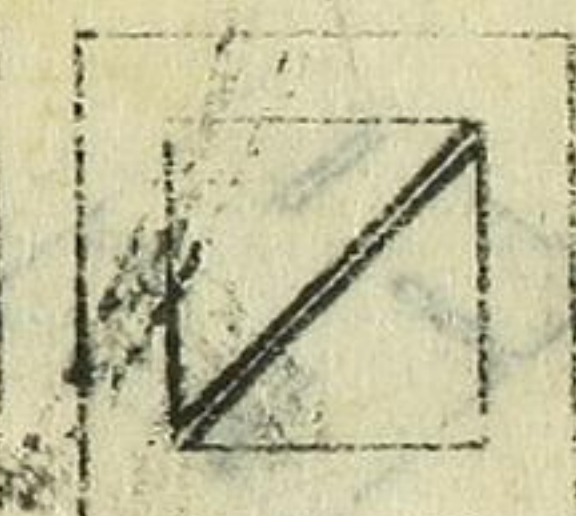
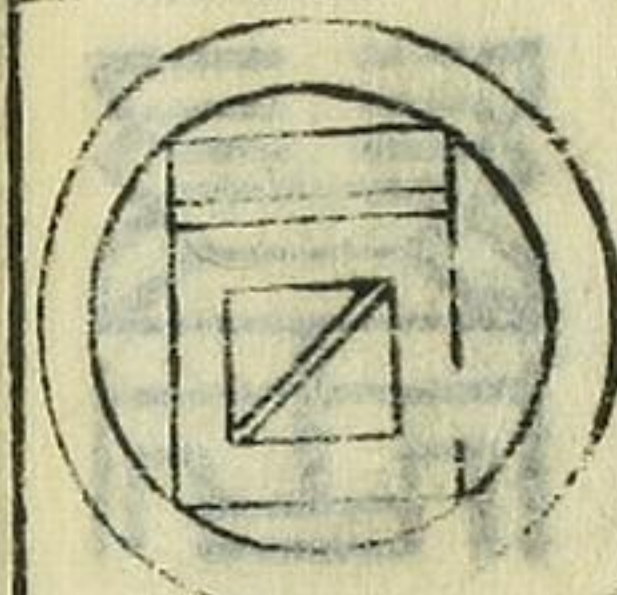
とさしつる丸 せま表之 せま 輪



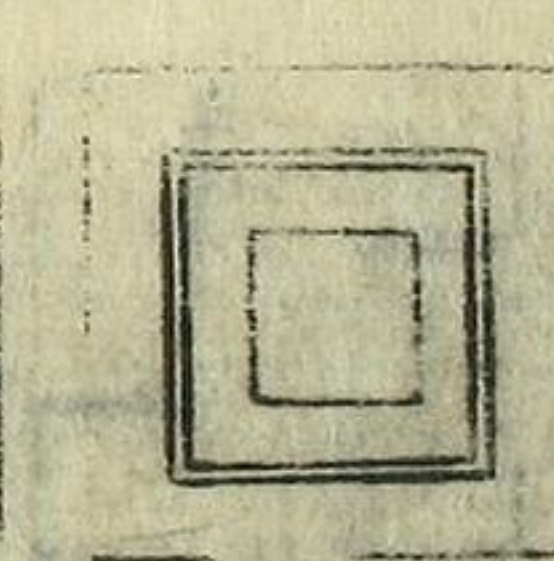
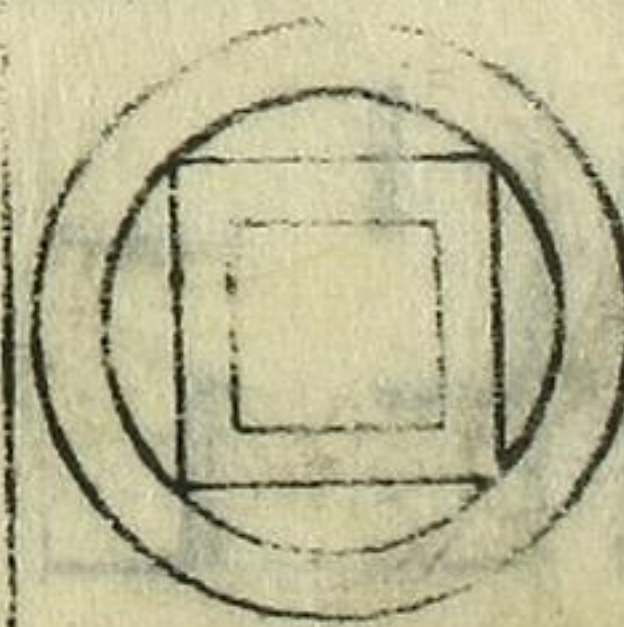
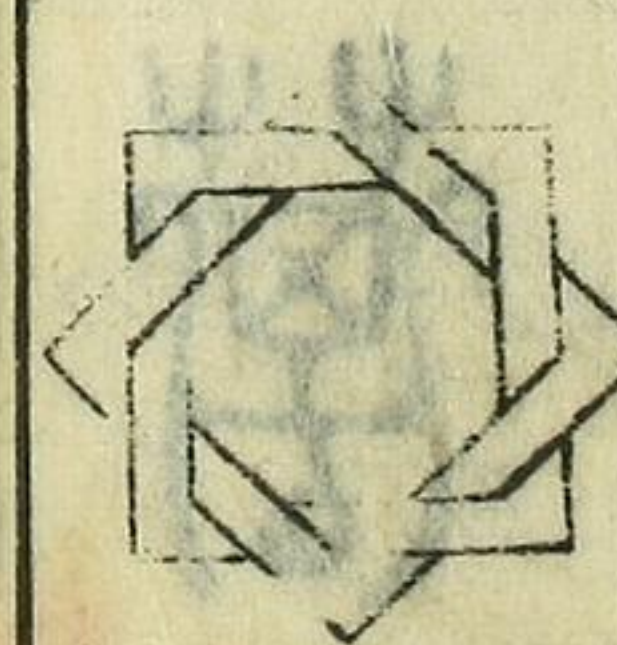
とさしつる丸 せまつ之丸 せまのちか 字篆



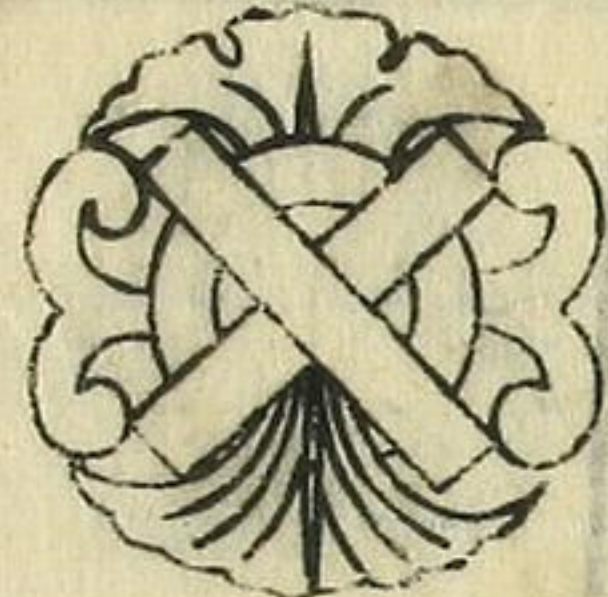
ゆかると丸 せまゆらつ せまみ 篆



せまゆらつか せまよ丸 せまこ色い 篆



守
守
守



守

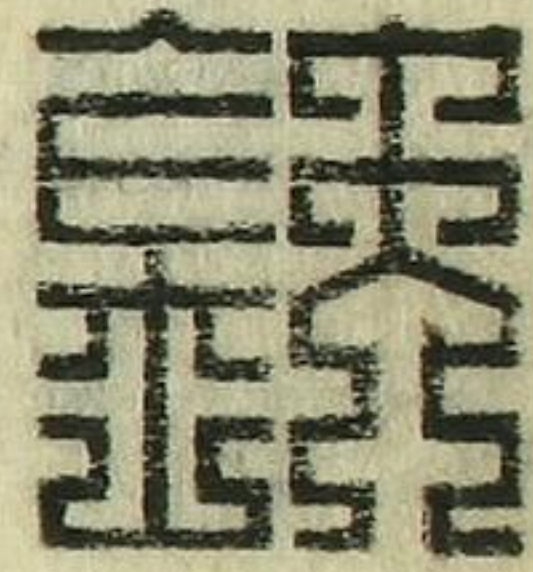
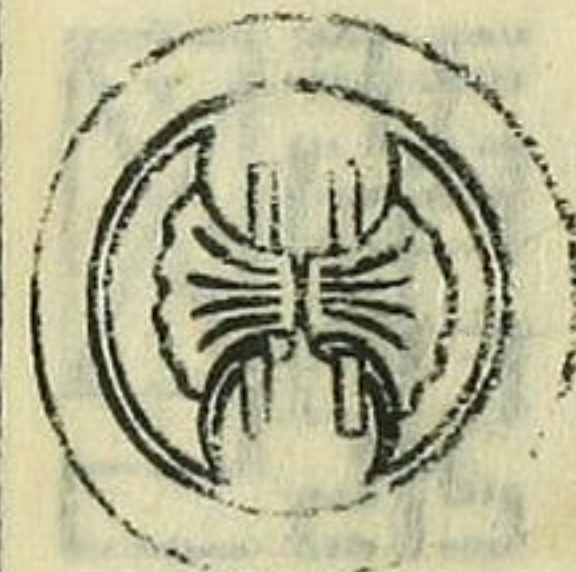
守

守

字篆



鉄
鉄
鉄

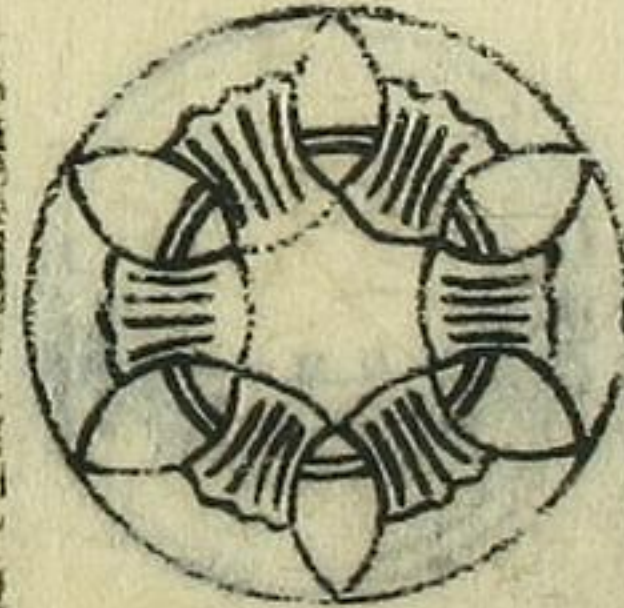


鉄

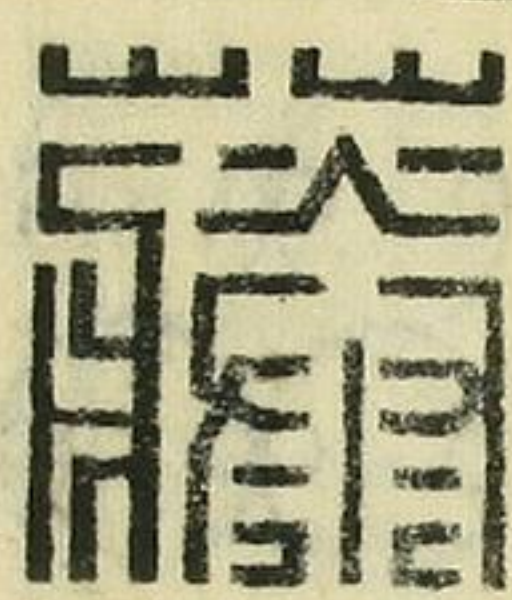
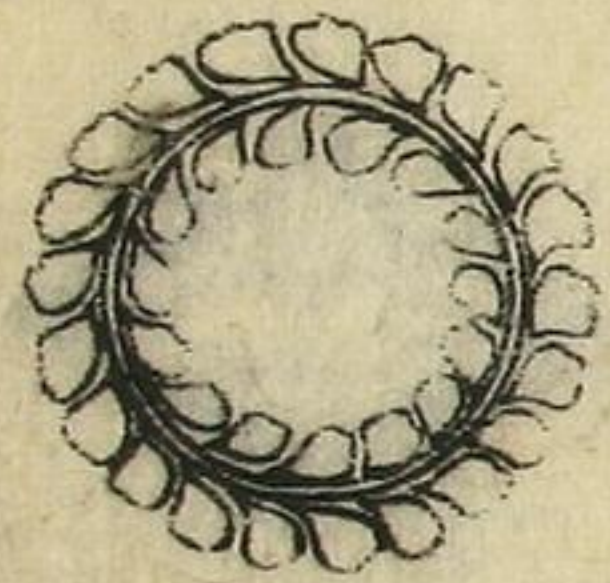
鉄

鉄

字篆



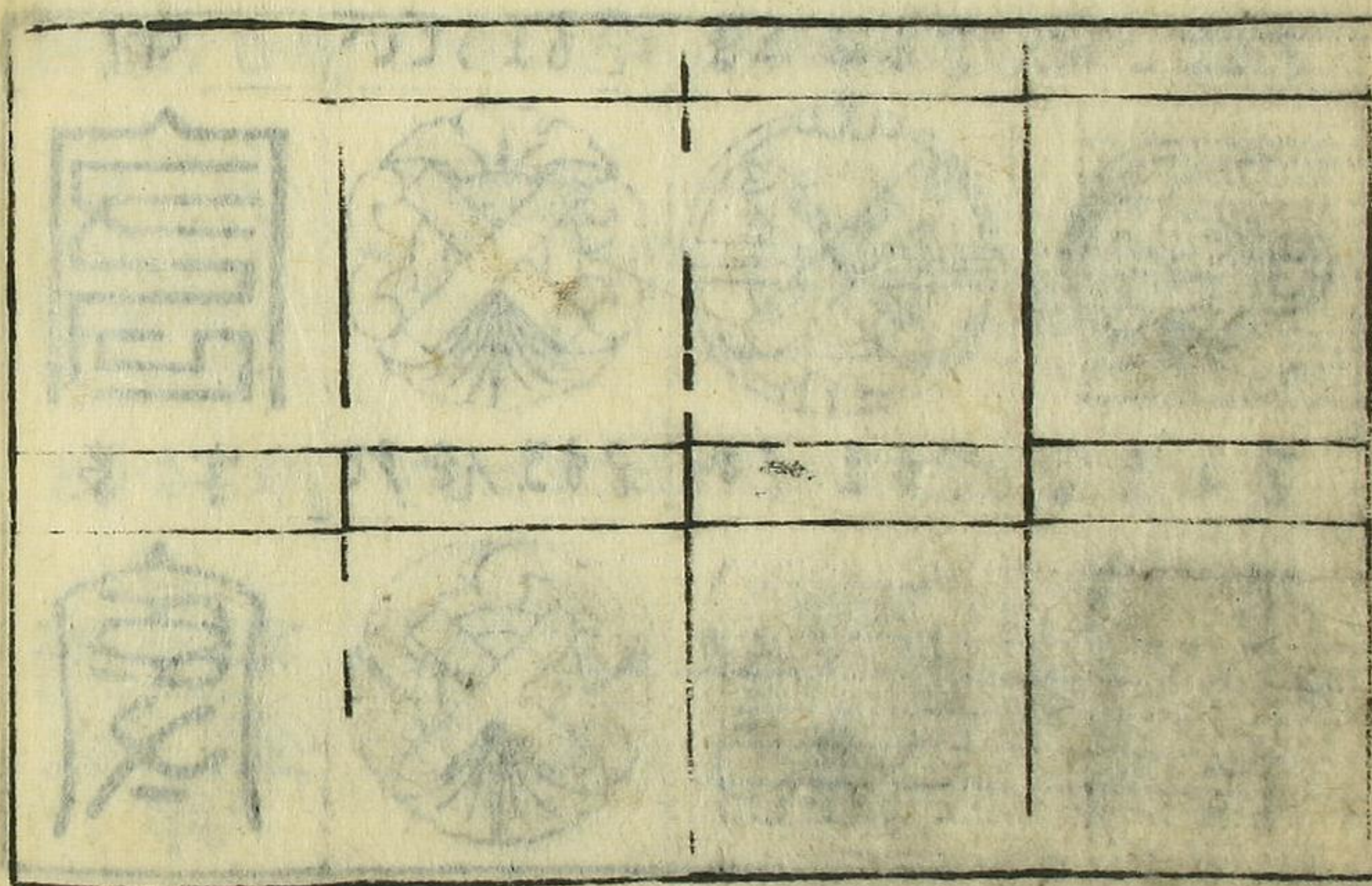
こがふ かのちふりつ ちふつえ 藤



ちふりつ ちふりかさ えちちらふ



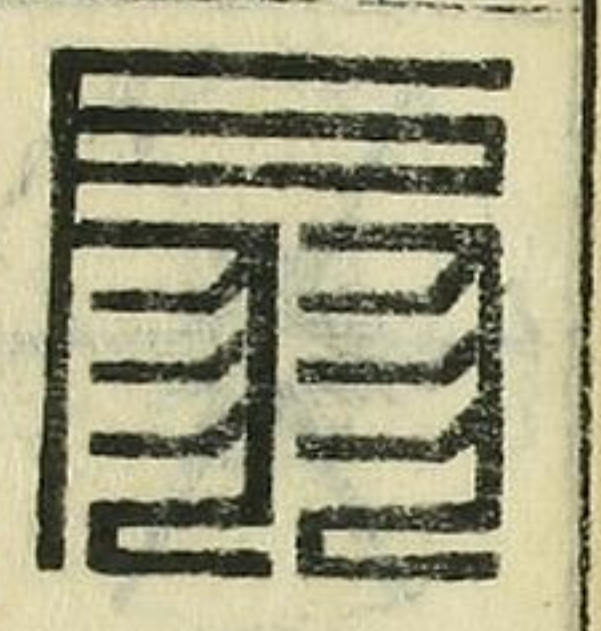
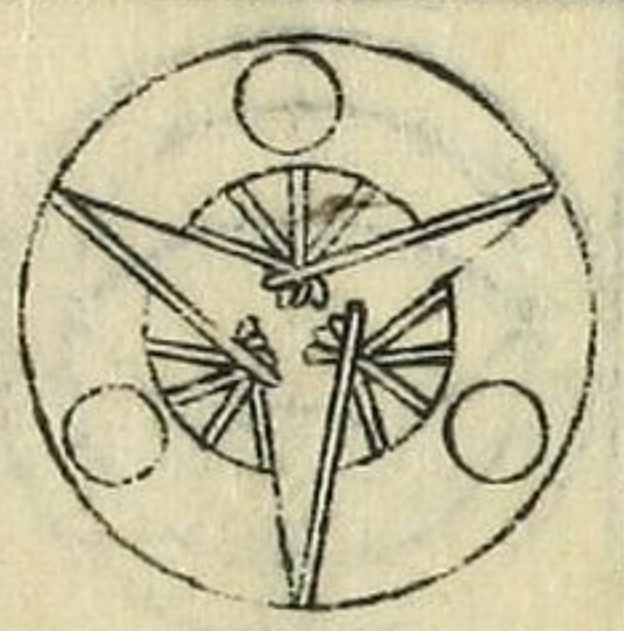
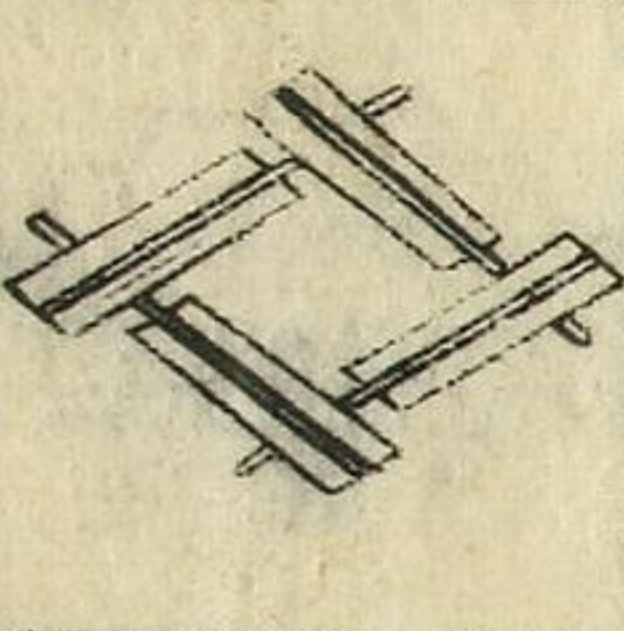
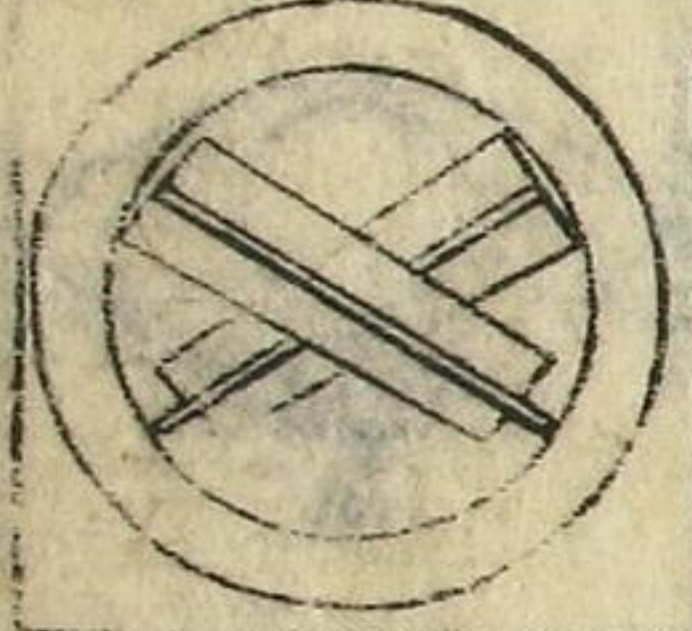
字篆



くどつろ	徳五	ちとこひつち	柱
くどつろ	字篆	ちとこひつち	字篆

うとんふ	うとんふ	銅分	しひぢふ
うとんふ	うとんふ	字篆	えとちふ

扇ひがら丸 井扇 扇丸日三 扇

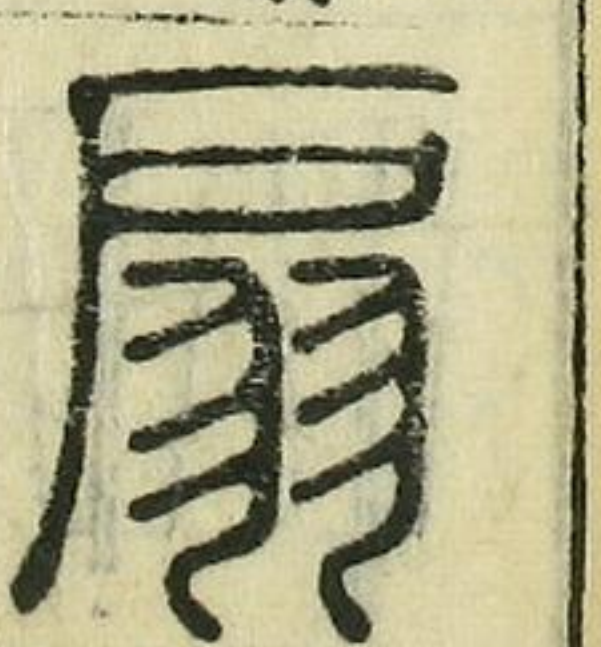


ぎふあね下やふ

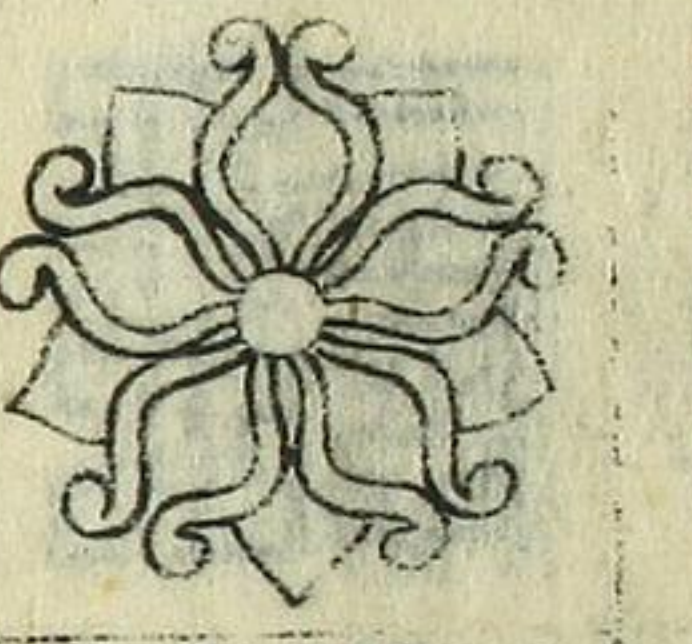
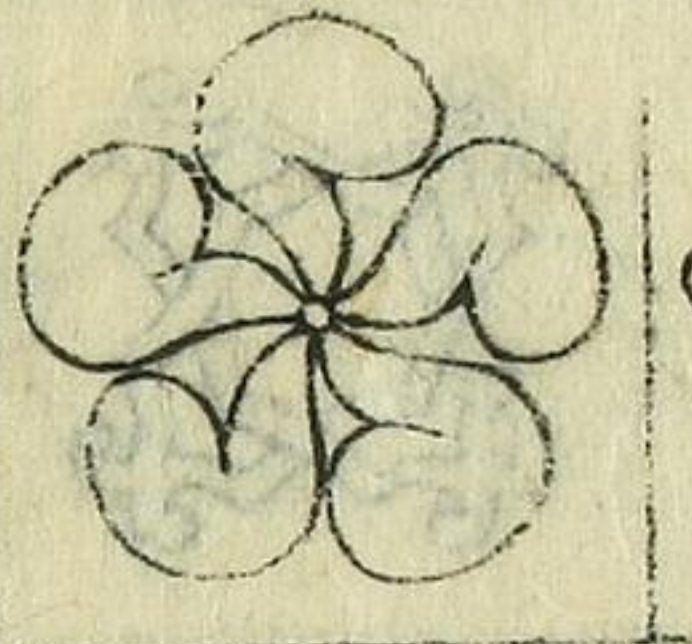
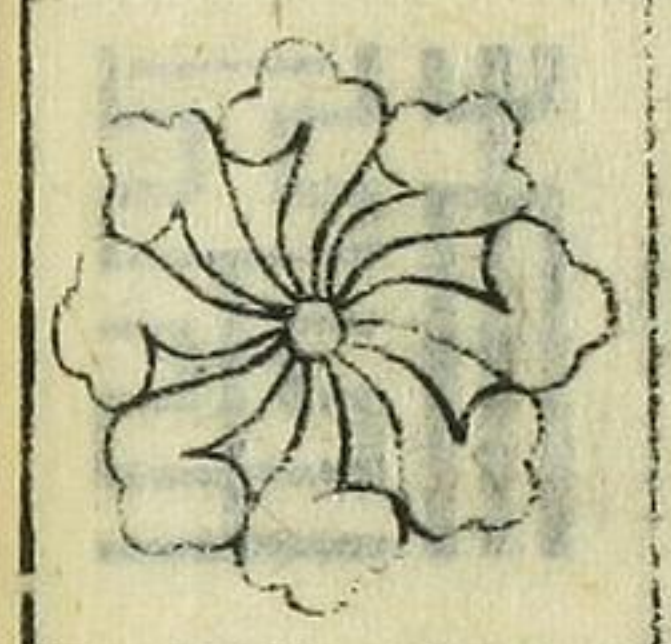
扇の扇三

扇ね下やふ丸

扇



他つてみ分 他つて居うか 他つてるつ 線鉄

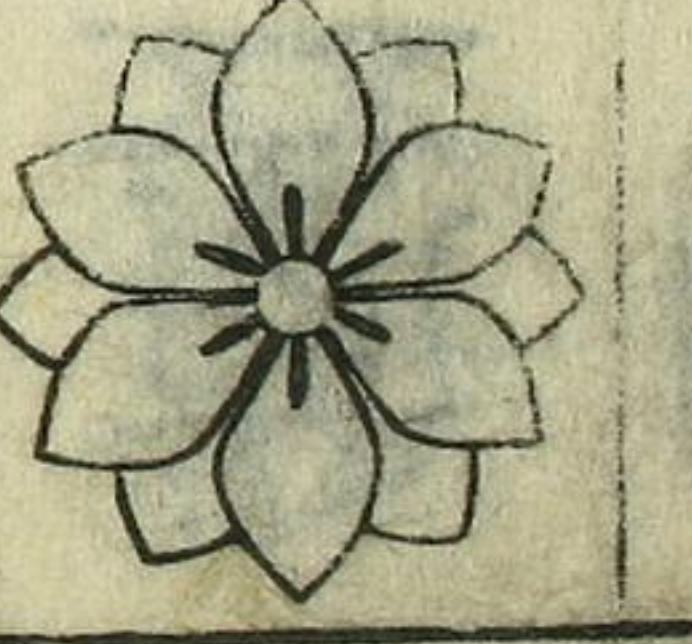
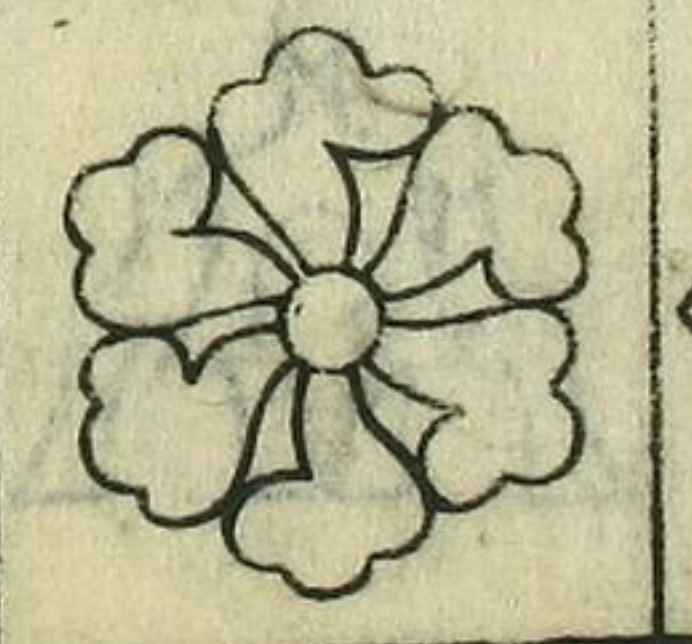
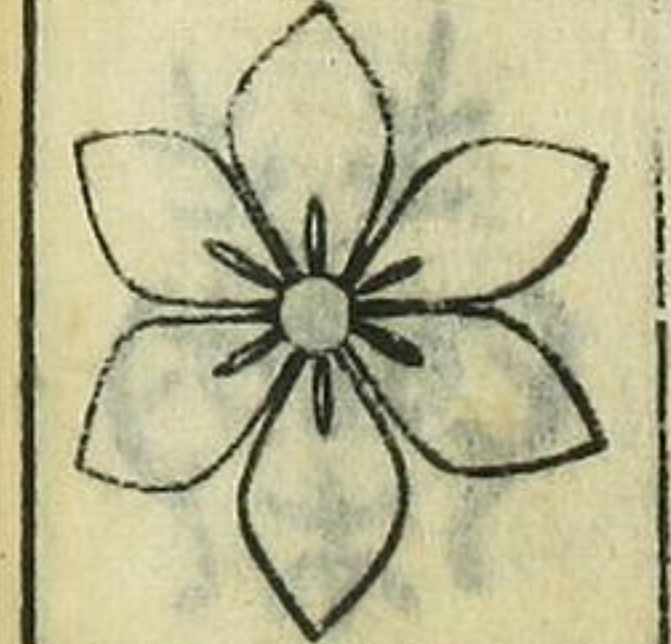


他つてへと心

他つてつ去

他つて居さか

字篆



五十二

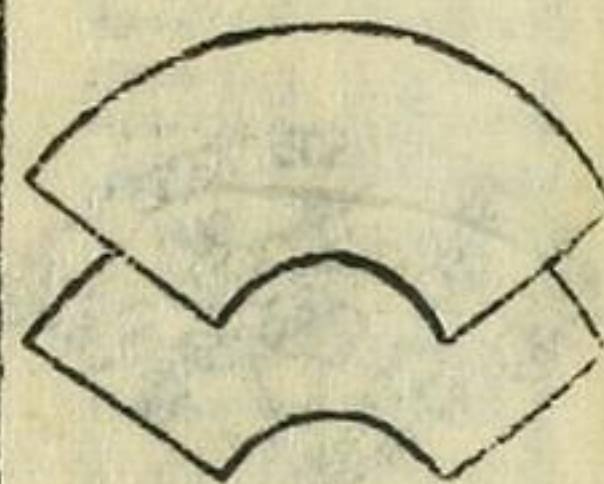
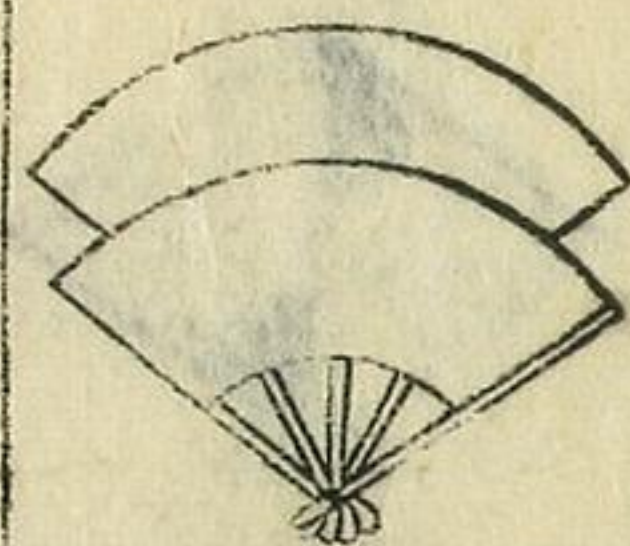
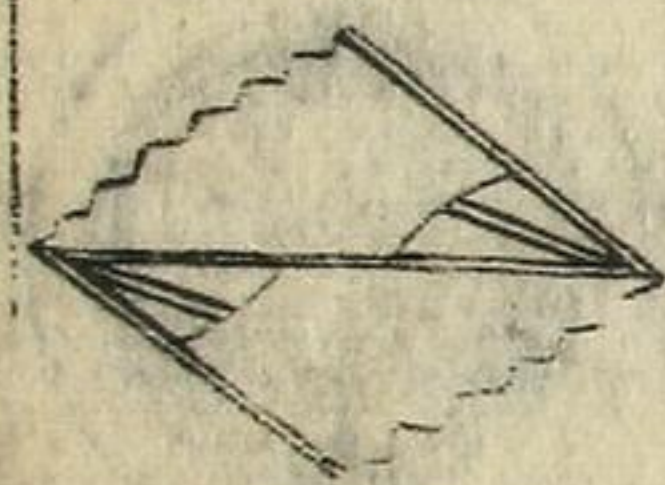
五十二

あしひ

きふらひ

きふあそ

紙地ね巻

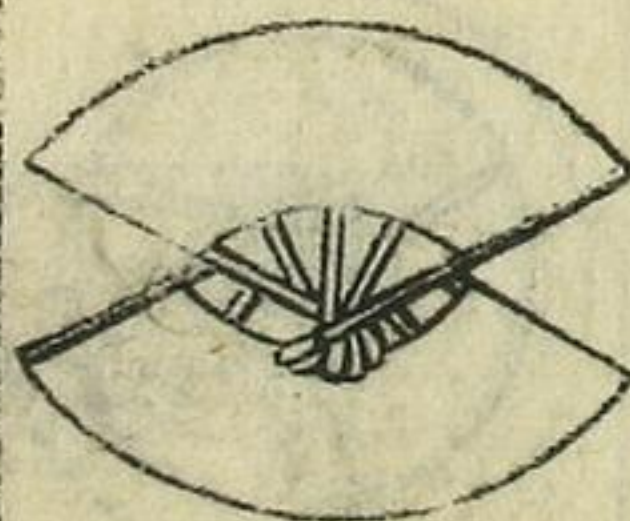
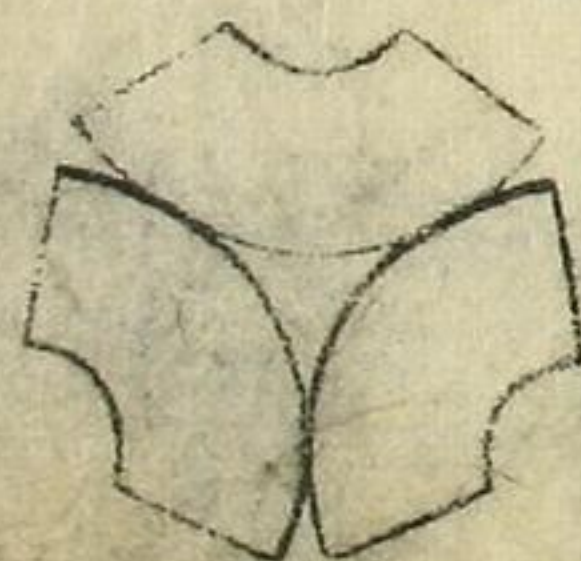


丸あしひ

丸のき地あそ

おふあそ

もがぢり

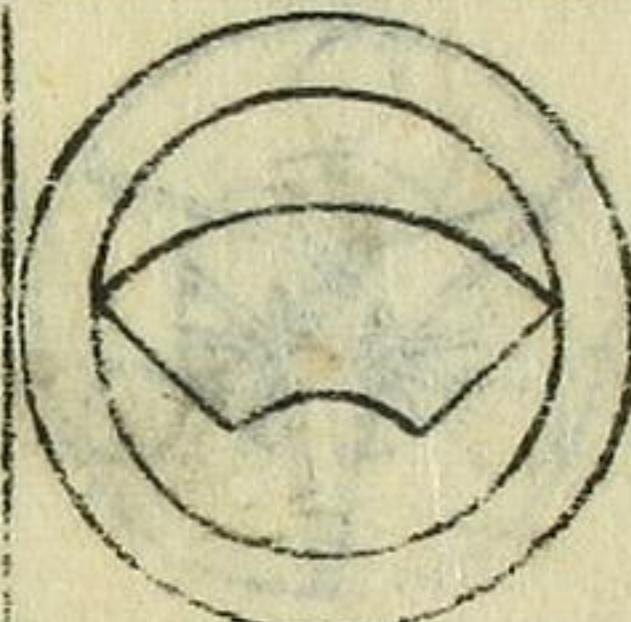
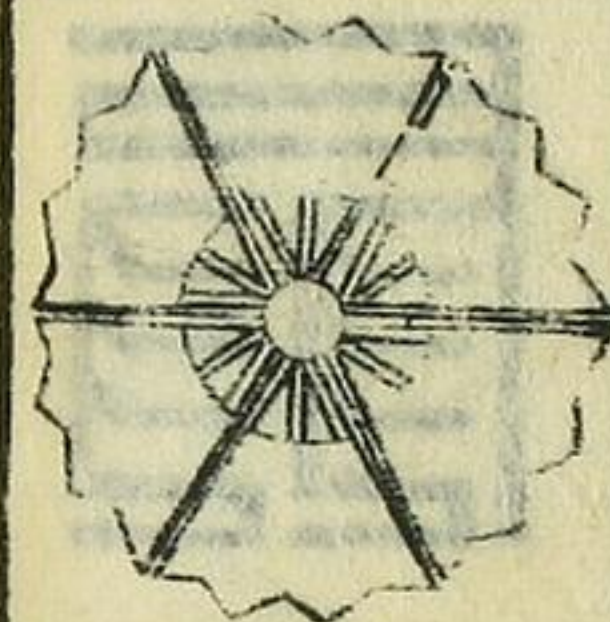


丸あそ骨

紙地丸

きふあそ

丸あそ丸のあ

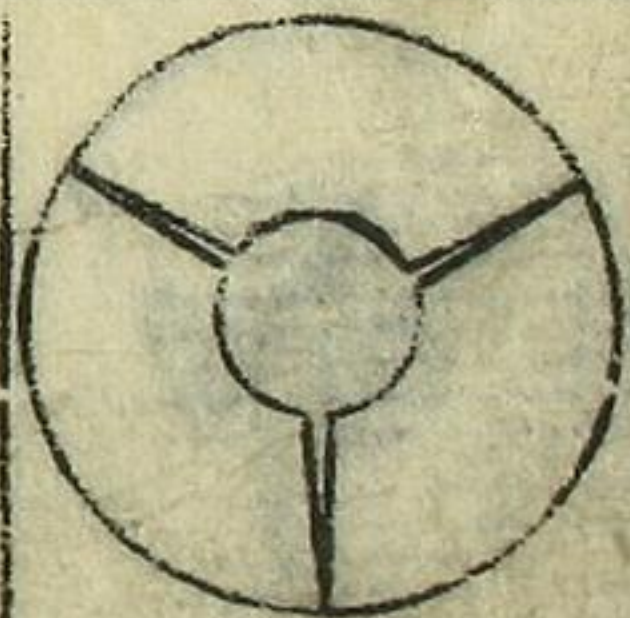
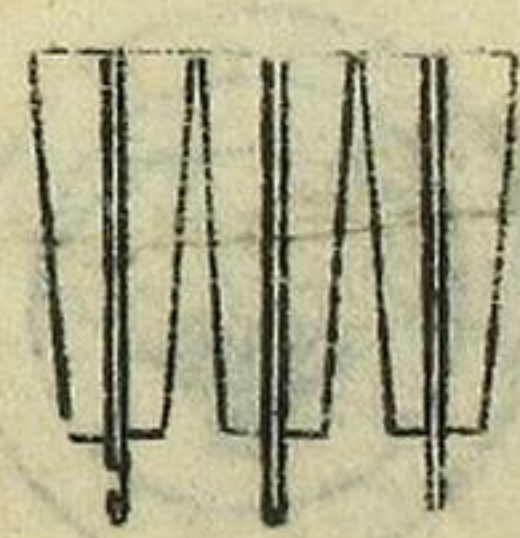
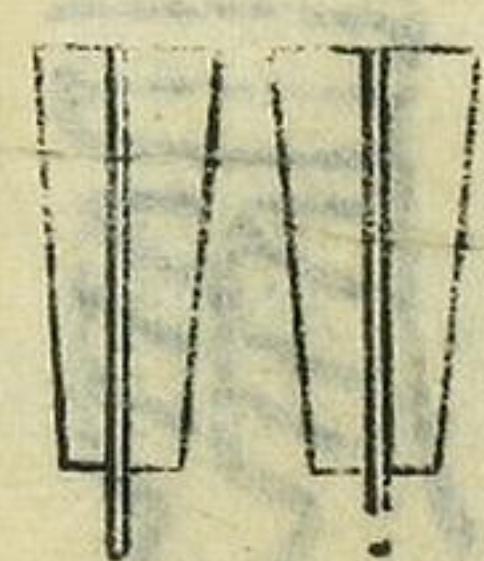


丸あそ丸

丸あそ丸

丸あそ丸

丸あそ丸

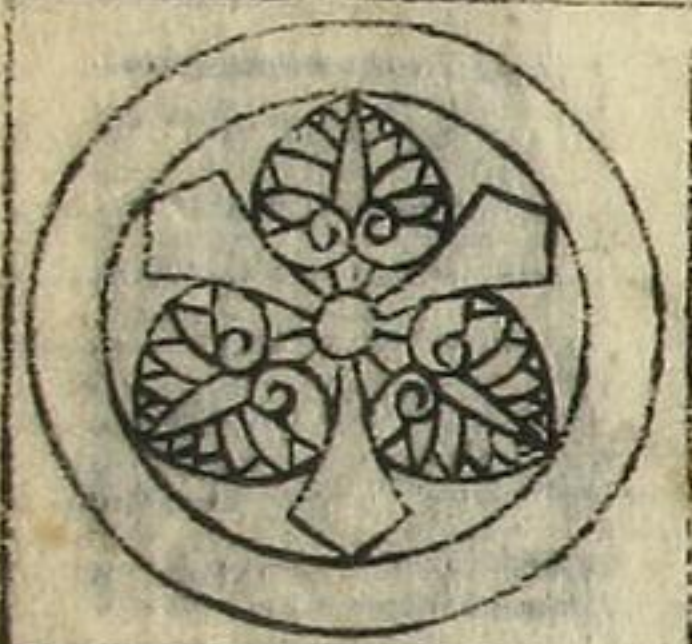


ひわの三つ葉丸

ひわの三つ葉

ひわのちさ

葵あひ

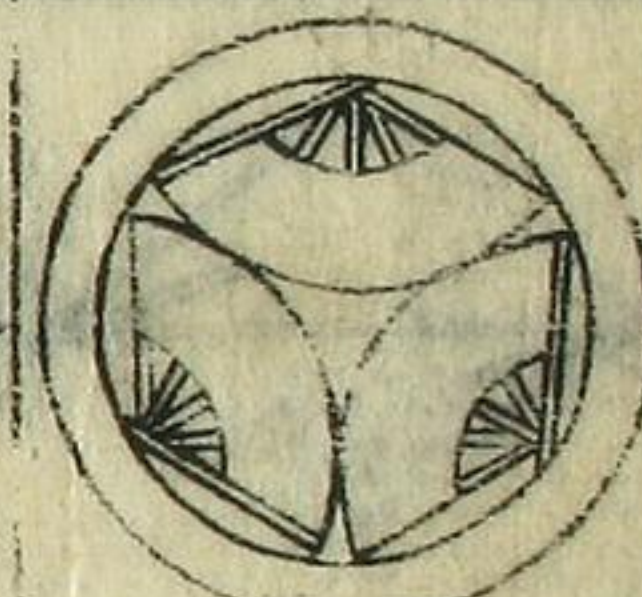
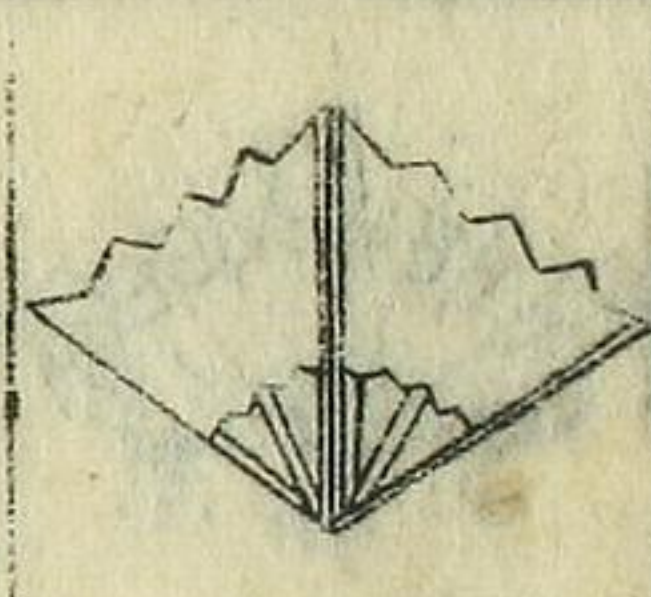
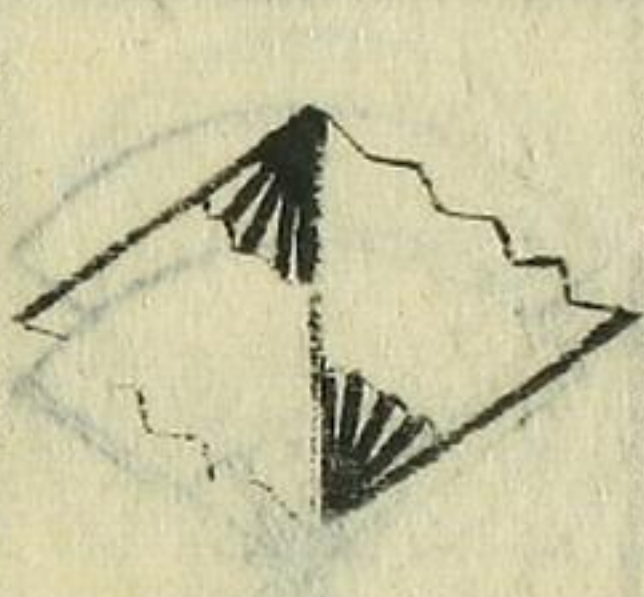


ぎふのむす

しびの遠

美の五

三九



むすのつ

ひわのう丸

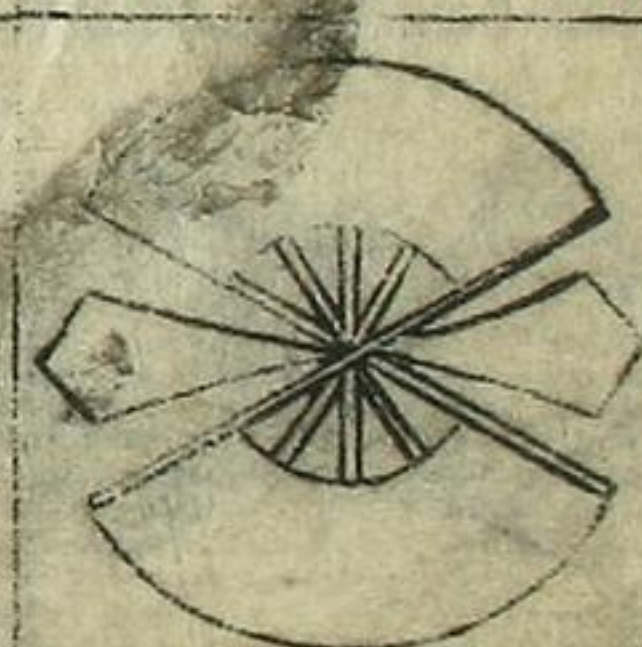
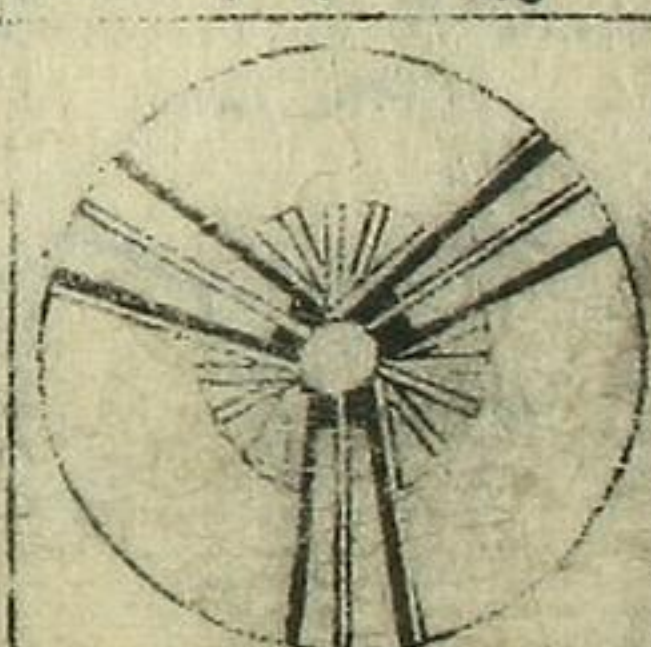
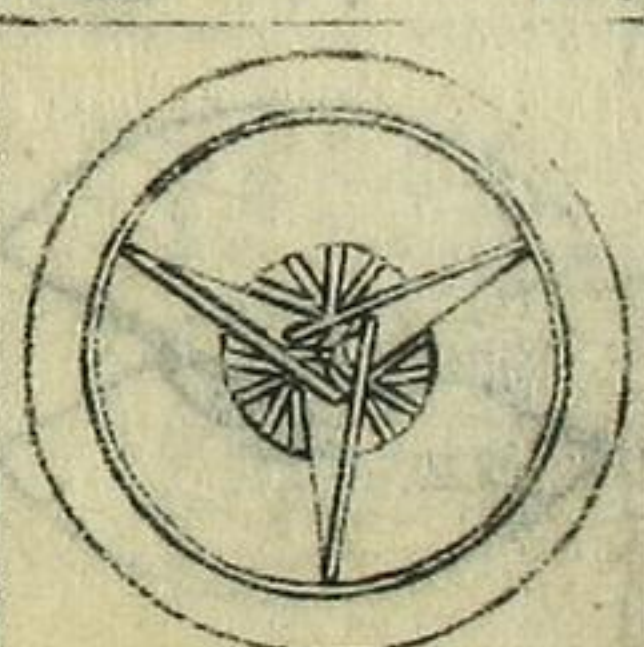
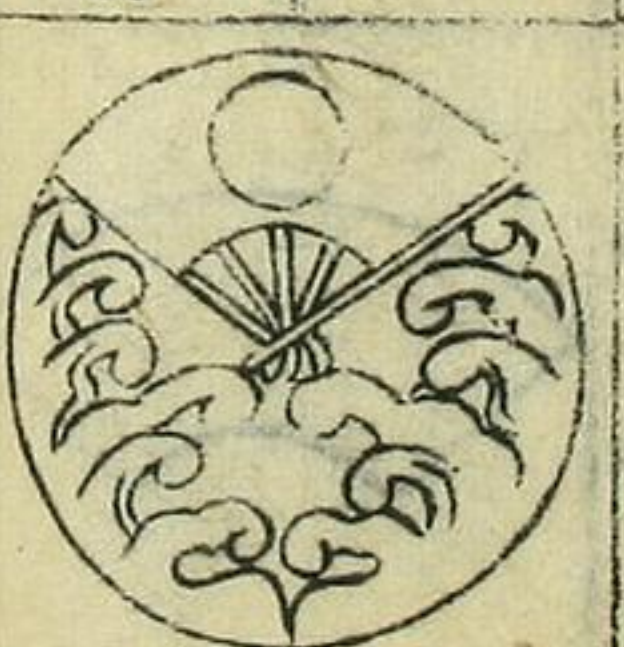
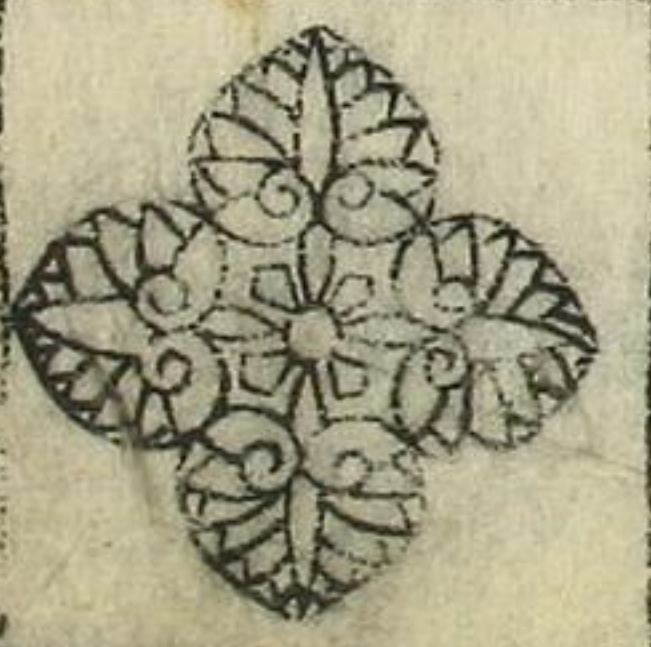
字 篆

扇市あふ

三九

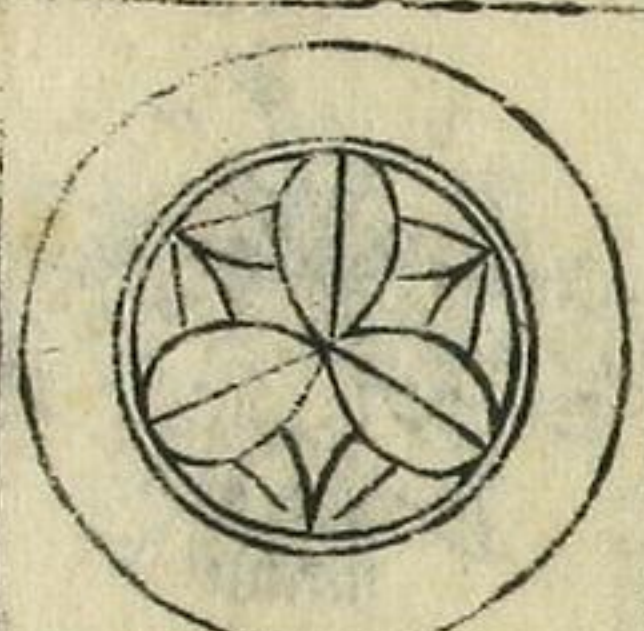
扇市あふ

三九



51P

さいむ丸 | めのき丸 | めのさ丸



篠



めのは竹 | めいさ竹 | めのは



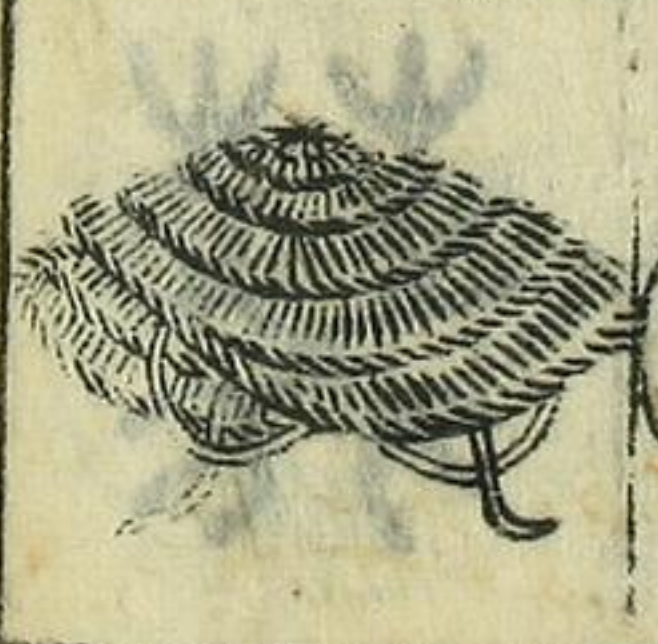
字篆



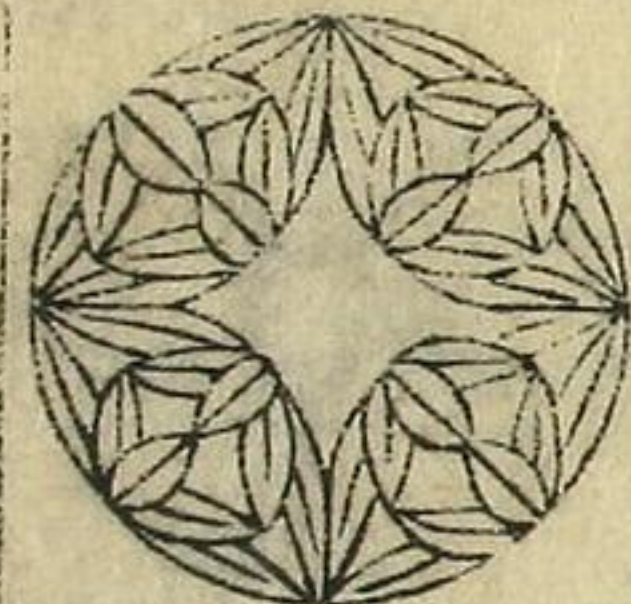
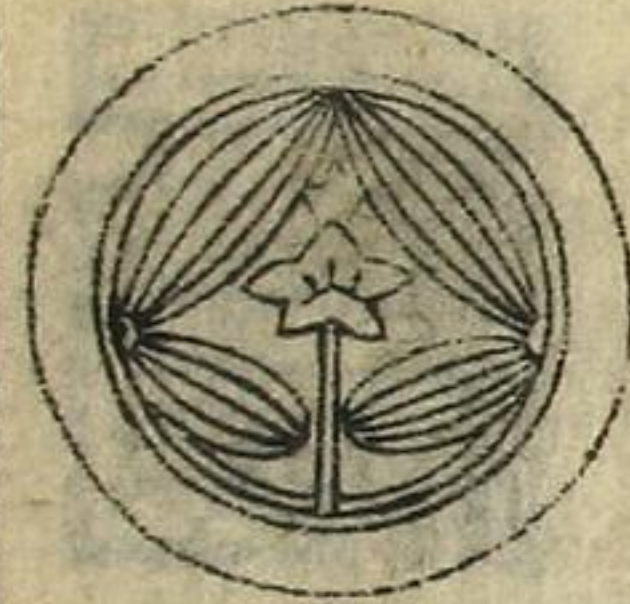
貝ひら | 龍ま角丸 | 角の龍ま | 龍雨



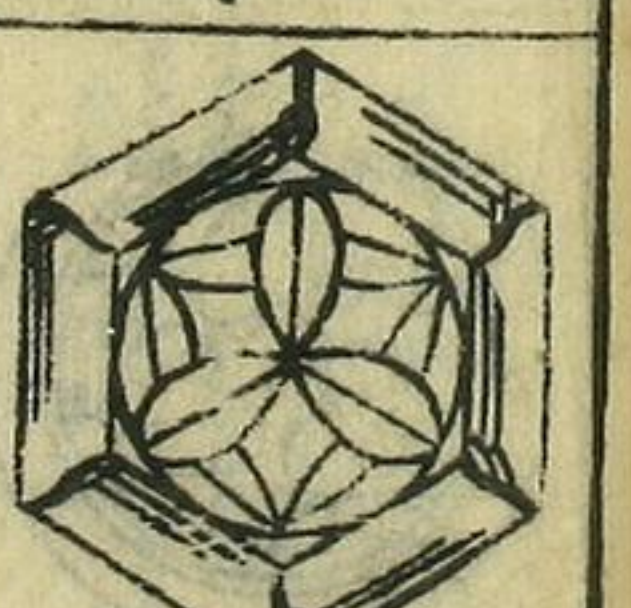
龍ま | 龍ま角 | 龍ましひ | 字篆



さくしを如 如れきんせふ さひまの きいまみ竹ちさ



さき如 さふむしむ さいむき 如のきにくか



如のきいまえ されゆ さきに如 うせにさいまえ



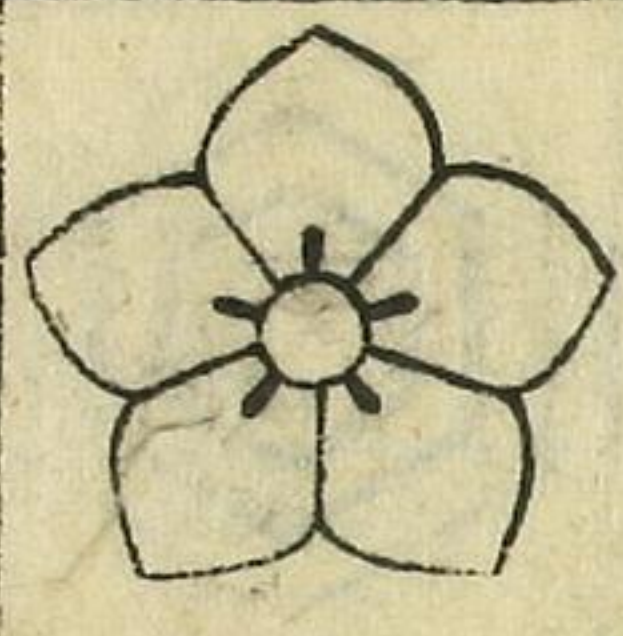
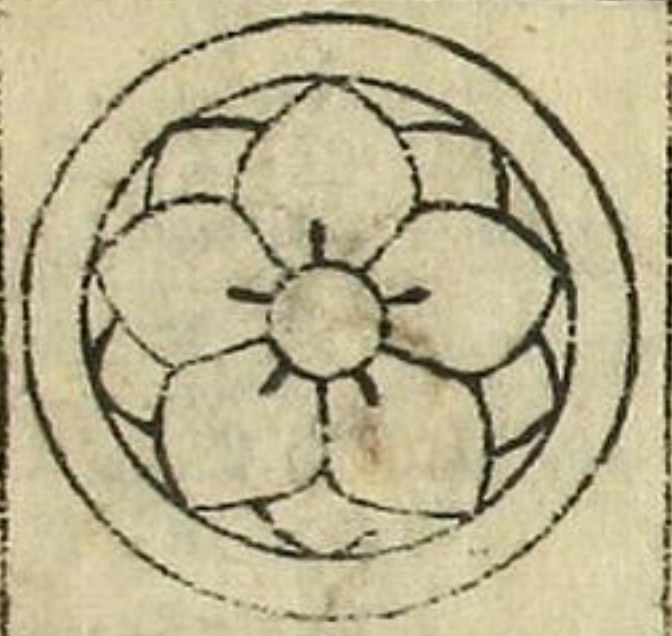
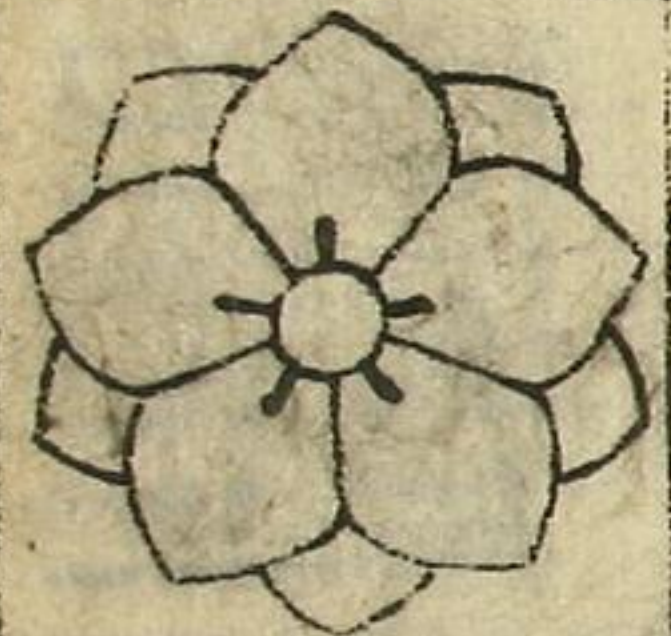
うせんきさ さく如 さほく うせんきさ



つき つか	つき つか の えみ	桐 の えみ	桐
つき ろは	つきの ろは	つきの ろは	字 篆

らく さ ろは	らく さ ろは	らく さ	櫻
らく さ ろは	らく さ ろは	らく さ	字 篆

やきれき八 やれき八丸 うやきれ 榎 楷

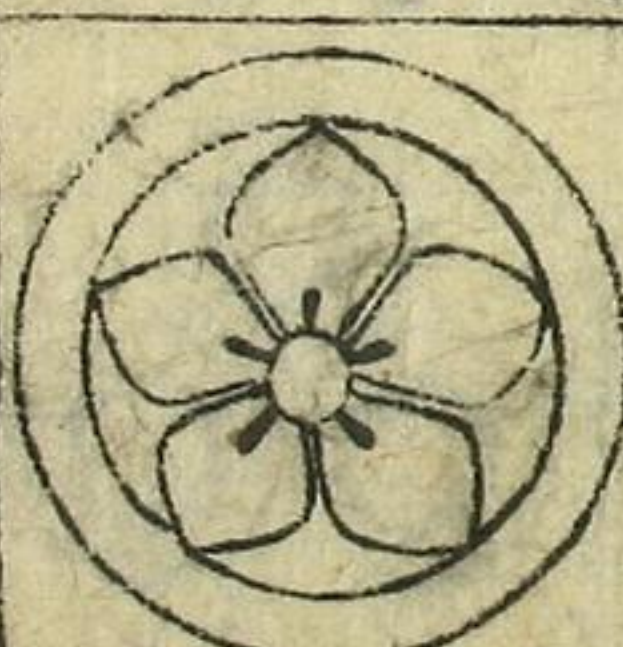


やきれき八

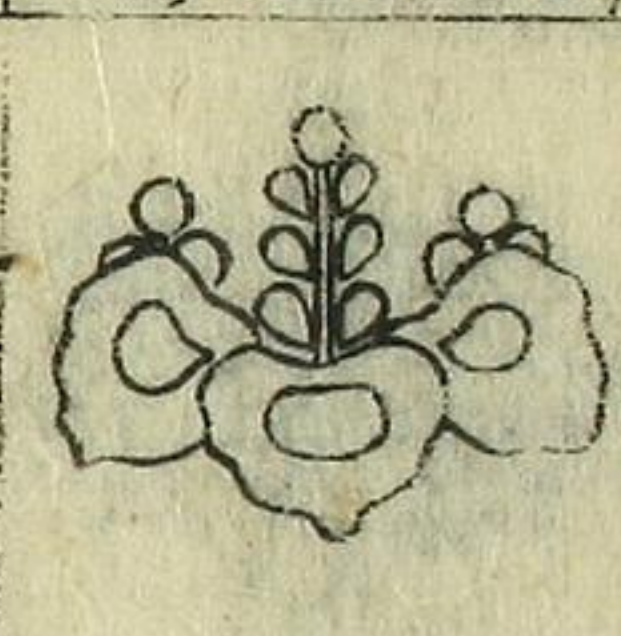
やれき八丸

うやきれ

字 篆



桐 之 三 巳 死 唐 桐 の 林 光 桐 之 三

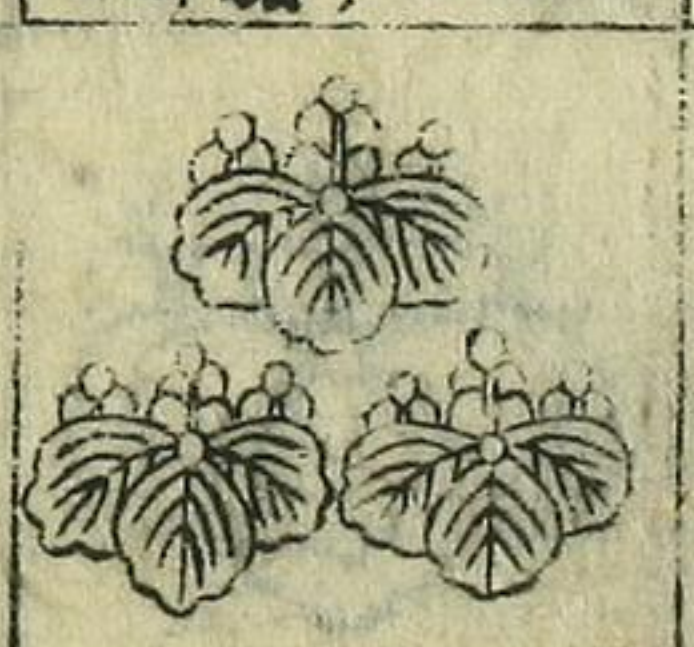


桐 唐

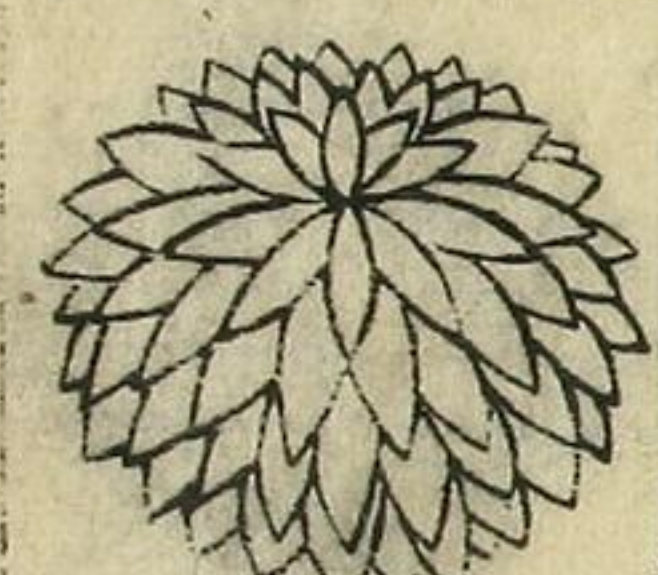
桐 之 三

巳 死 葵

桐 之 三



くねえり くさろふか くさねあき 菊



くねのせ

丸くさり

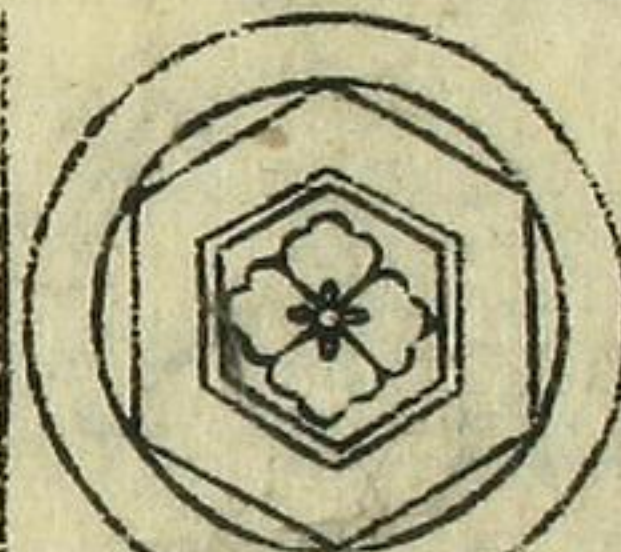
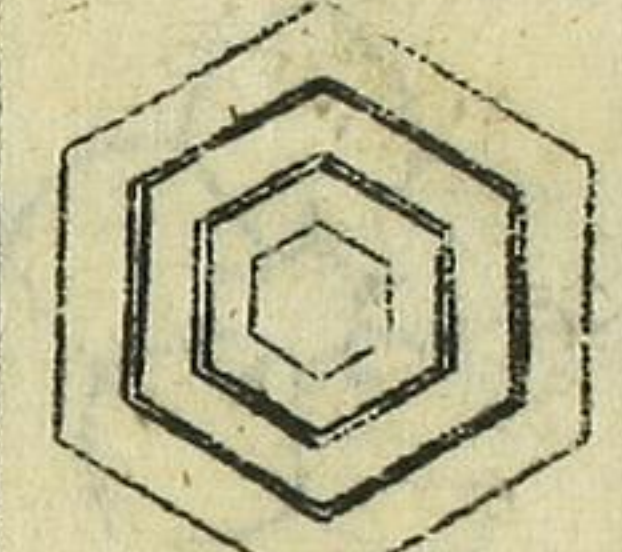
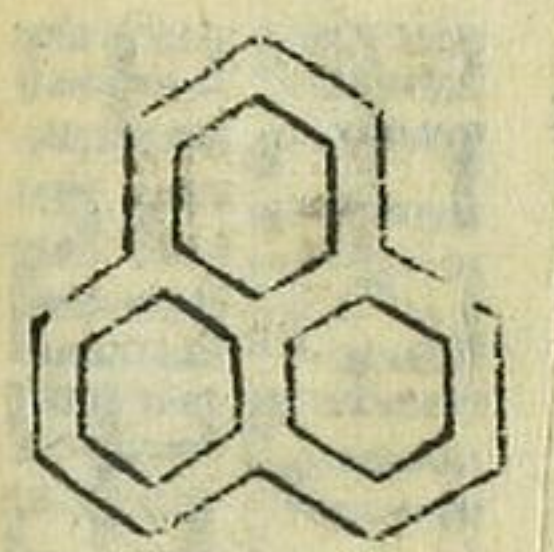
丸のくさ

字篆



五十二

うかつき 甲子入 甲龜に丸 甲龜

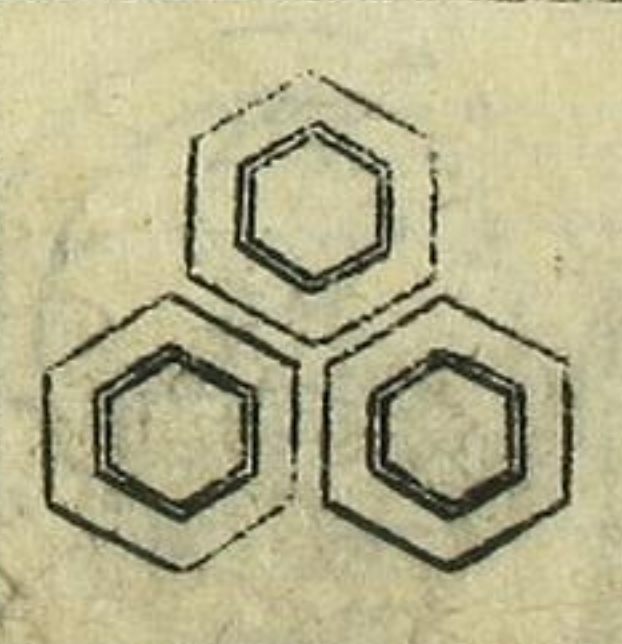
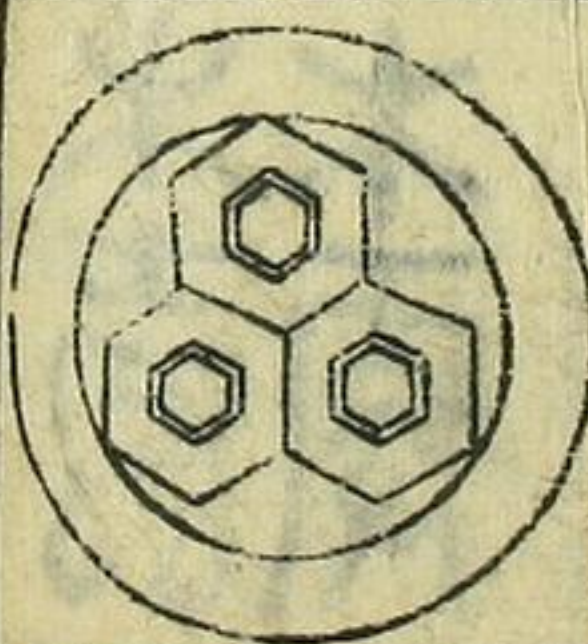


うかつきつ

甲龜表つみ

うかつき丸

字篆



うらめいさち 北のうらめち ぶらめたふ



荷の葉



うらめち ちさうらめ ちうらめ

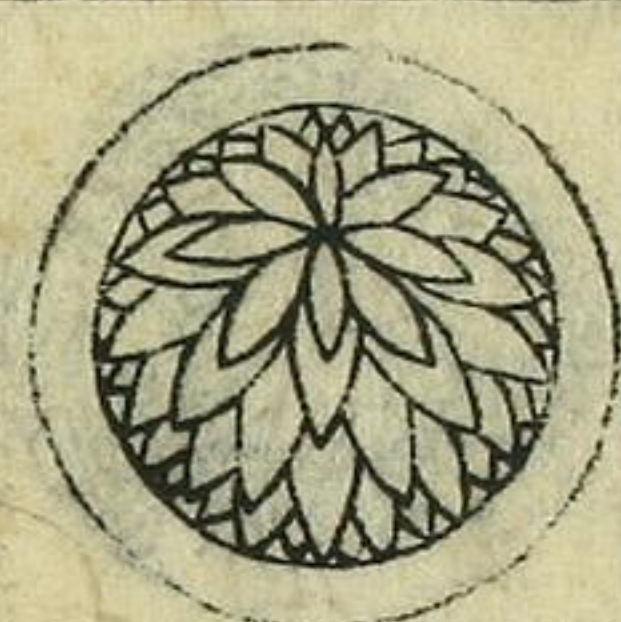


字篆

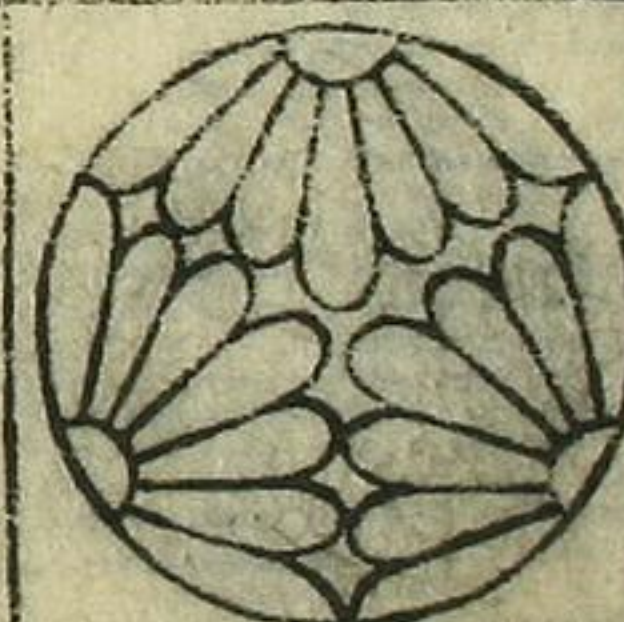
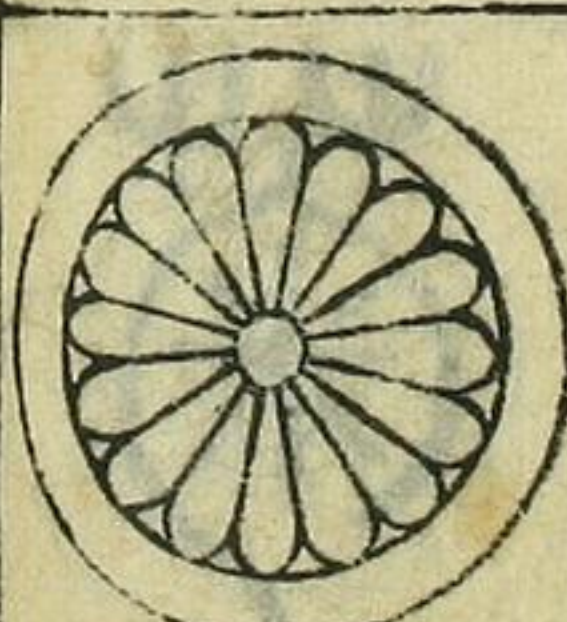


用行

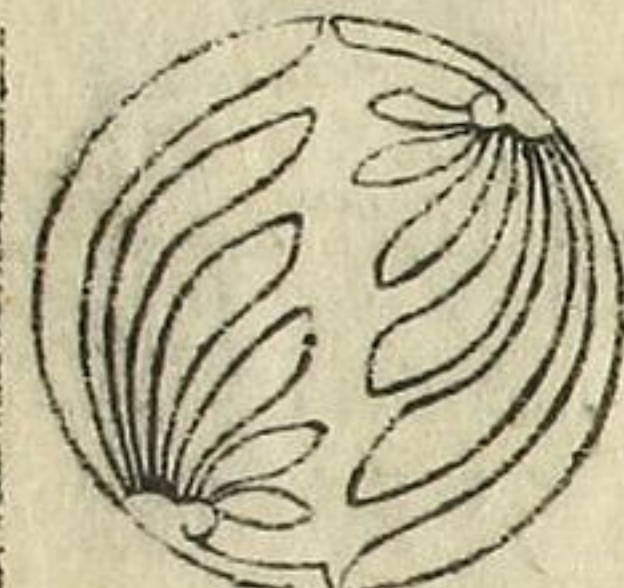
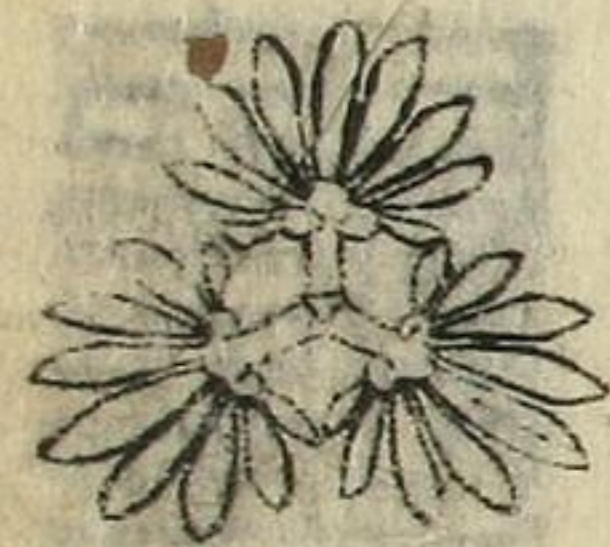
くねちもくに ぐねちらの丸 ぐねちろくふ ぐねち之



くねち丸 ぐねちかた十 ぐねち之 ぐねちひ



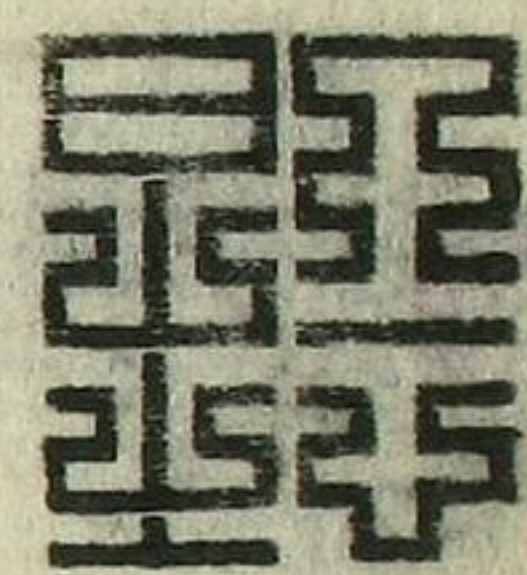
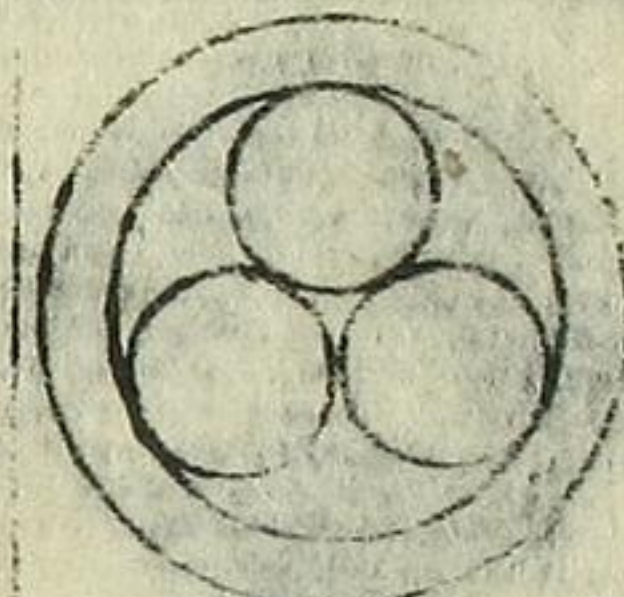
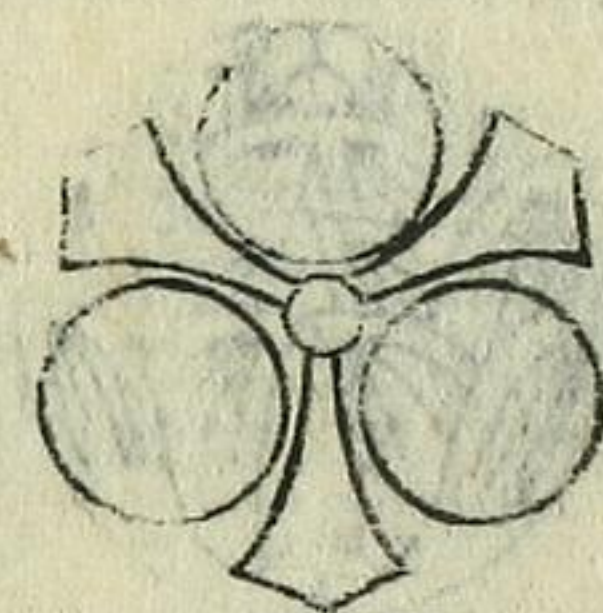
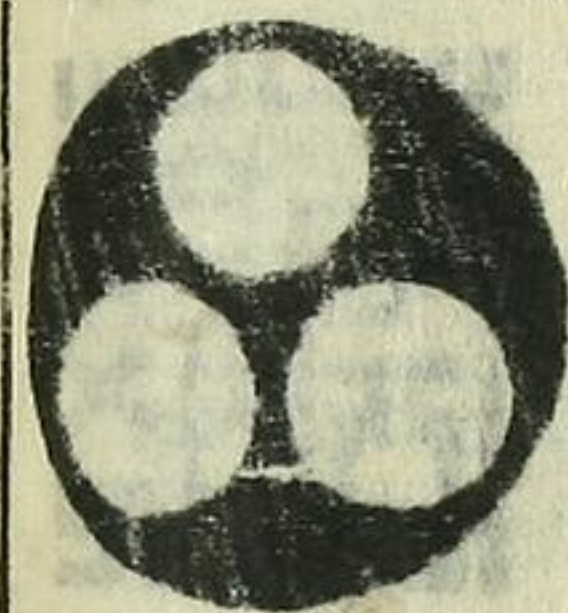
乃由若つ之 乃由若ひつち 乃由若 欄乃櫻



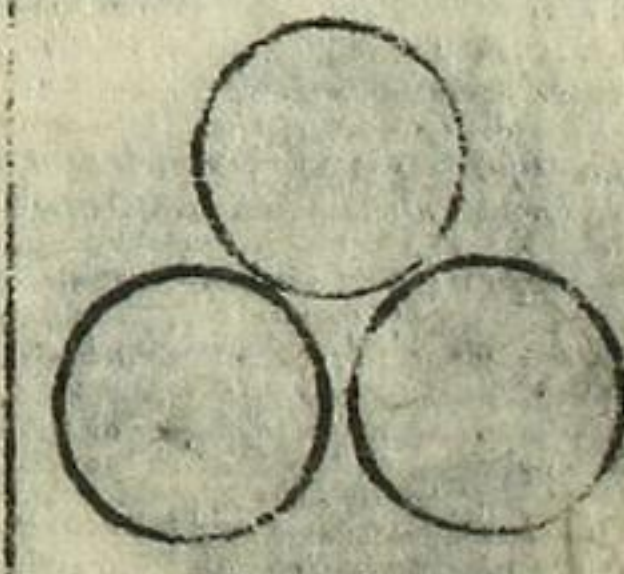
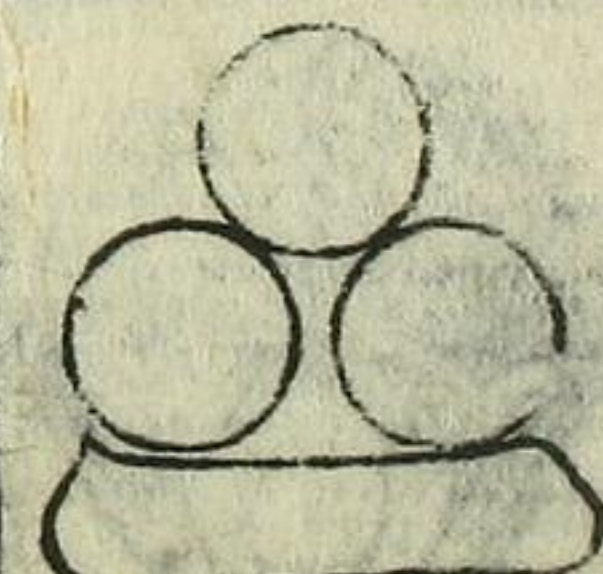
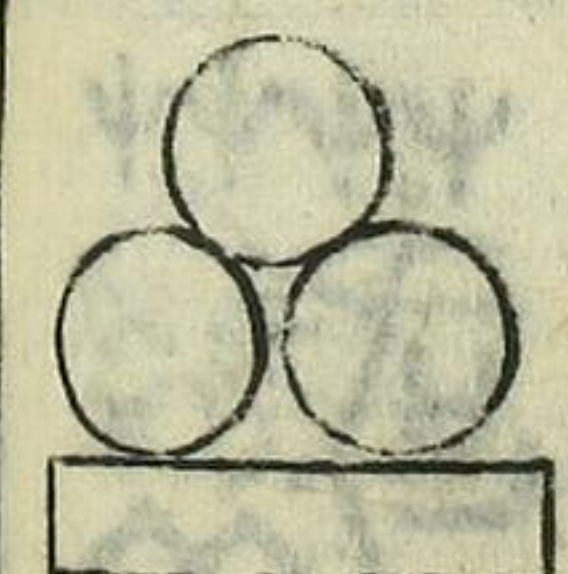
乃由若ハ 乃由若邦 乃由若死 字篆



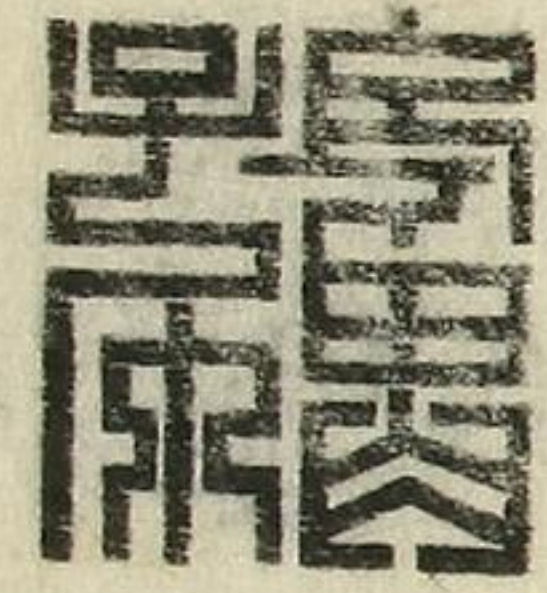
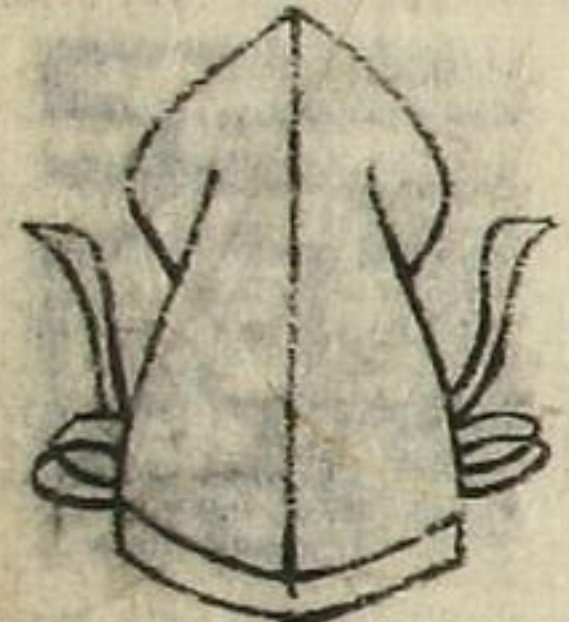
乃由若くは 乃由若んゆ 乃由若三丸 星乃三乃



乃由若ハ 乃由若一乃 乃由若三乃 字篆



しがあてん 子 帽が鳥丸のひあ 老び海



ひらむさ

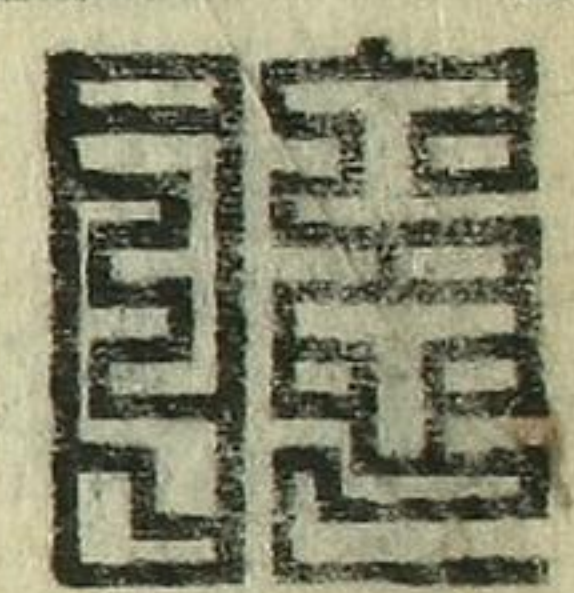
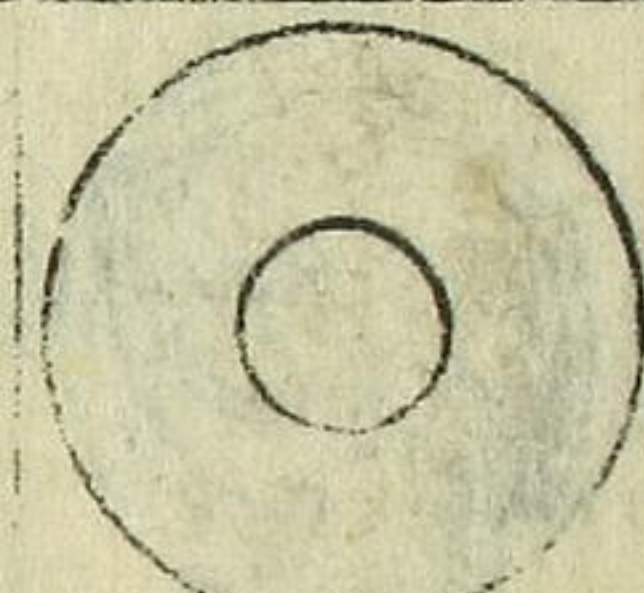
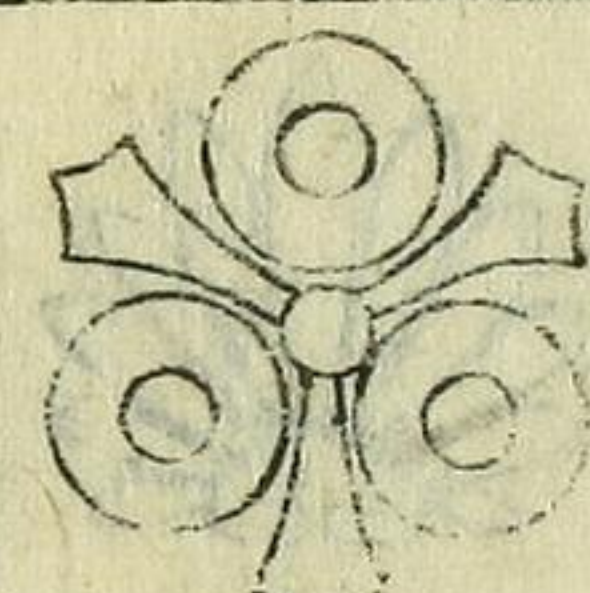
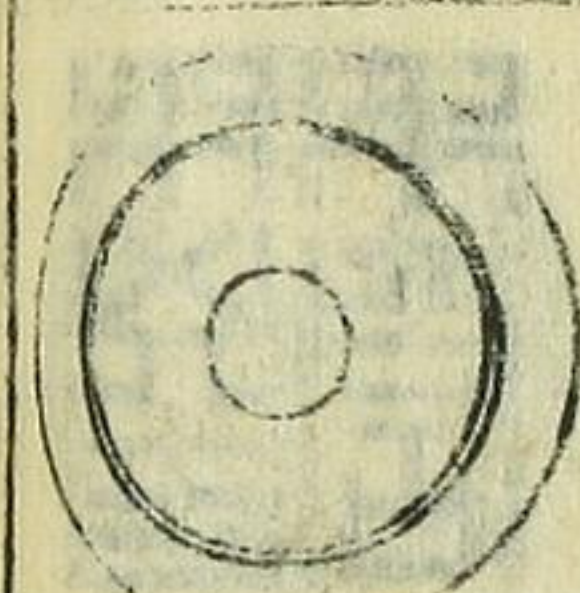
字篆

ひらむさ

字篆



めのとあ丸 めのとあんけ りのとあ 目と蛇

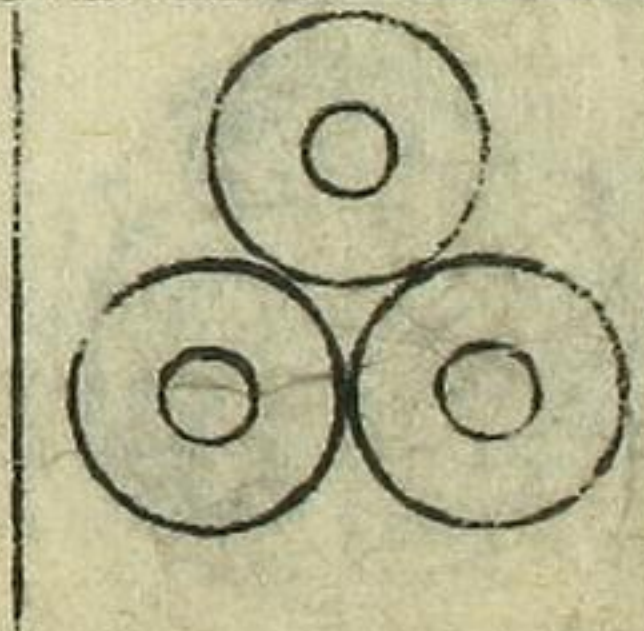
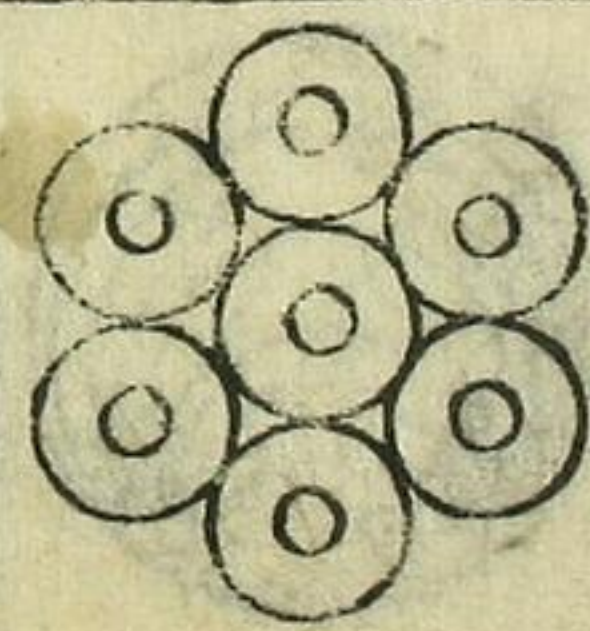
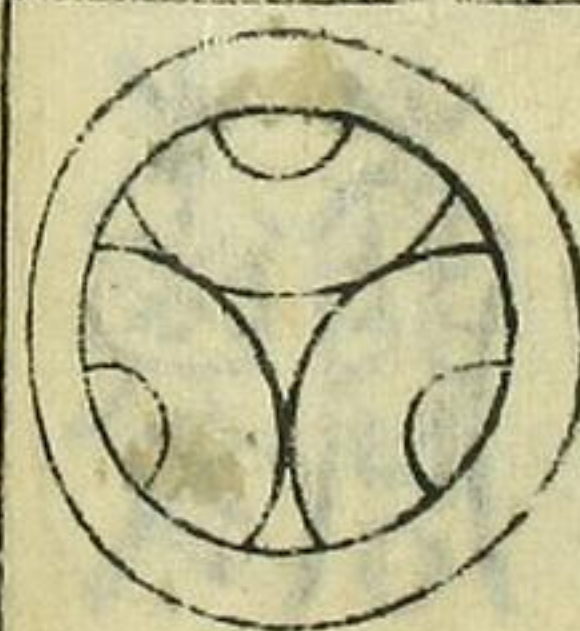


めのとあ

めのとあ

めのとあ

字篆

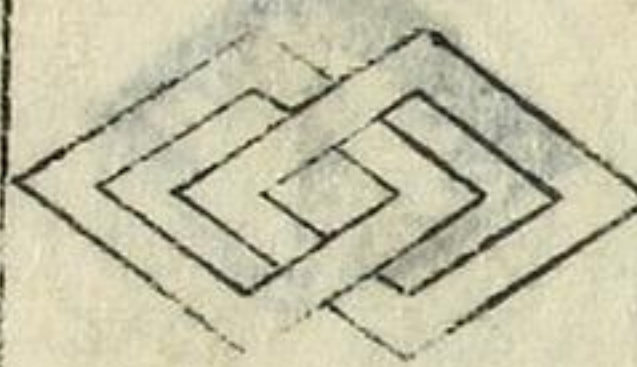
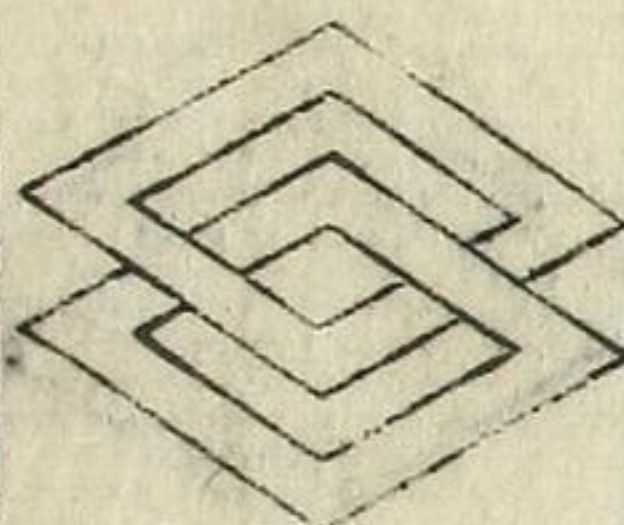
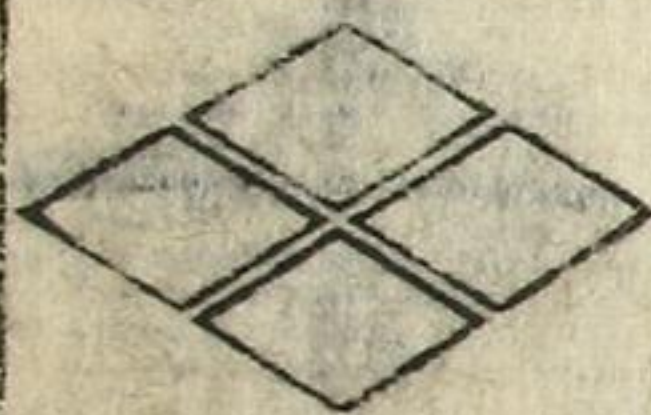


しひ重りて

しひ色さか

しひひのち

菱

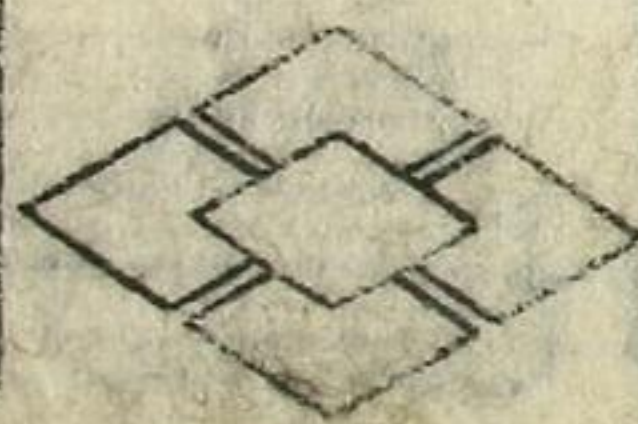
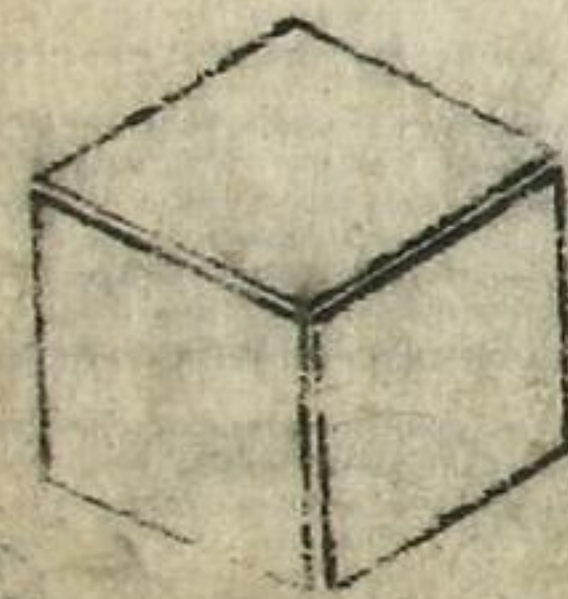


しひつ之

しひつみ

しひ色さかつ之

字篆



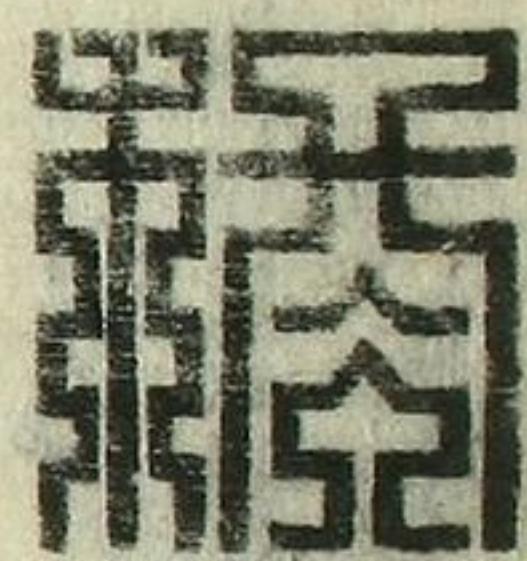
ざらひとさか

ざらむらじり

ざらむらじり

終

五

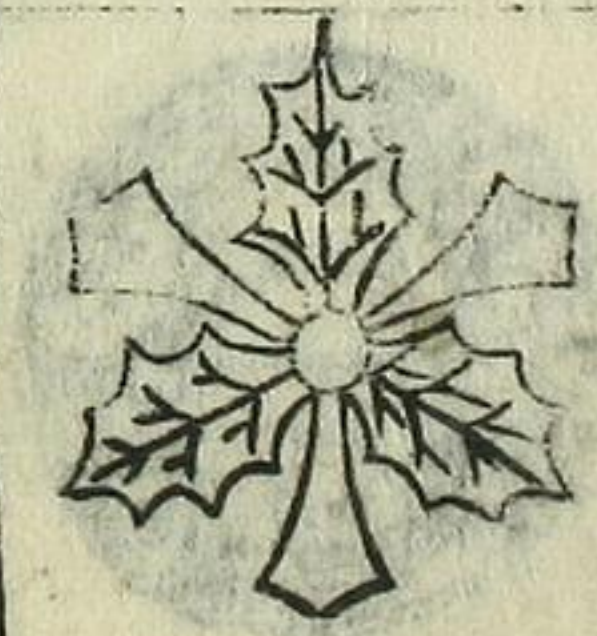


ざらひとさ

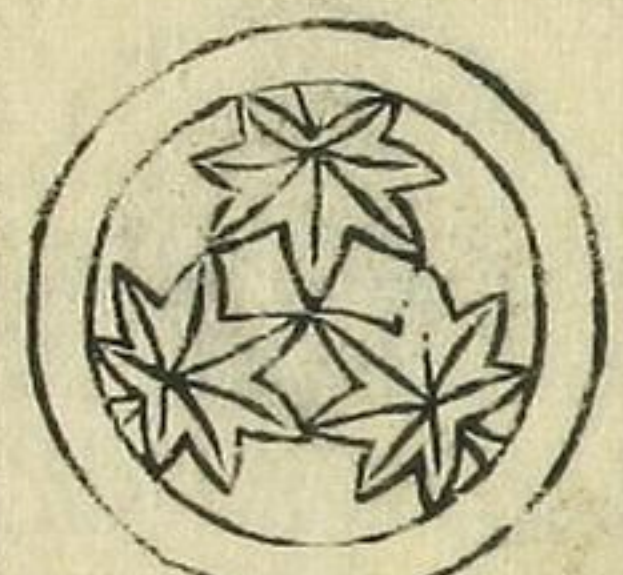
ざらひんじ

ざらひきさ

字篆



ちよひふあ ちよそひ丸 ちよめえ丸



楓カエデ

楓

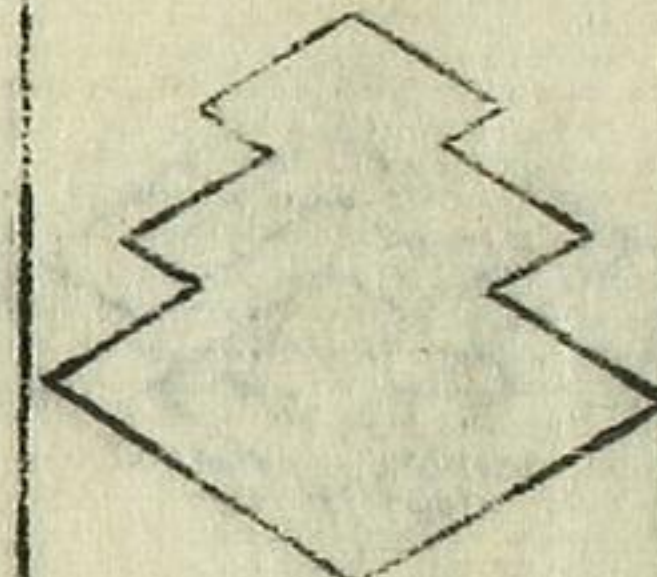
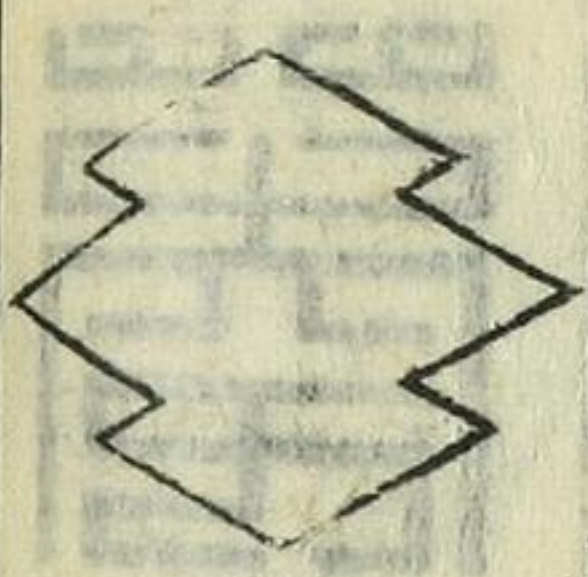
ちよよあ ちよ色甲 ちよつえ丸



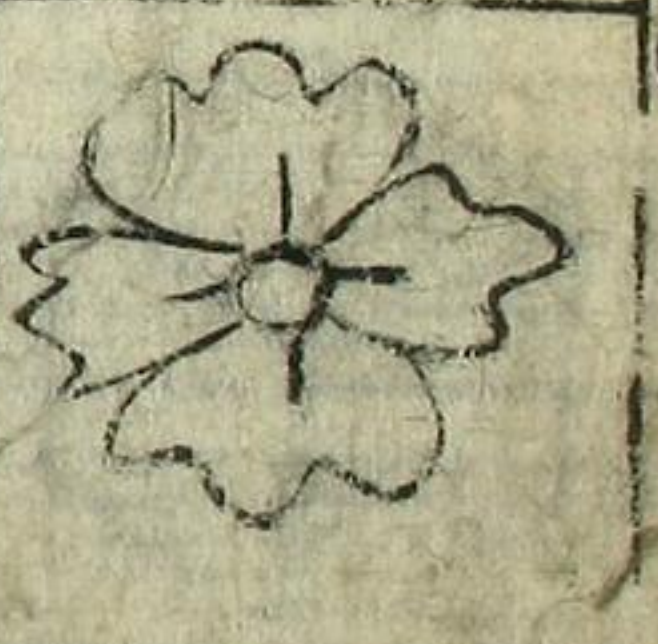
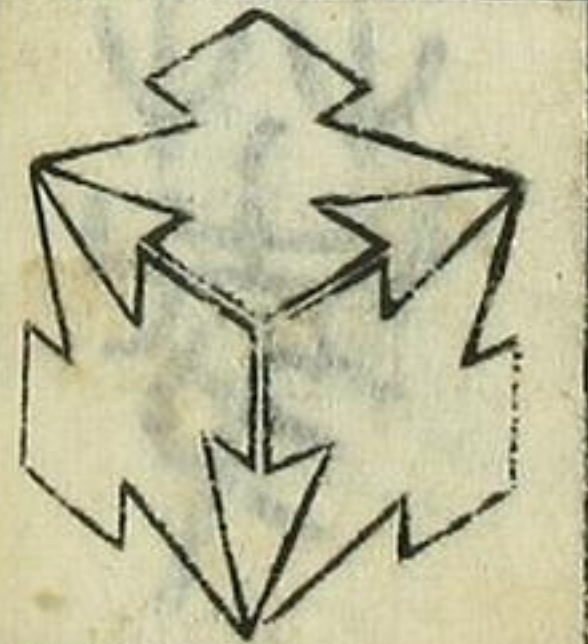
字篆

楓

しよめま しよこあ しよいえ 菱 葉乙

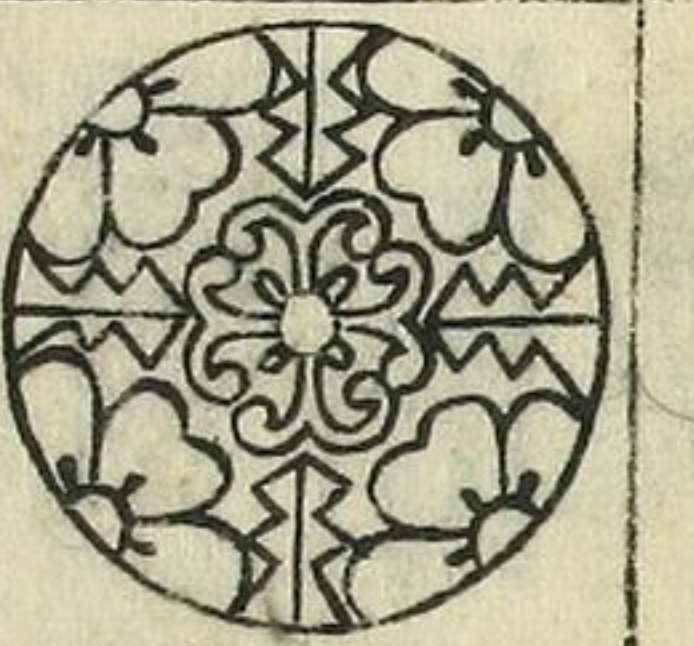


しよか松之 菱 一ヶ しよん云 しよ花



かくん

丸のくらしせ 竹石 せふらくは 蒼翁仙

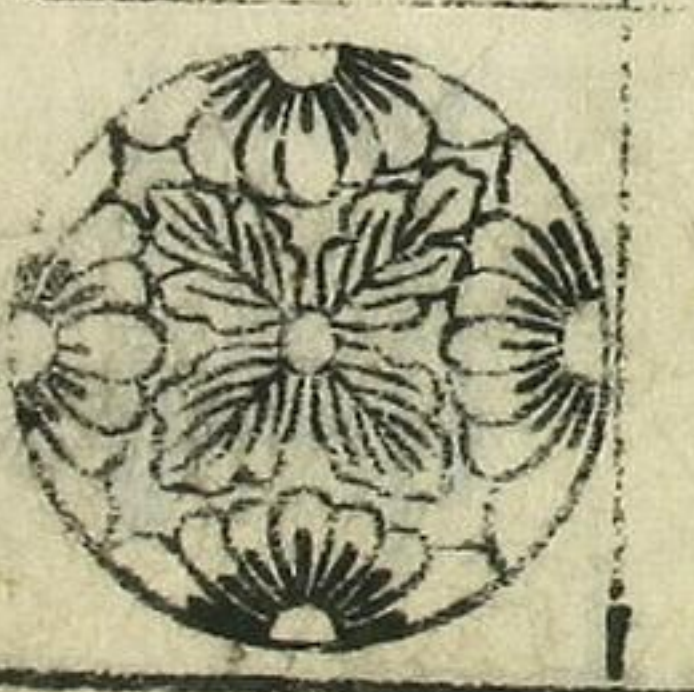


くらしせさゝ

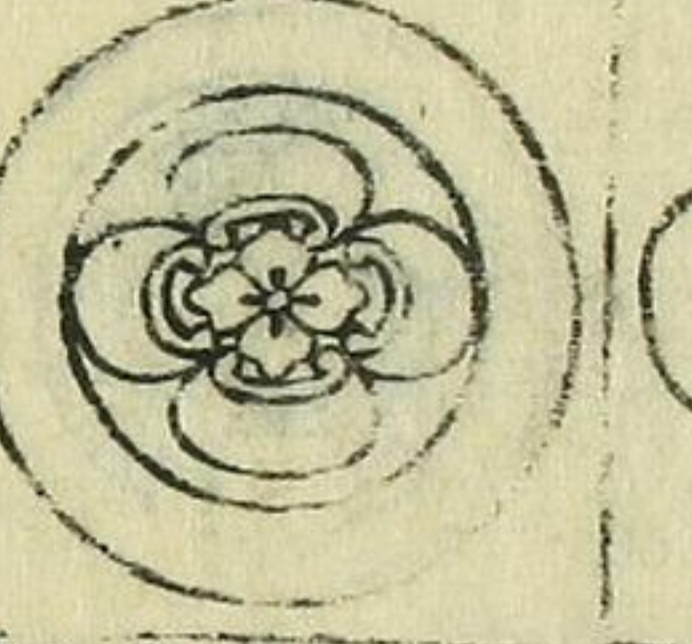
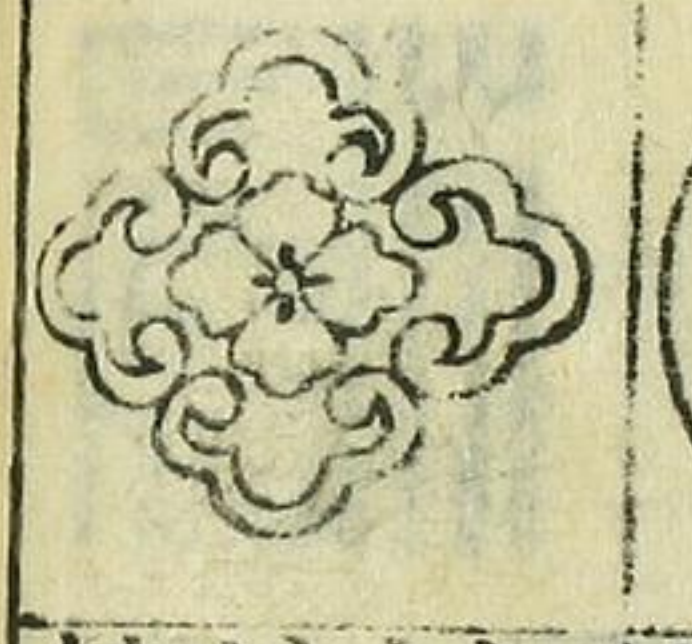
字篆

せふく

字篆



かくん かくん丸 かくん 香木

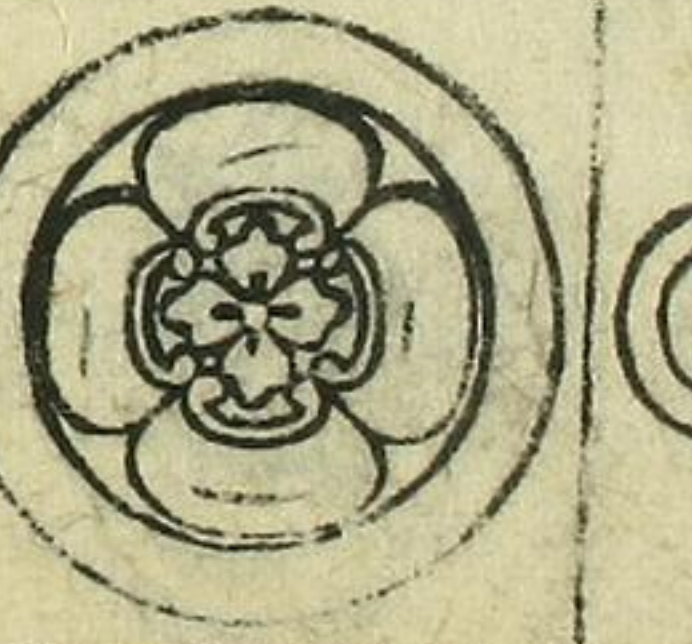


かくんし

かくん丸

かくん

字篆



新五葉
新丸
龍
切千合引



凡の龍

丸竜雨

う屋王

巴切千



増補
 新
 丸
 龍
 切千
 合引
 紋
 意

丸七人不在
杉
海八七丸
濱洲



丸七人不在

字篆

海八七丸

字篆



















カ立	カ逆	方	カ立
カ平	カ変	カ	カ立

車	海	膽	鏡
遠	玉	人	角

梨	三眼鷓	鷓鴣	折竹
し	のりか	鷓鴣	鷓鴣

くか子	四角解	か入	く切
か二	くか上	か入	的吹角砲鉄

わく	瓜	車氏源	車
			
瓜字	わく	海字	車字
			

茶	花	蘭	しん
			
茶字	花字	蘭字	しん字
			

丸

ゆまれ

守軍徳

守



るま

守江い

りま肩

りま



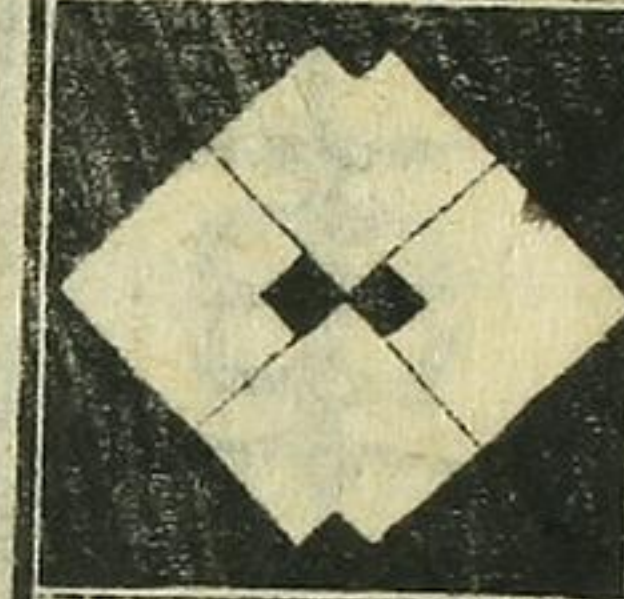
七十

打物 尺

きぬきく

抜釘

波之 風



きぬき打

打釘 尺

波之 風

波之 風



王草庵	王華	王重二	王拾壹
王喜	王不	王候个礼	王拾子

王拾	王拾中	王拾	王
王重二	王拾	王系	王中

ほ	しほ	こほみ	かやらい
こいへ	くたが	しびるは	みだしい

巴菱	藤	ゆきす	とろろ
とろろ	じぬ	と木屑	とろろ

このうた	えびたか	じか	いかにわ
をはらた	めつよ	はしか	糸がかり

うぼえ	りきち	んちち	へもそ
らだもれ	ごうそ	しちち	このち

117

蝶

くご

うごんふ

後んせふ



ひふあ

んせつて

ちとこ

みぬ



よがまや

ころう

めじ

たつ



や

まつ

はらう

るつ



すす

らきせ

らつと

しき



はこす

じみも

きらひ



りき

らきき

らさ

さあ



らきみ

らき

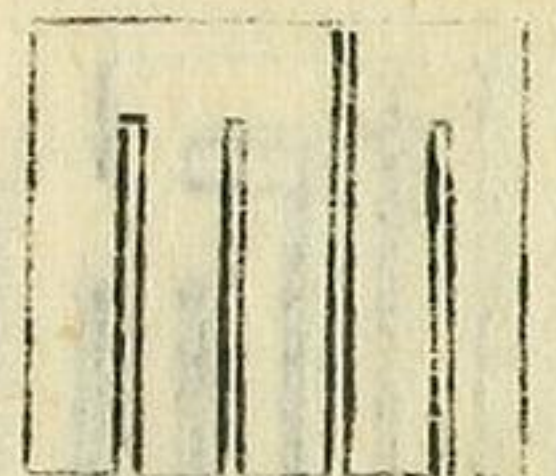
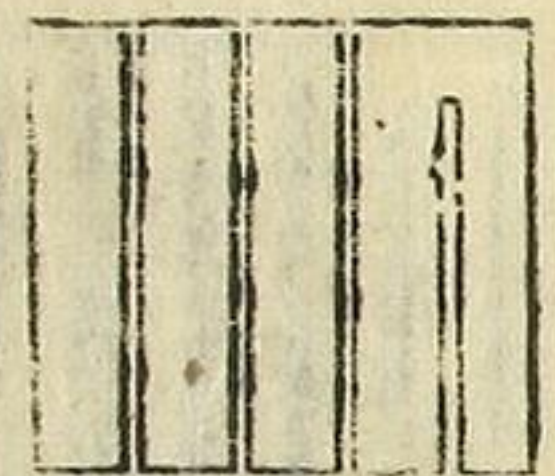
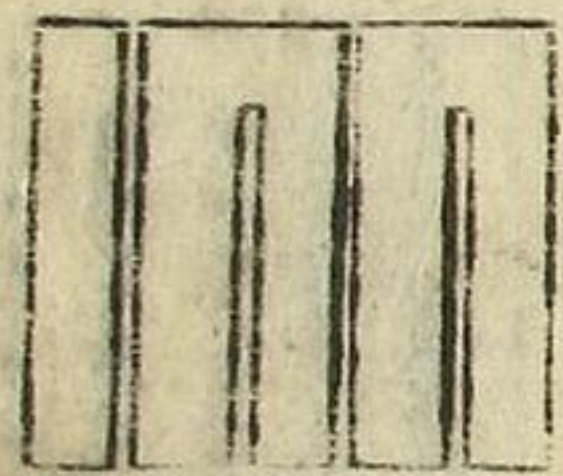
きあ



1415

1416

至さらむる せせはる 不つまき 香の圖

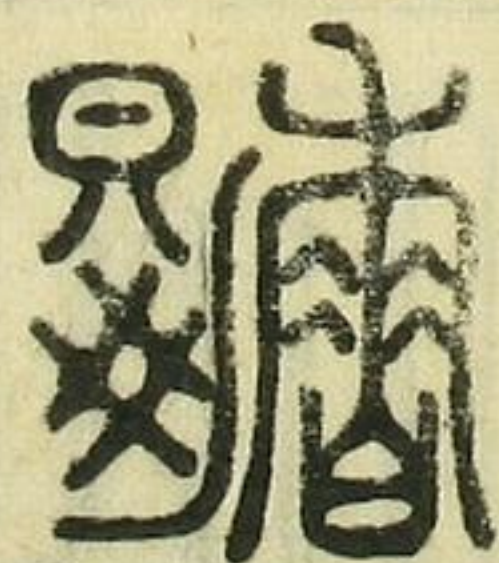


むつる

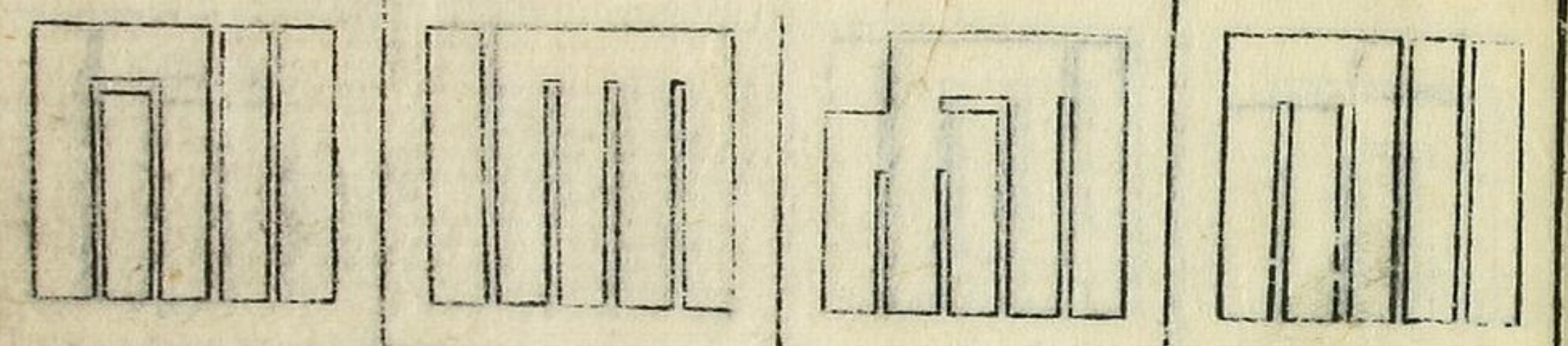
はる

まき

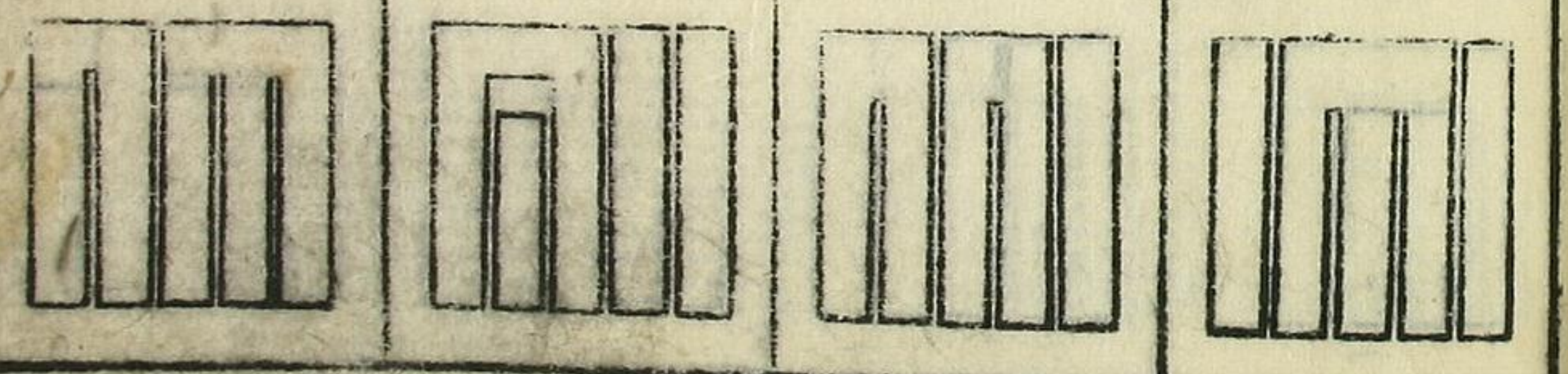
篆字



めととくもくもく 会 候 ふとよよ



らつらととら せう松 やきせ



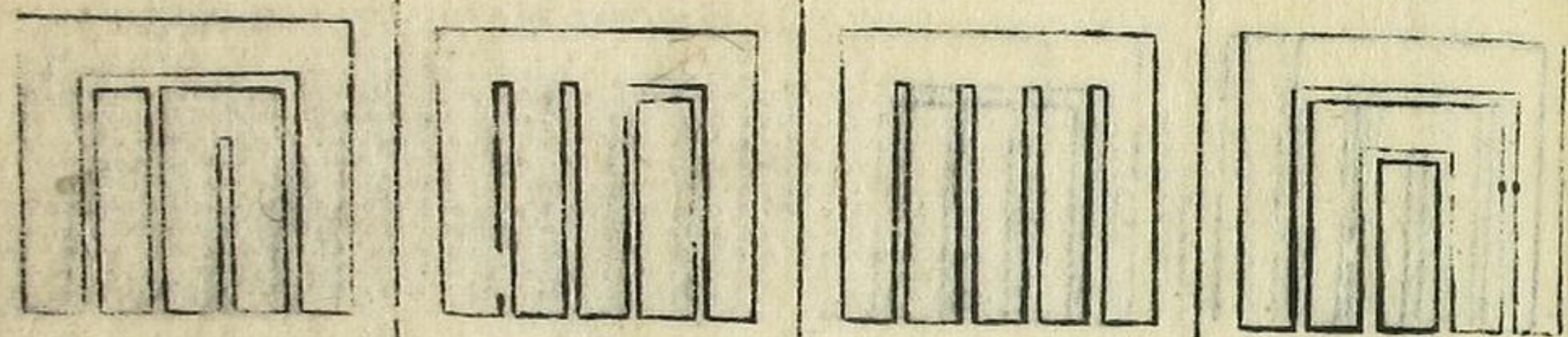
しり 何 里るちを ひふあがのトみも



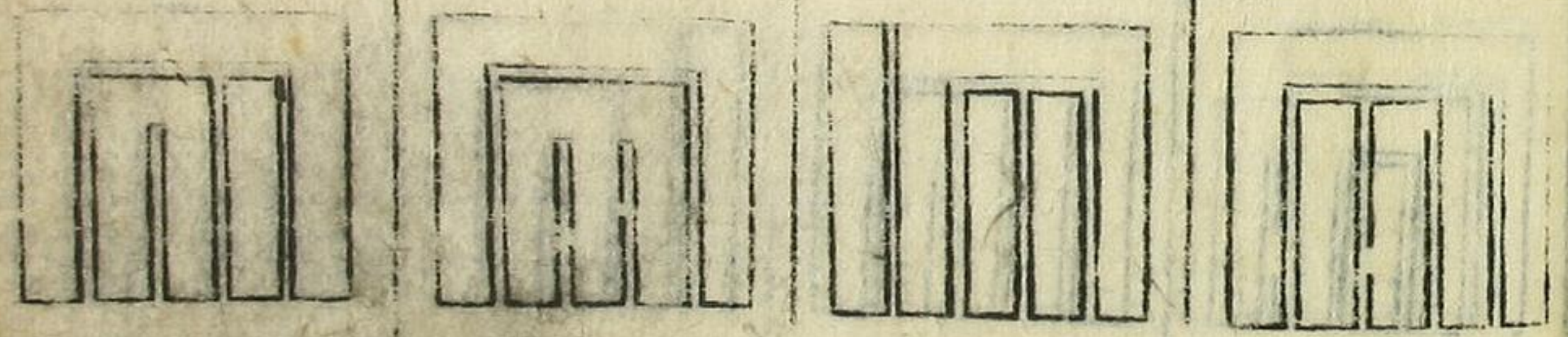
くつとみ 魔 決 本りさんえのを



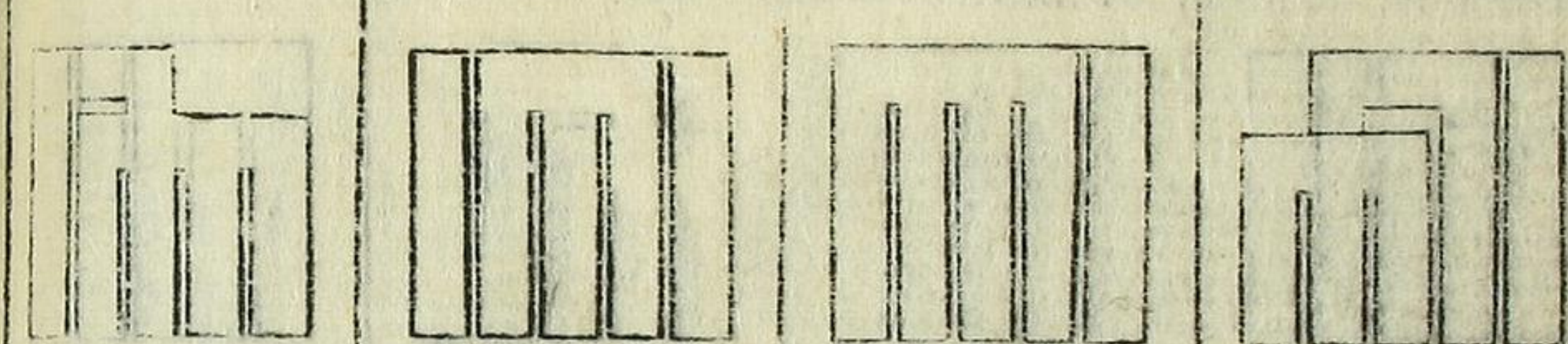
しむ、と えらめむ まるごとや らしむきま



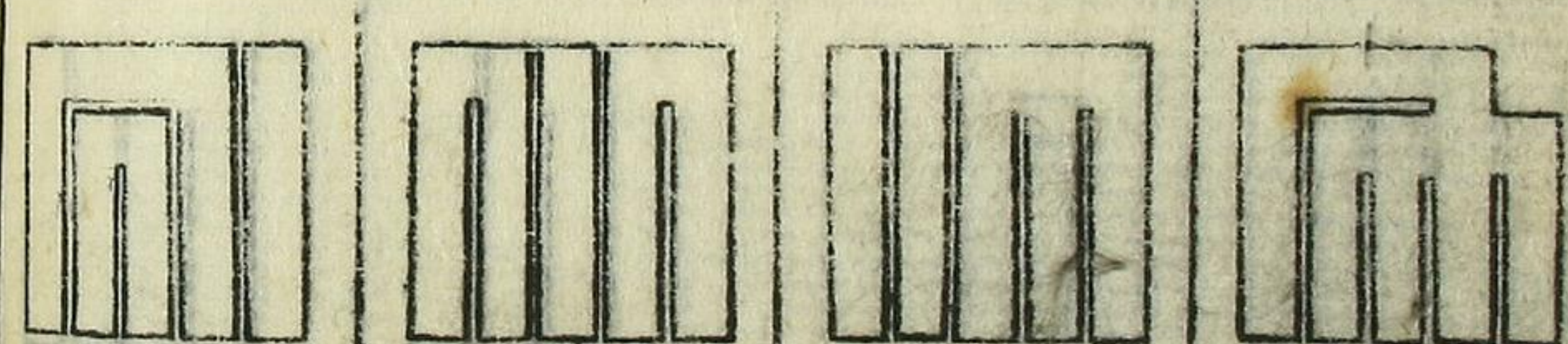
福ふたう いら竹 いそうか ぶか様



きゆみ 大里がかり とほねほえ

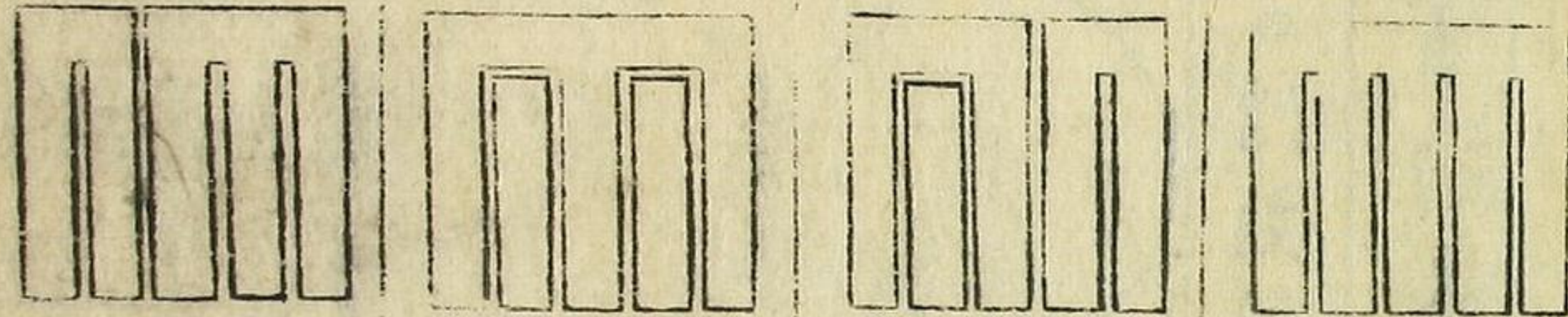


まりと後 ぶそのの つふこと ふてあ

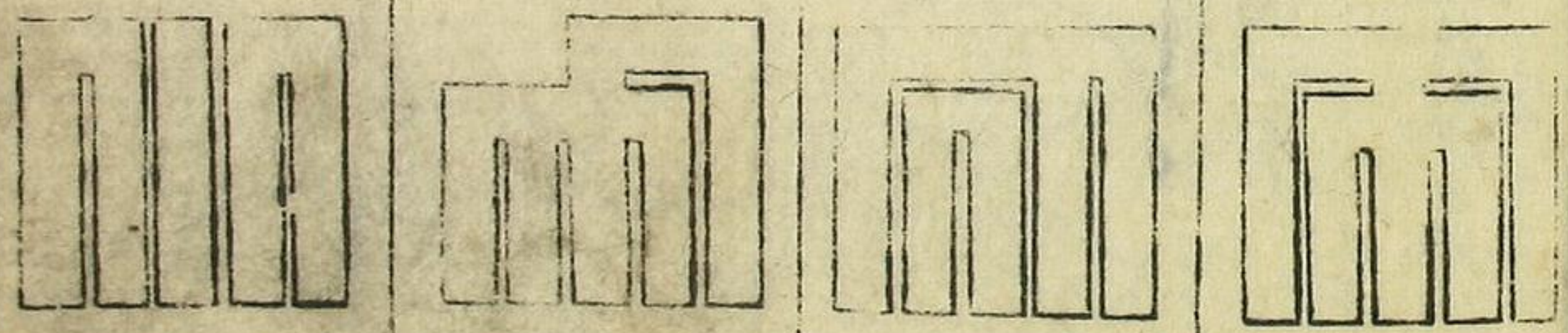


七十一

ひらきき きりしか げのきつ ひらきて

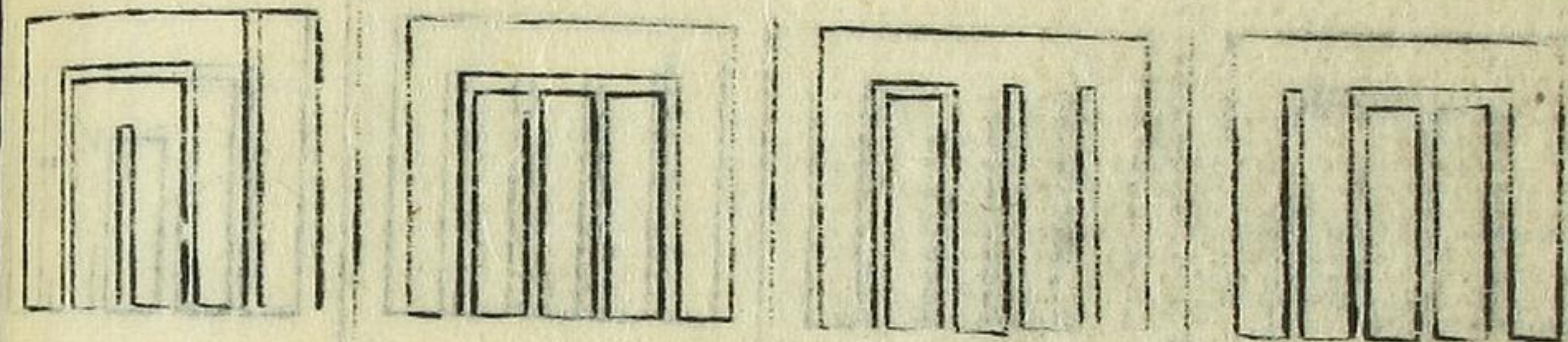


はきいのめゆ やふふれ さまげわ しろげり

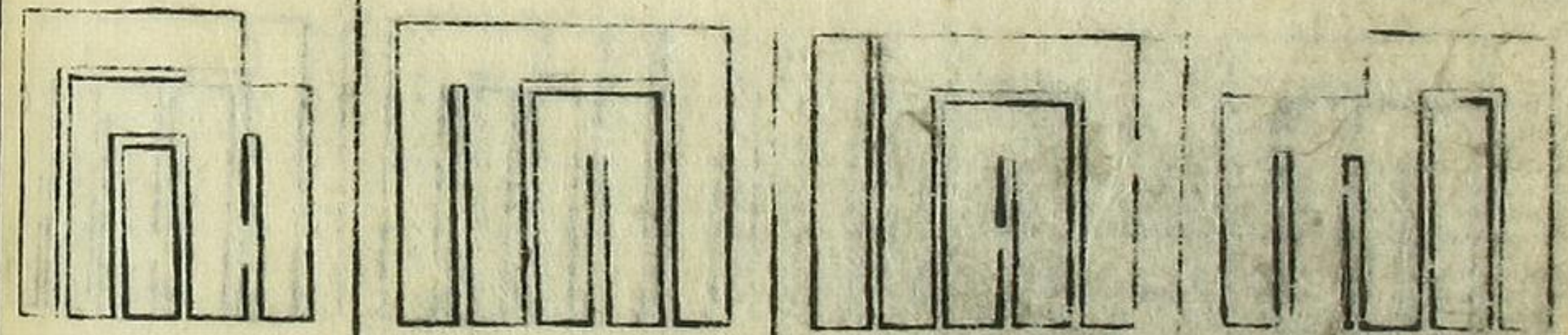


五十八

ごもりぬあ しろすま めひして ねまつあ

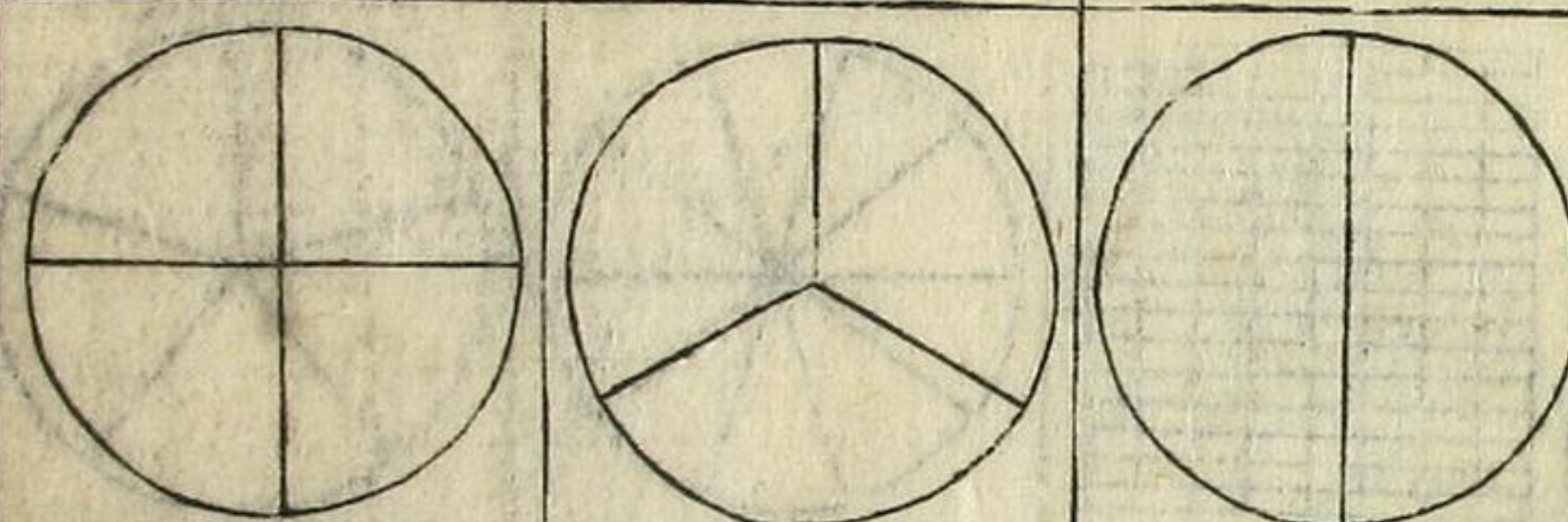


りのみ ちか わ しろのしふ でき夕

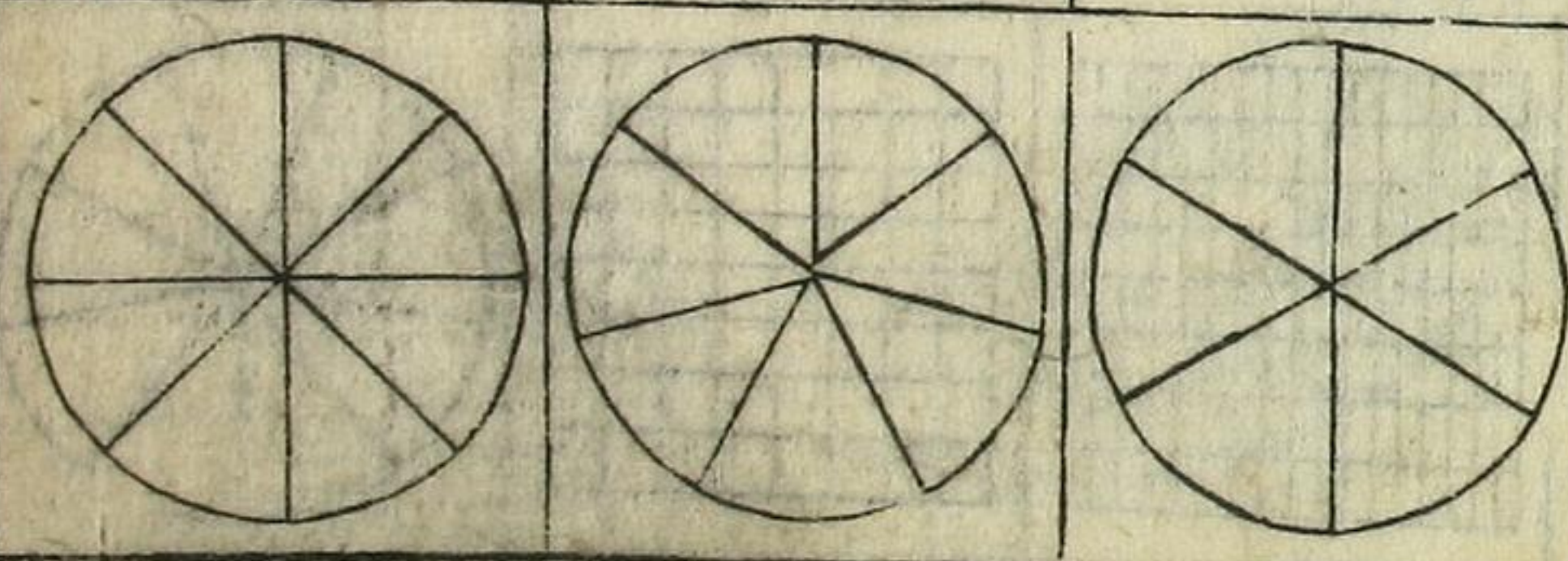


五十九

圓の四 割の三 割のつ二



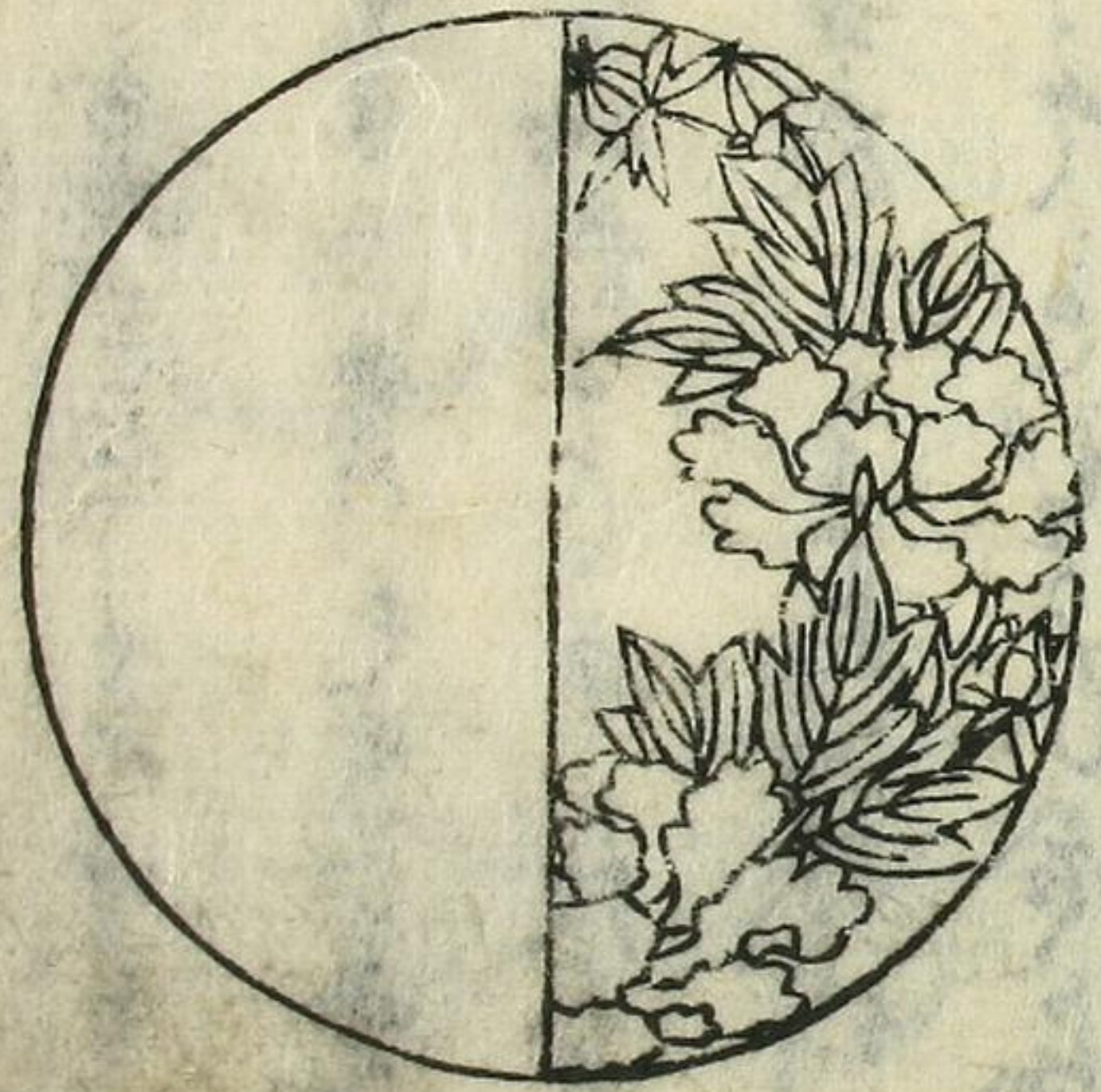
圓の八 割の七 割の六



○ 割紋雜形のり

割紋割形品

11-2



お向合紋をなす

○ 割紋 秘傳 たるふるに
 かく字 漁むるふたのまきけい
 引く又けいの上へ厚き紙をめて
 書ばたやそくかけるなり

割の字二月	りまの十	りまの五
割字ニてと月	りまのトくか	りまの九

向合也乃紋刻類

右達而一處此紋刻類

水為九道一之申也

今來卜中乃毛方一之

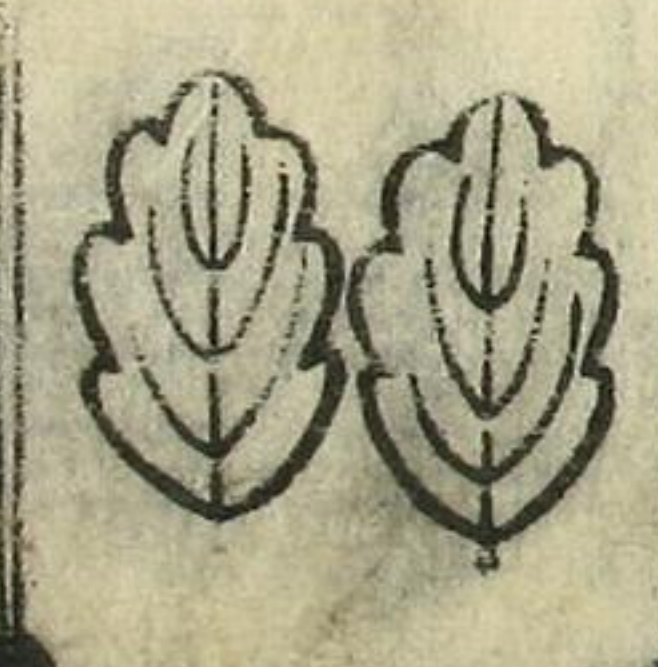
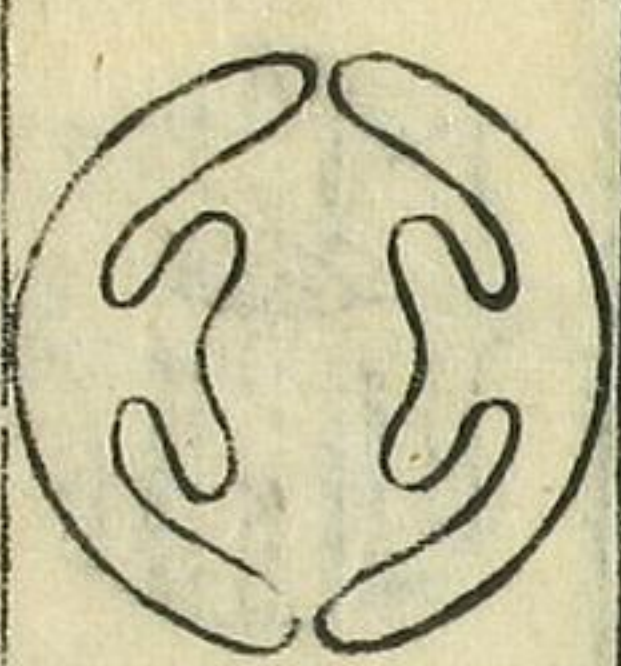
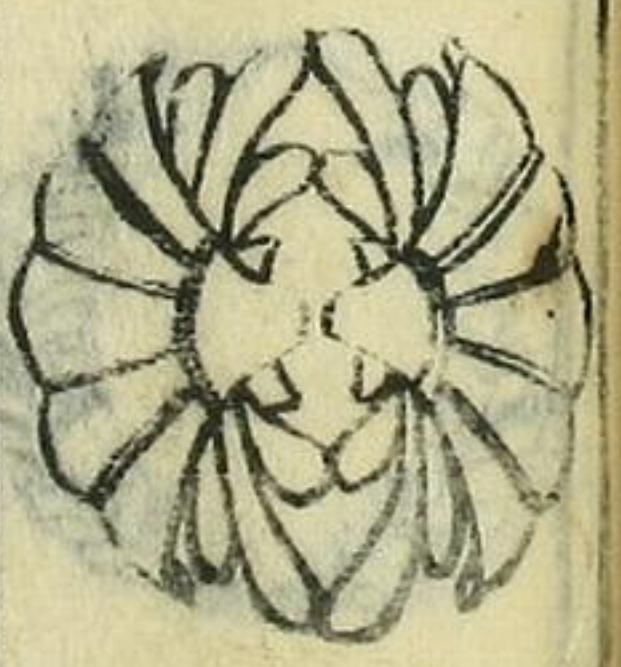
右此刻類一之紋方

本取一之也也

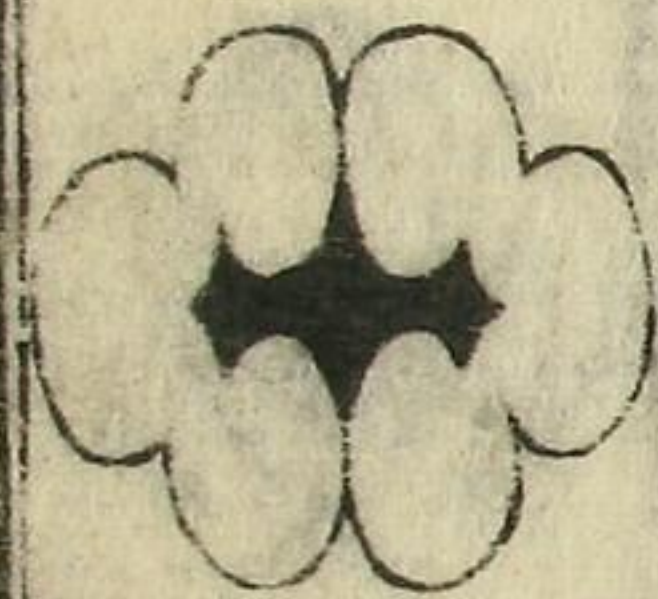
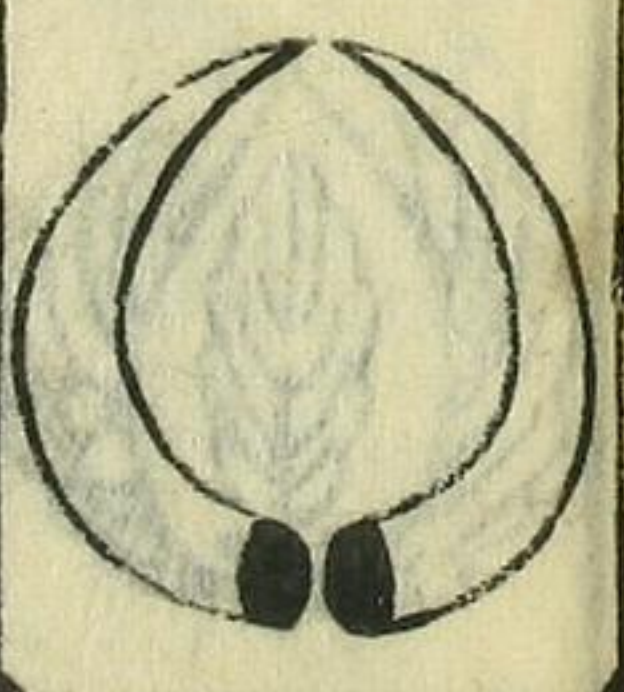
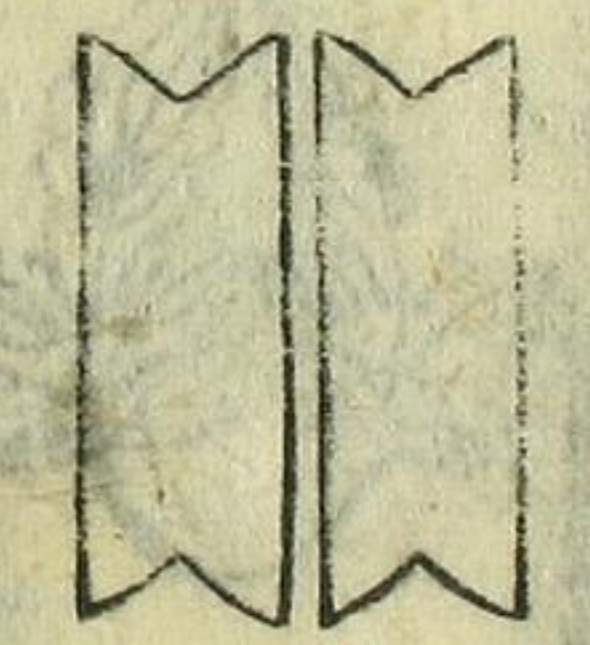
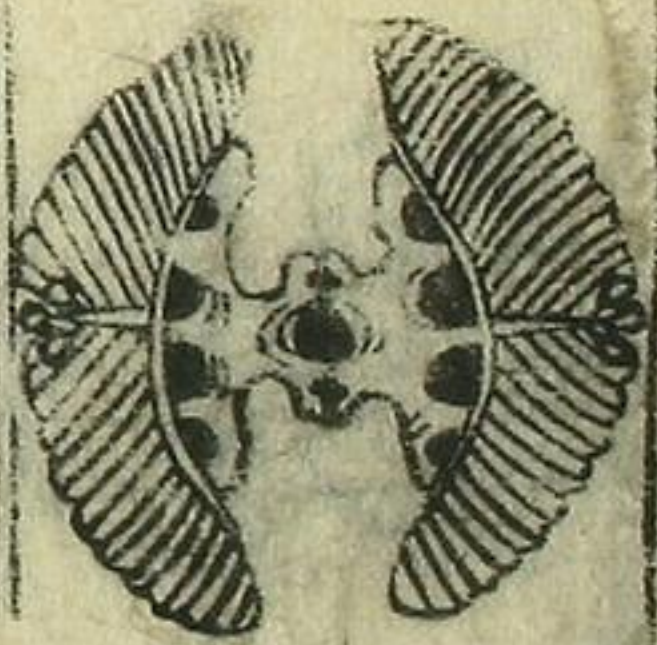
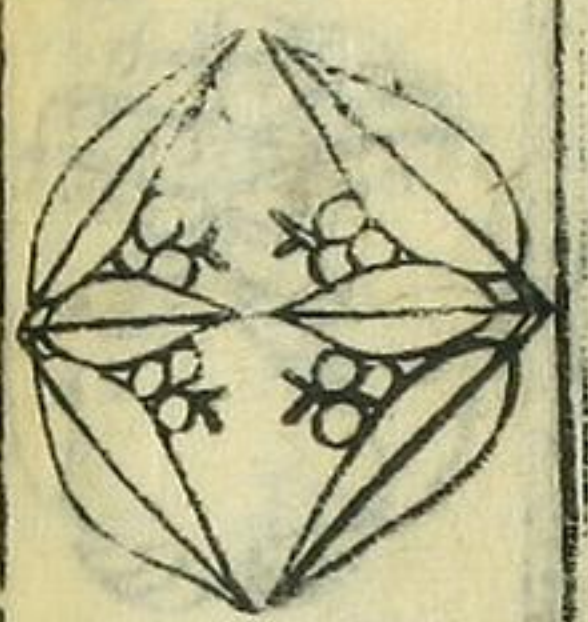
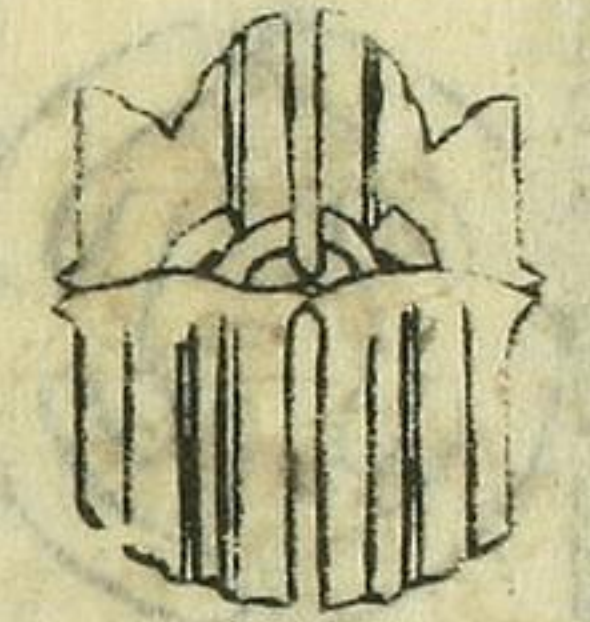
一之也也

今又八武本之之紋

水初也

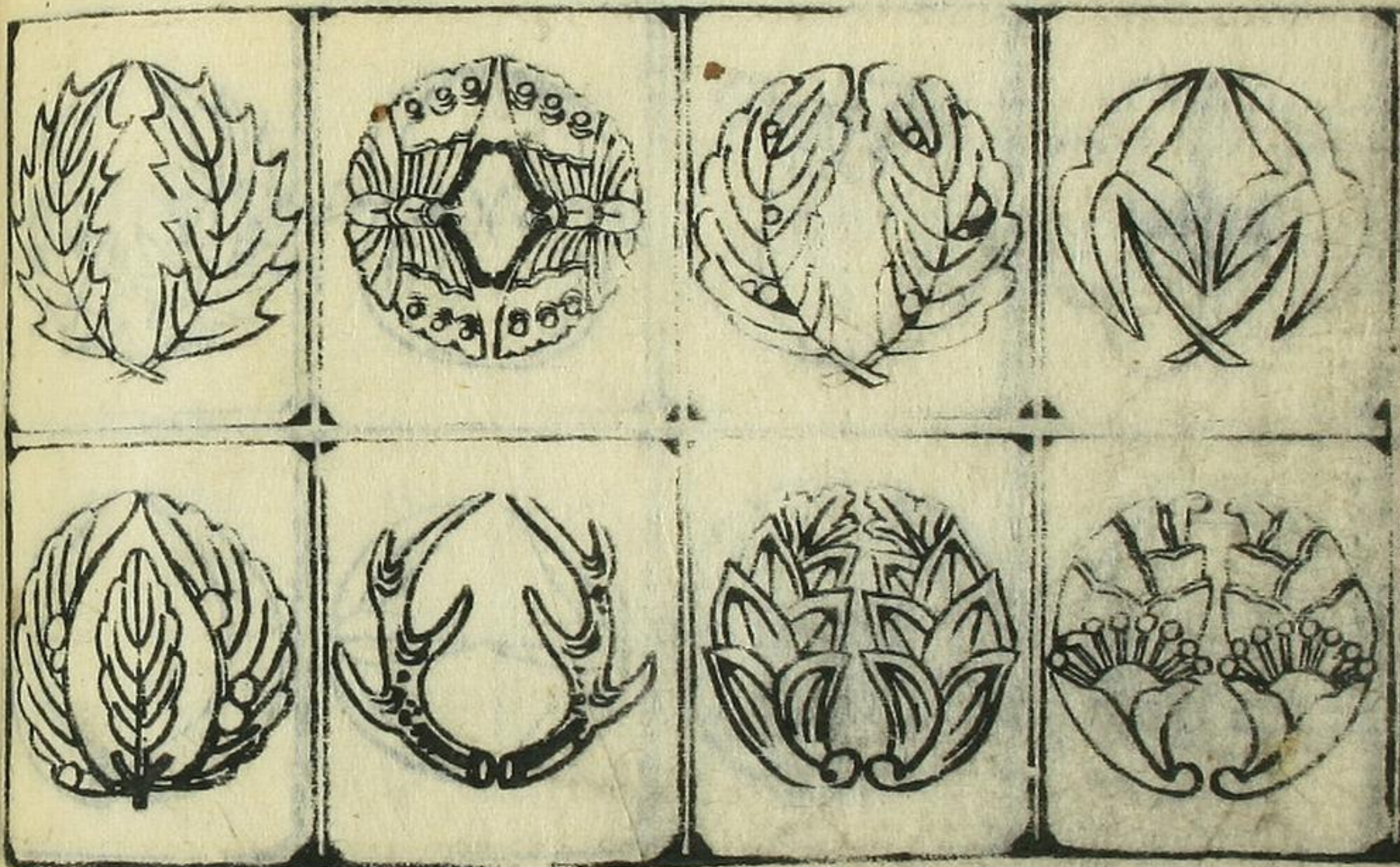


二刻



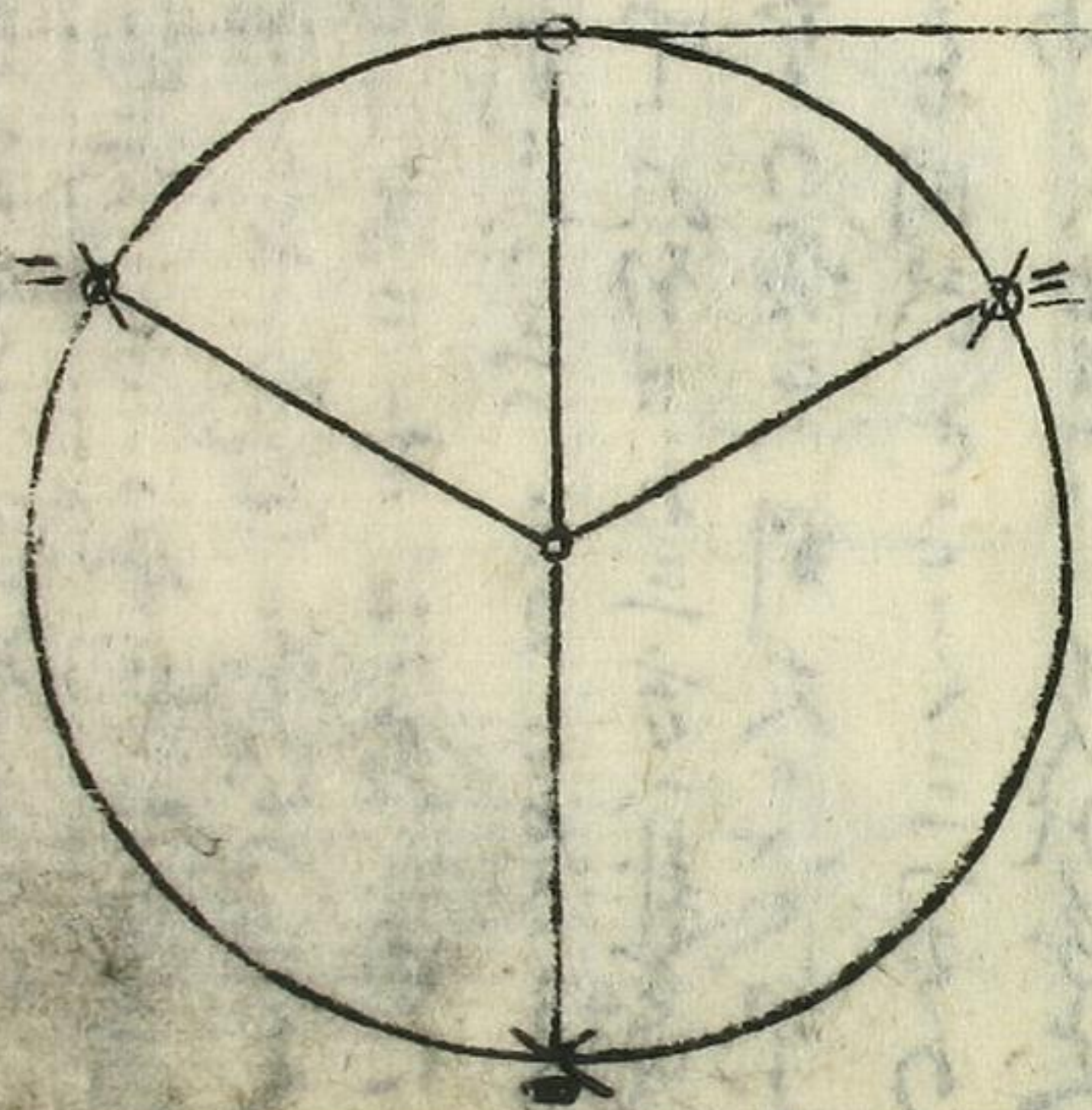
刻文

又八十一



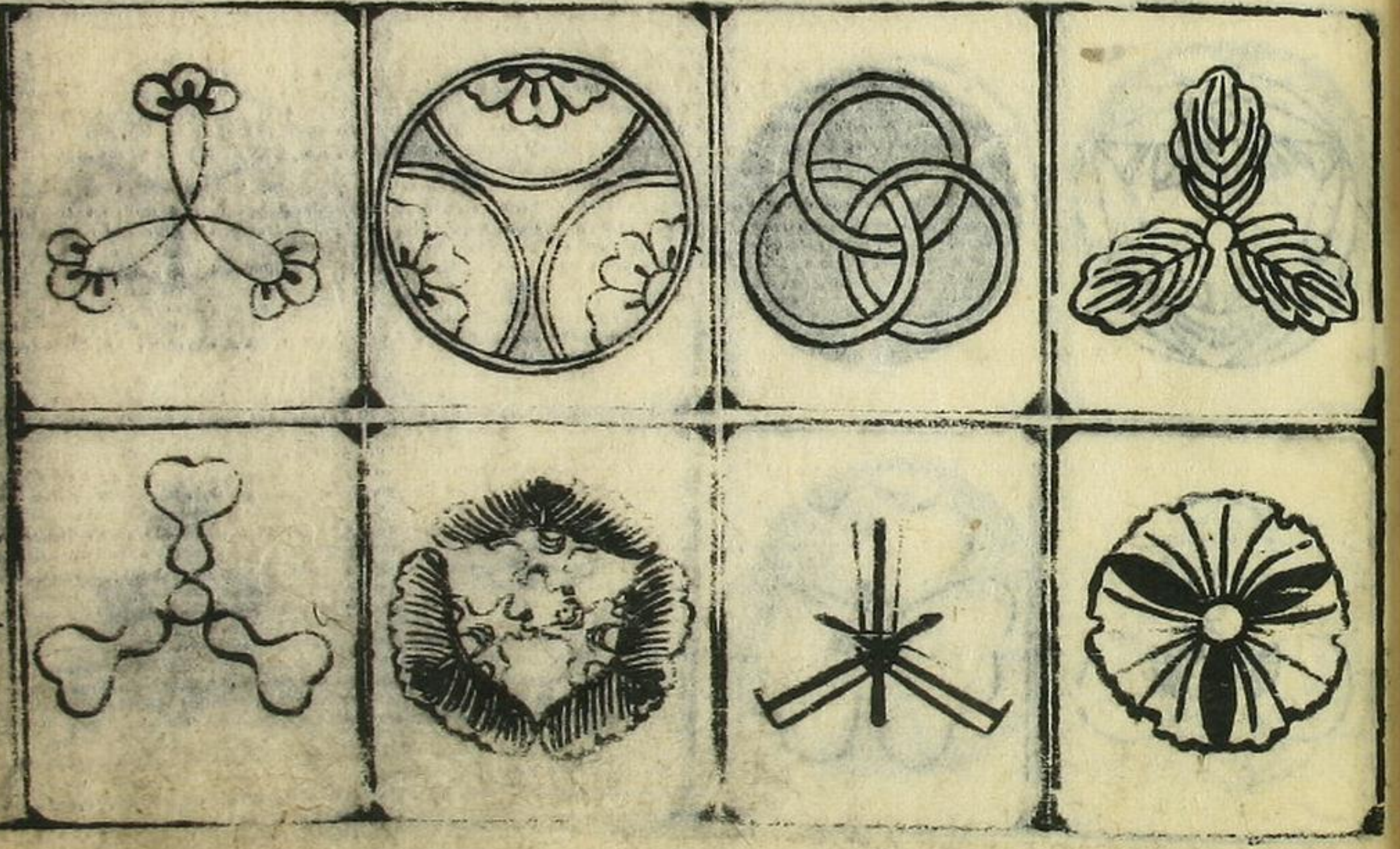
三ツヨリカケル

けり何七分迄

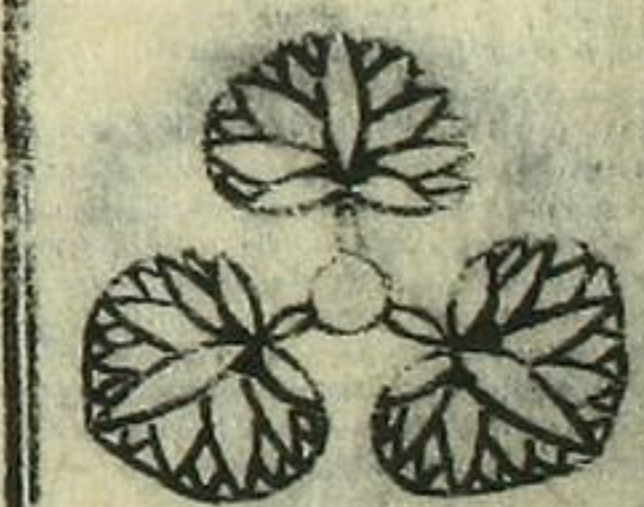
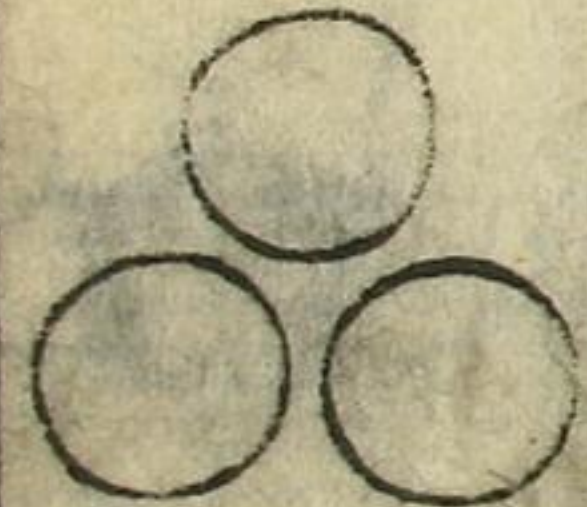
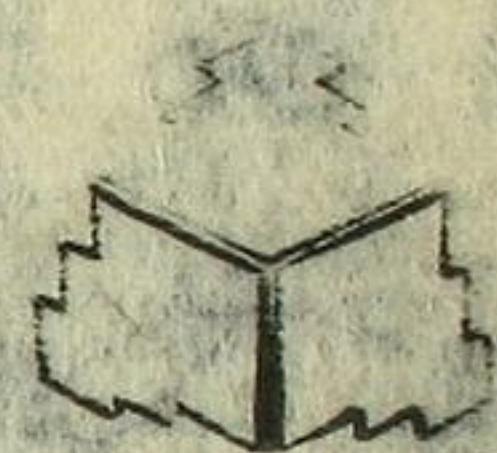
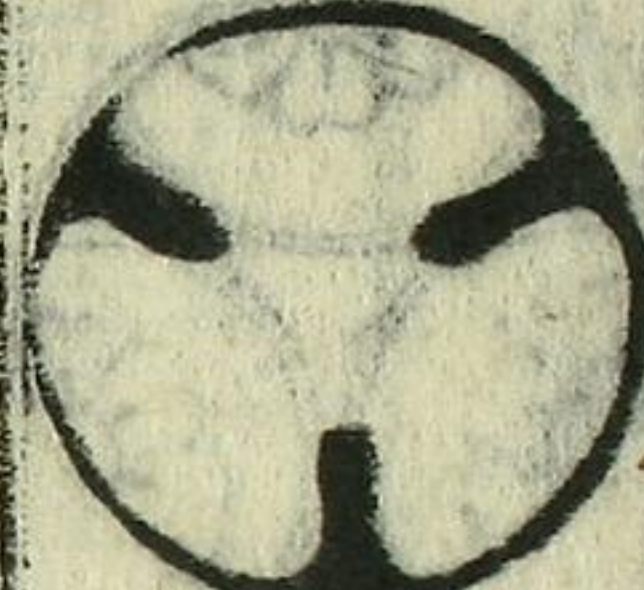
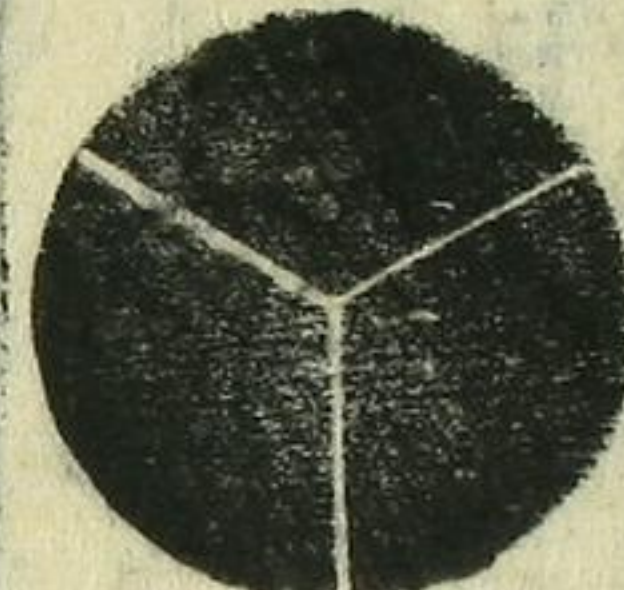
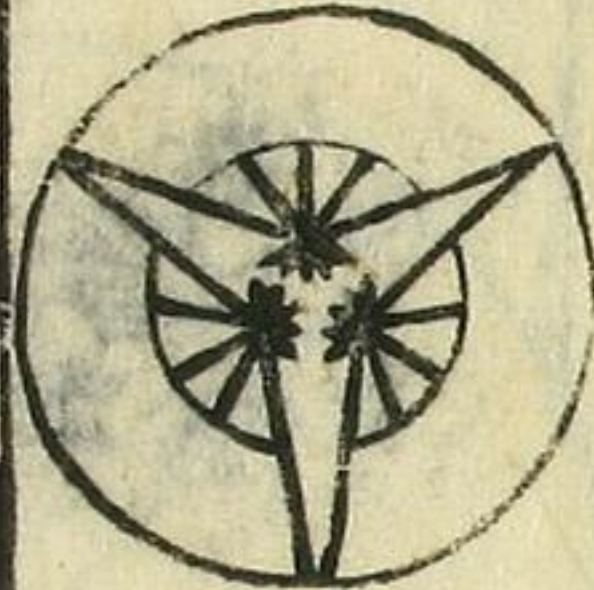


けり後一或寸五分の丸界
七寸五分有但寸の丸界
惣廻り二寸有、亦
の丸二返り三又あり

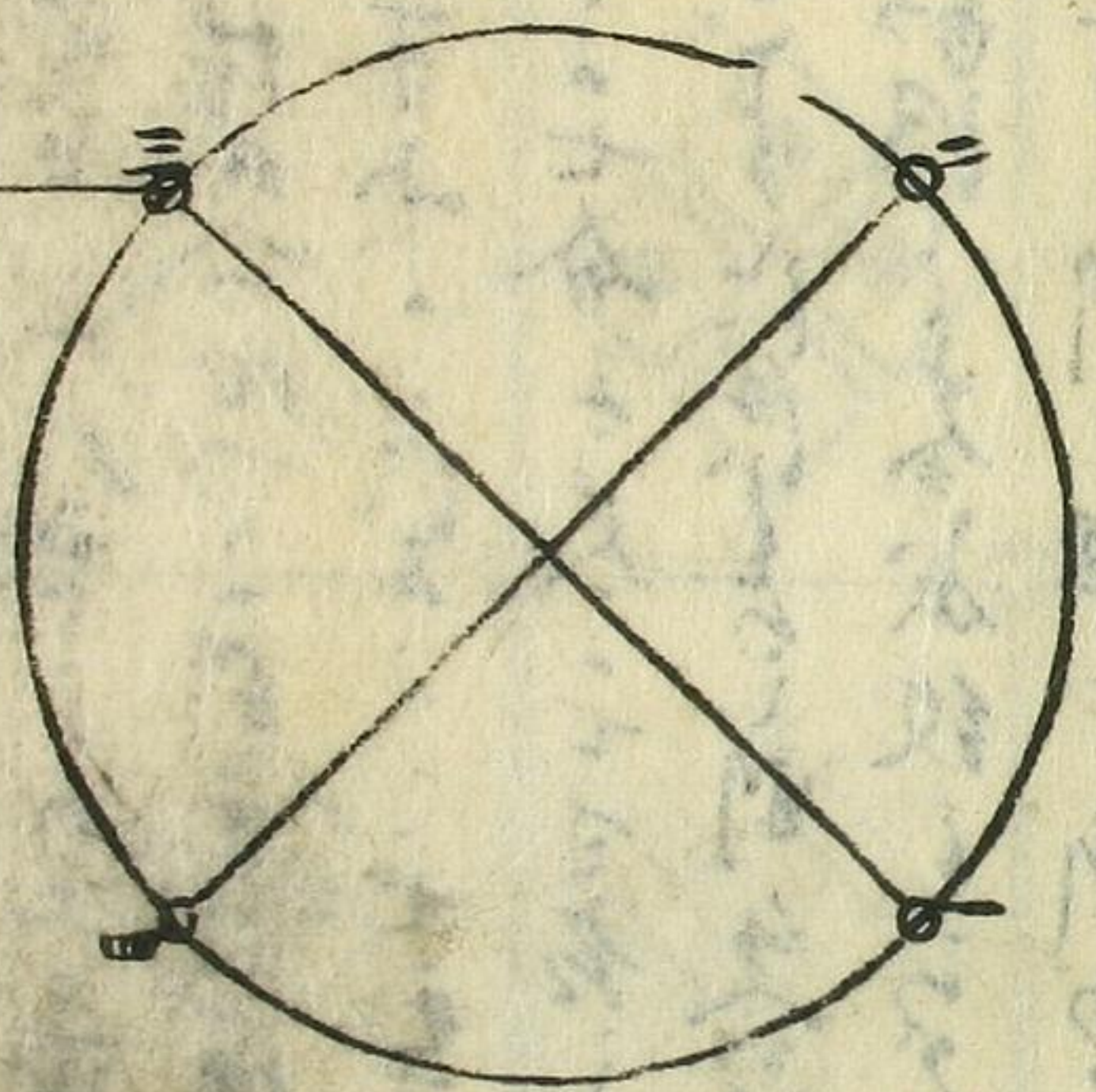
右二ツの物刻や...の事を
 丸と四一...此分也一
 て如湯一...に分さるると
 立...二...
 備二...分也...
 初...分也...
 四...
 割...
 中...
 方...
 一...
 一...
 一...



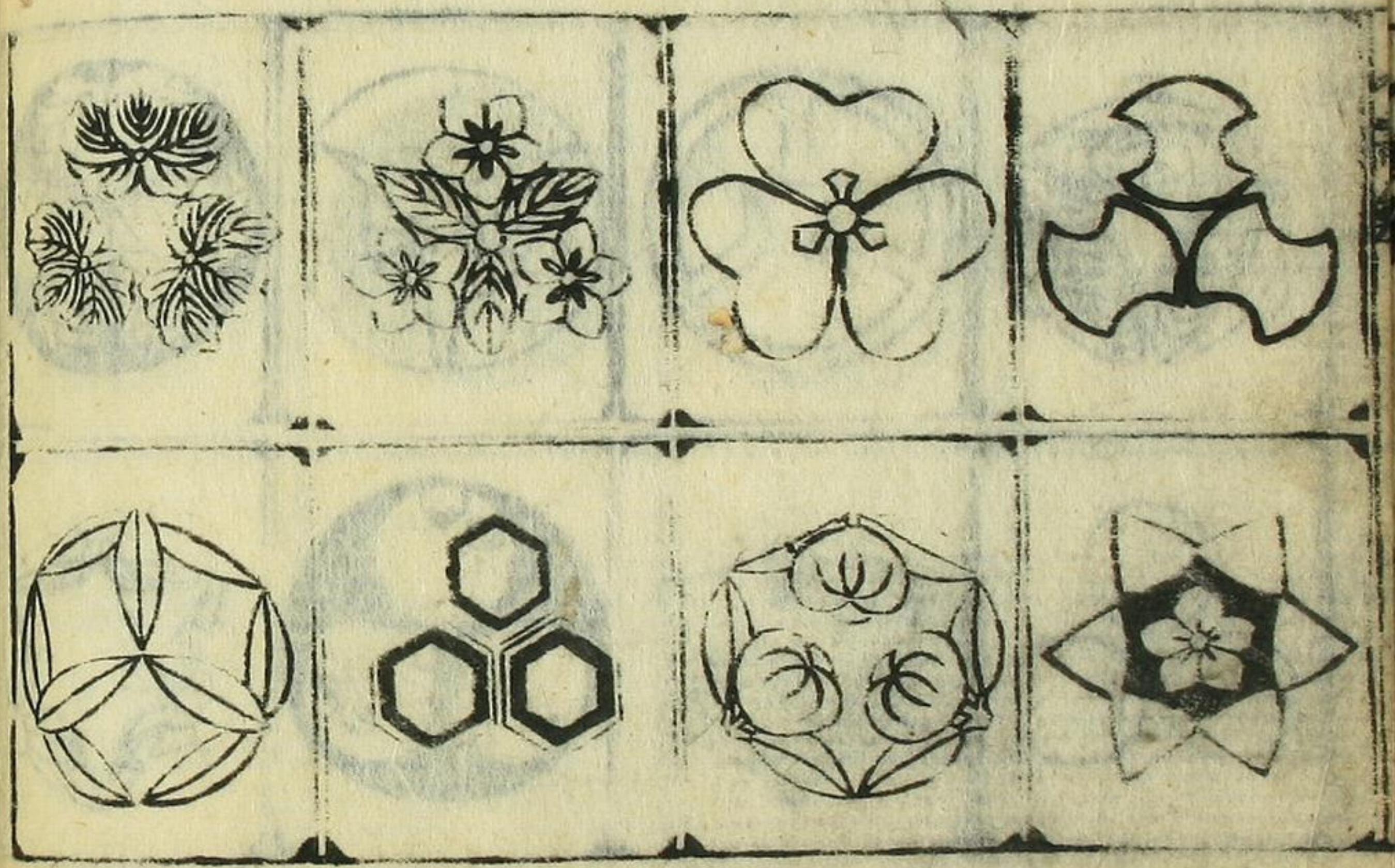
三
 三



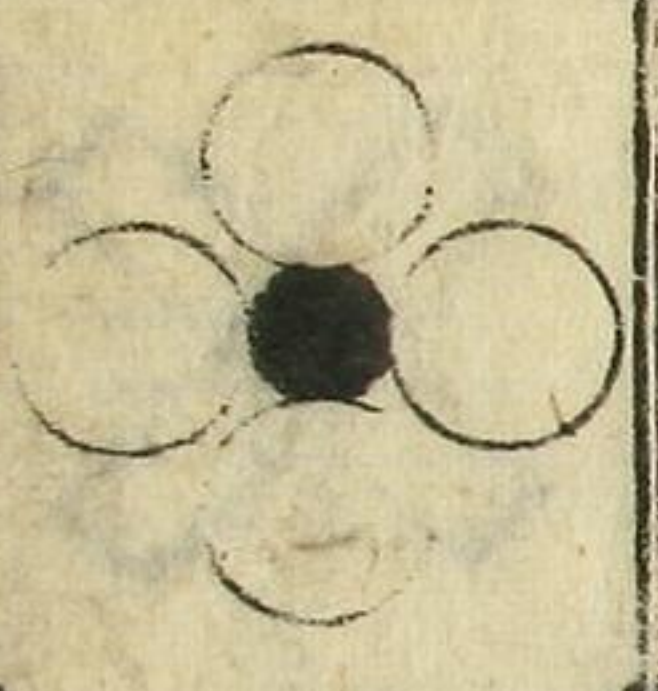
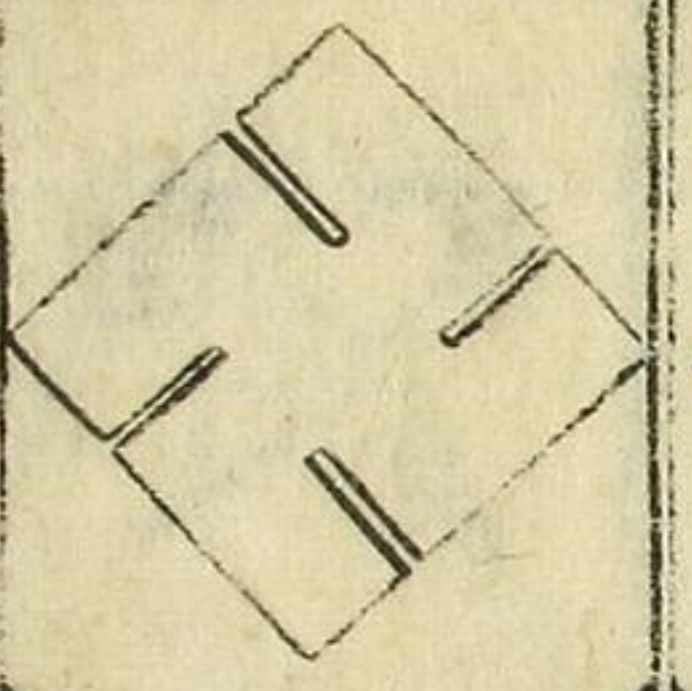
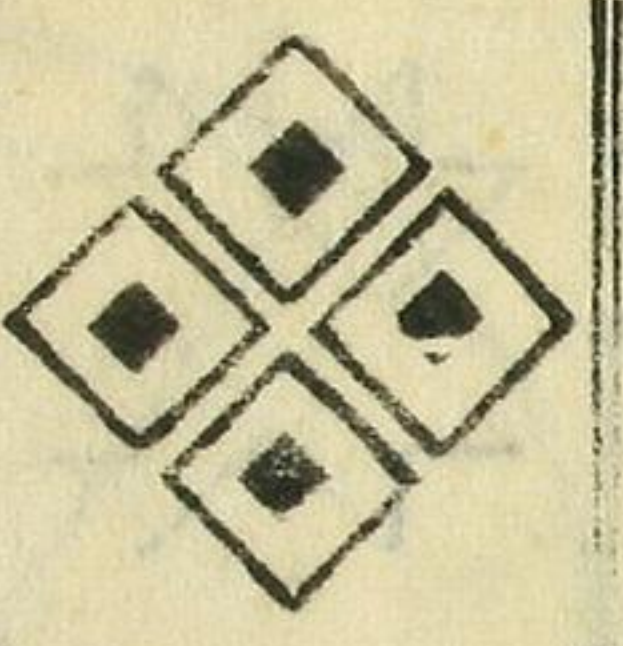
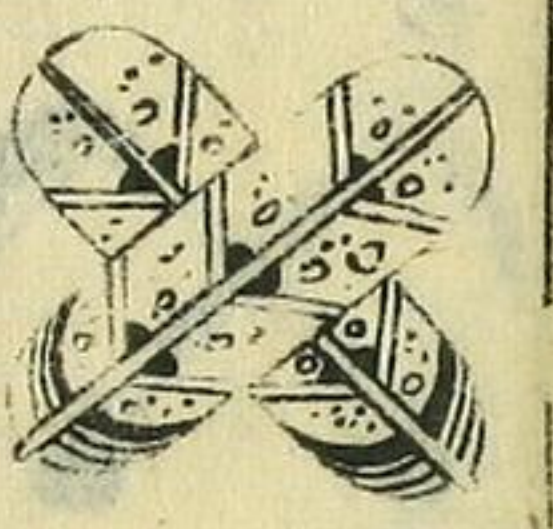
四ツ刻をうゑる

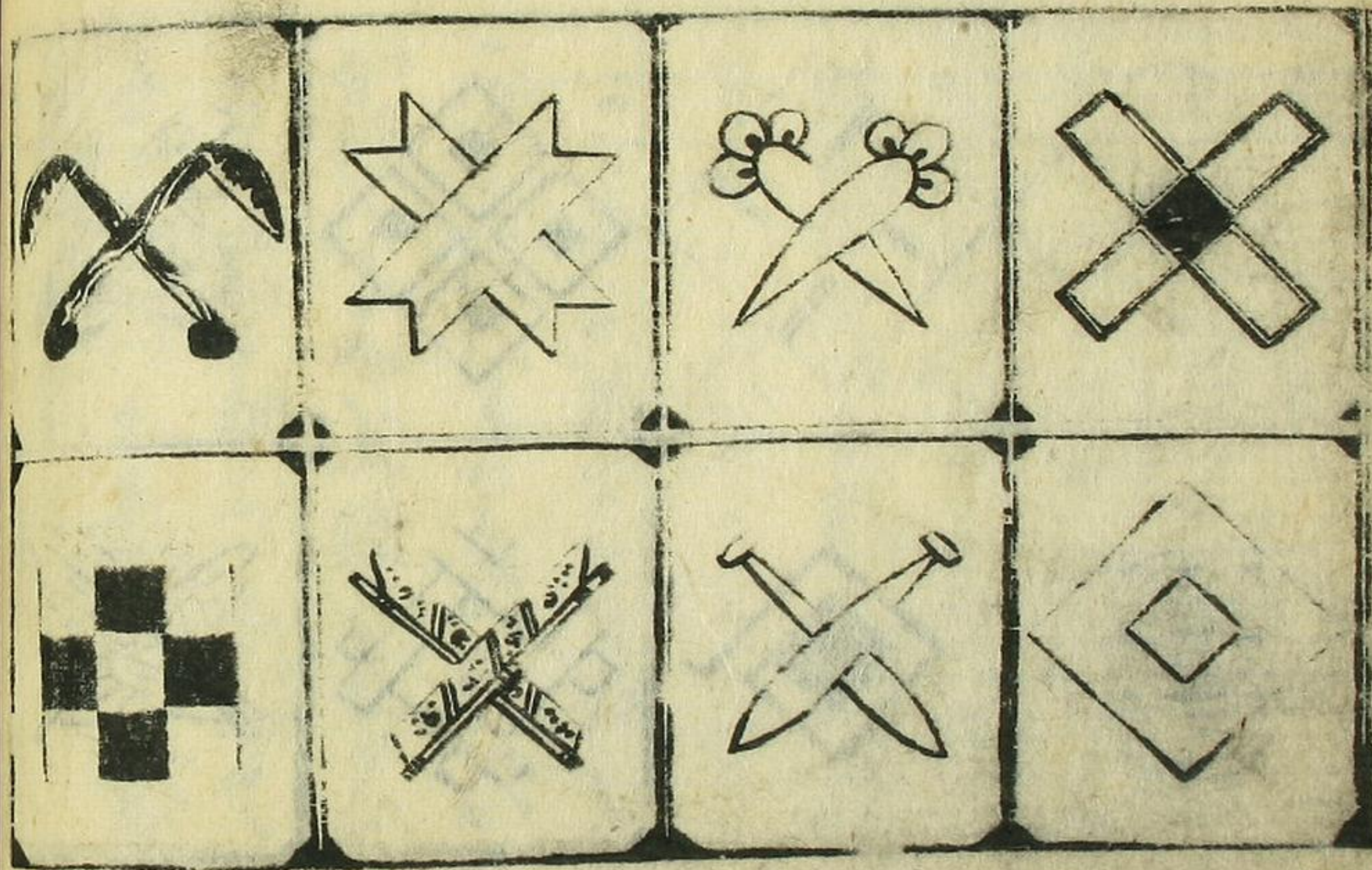


四ツ刻をうゑる
のてしる

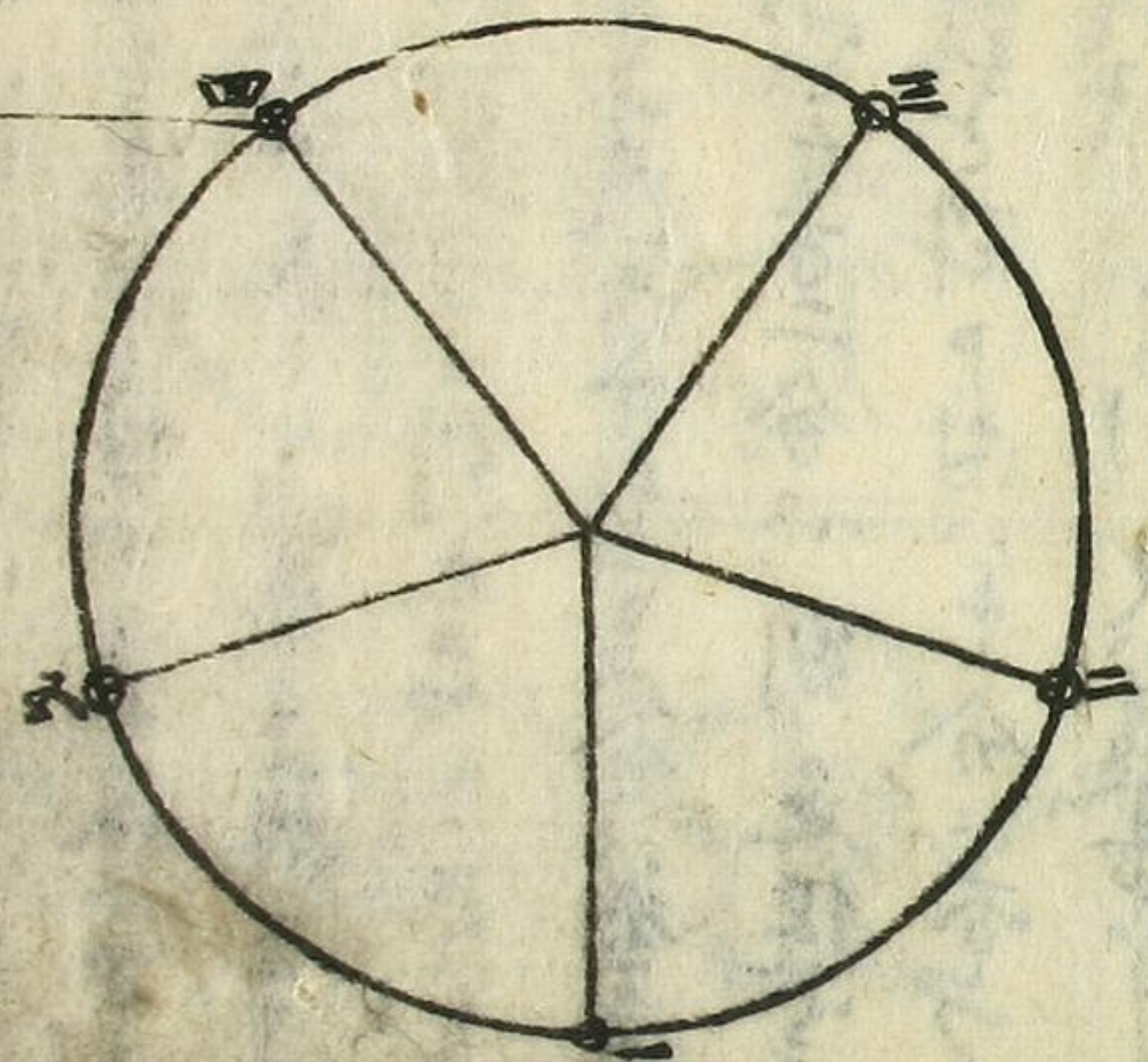


老の仕極之 年我全命
 五子前此紋の川に割り付
 命廻りと七命ひりけあ
 のさく一此下より二三回
 付のへ回つて割也又何
 すふ... 七毛す
 七命... 七毛す
 こ... 割り付
 如海と本成紋もらふ
 ちく割也極之 割り付
 本成紋の分あ... 書
 物...





五ツ割やうの家

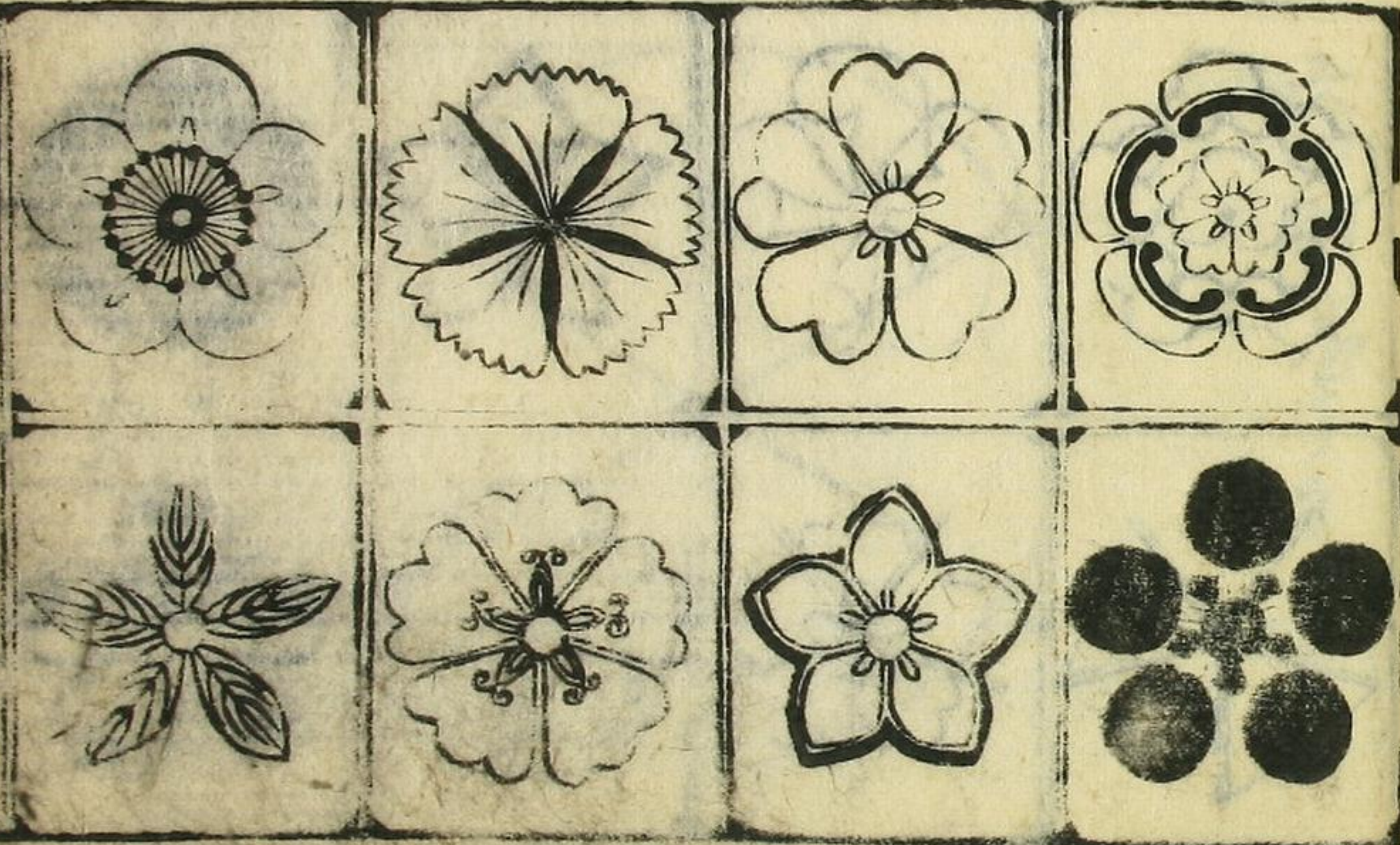


五ツ割ハ五分の九分入道
立不

割紋

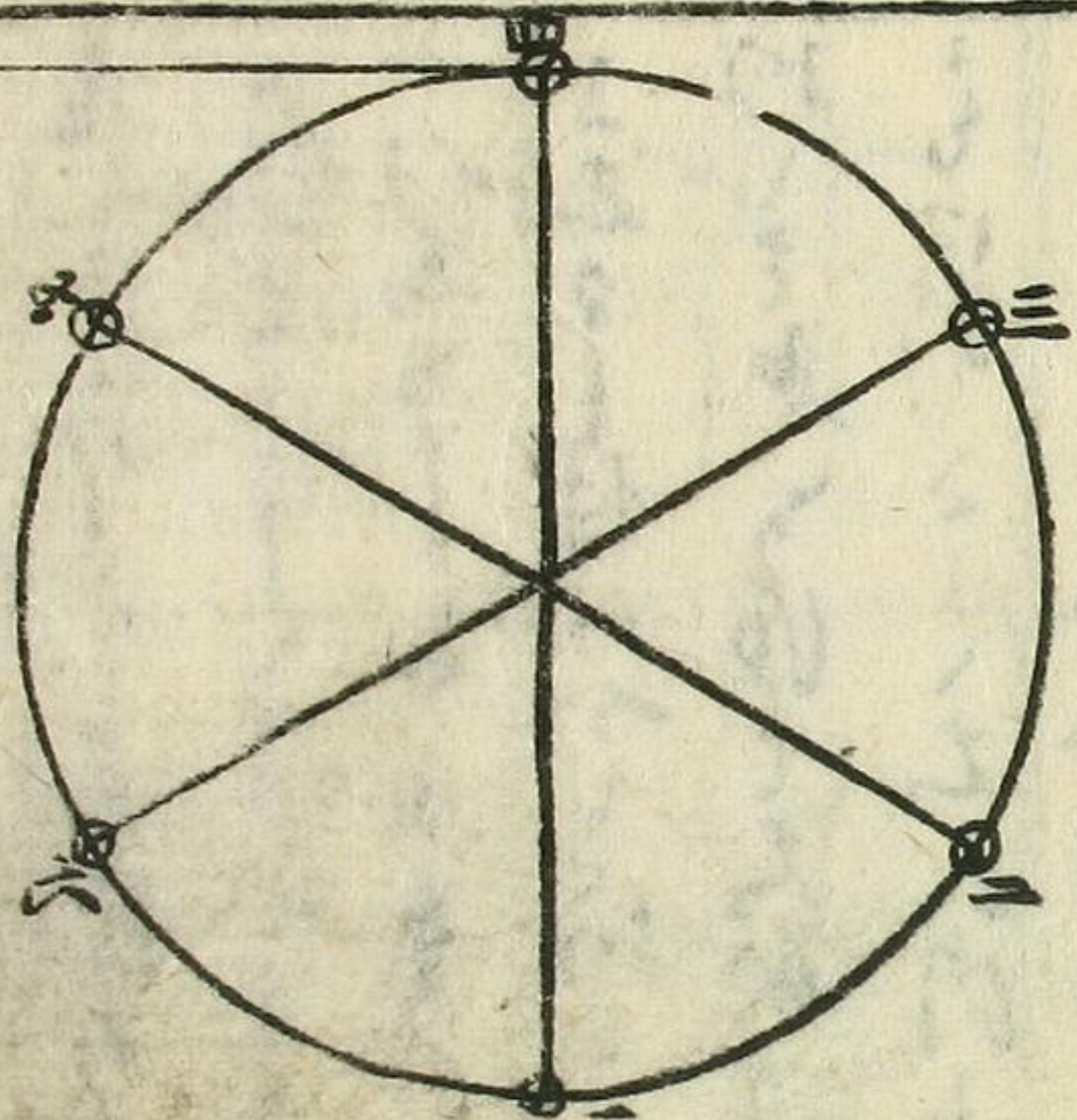
八十七

右の如別や、此事或は弁
 をす、尤ど其の割内六分を
 且して、其の割内三分を
 此の如く、何れも、其の割内
 五分を、其の割内四分を
 此の如く、其の割内三分を
 此の如く、其の割内二分を
 此の如く、其の割内一分を
 此の如く、其の割内五分を
 此の如く、其の割内四分を
 此の如く、其の割内三分を
 此の如く、其の割内二分を
 此の如く、其の割内一分を

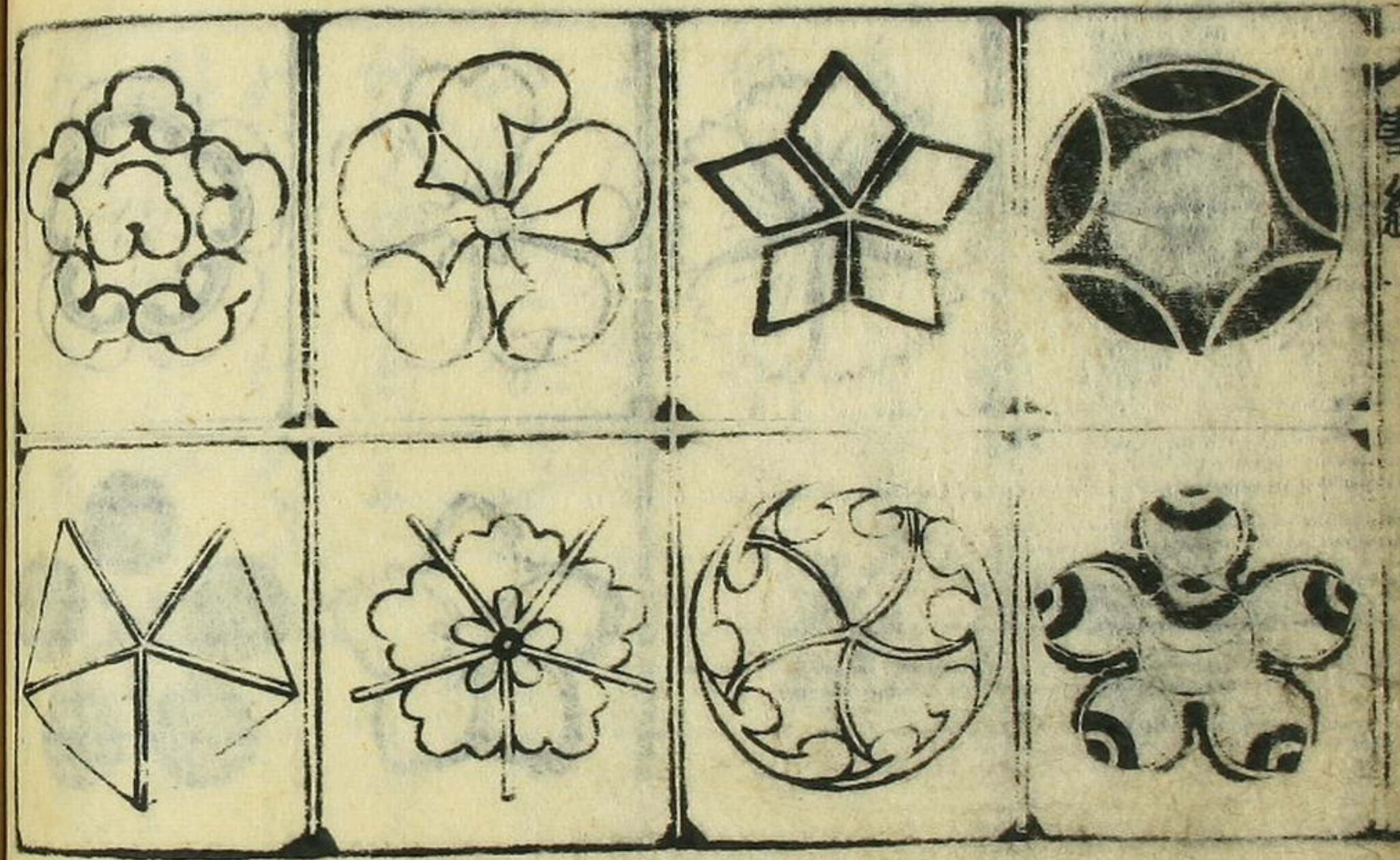


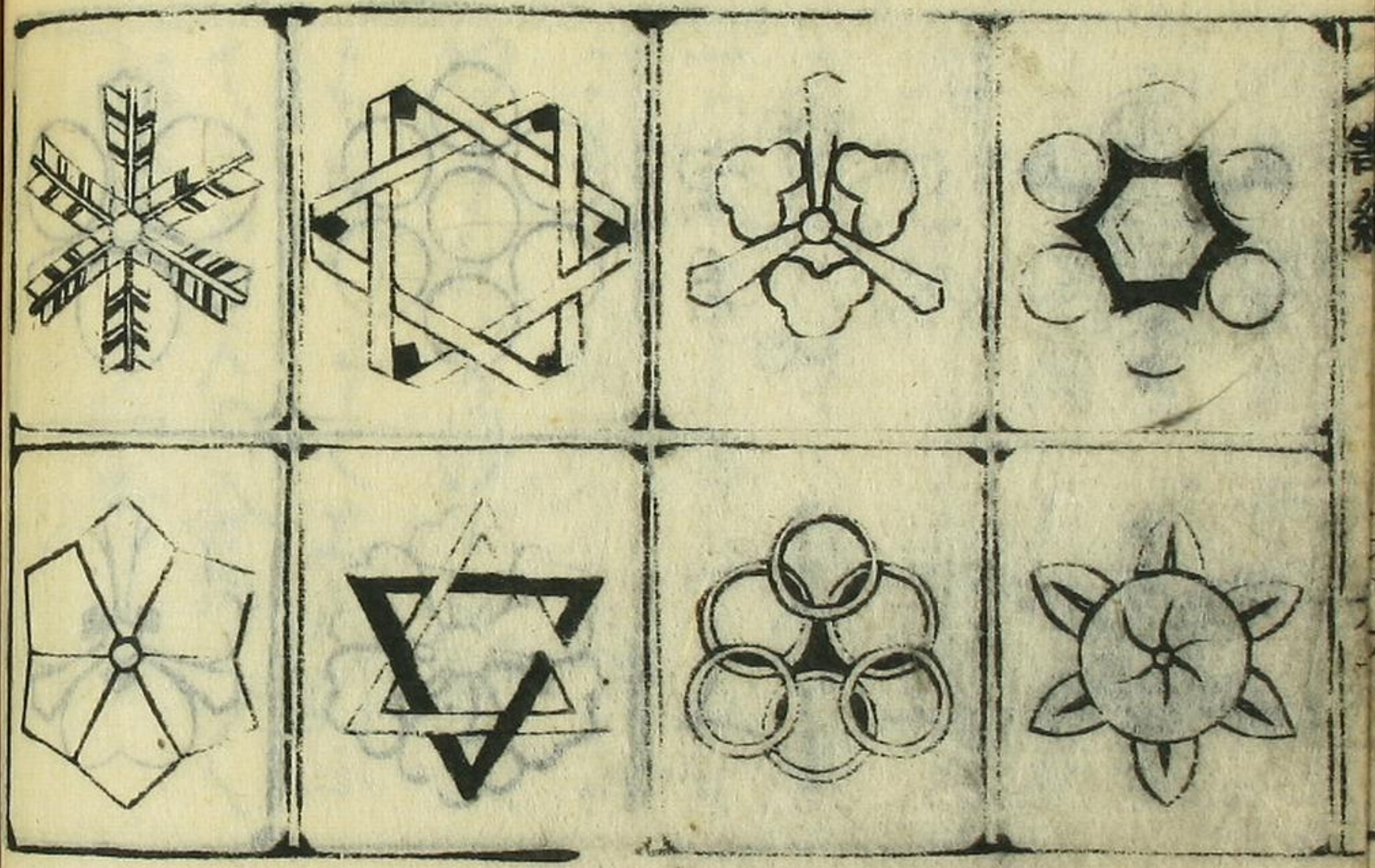
割文

六ツ割をう之湯



此のハ六ツ割ニシテ
 六ツ割ノ事

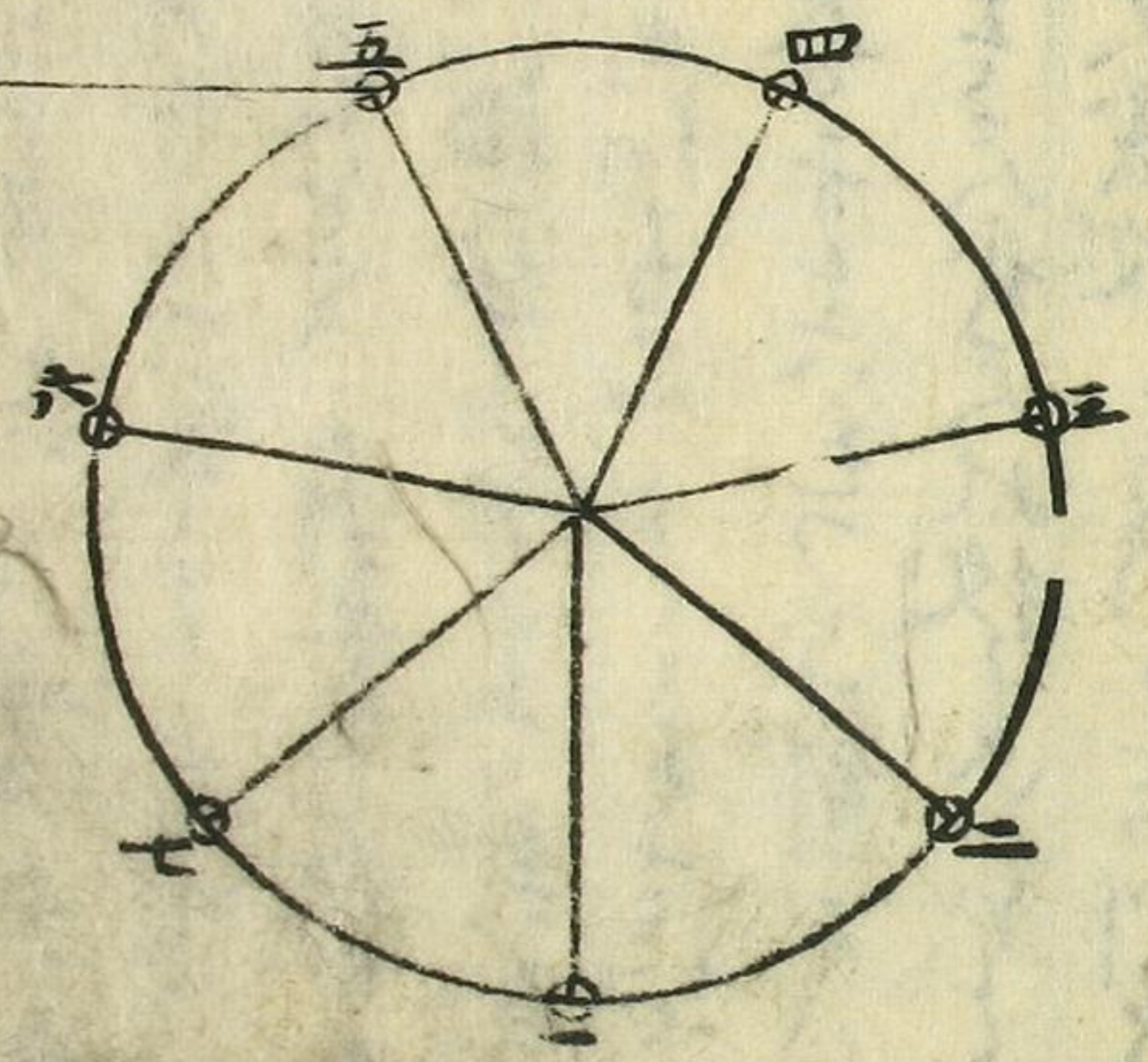




八葉

九

七ツヨリをうけ家

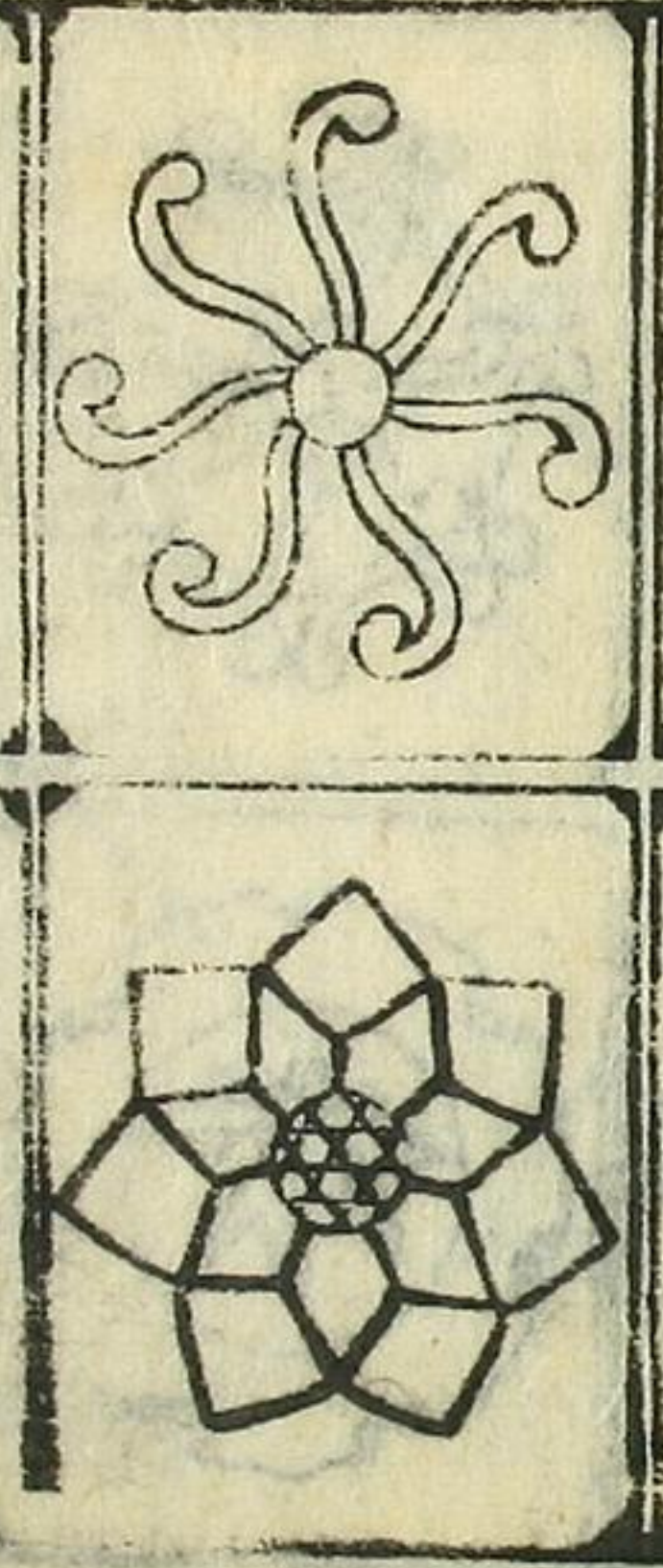
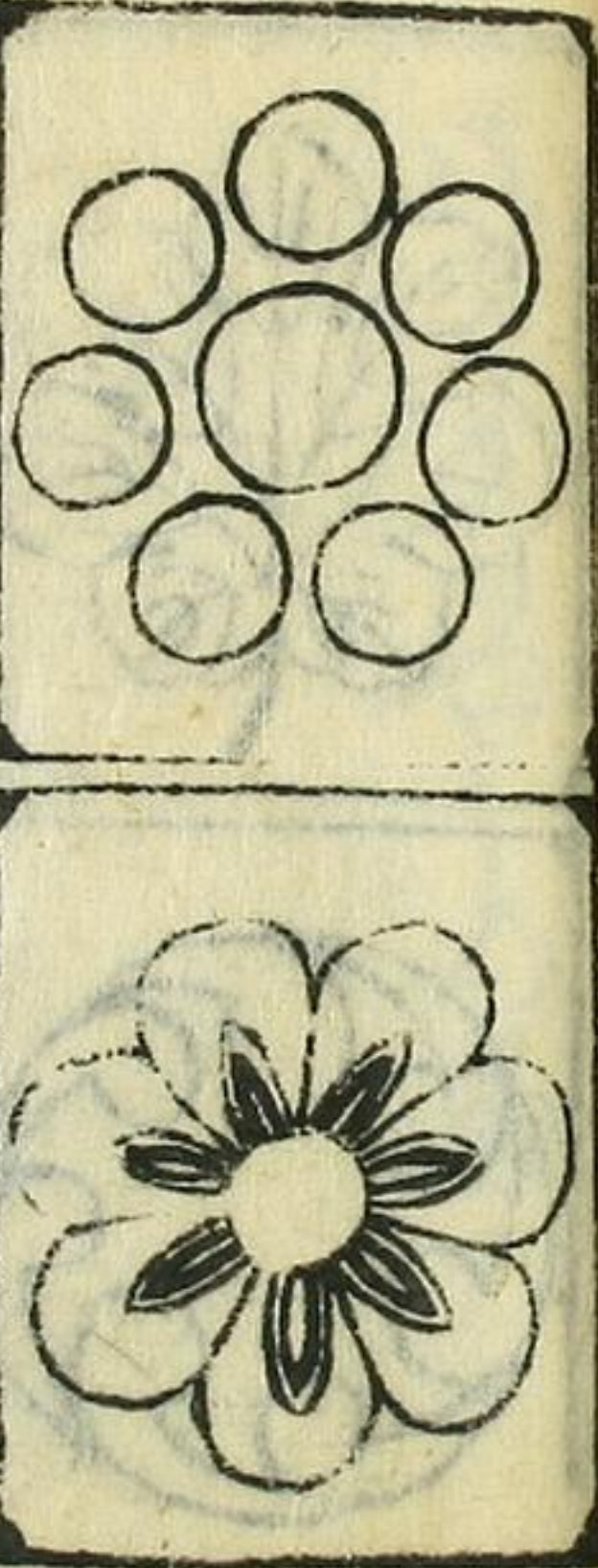


六ツヨリをうけ家

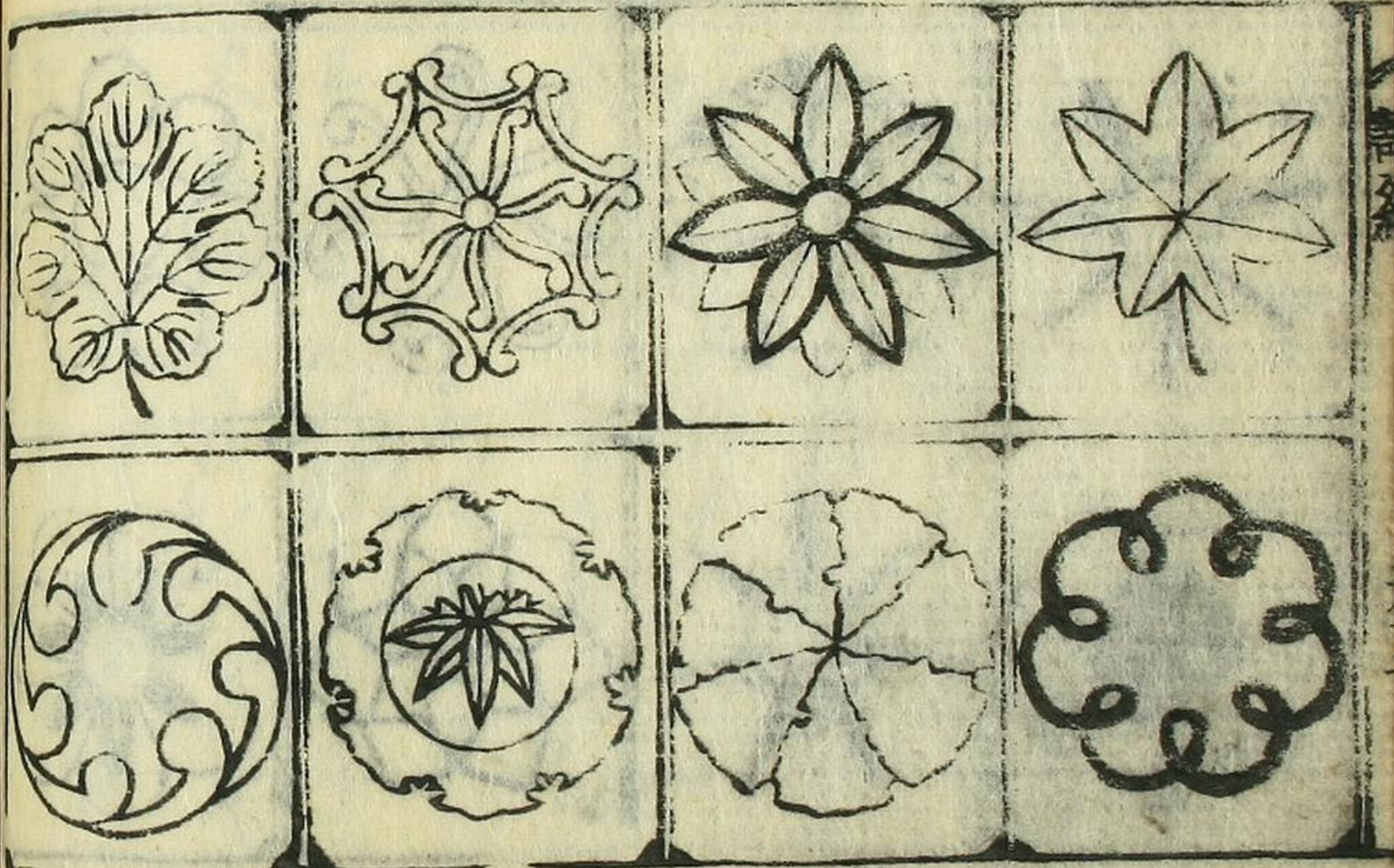
七ツ

八

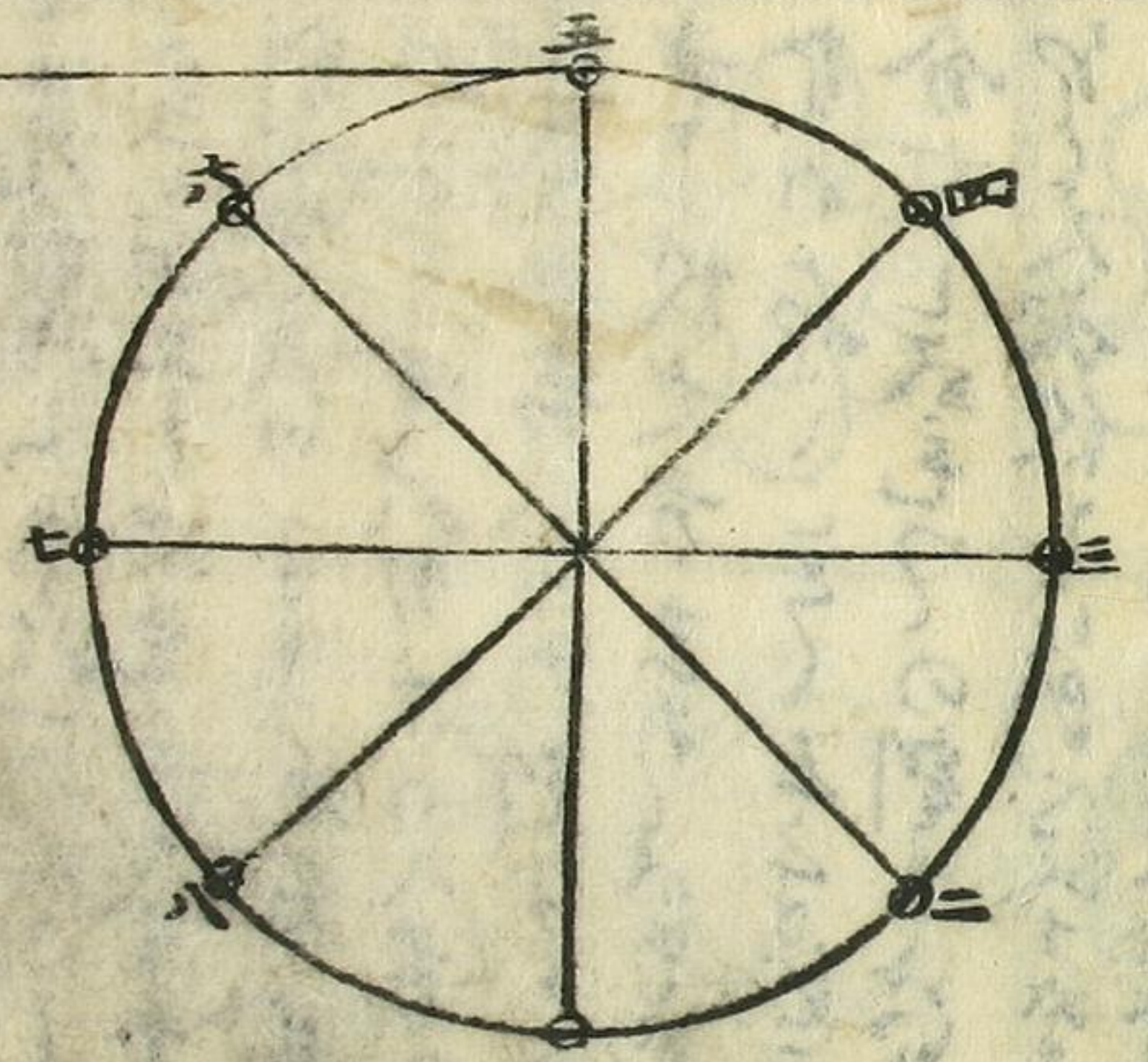
名セツ割仕極の事或ハ
 三寸九とセツ割内マ分
 二寸六とツレ分直ニ
 ノとク一はる一は丸ノ
 ちらとセツ割也とテ常ニ
 ニ海入中ノ刃ガキ割
 也何モ志トクニ手ニ
 分ニ寸六とツレ割ニ
 三寸八或ハ此紋も
 大成紋也日ノ也セツ割
 三寸八紋ありク出集
 一の



割紋
 九十二



ハ
ニ
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

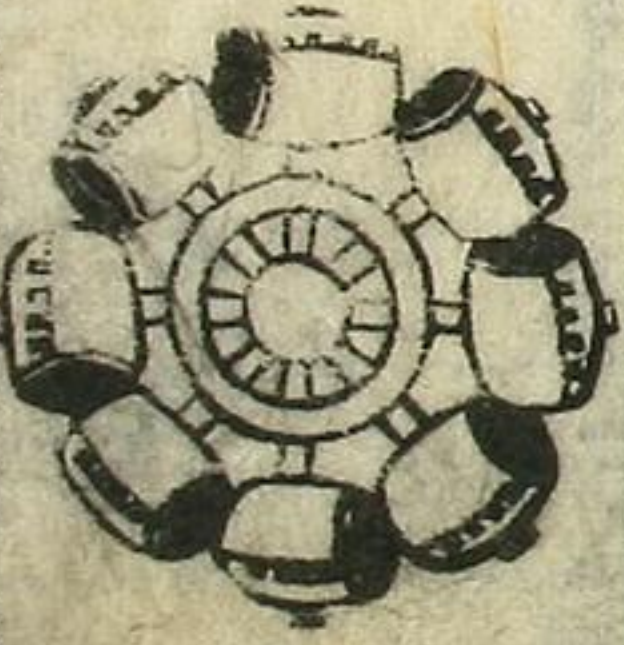
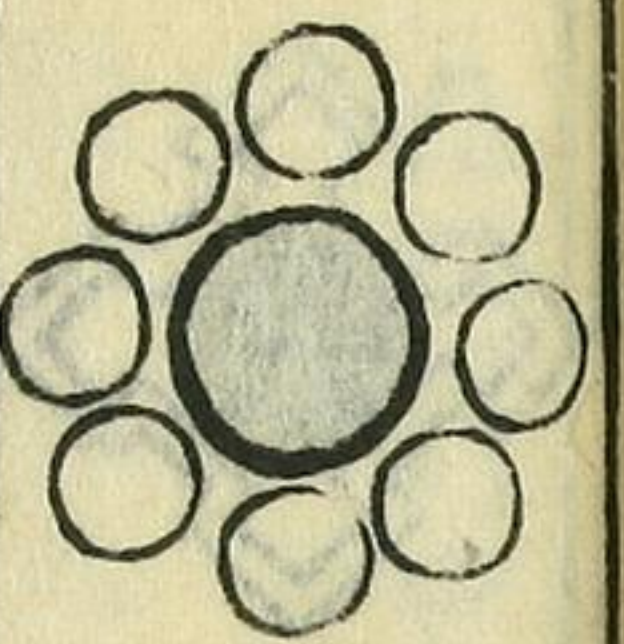
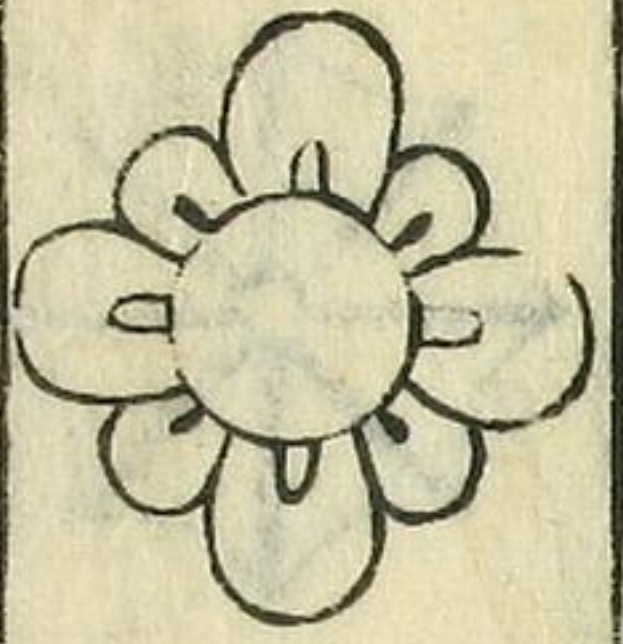
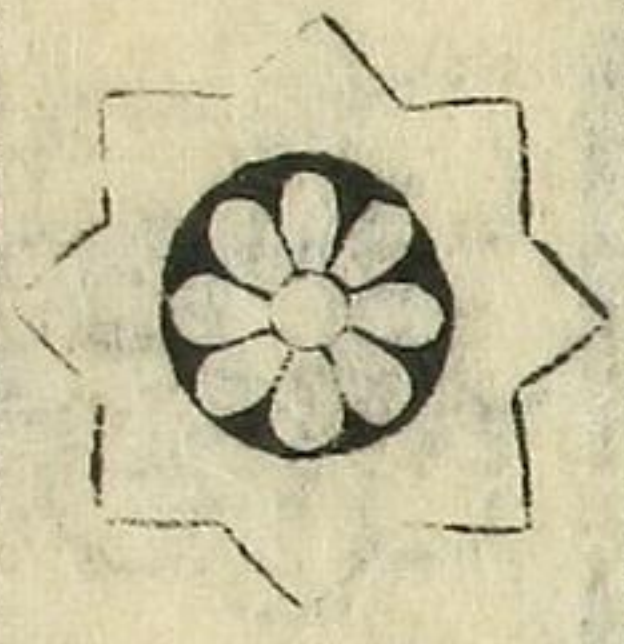
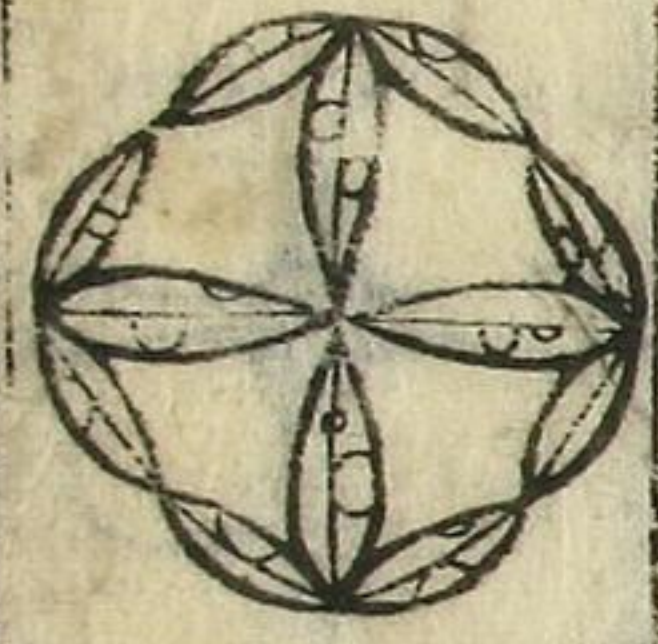


ハ
ニ
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

割

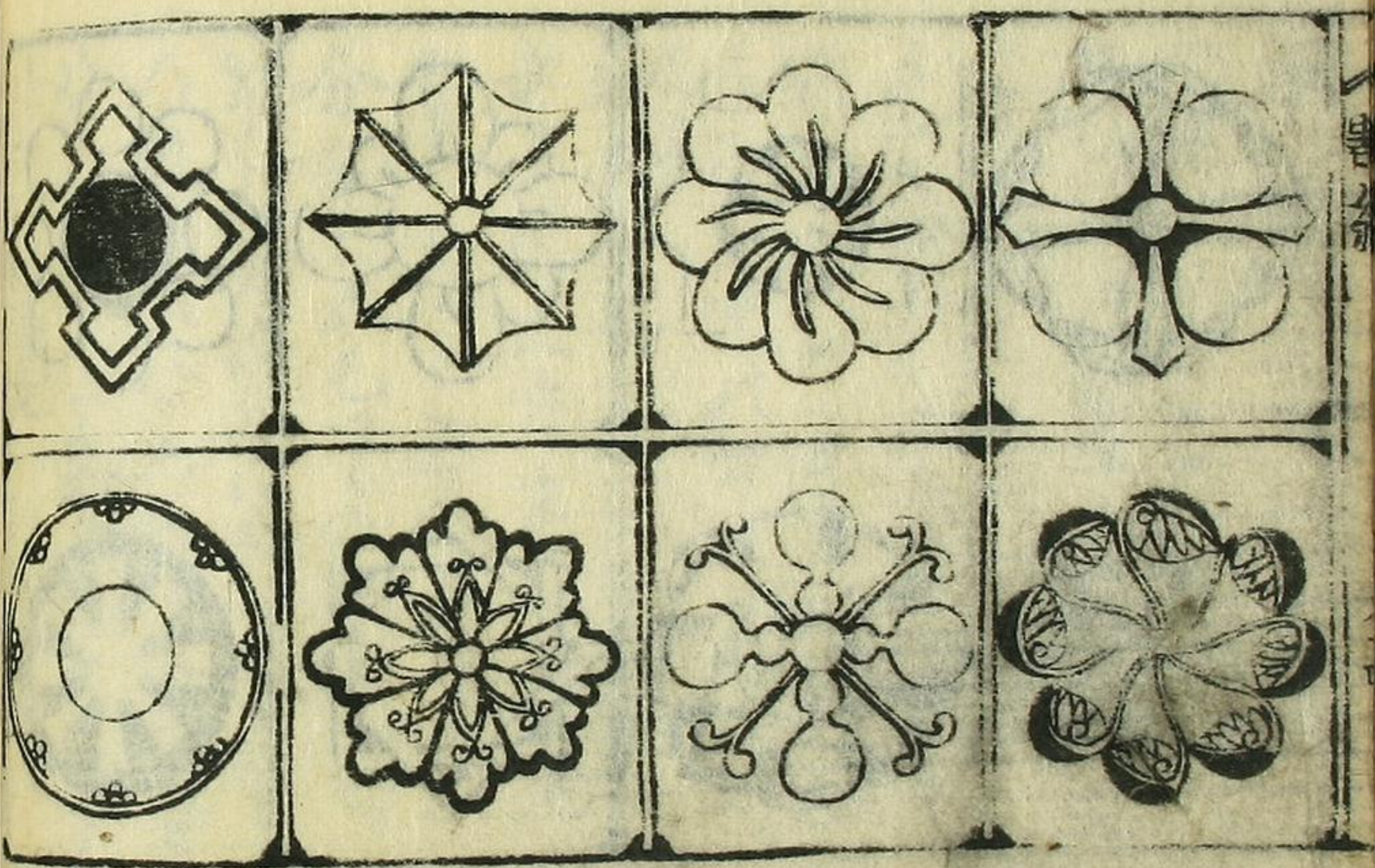
九十三

右ハ割屋ノ此事或全音
 ノ丸ト云ハ一割内三分一
 五毛ツク此分一五毛
 一丸ノ下ラ下此一五毛
 三三四五ト決ルハ八毛
 割ニ入ルハ一五毛也者
 此ニ云ク中此カドハ八方
 卦也者ハ八ツノ割ニ入
 者一紋大方也者ハ一五毛
 下ノ右ノ一五毛ト云ハ三
 分一五毛ツクノ割ニ入ル
 一五毛ト云ハ一五毛
 ノ割ニ入ルハ八ツノ割ニ入
 一五毛ト云ハ一五毛
 ノ割ニ入ルハ八ツノ割ニ入

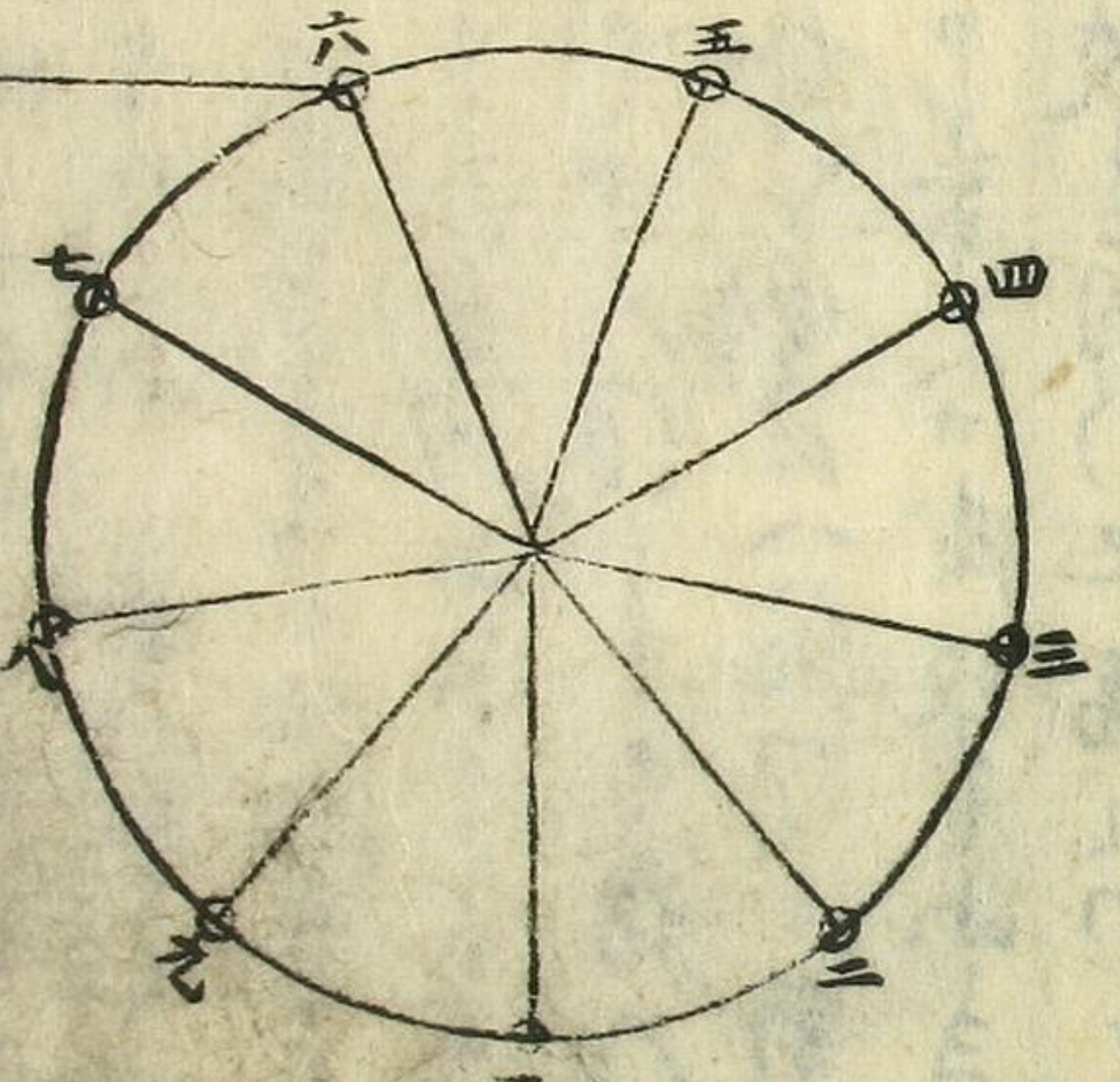


割紋

九十四



九ツ割やうの図

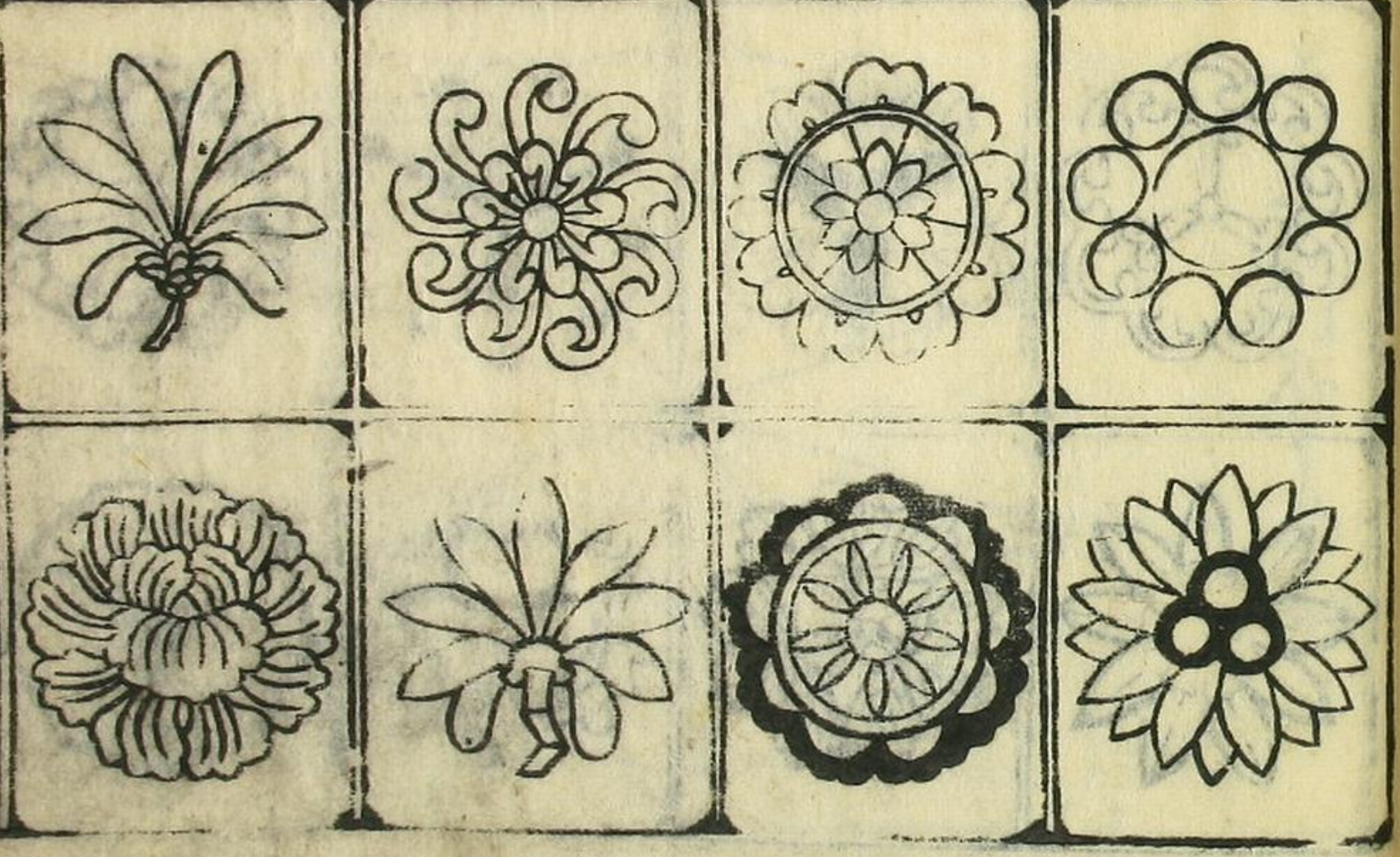


はりふさぎし分道三三

割文

五十九

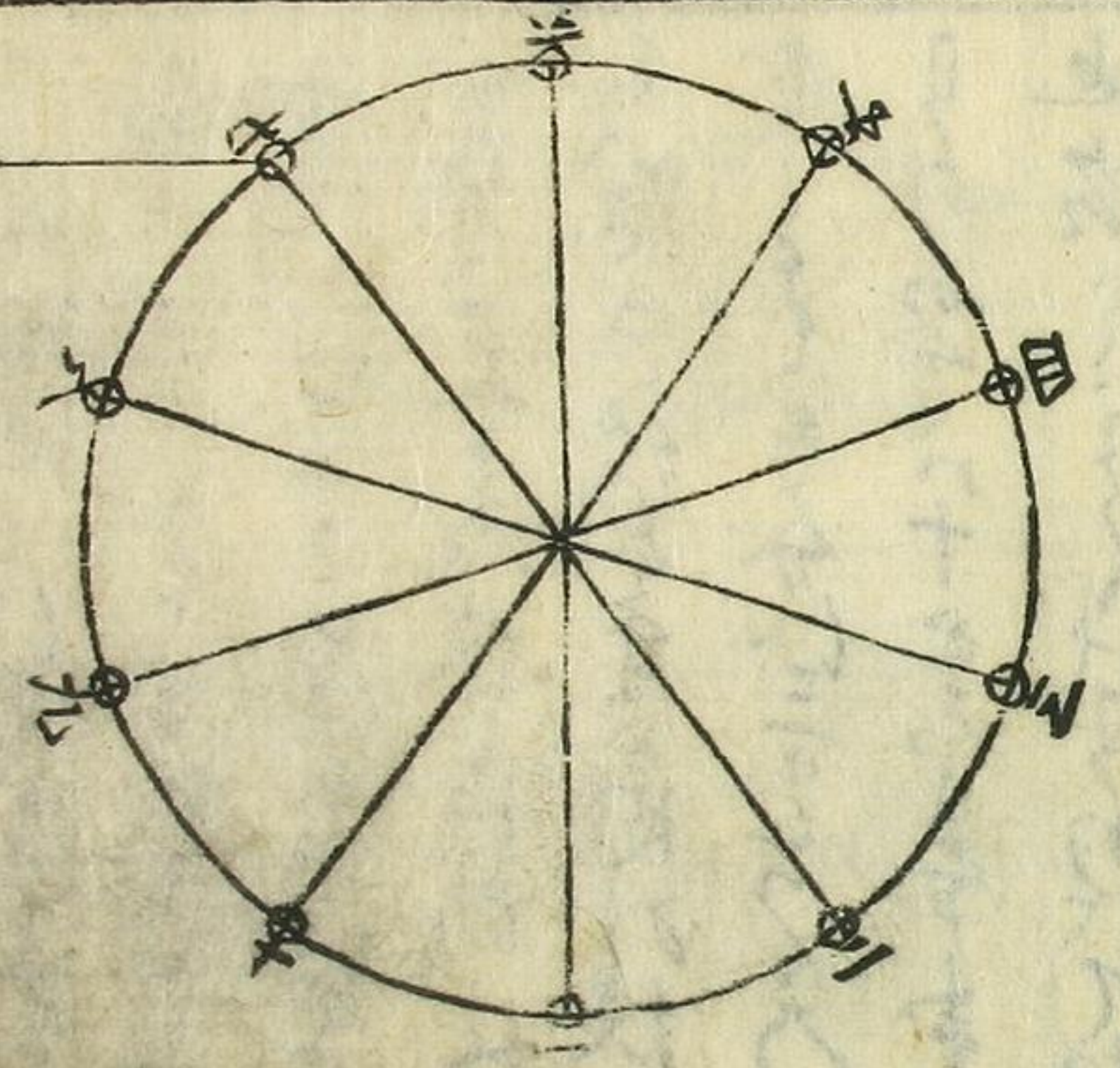
右九ツ此刻^りあるを先
 手此丸と九ツ刻付
 海^のニ分ニツツ^の分
 まり^のわく^のあ^らく
 此^のあ^らく^のあ^らく
 ま^りの丸^のあ^らく^のあ^らく
 て中^のほ^ろま^りの丸^の
 卦^のと^あら^くの丸^の刻
 中^の丸^のあ^らく^のあ^らく
 紋^も同^じ也^に備^へる^丸
 刻^の丸^のあ^らく^のあ^らく
 の^あら^く



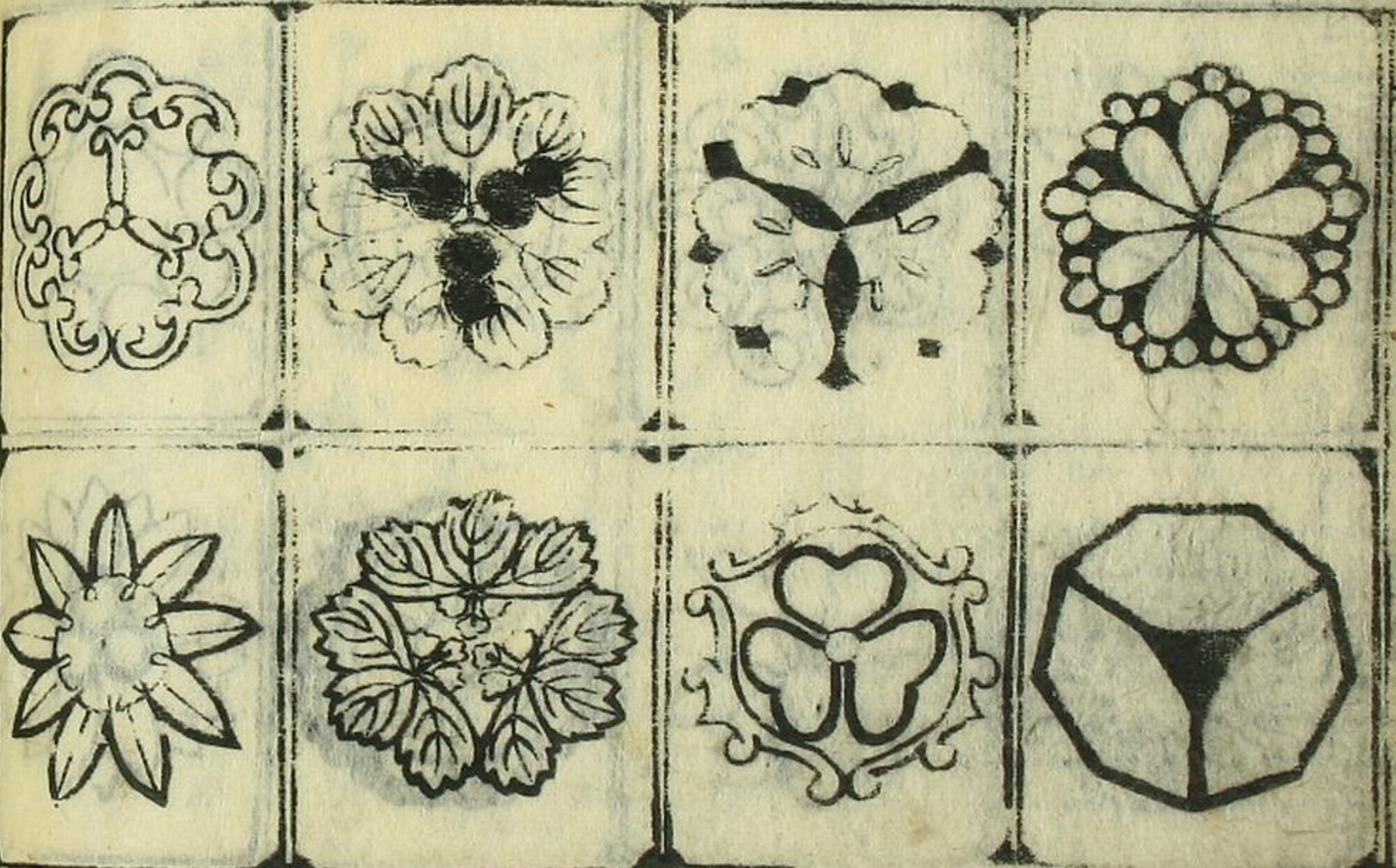
刻紋

九十六

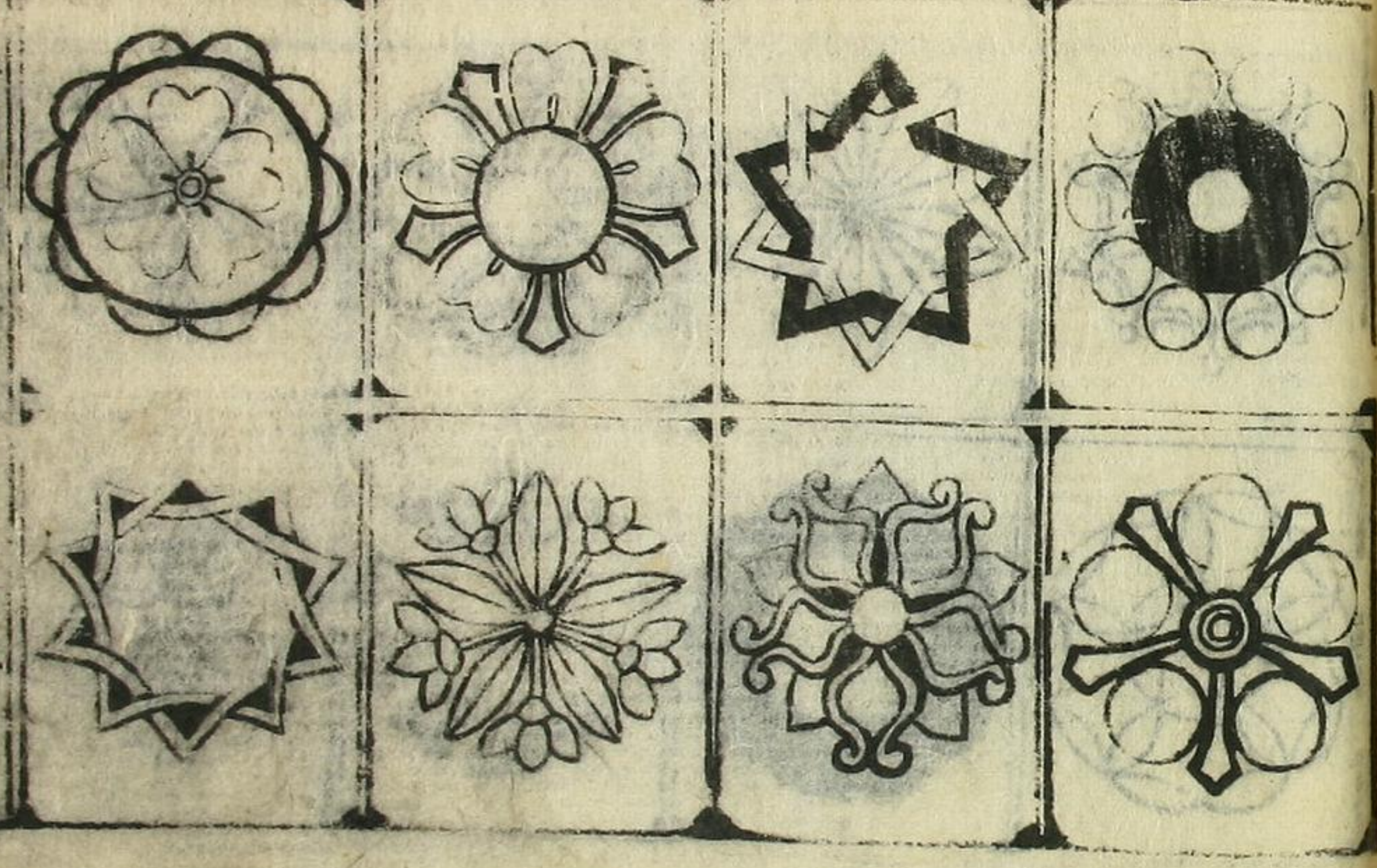
十之別屋の形



此の八何れも人直之形也



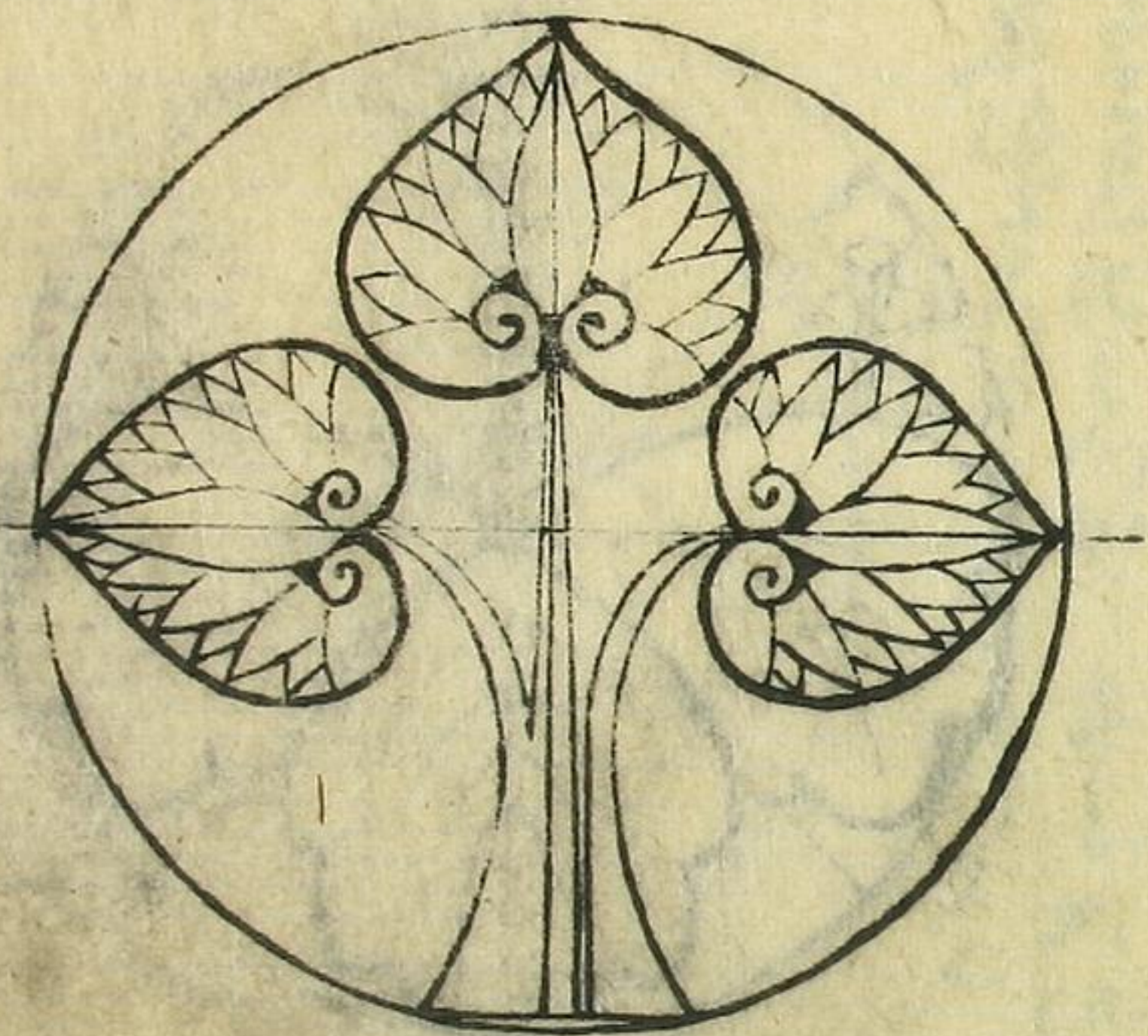
一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



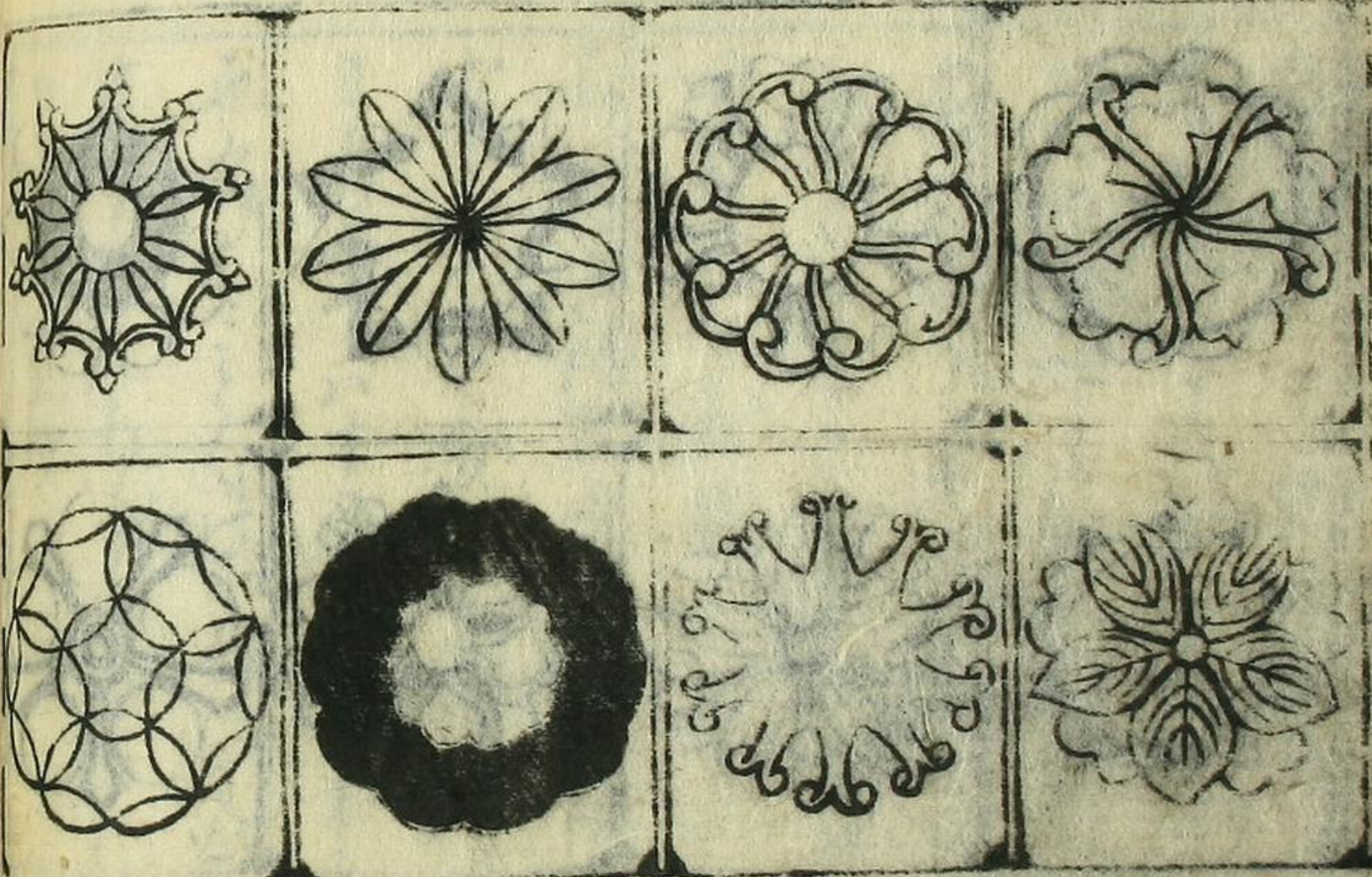
一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

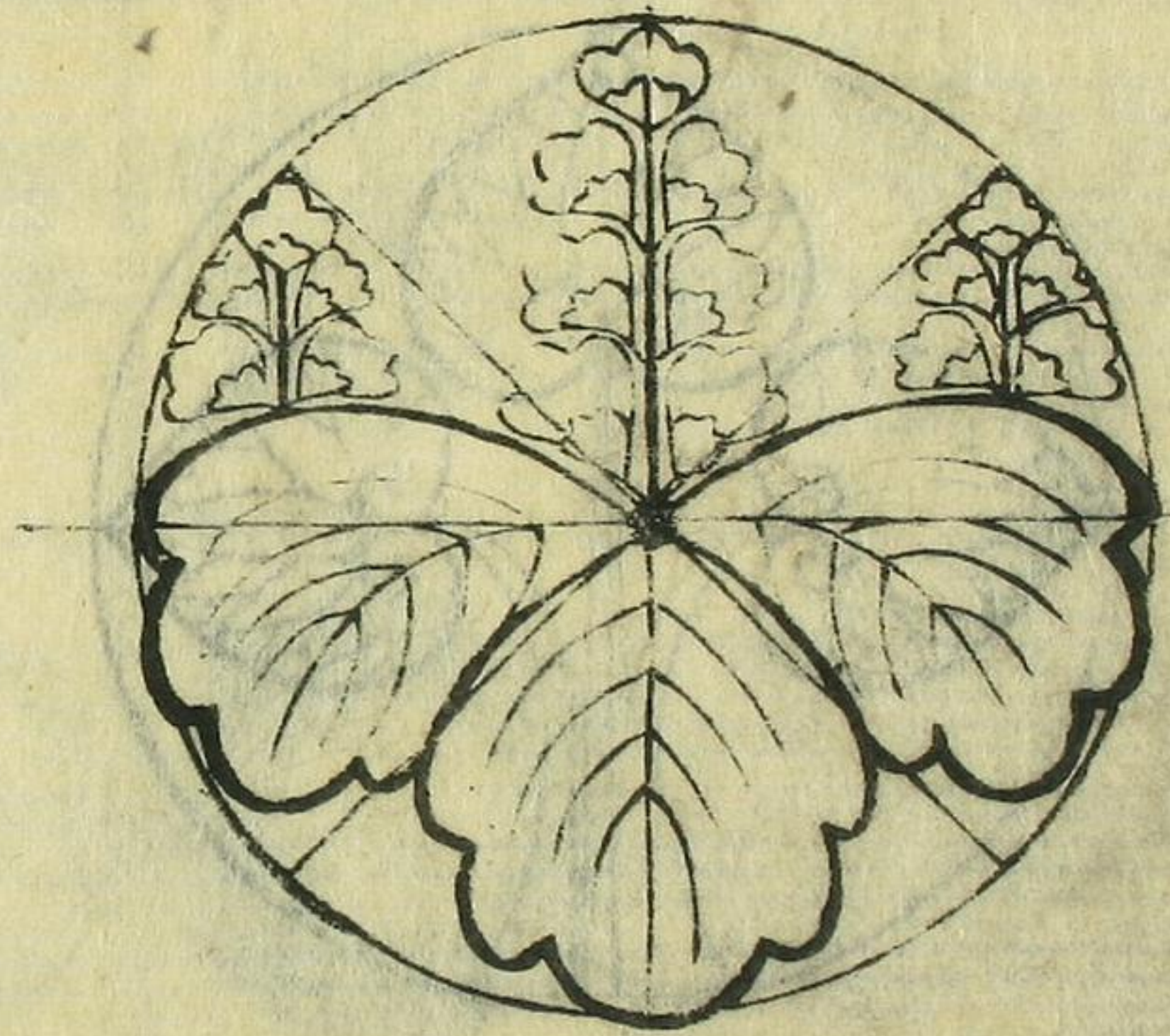
立葵虫振之器



立葵刻也
 月之...也
 如...
 四ツ刻



桐書振し景

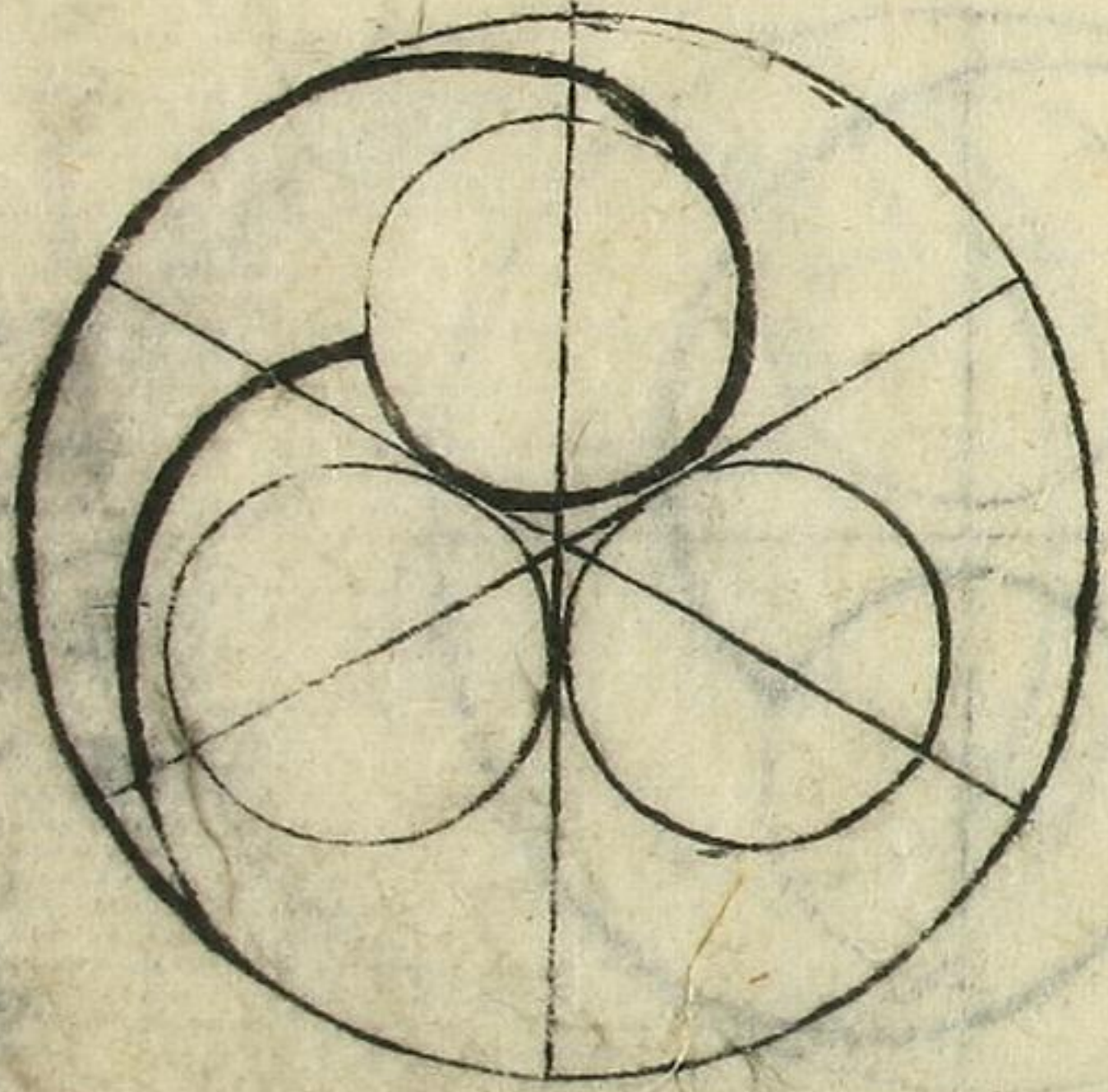


桐の製や
多振ぬり
ハツれまゐる

とらどりのいまど丸と廻し

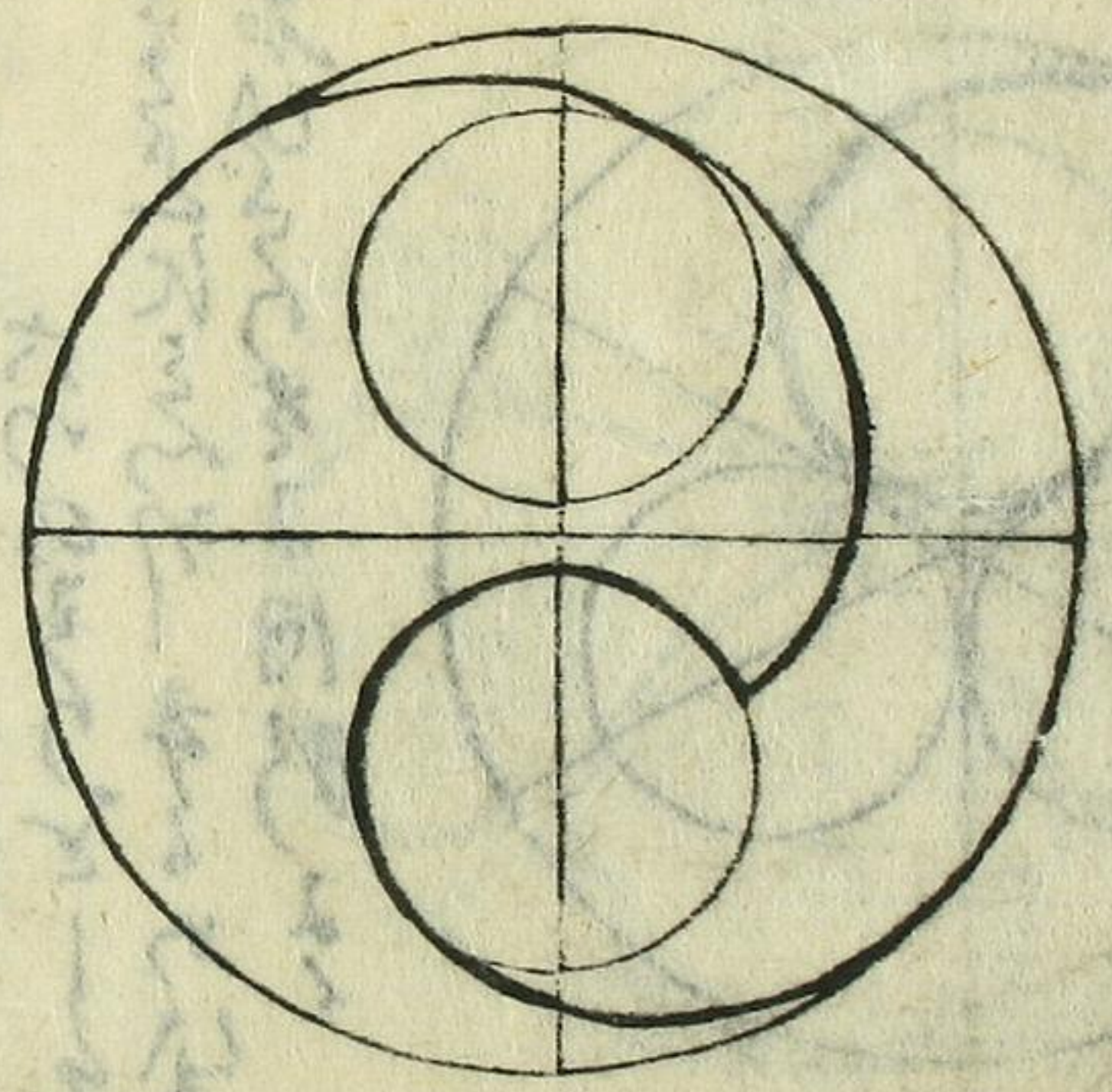
六つのもりとして

とらどりにとらどり本らめい
右ひどりをたよ同即よ



桐文

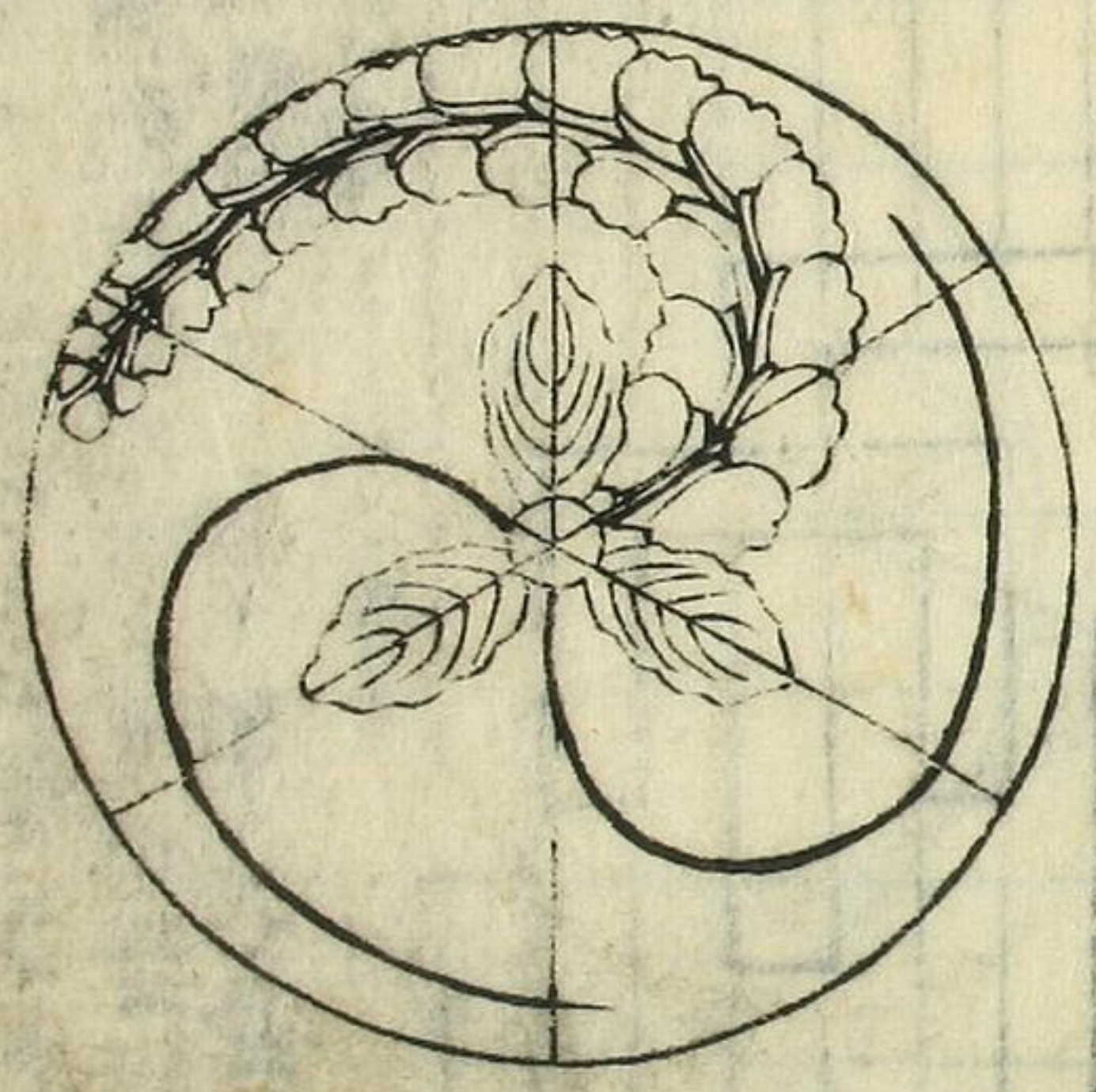
二の頭とりのへ先丸と四一
倍十の作れ卦ひい下
の初一ととて入事ひ



[Faint handwritten text in the left margin]

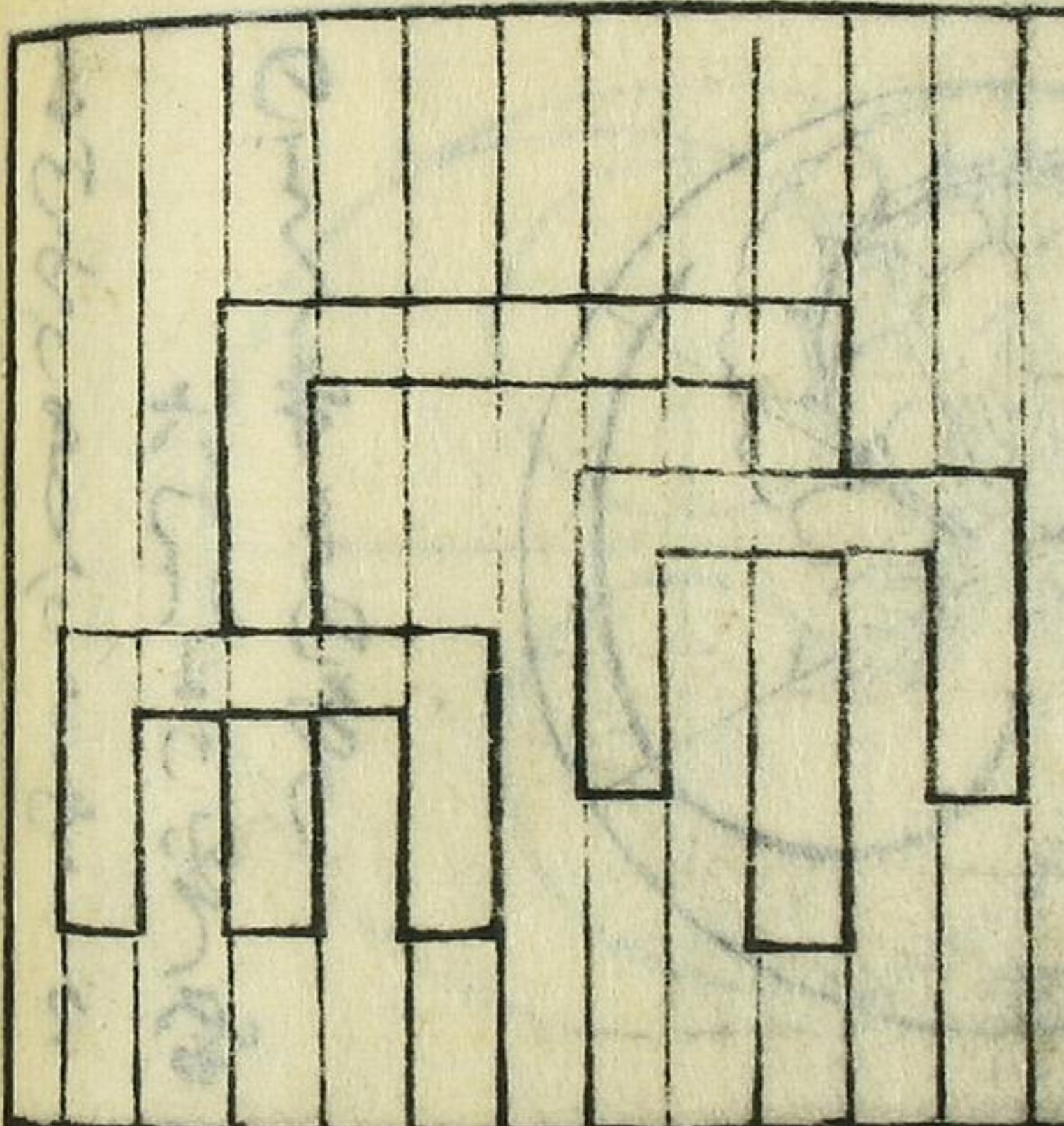
三の頭とりのへ先丸と四一

六の頭とりのへ先丸と四一
の二の頭とりのへ先丸と四一

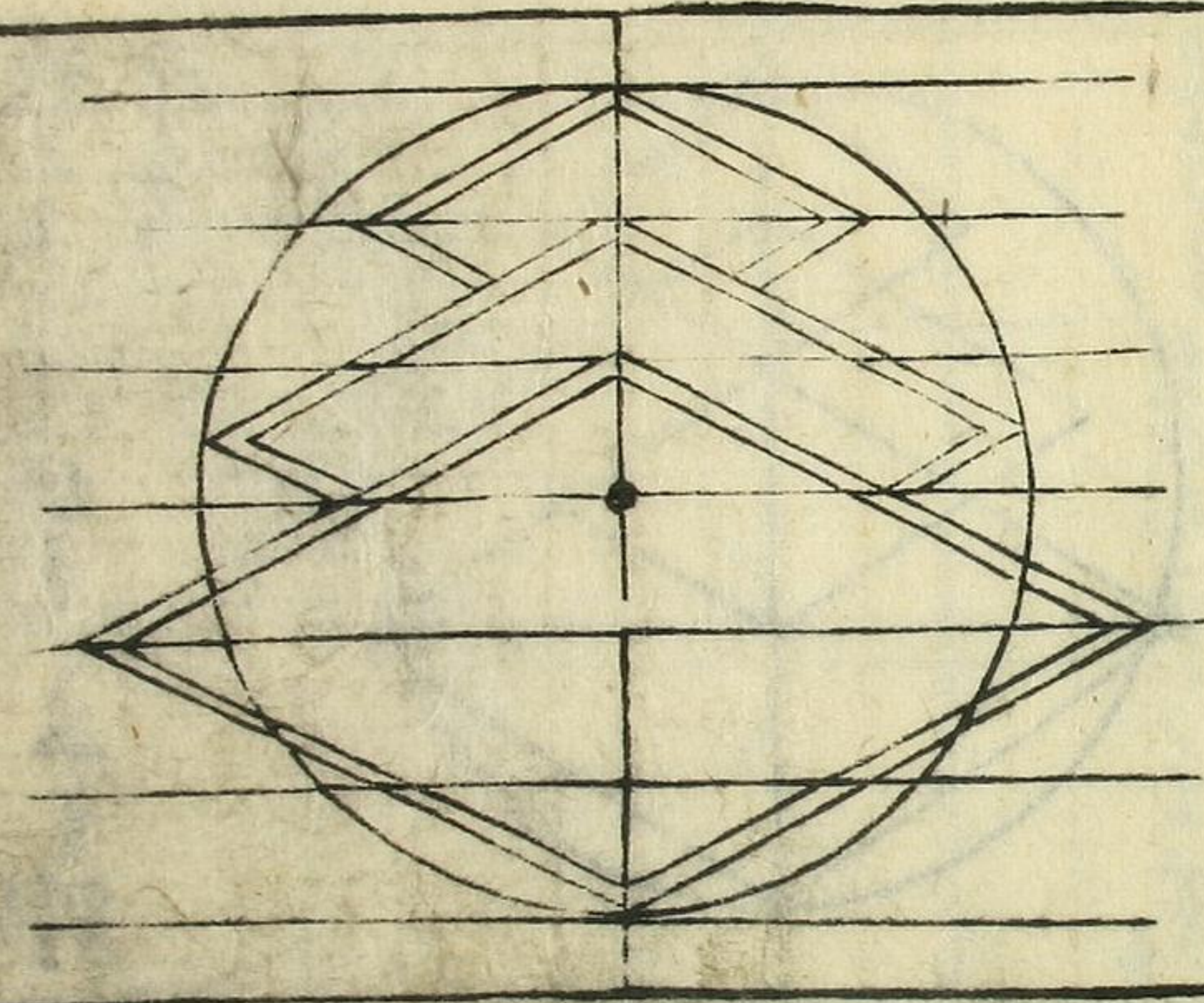


割文
百一

香乃等の書に云くは、
 卦ひきこいては、
 のつら、
 月あり世、
 ハ常乃ふと、
 といふや、

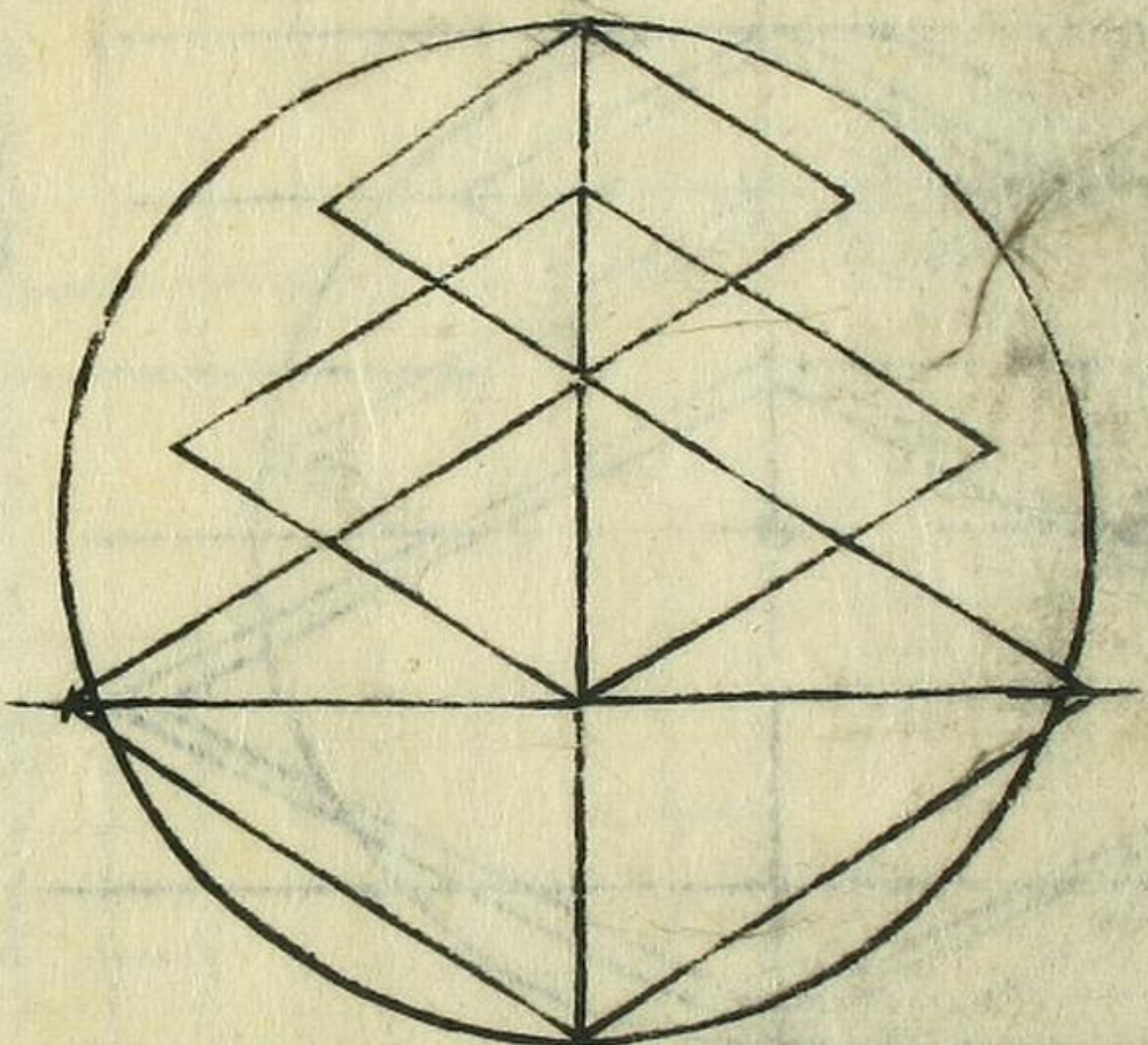


三かいひ、
 かく六、
 といふや、



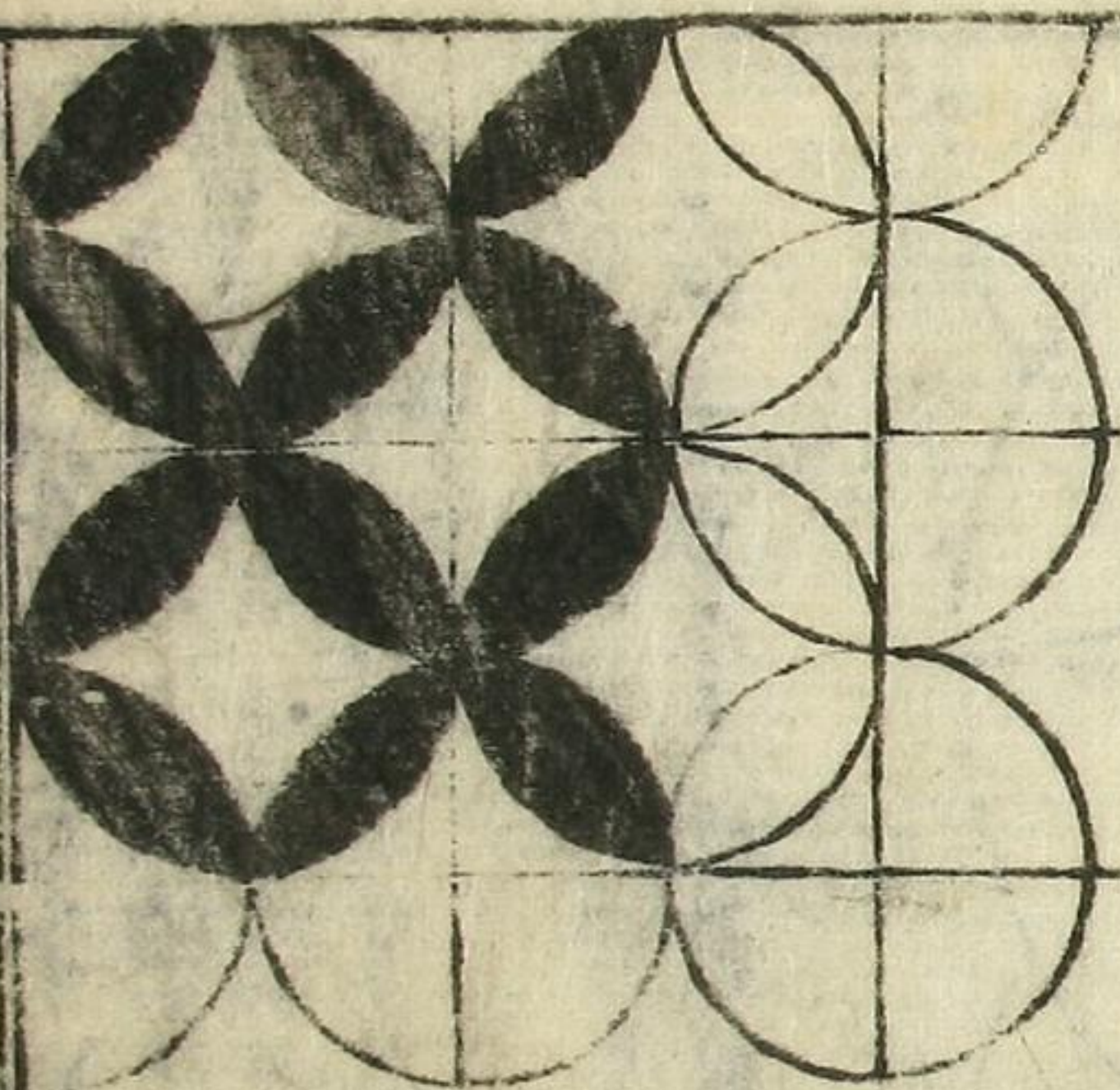
訓文
 三

目三ふひーびーくみーの割
Pあり

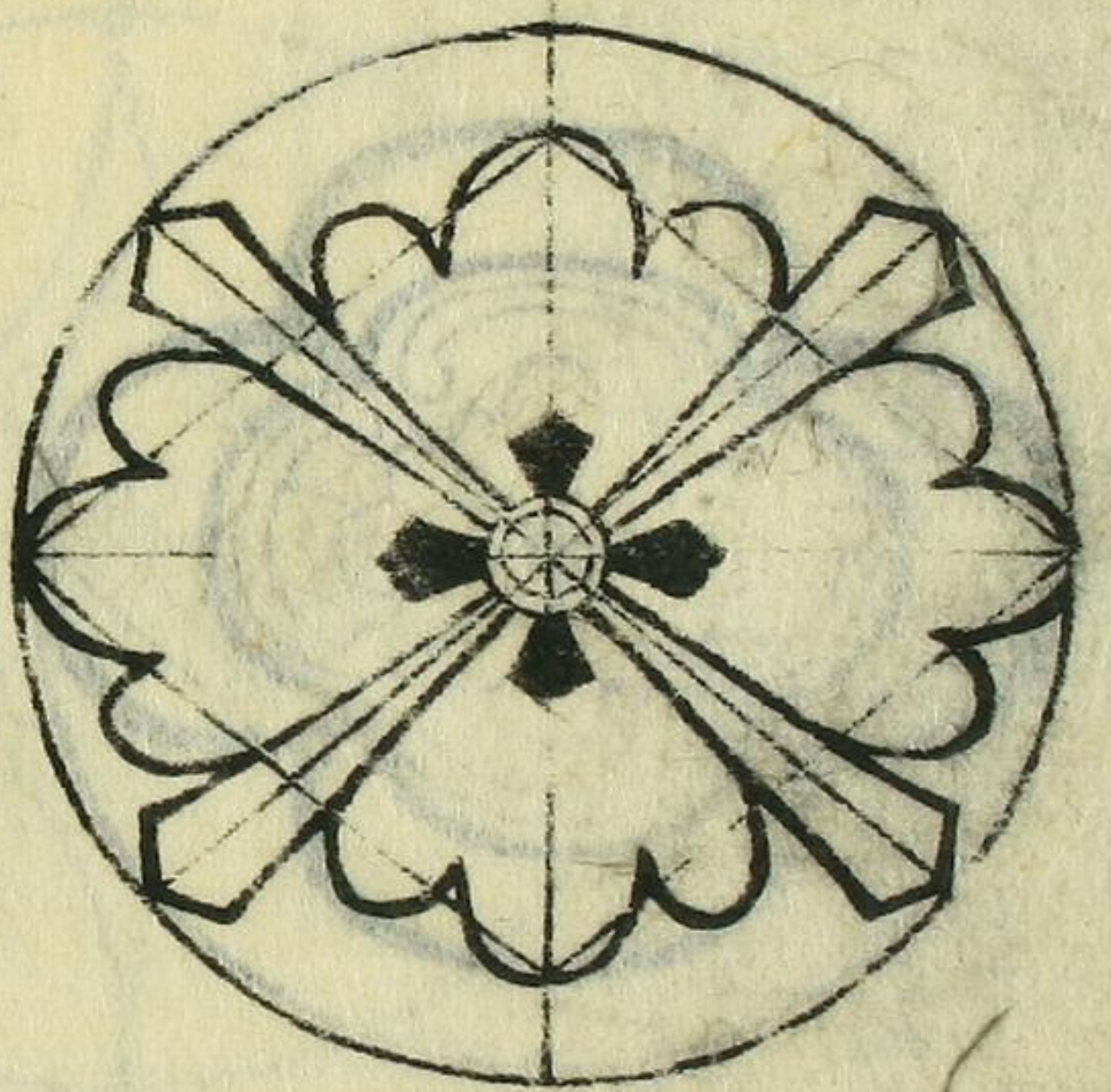


に直ハ老と如きより下まで
三ふひーのりびーくみーの割
らふふふふふふ

つらふの割やみけとくふふ
十もふふの割やみけとくふふ
まふふふふふふふふふふ
まふふふふふふふふふふ

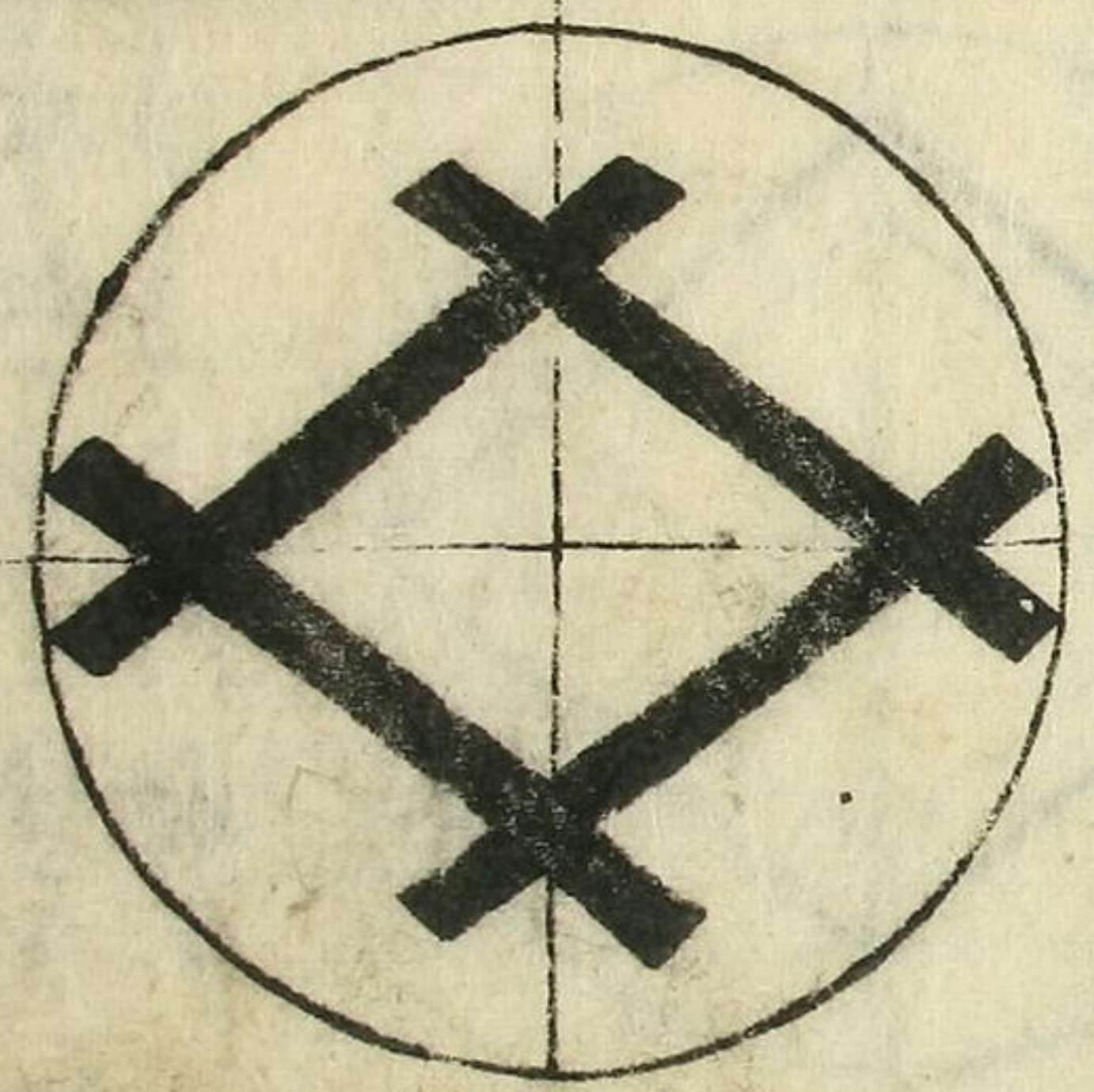


見こみり
海丸菱之場



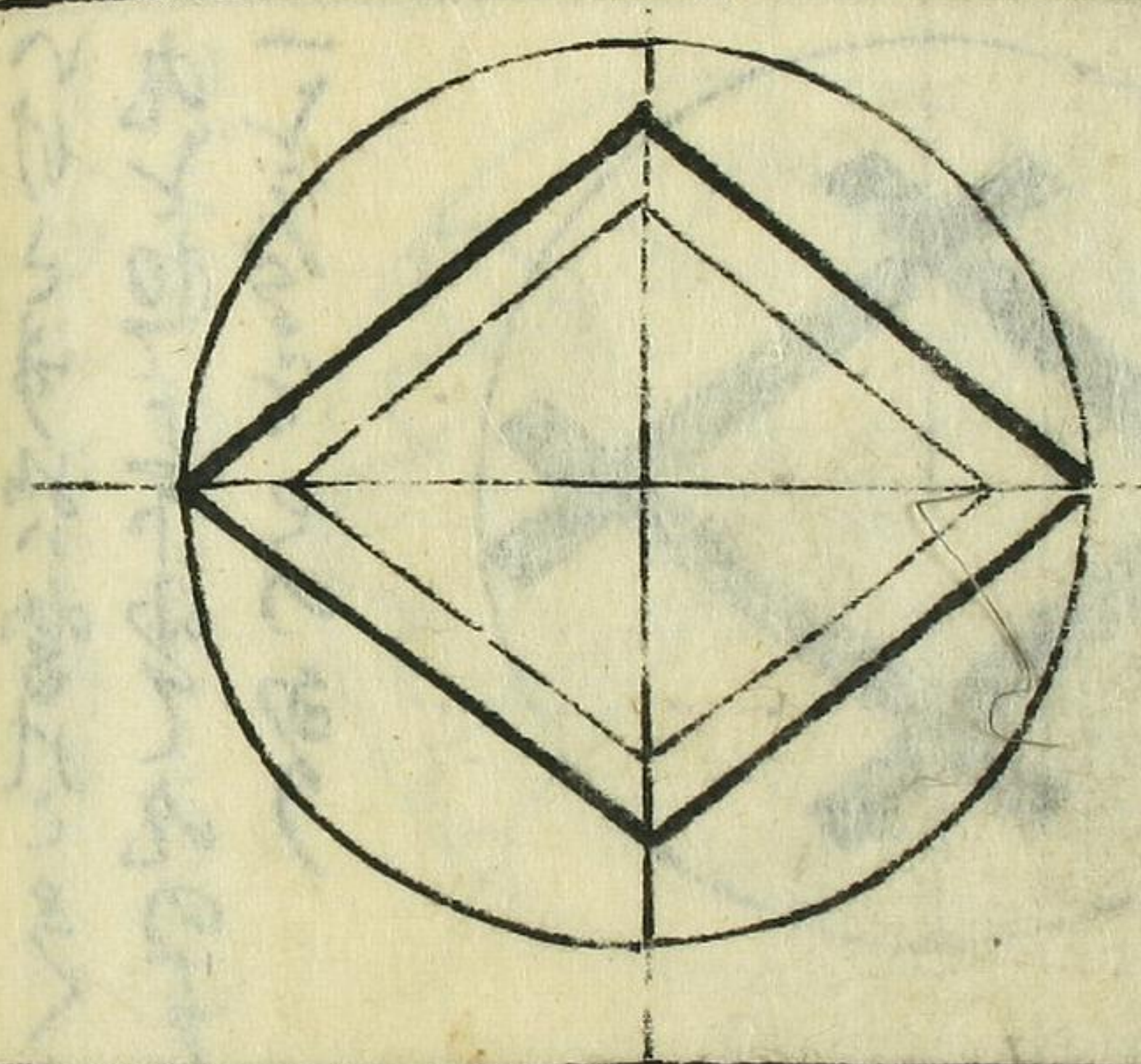
いごころり
かへり

いけこまゆハ
丸と相に
ことなる

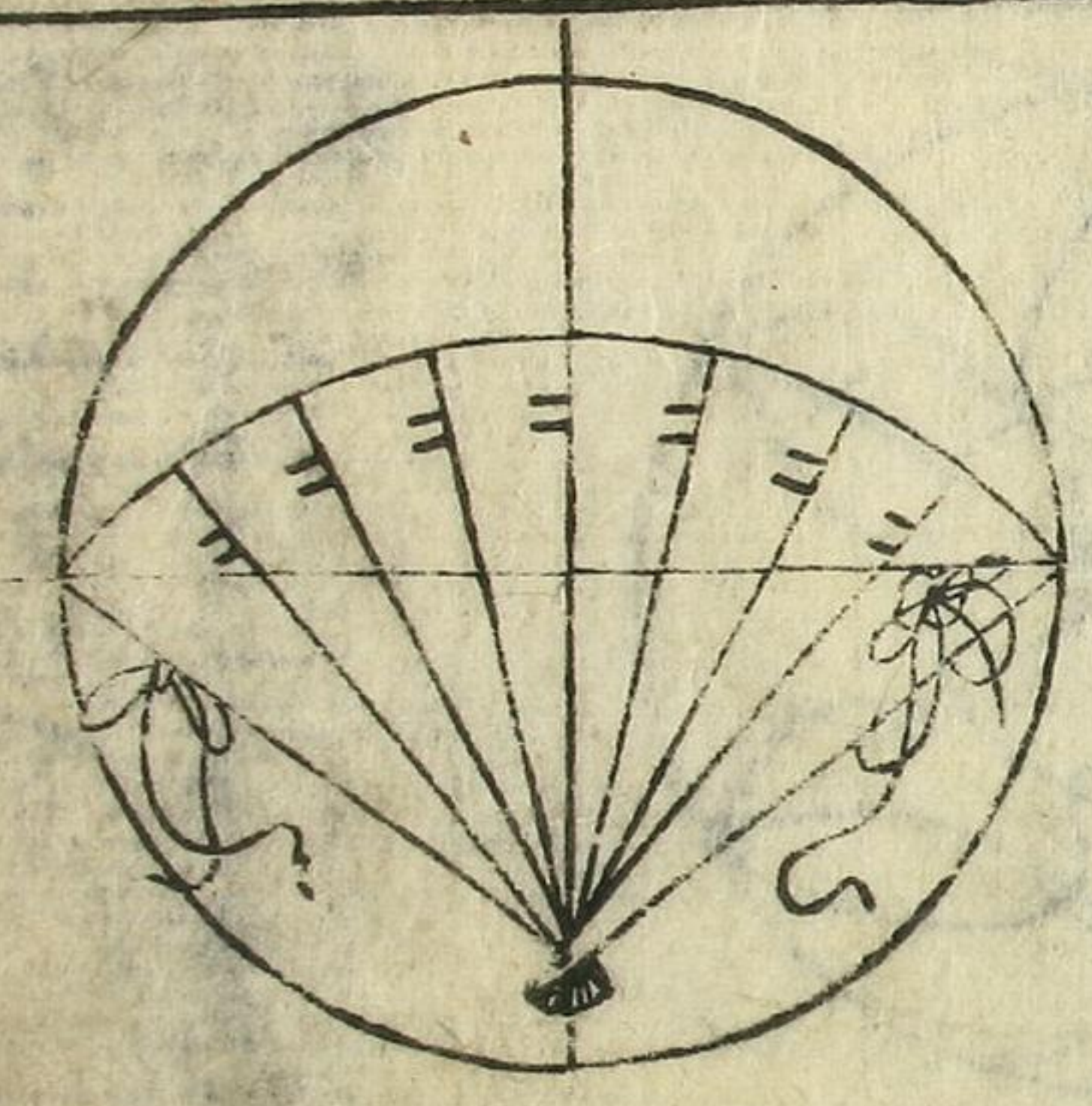


開紋
百五

到入本船先丸と廻一
 上下にて十丁一層とて
 しくまゝあり 張り

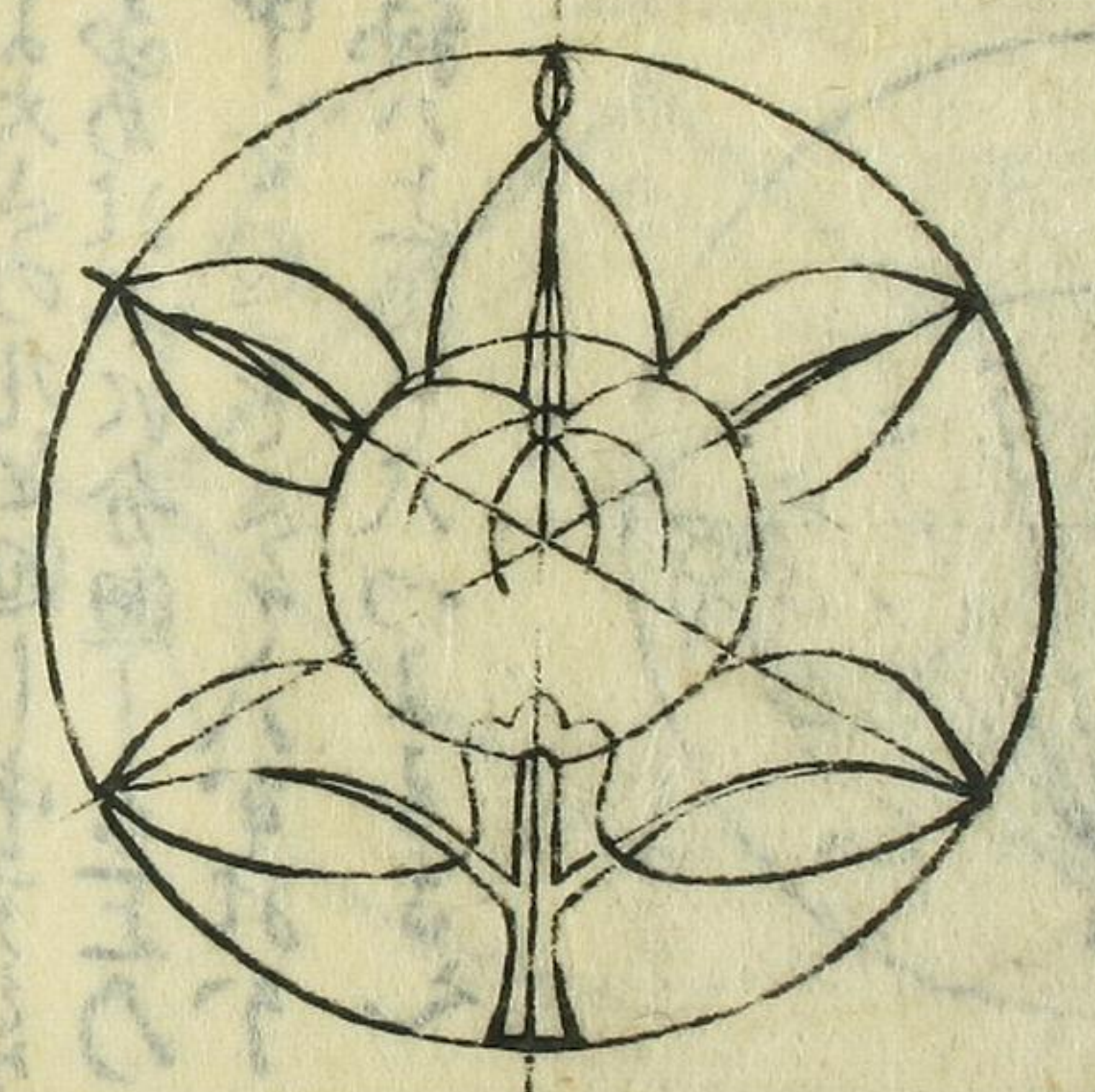


ひあおぎ割やうのひことく
 よ夫の丸と廻一 中すま
 ああ北北に分廻一 ち上乃
 中と廻とてさそへ八が北分
 輪八上にて八つよよと

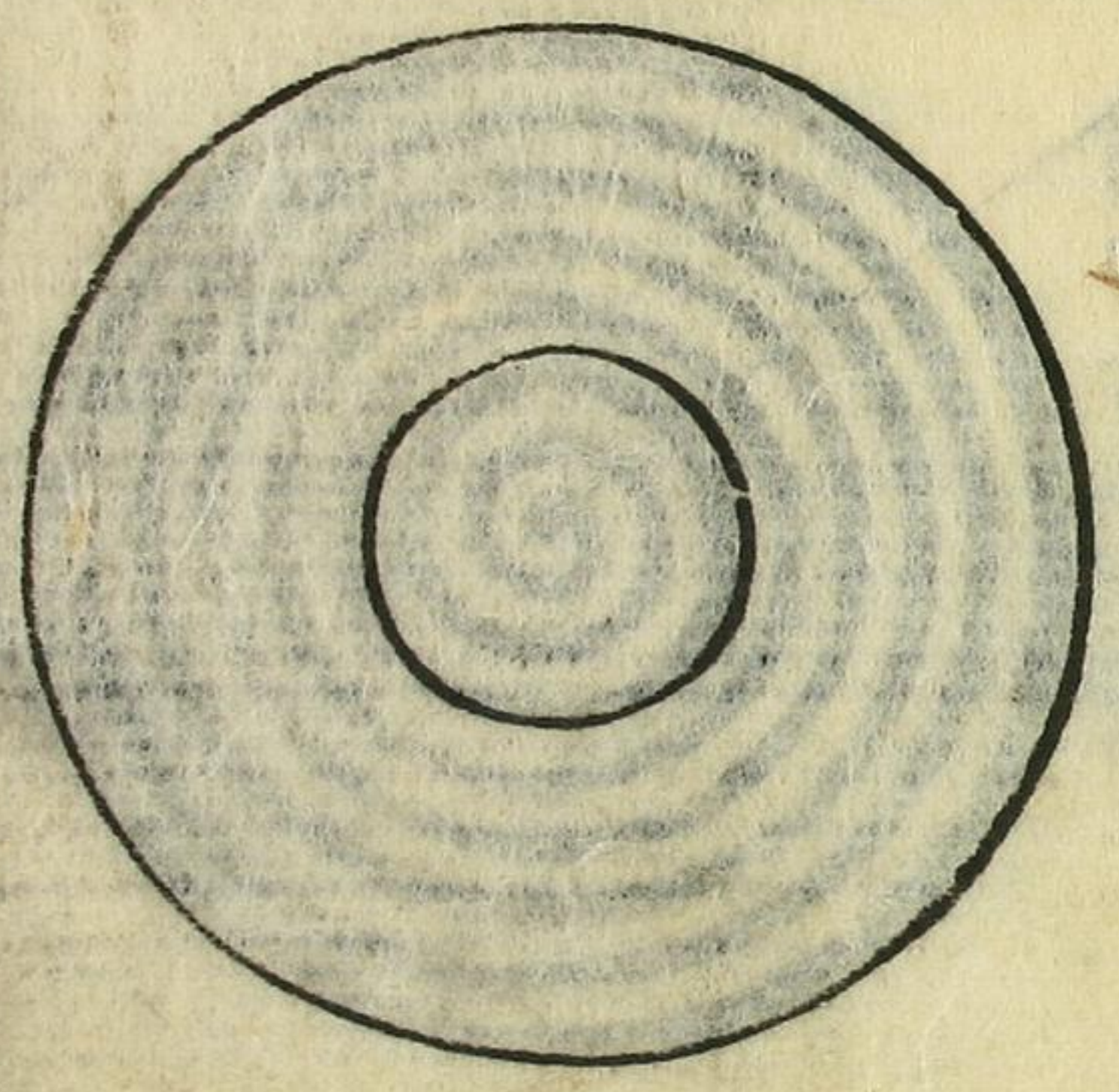


輪紋
 五丁

たらしむるものなり
 六のつらむものなり
 刻るなり



地乃目りて松塔



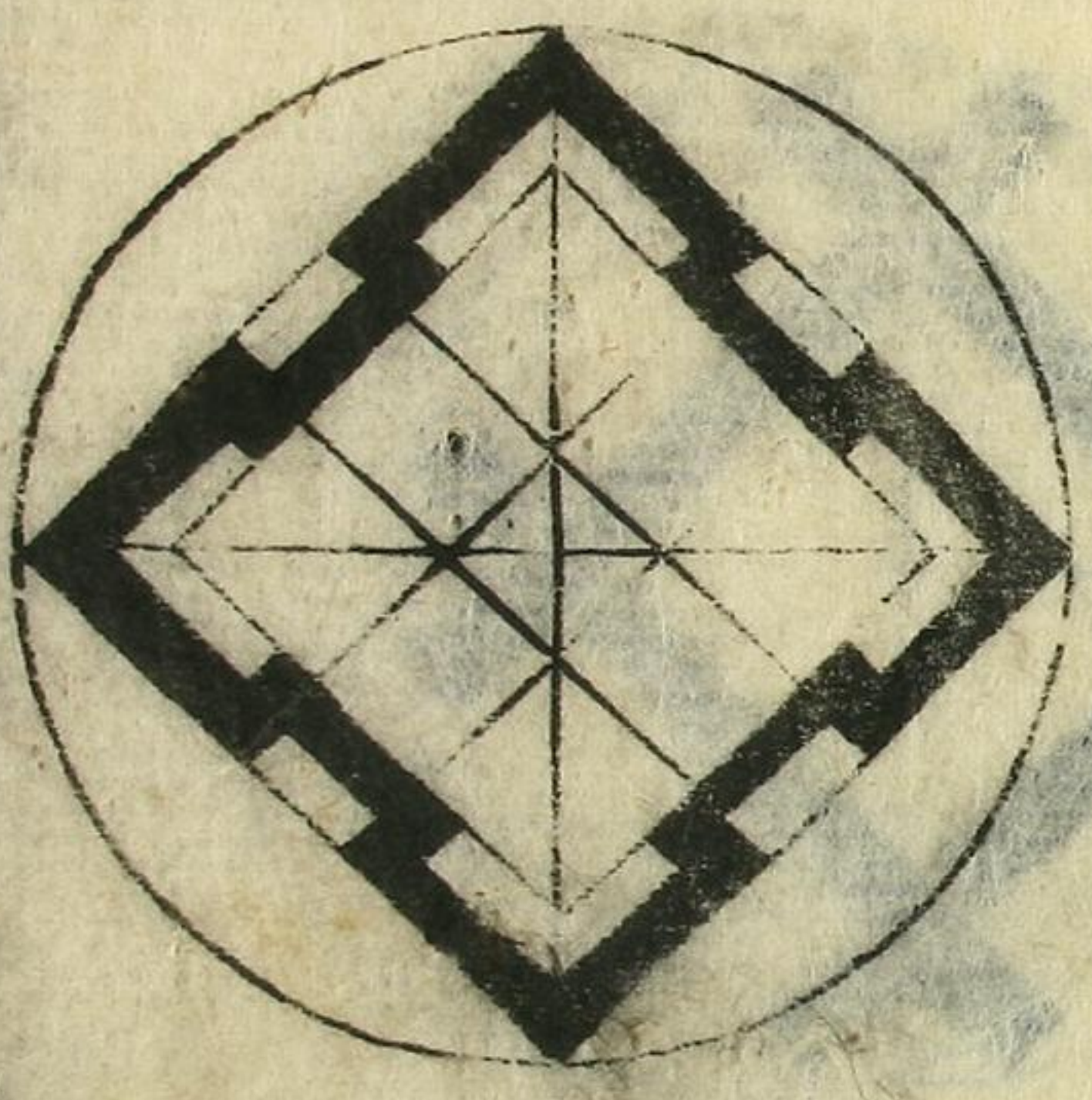
此の図は松塔をまじりて地乃目りて
 六のつらむものなり
 刻るなり

山形一分廻一三中心三分
戻り下廻り之儀上流を
いひて下六針の云は



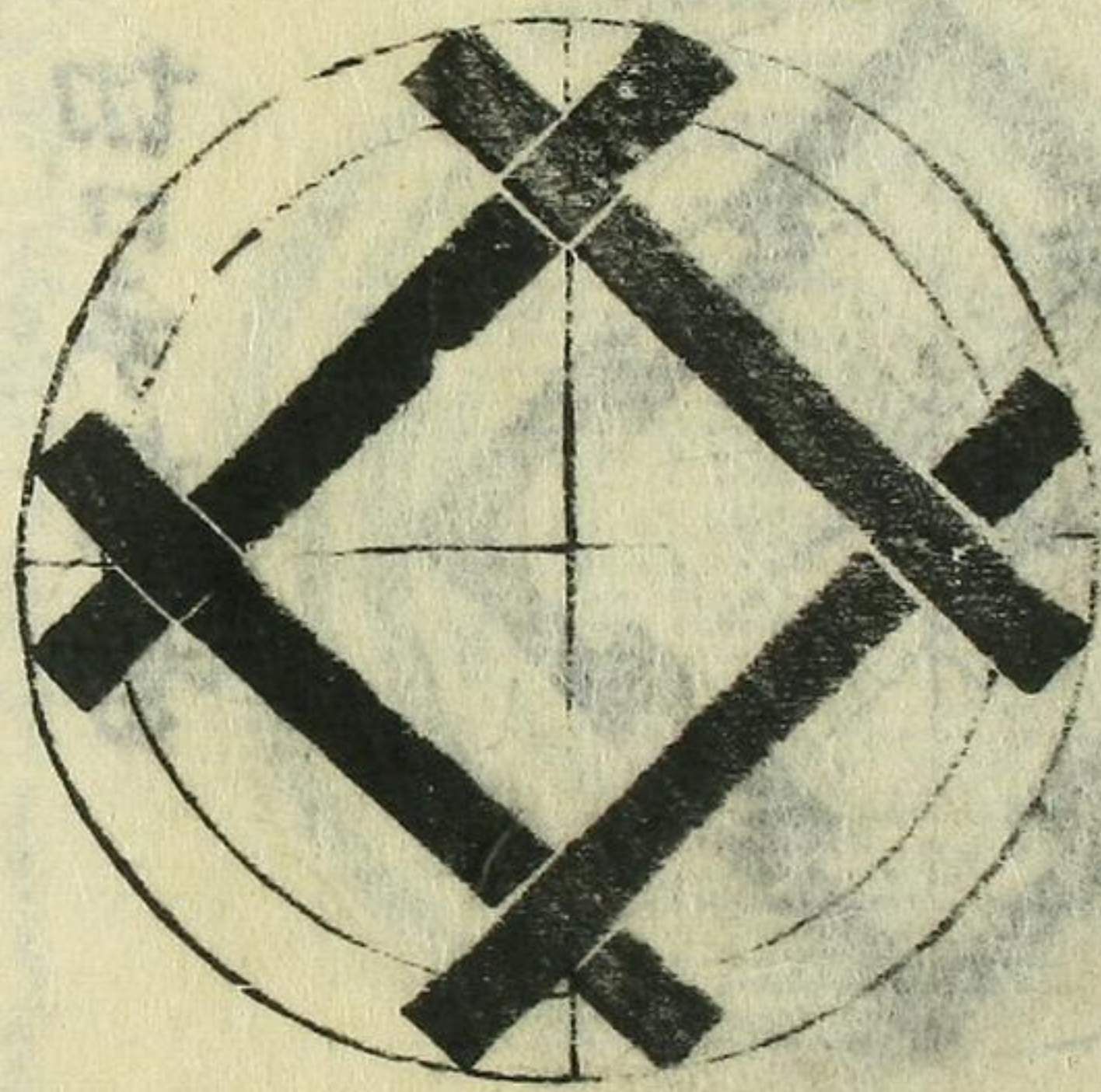
いり分廻一三中心三分
戻り下廻り之儀上流を
いひて下六針の云は

切口本松巻



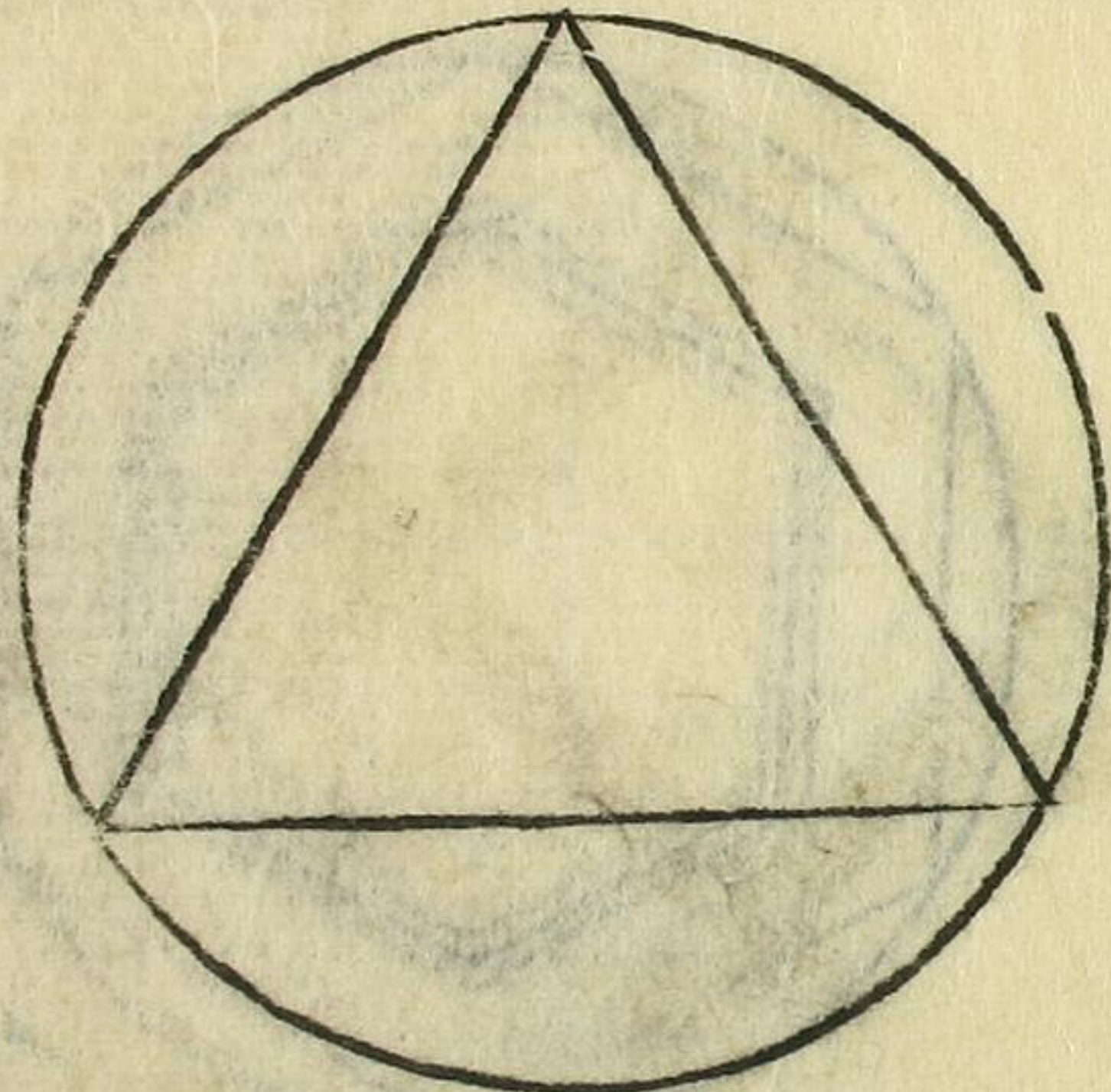
右し如くお針刻し

井筒半指場



何れと云ふの如く
ありし

鱗形半指場

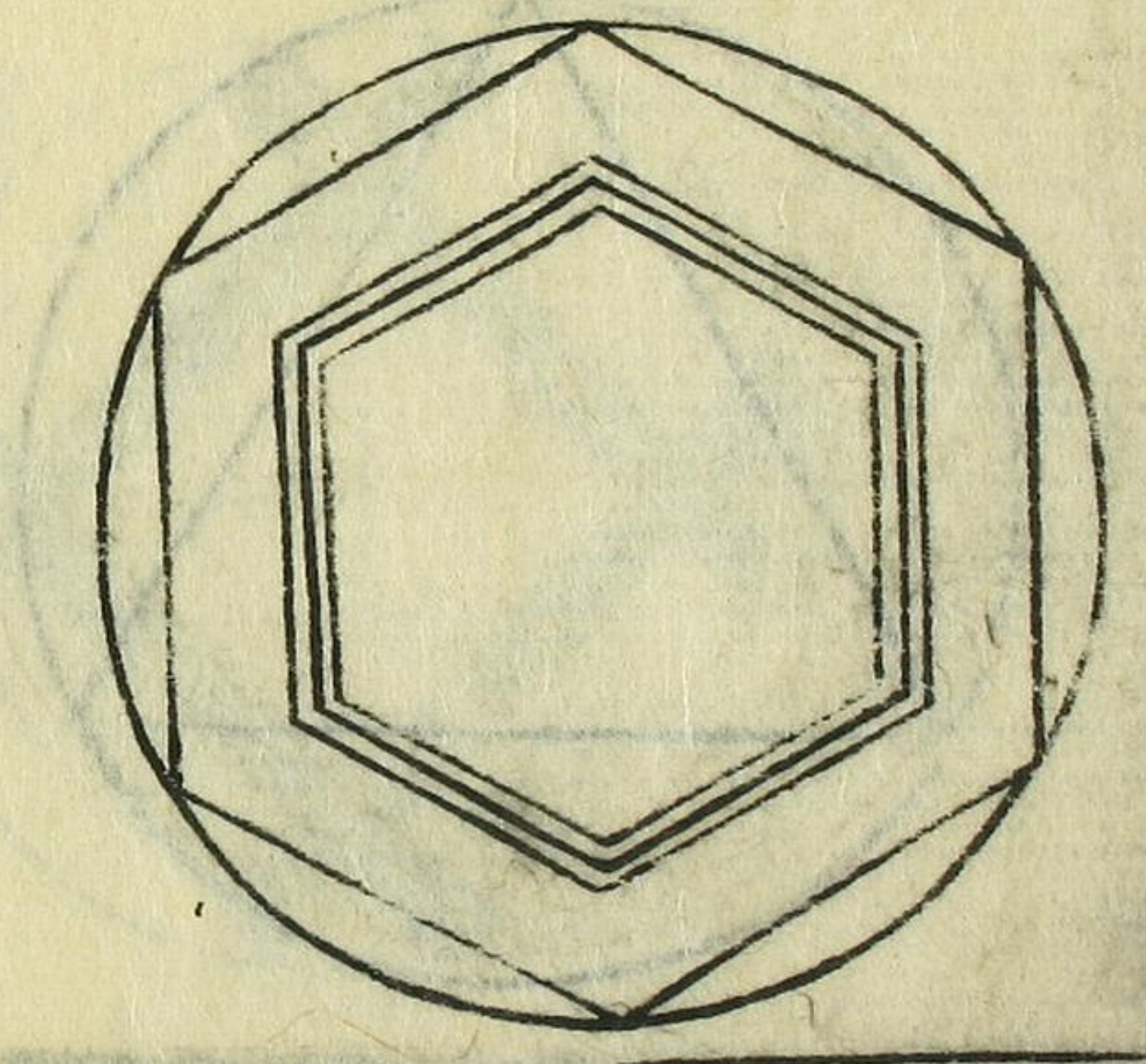


此刻やうな八十二丁七の
事也こつたのちのち
刻也也

判文

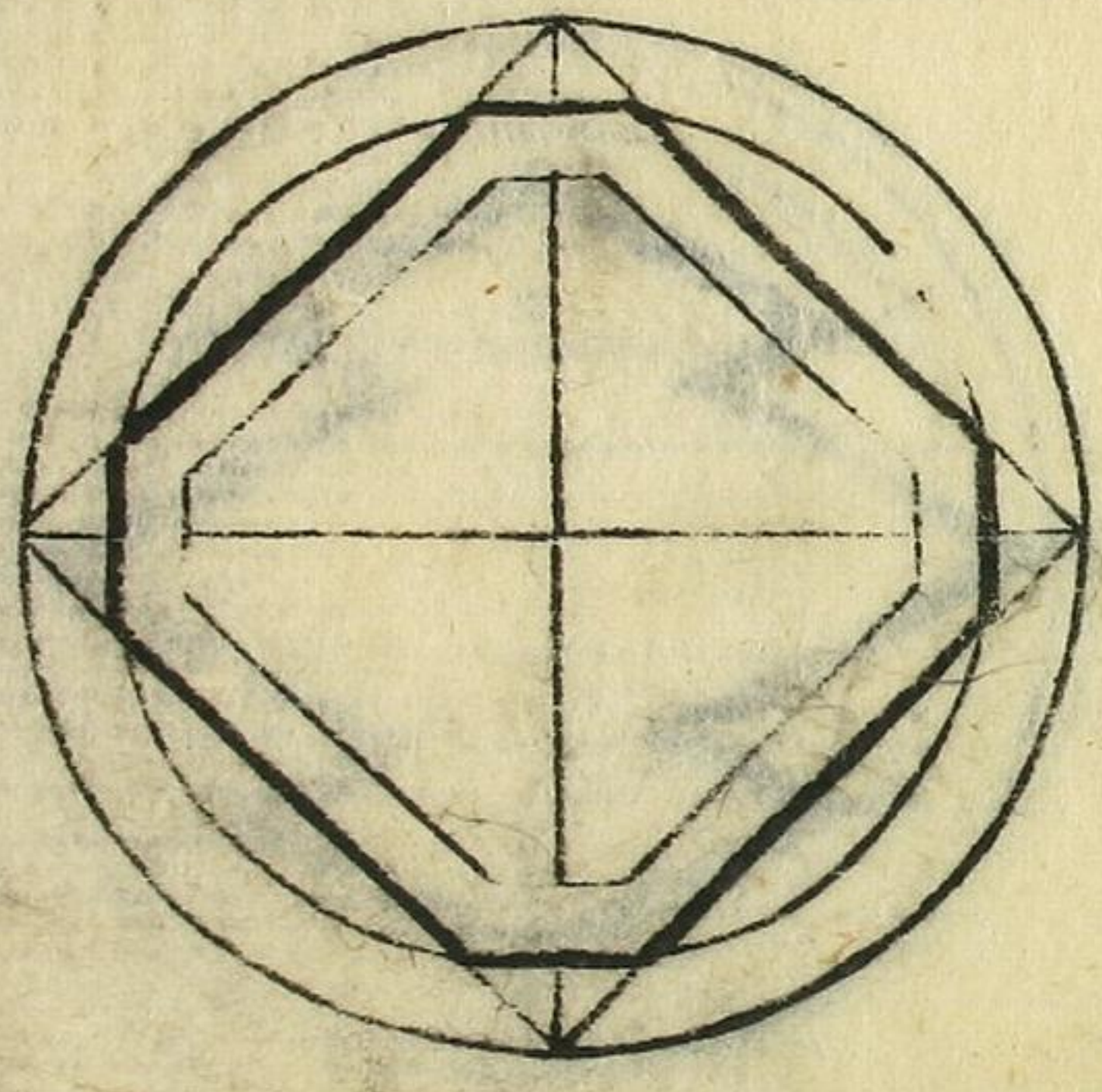
百九

六の角の和を指す



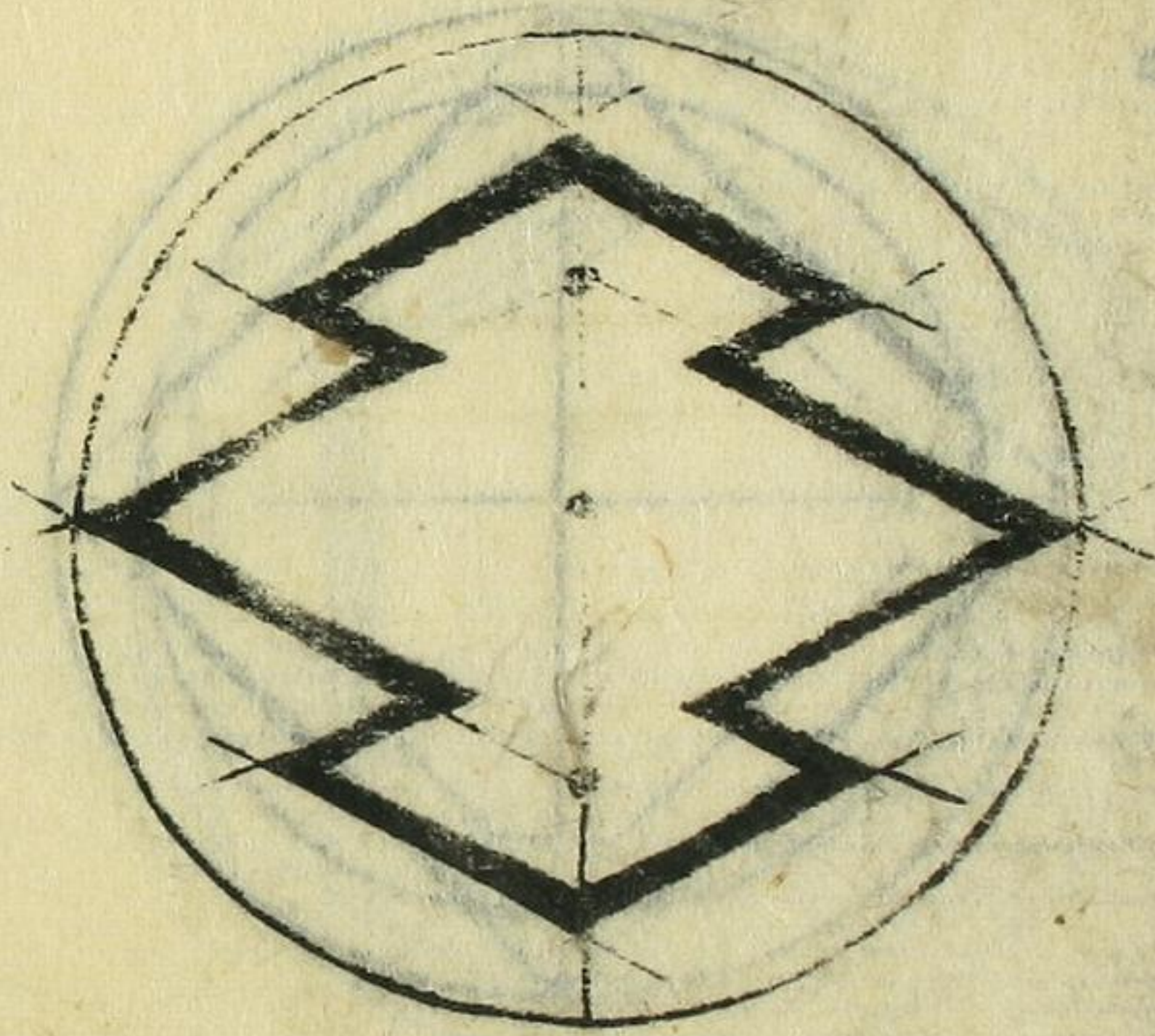
はよりき
六の角の和
はよりき
六の角の和
はよりき
六の角の和

六の角の和の割り算の
九八内の九十二かとの
はよりき



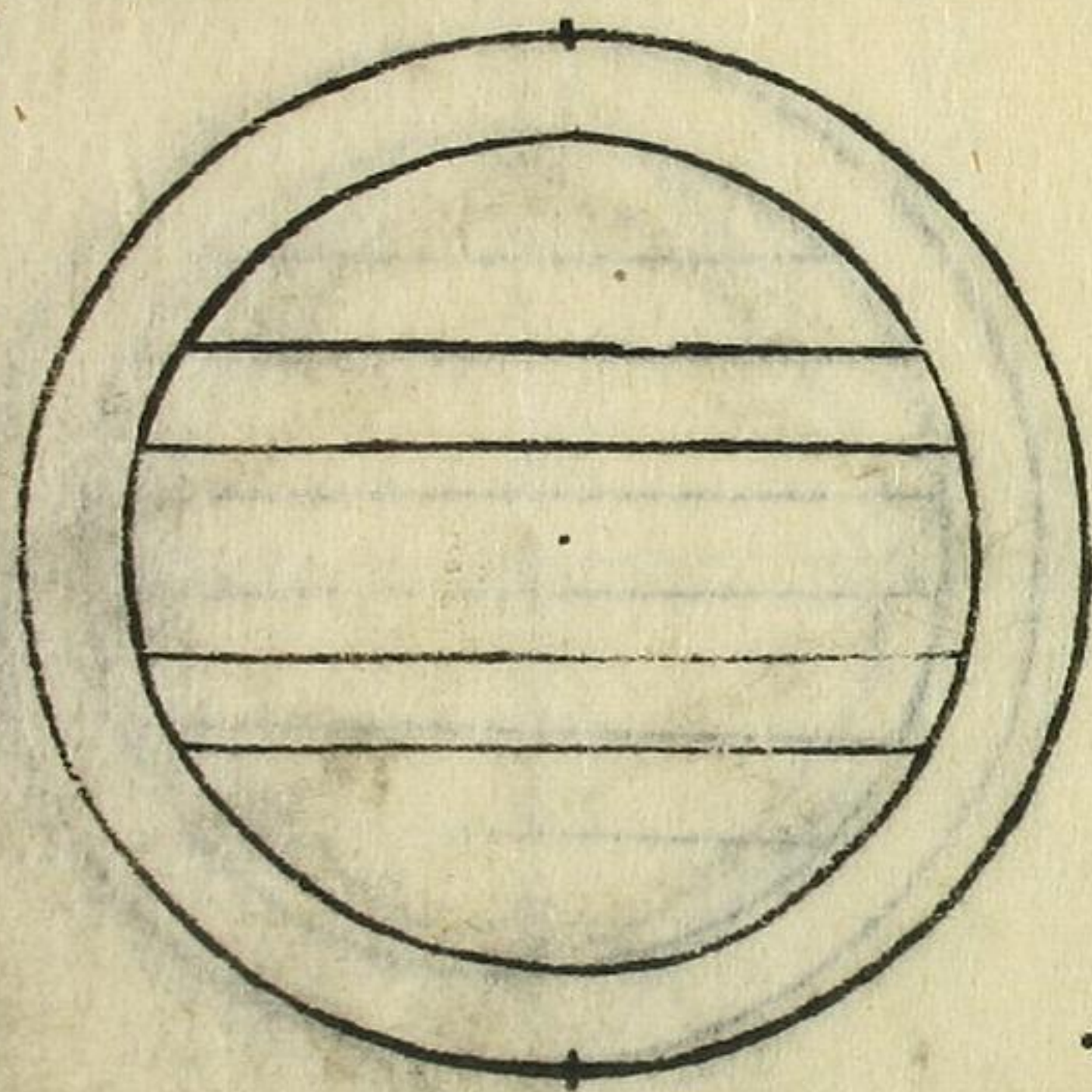
六の角の和の割り算の
九八内の九十二かとの
はよりき

まのひらひらめき丸の
いさつ下まのいさつ下まのい



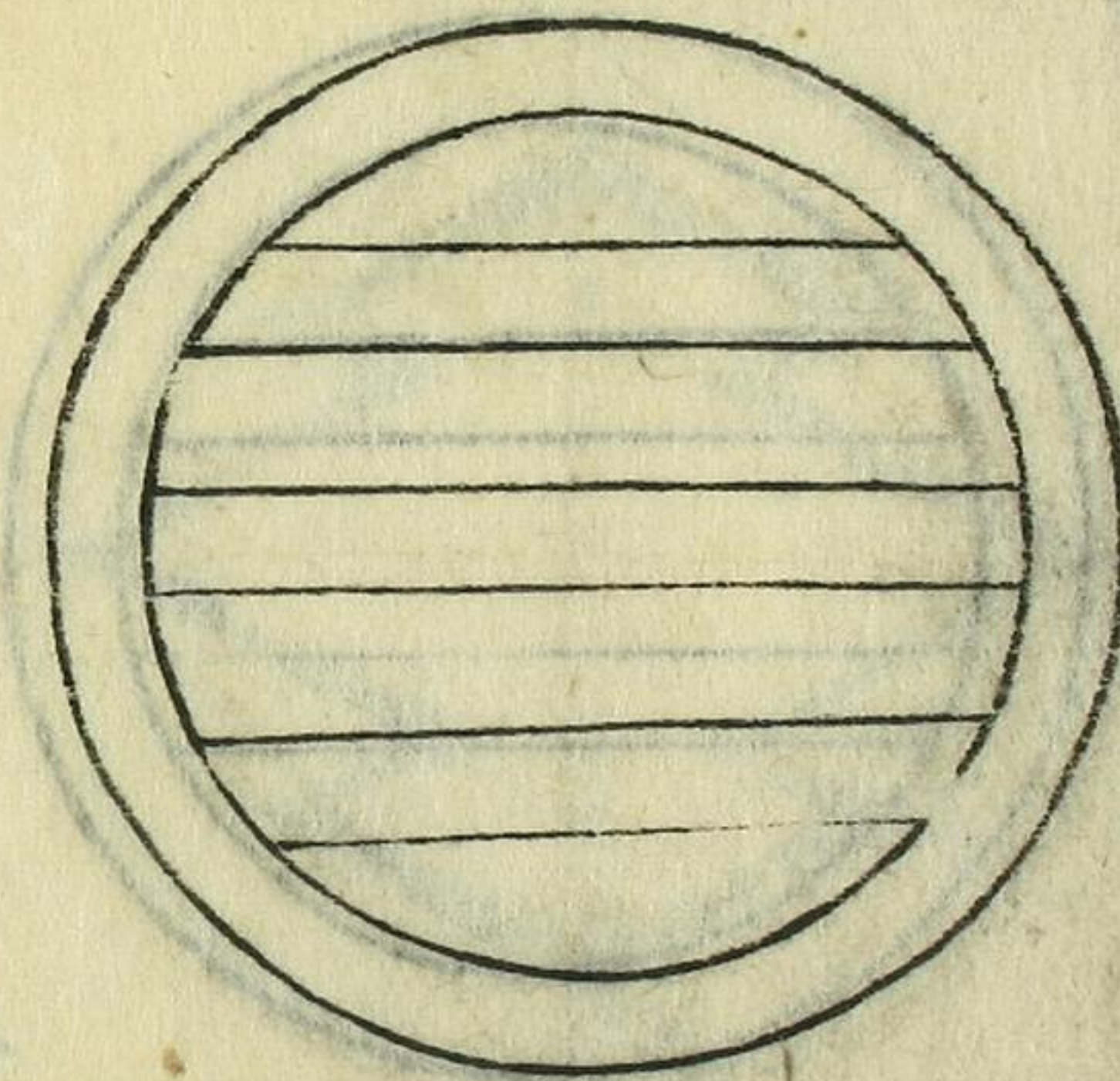
よ下まのいさつ下まのい
とのあり

丸に二つ引られどくがの
後のはまの介也いよて丸
申のりいさつ下まのい



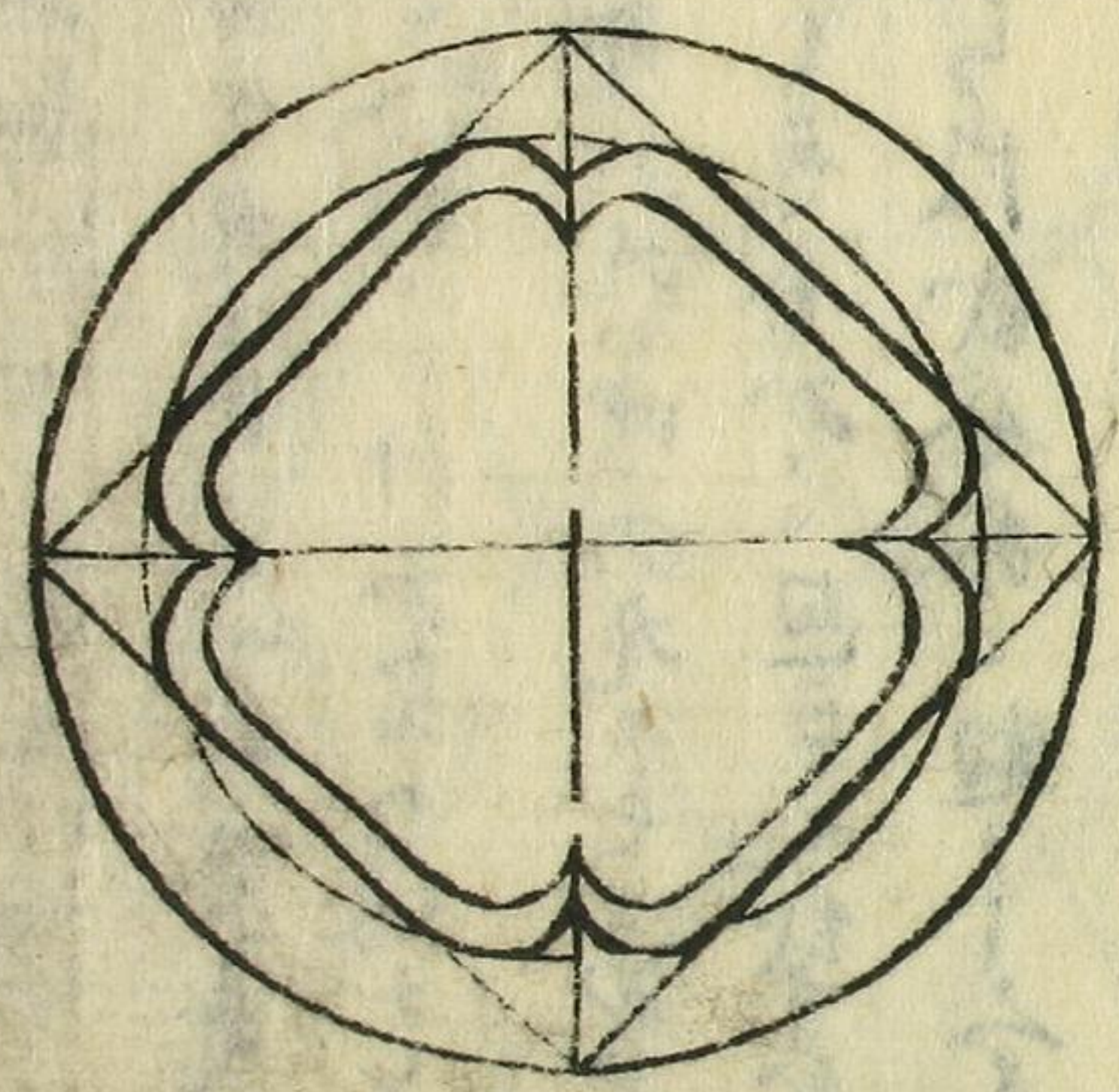
付まのいさつ下まのい
乃まのいさつ下まのい
のふまのいさつ下まのい

丸にこの引乃割座うへ丸
 のあつこ此あふまうへ丸
 こ中乃あつこみよさのめ



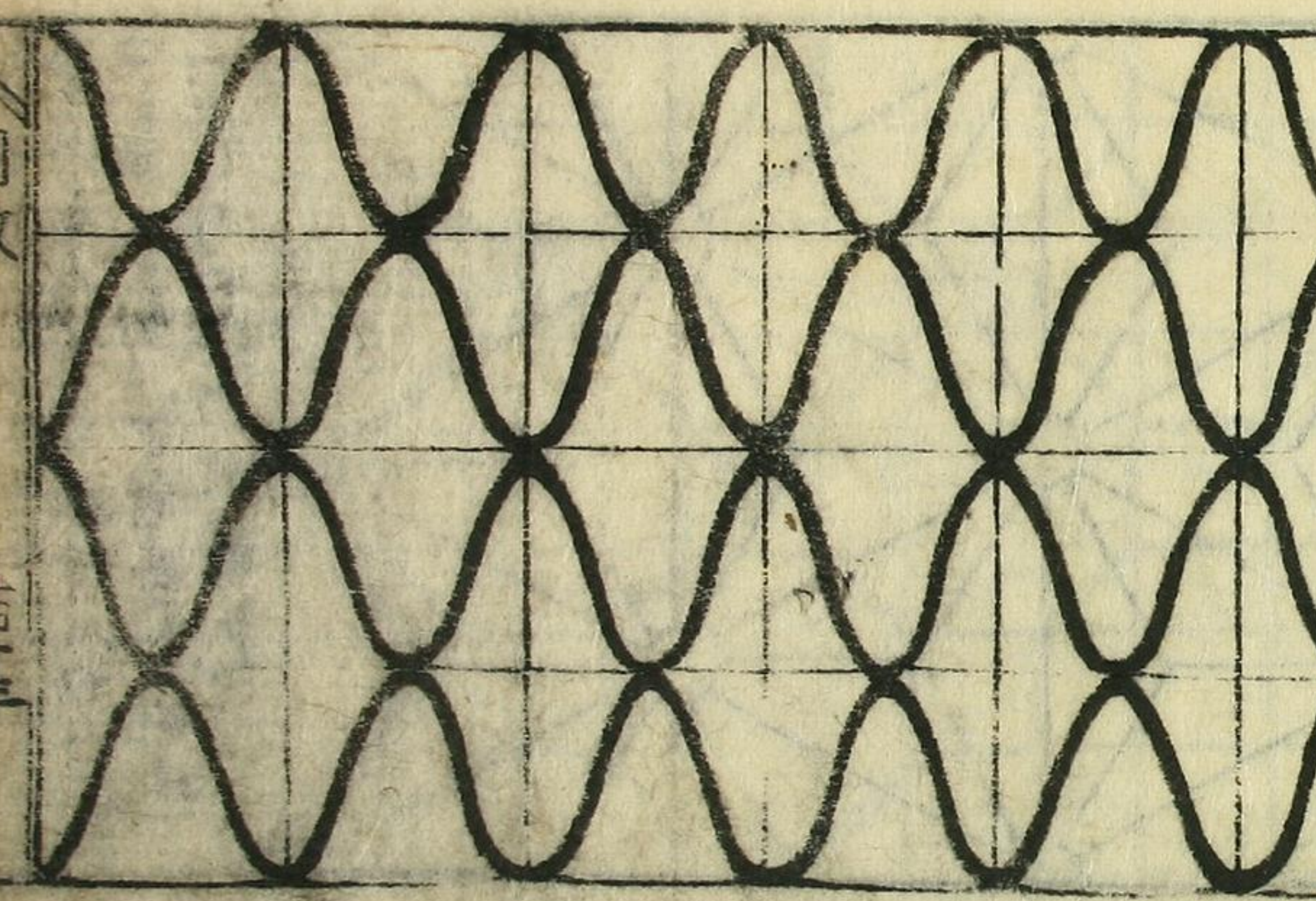
こへ上よりハ見合してつぎの
 こへ

折入角丸割根家



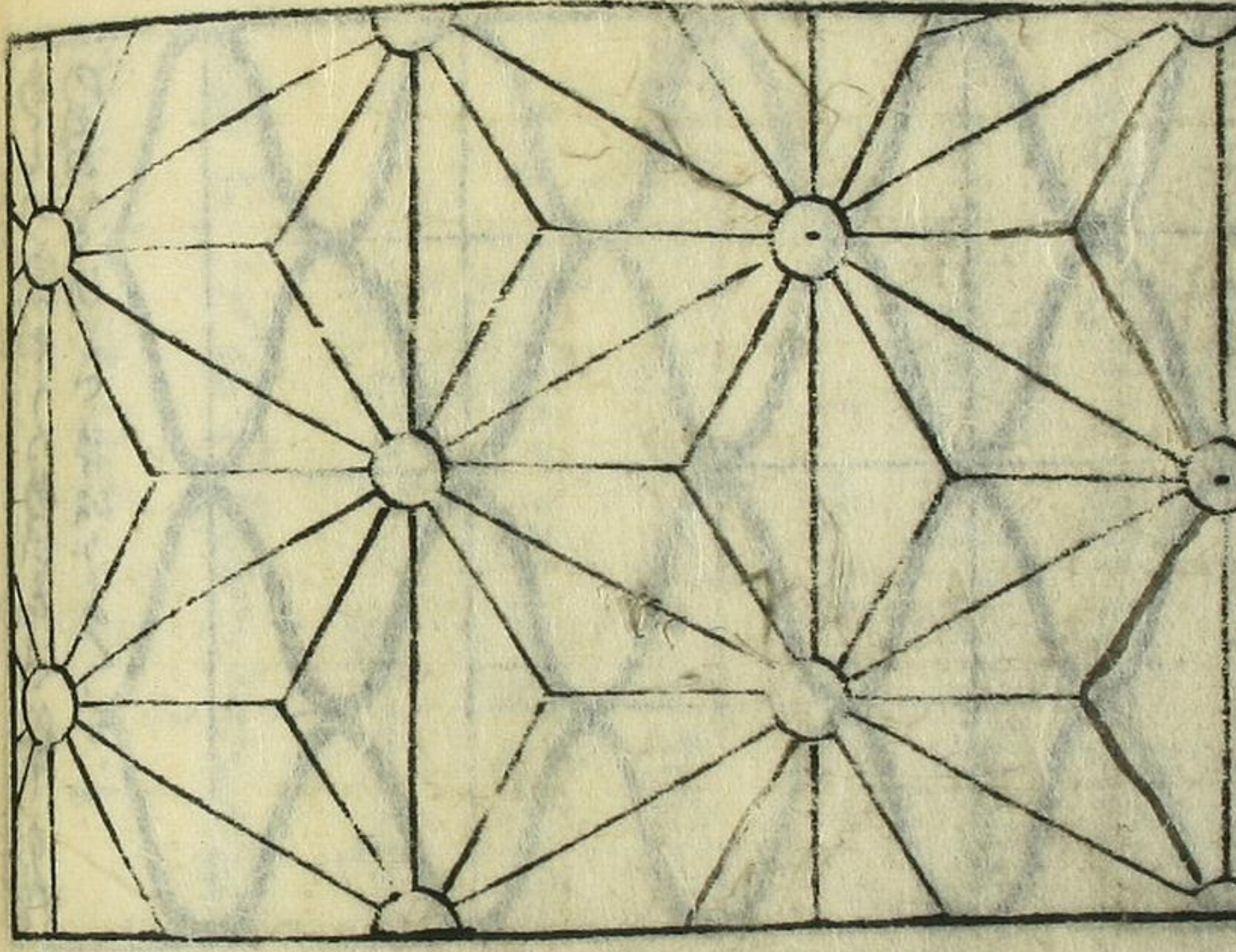
於八角此別極の末まは倍
 刻として先をすの波なりと
 品島にさきく流元を回し
 さへ九角に分ち形を變
 るハ如くは形なり何れも
 解れ九の中の内うまは
 こまに分か。白とくは
 らは部分外に廻し
 角かしかう四うよくか
 かくはなる

あまの刻やうらめはあまの
 の卦としはまはるく

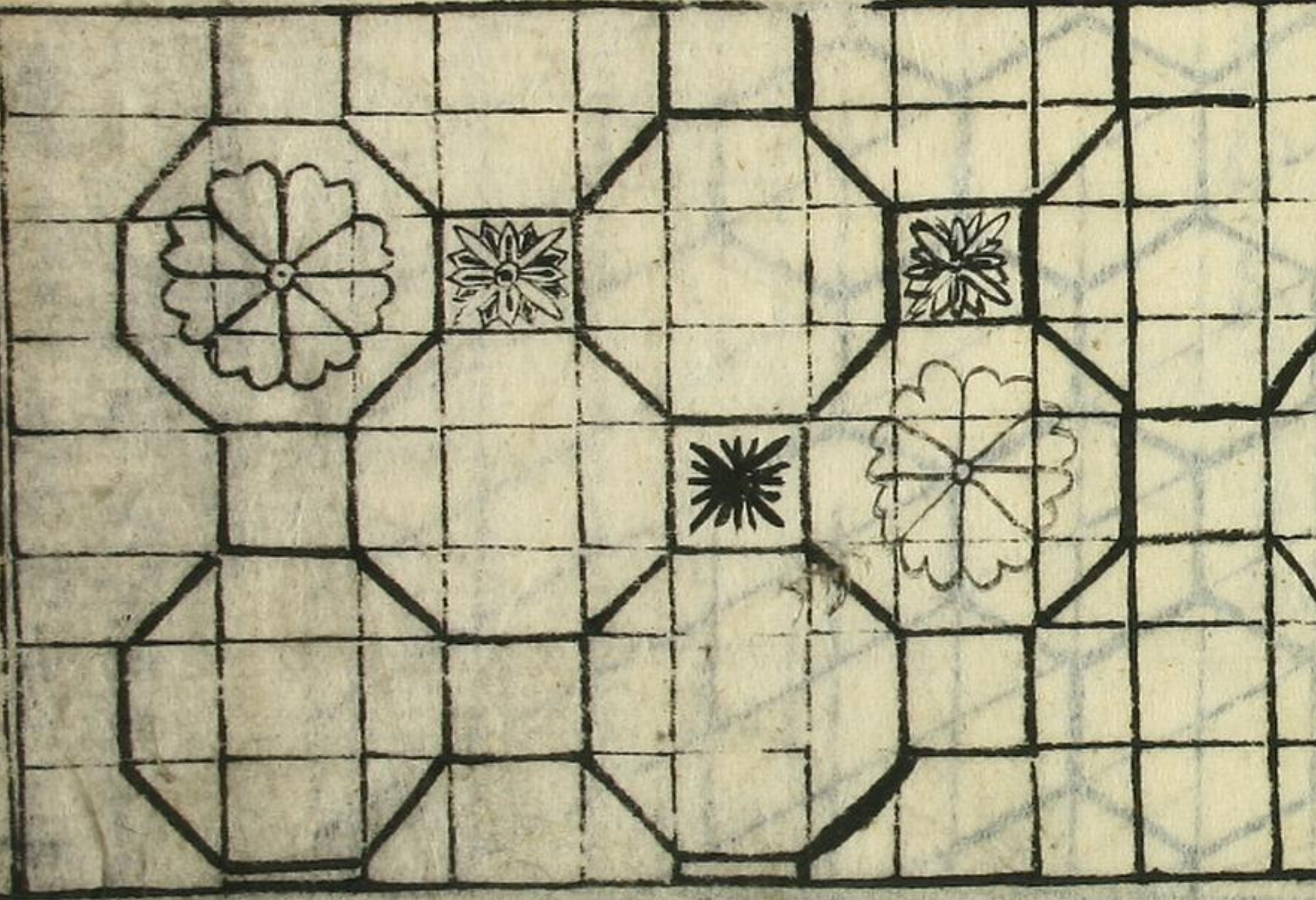


文
 十

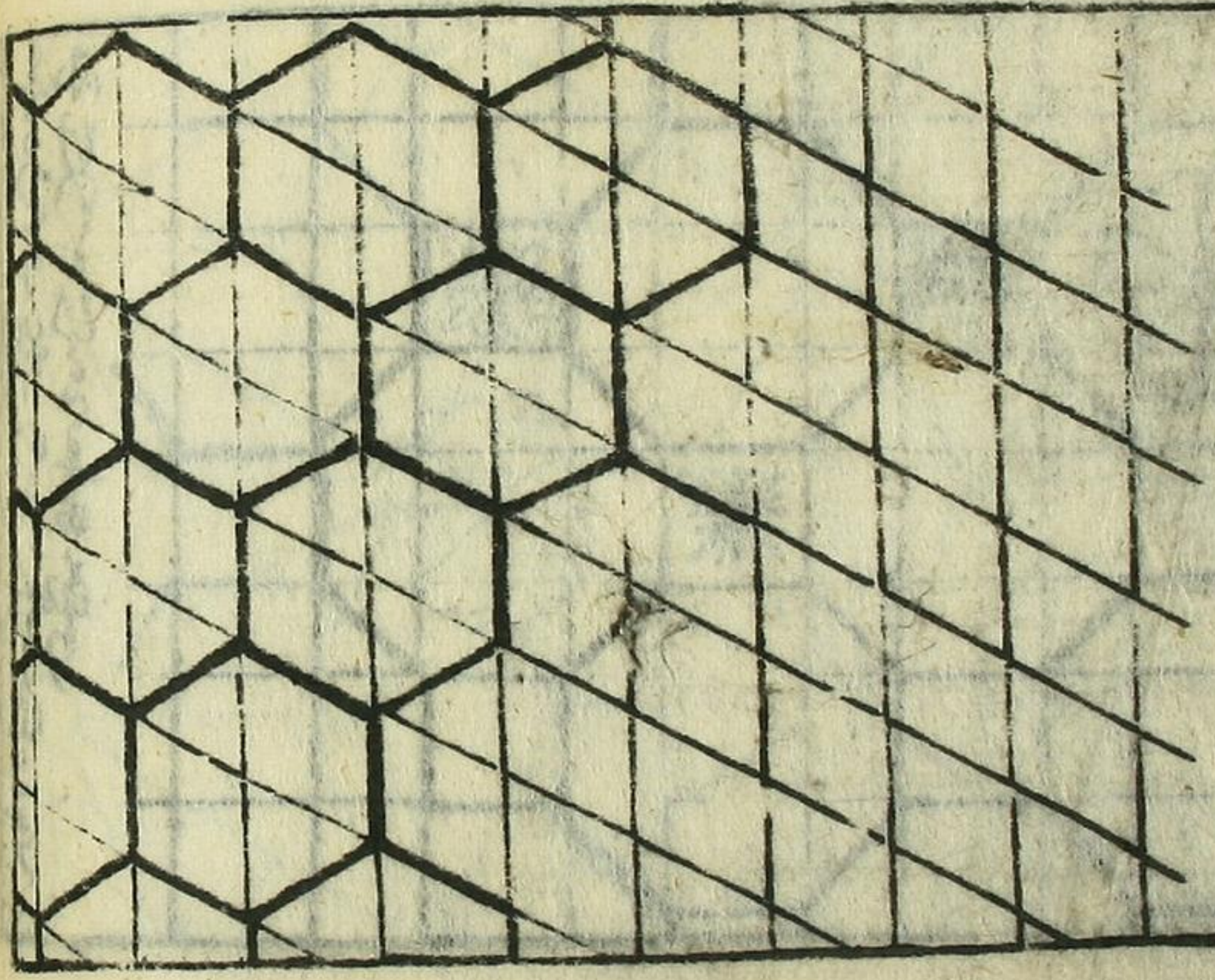
おまの...
 ...
 ...
 ...



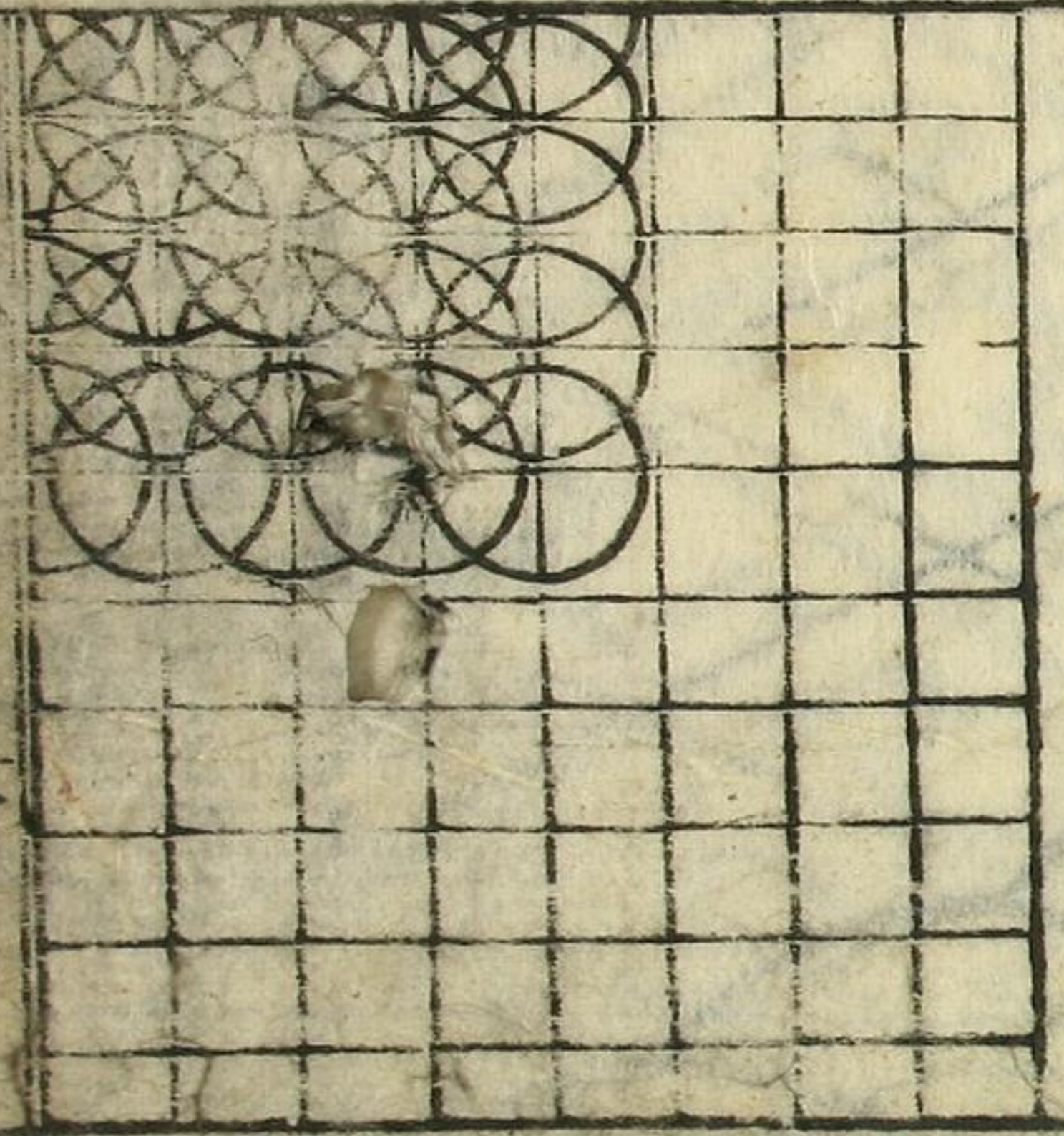
...
 ...
 ...



海甲のより
ひのけいひ
ごまくに

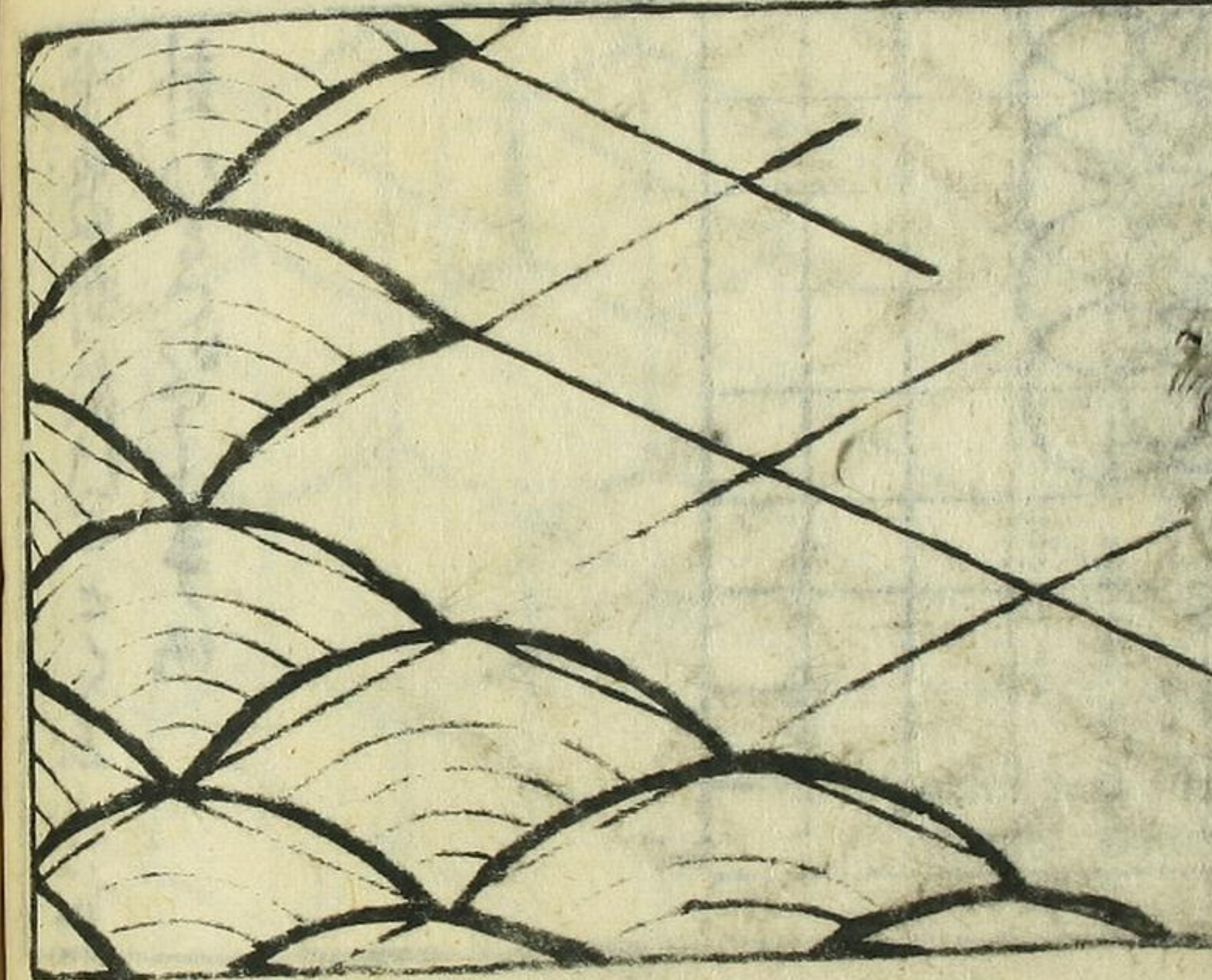


釜の折紋はごとく
卦ひと

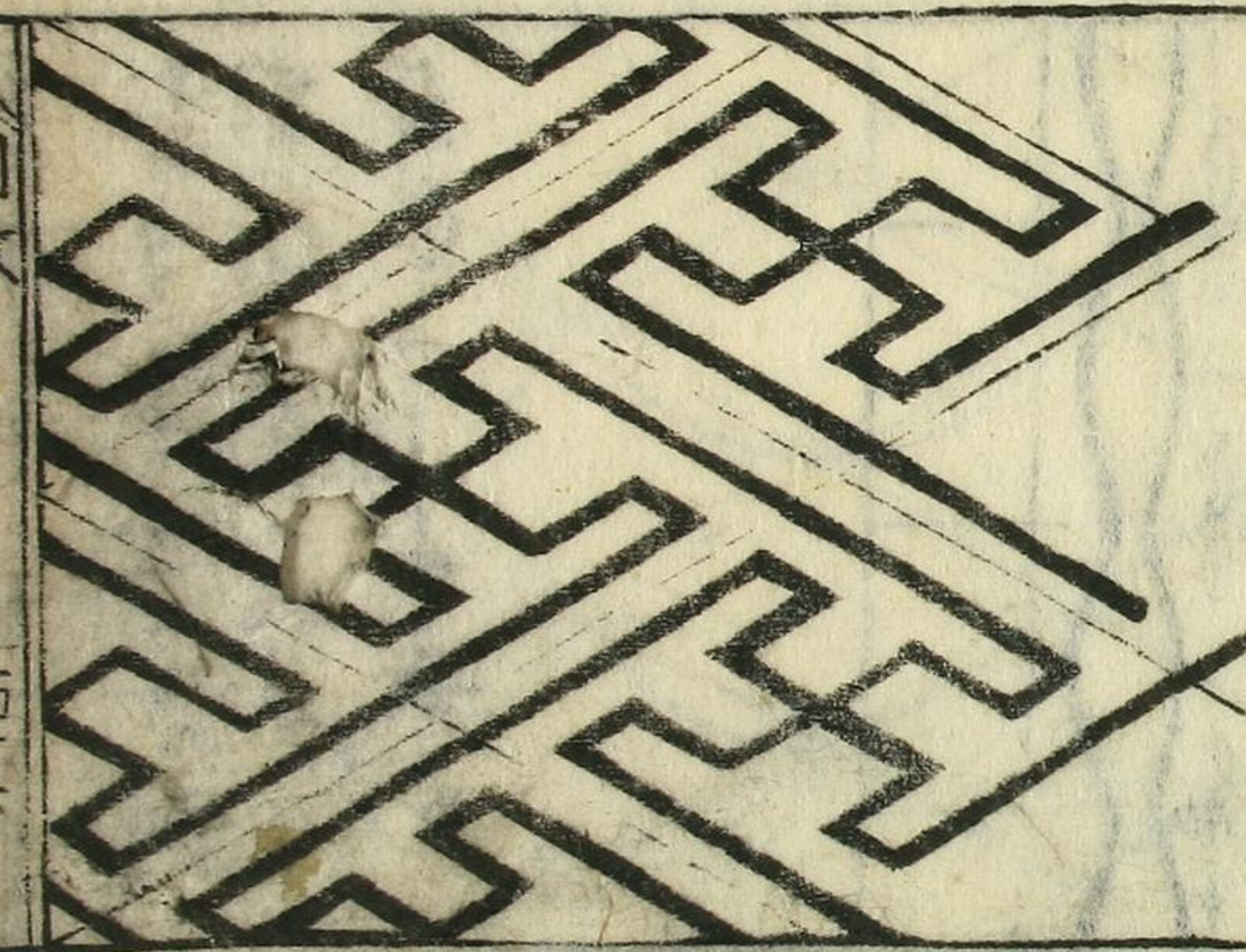


海甲のより

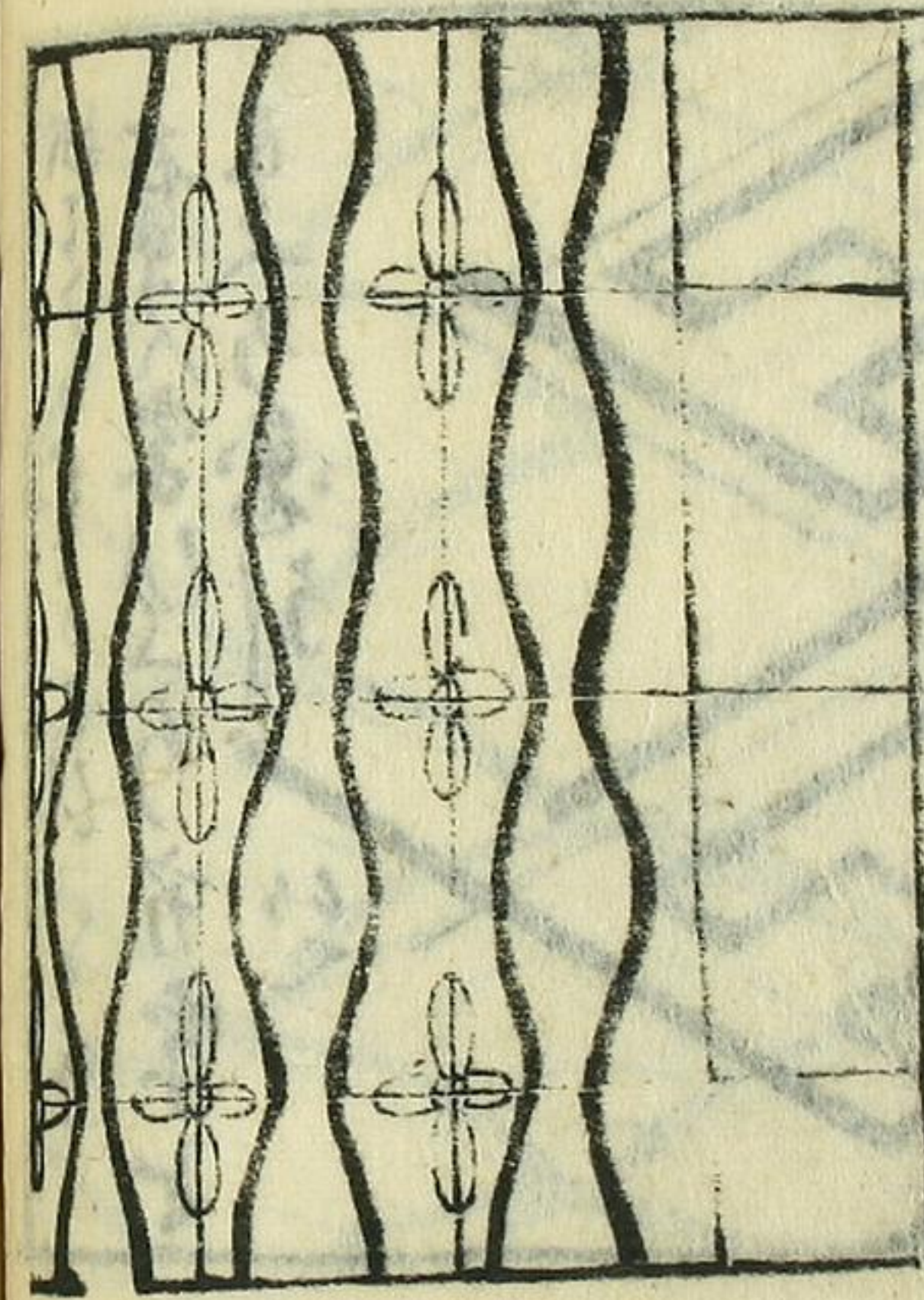
世のいふは好むはこれ
二つに別して
本之は



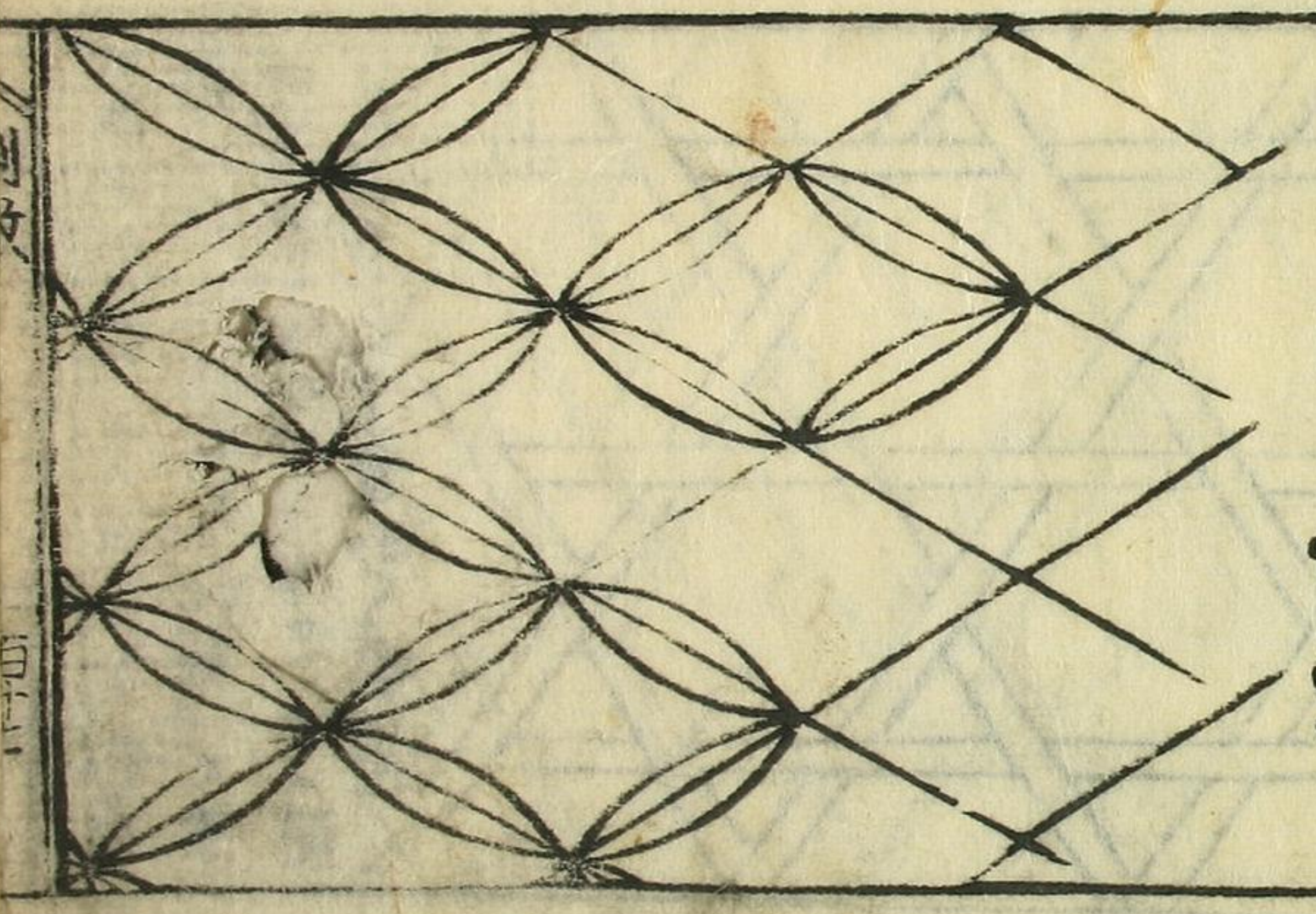
はしとく下よとひと
右まゝ字ひざり方字と
是れ引
い



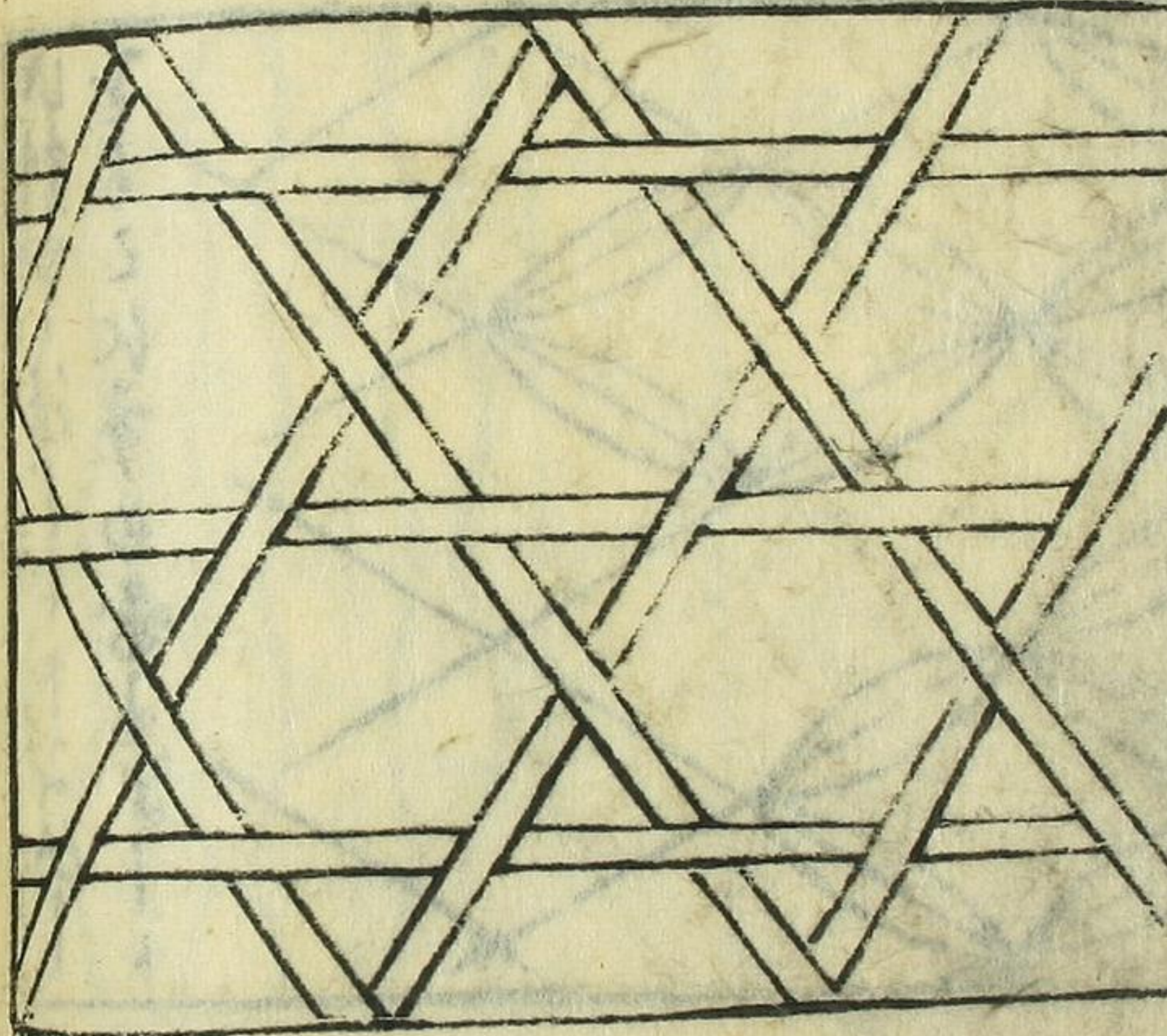
たぐひのしるしをいふ割
やうにしるしをいふ割
身はしるしをいふ割



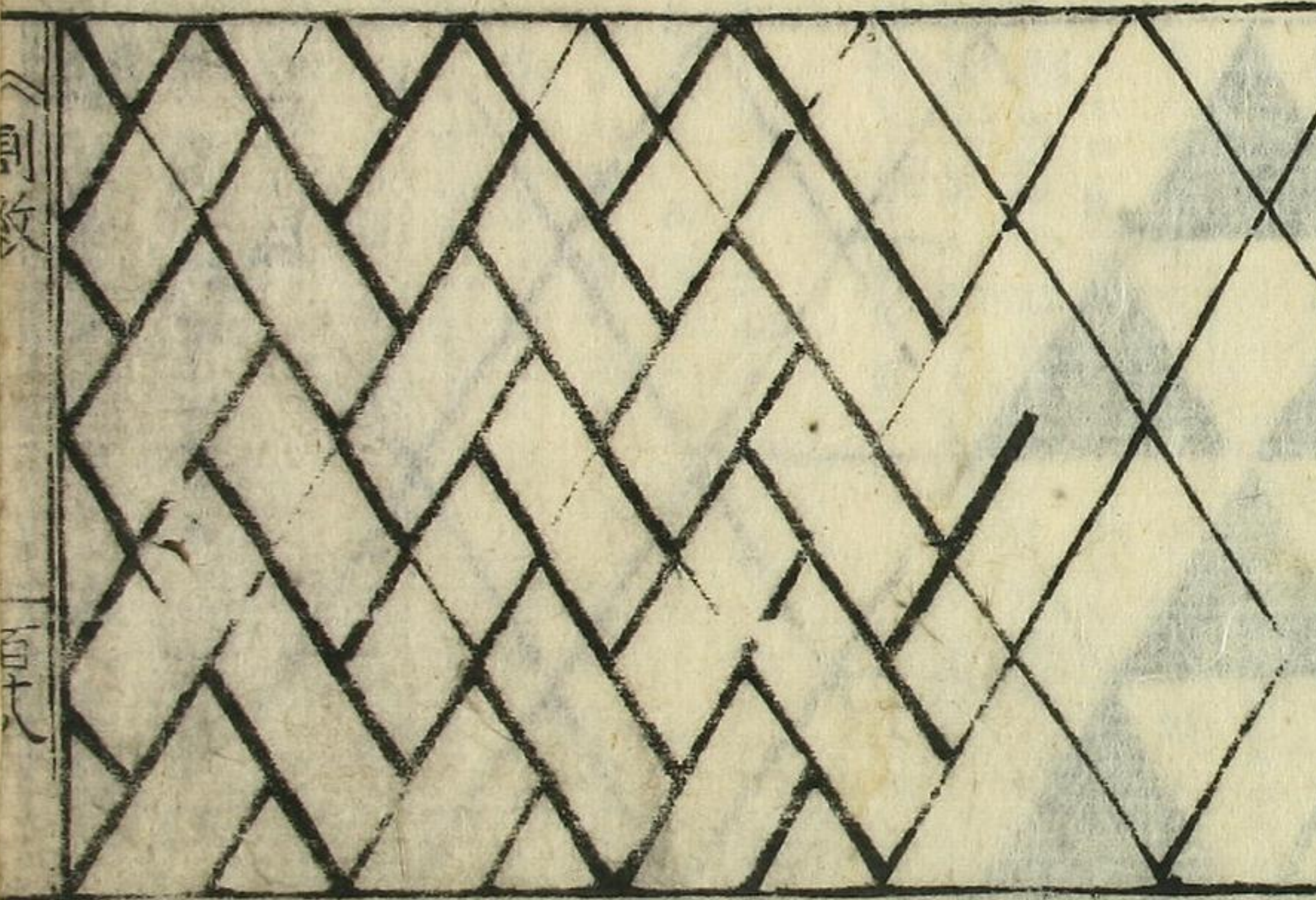
は割るゝはしるしをいふ割
よふゝはしるしをいふ割



茶の割振はるゝことある
あく引家たきしに引とす
のすたしはるゝことある
こころいふ合のめりて

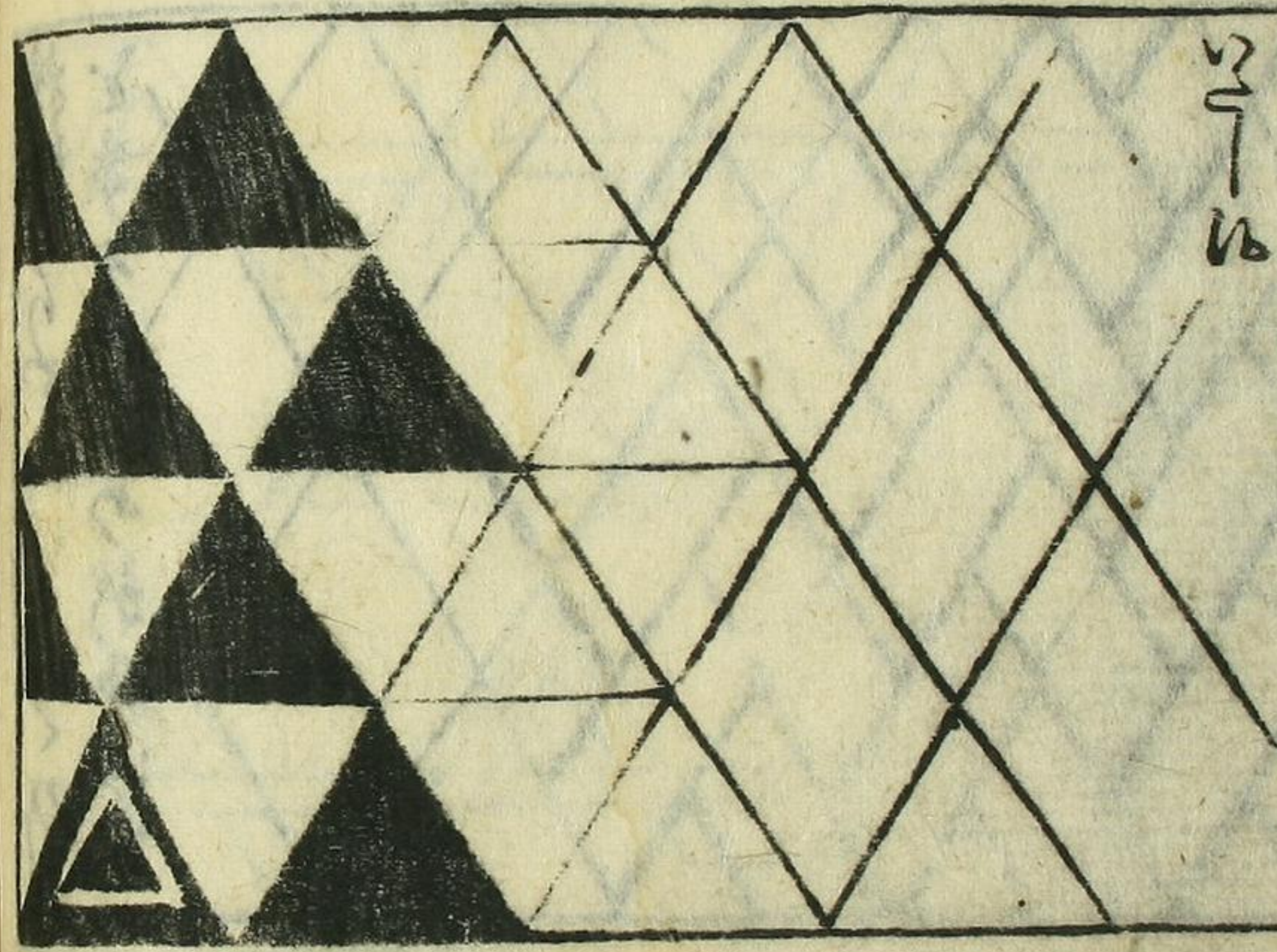


捨置りのちういふことあり
とすその上、めりて



割振
一
五

麟形本類はいへくまのい
 年印の中よふこと記す
 のい



貝原先生作歲時記補正
 月令博物笈

洞齋翁校正 全十册合本
 詩歌連誦早學交書也

此本ハ正月ヨリ十二月ニテ、天地ノ間ニアルト
 アラユル事ヲ數万卷ノ書ヨリ拔萃ス此書
 編述シテヨリ凡三十年ノ間、儒者佛者和學者
 職原家、哥人、誦人、天文者、其外諸先生ノ訂正
 ヲ登テ、漸ク當年書ナル

此書正月門松ヲ立ルヨリ、年ノ終リニテ、年中ノ歲時
 故事ヲ集メ、上ハ禁中故事、公事ヨリ、下ハ民間
 式日作法、月ノ異名、草木魚鳥獸ノ事ニテ、季ニ拘ル
 モノ、洵トス集メ、來由故事ヲ述ベ、委シク譯ラシルシ
 異名漢名等ニテ、殘ラス記ス、尤、妄リニ書ニアラス
 和書ハ、万葉、日本紀等ヲ正本トシテ、和漢ノ書數万
 卷ヲ考エ、近世ノ諸名家ノ論ヲ記シ、失忘ヲワカサ
 草木故事等ノコトニツキ、文ニテ分リ難キモノハ、圖ヲ
 アラワス、イヅレモ歌、哥ノ詞、誦諸連、哥、狂、奇、詩、故事
 ヲ記シ、証據トス、尚又詩文家ニ入用ノ事ハ、詩、歌、誦、詩、徒
 尺腕ヲ加エ、詩文章ニ便リトス、附スルニ生花、正式、衣服

正式月々養生月々食物美惡料理献立年中吉凶
 采豊茂ヲ知ル法草木ウエヤウ草木ノ物クワエヤウ草木ノ妙術
 妙樂風雨ノカンガエ等ニテシルス四民日日ニ入用
 ノニトヲ洩サス集集雅俗日用車寶ノ書トイ
 エドモ元來ハ歌ヲヨミ誦諸ヲ作ル人ノ使リク元
 本ニ正本文イツレノ慶ニモ哥ノ詞連哥誦諸
 狂哥詩故事ヲ出ス多キ慶ハ數十首ヲ出シテ
 類題ノコトクヌ故ニ詩哥連誦ヲスル人ハ博識
 ノ人タリトモ必ズ以テ失忘ニ備ラベシ
 詩詩聯詩礎故事右ハイツレモ國字ヲモツテ
 解コトナス此書詩作專用ノ書ニアラストイエドモ
 全部ノ内題ニ仍テ詩ヲアムルコト數千ナレハ
 詩學博識ノ人タリトモ雜事ノコトニ作例ヲ
 知ルニ大ニタヨリニナル書ナリ詩作ノ書數
 多アリトイエドモ詠物ニシテ此ノ如ク集メ
 タルハナシ
 此ノ書ノ如ク雅俗ノ題多ク出シテ句ヲ集メ
 タル書ハ外ニナシ本ヲ見テ知ルヘシ其大要
 ヲ下ニ記ス

月令博物笥

大要

左ニ記ス正月一ヶ月ノ
 アラミレワケラシルス

正月

此下ニ正月ノ名ヲヨツテ起ル慶并ニ正月古今ニ違ヒノ
 アルコト諸書ノ故事ヲ引キテシク道理ヲ論ズ

節

元日立春ノワケヲ記シ年内立春ノ節并ニ年内立春
 ハ誦諸ニハ十二月ノ季トスル解ヲ記シ立春ノ歌
 哥ノ詞誦諸連哥在哥故事詩詩礎ヲ出シ作例トス

七十二候

下ニ誦ヲ記ス殊天草木七十二候ト云ル他木ニ
 無シ此本ニ委シク註解シテ哥學誦諸ニ便トス

日令

此部ニ日ノ定リ元
 元日賀
 元日ヲ賀ス者其儀ハ古
 記シ哥連誦詩ヲ出シ作例トス

蓬萊

註解シ誦ヤ正式ノ圖ヲ出シ
 在哥誦諸ヲ出シテ作例トス

元日妙術

種々無量ノ妙術ヲ事
 不都等秘氣ヲ秘法ナリ人更
 狀

子上

子月初子日
 子月朔ヲ誦諸連誦
 引哥并故事ヲ記ス
 天氣占候
 日日ノ天氣ニテ
 年内ノ吉凶ヲレリ

采ノ豐茂耶隆曉ヲ記ス必風雨多ク三年中ノ吉凶記ス

心用 此部云正月一日人家... 出行 此部云正月一日人家... 善惡草子...

時令 時令ニ指シテ... 初春 此部云正月一日人家... 善惡草子...

草木 正月草木ノ類ヲ... 松の花 此部云正月一日人家... 善惡草子...

生類 此部ニ魚鳥ノ類... 朝驚 此部云正月一日人家... 善惡草子...

飲食 食物好惡食合能毒ヲ... 膳 膳法等其外食物一切入用ノコトヲ記ス

歌 此部ニ記ス異名等ニテ... 膳 膳法等其外食物一切入用ノコトヲ記ス

歌 此部ニ記ス異名等ニテ... 膳 膳法等其外食物一切入用ノコトヲ記ス

歌 此部ニ記ス異名等ニテ... 膳 膳法等其外食物一切入用ノコトヲ記ス

歌 此部ニ記ス異名等ニテ... 膳 膳法等其外食物一切入用ノコトヲ記ス

和歌新選二葉州 有賀長伯著 全二册 一名哥道早指南ト云

此本ハ哥ノ題ヲイロハ分ニシテ記シ讀方詞ヨセ

ノ書ナリ○題ヲ見テ哥ヨムベキ趣向ウカマ

サル時大ニ益アリ○祝ノ歌讀トキハイノ部

ニテ祝ト云所ヲ見レバ初ノニ祝ニ縁アル詞ヲ

出シ次ニヨセノ詞ヲノセ其次ニ讀合ヲ出ス何

レモワケヲ記シ證哥故事等ヲ載ス○天地日

月ヨリ草木魚鳥ニ至ルニテ右ニ准ジテ悉ク

集ム是ニテ哥學ノ書多クアレドモ此本ノ如

ク題ヲ出シ縁ノ詞ヨセノ詞ヨ三合ト委ク

出シタルハ外ニ類ナシ依テ初心ノ人ハ勿論哥學

此部云正月一日人家... 善惡草子...

此部云正月一日人家... 善惡草子...

此部云正月一日人家... 善惡草子...

此部云正月一日人家... 善惡草子...

此部云正月一日人家... 善惡草子...

此部云正月一日人家... 善惡草子...

娘教訓和哥百首

娘 身モナ心得 行義 臨方 哥ニナリ
画 入子 遠早ケ合点 候ニル
ラシ 本ト違ヒ画ヲ加ヘ候ニ 見ニ 退屈ナク
哥 依リ候ニ 子達ニテモ 覺ヘ安ク候

詩材拔錦

唐詩 熟字ヲ集 三千一百句 門部百二十
門 口カツ天 部ハ天 熟字ヲアツク日 部ハ

日ノ熟字ヲ集ノ冊 部ハ舟 熟字ヲアツク其
餘ハ是ニ准ス尤懐中折本ニシテ 紅野全ナリ
今博覧ノ人ナリトモ 會席等ニ持ベキ本ナリ

相法秘受解

面鏡著序 全五冊

此本 面ノ相手ノ筋五體ノ相ノ見ヤウ委ク記シ
一 画圖ヲ加ヘ人相ノ見ヤウ極秘口傳渡サズ
記シタト素人ニテモ一度此本ヲ見ル人ノ
吉 相 補身ノ行 起リ見ル事 神ノ如シ

ARAKI SHOTEN
EDBORI, OSAKA
荒木書店
大阪府西區江戸橋南邊三丁目
電話二四六一・四六三・四六四・二八五六

文久三癸亥初春

再建故

清水平兵衛
并待

之

娘教訓和哥百首
全一冊
一冊
一冊
一冊

